

Kodak Gray Scale

© Kodak, 2007 TM: Kodak



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

inches

cm 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue	Cyan	Green	Yellow	Red	Magenta	White	3/Color	Black
1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

第1號A

本洲沿岸水路誌

第 1 卷

總 記

本洲南岸 西國南岸
 本洲東岸 南方諸島

昭和9年7月刊行

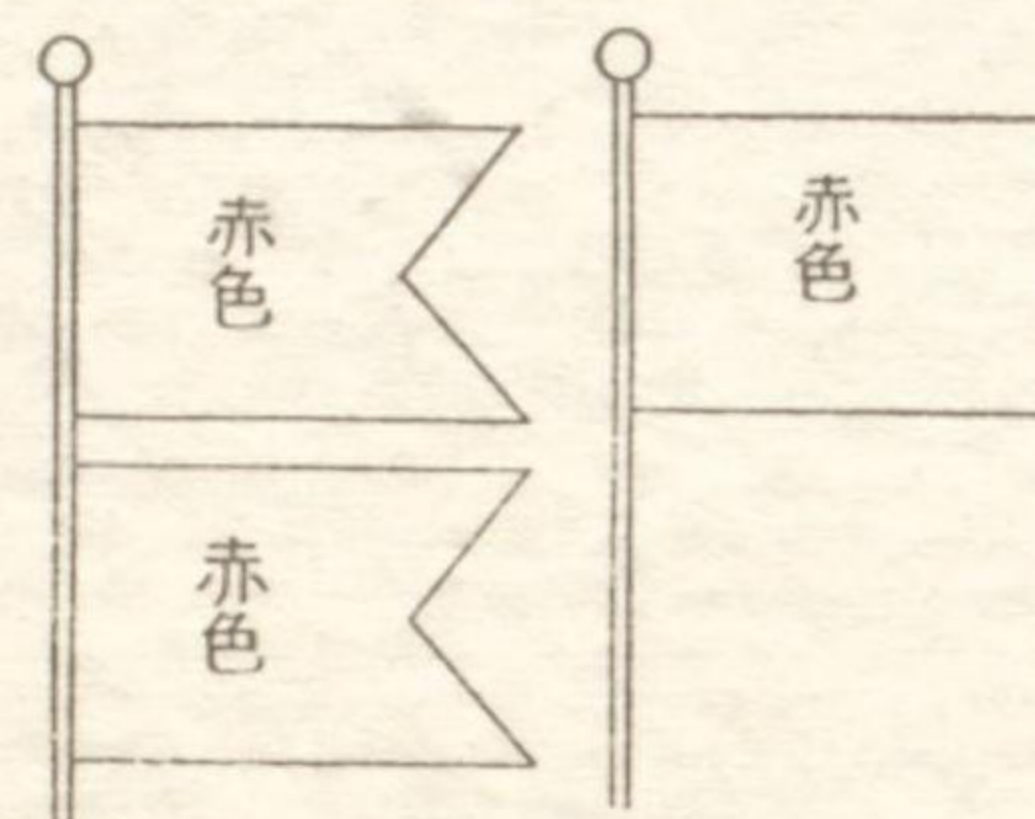
水 路 部



省令第4號 (大正13年4月10日官報)

内及其附近ニ於テ潜水艦作業中認識困難ヨリ生スル衝突等ノ危害ヲ豫防スル爲潜水艦所在ノ海面ヲ通航シ若ハ同海面附近ニ作業スル船舶ハ左ノ諸號ニ注意スヘシ

- 1. 潜水艦潜航中ハ一般水上船舶ニ對シ自艦ノ所在ヲ表示スル爲潜望鏡頂又ハ假製艦頂ニ適宜帆布又ハ金屬製ノ赤色方形標識ヲ掲ク



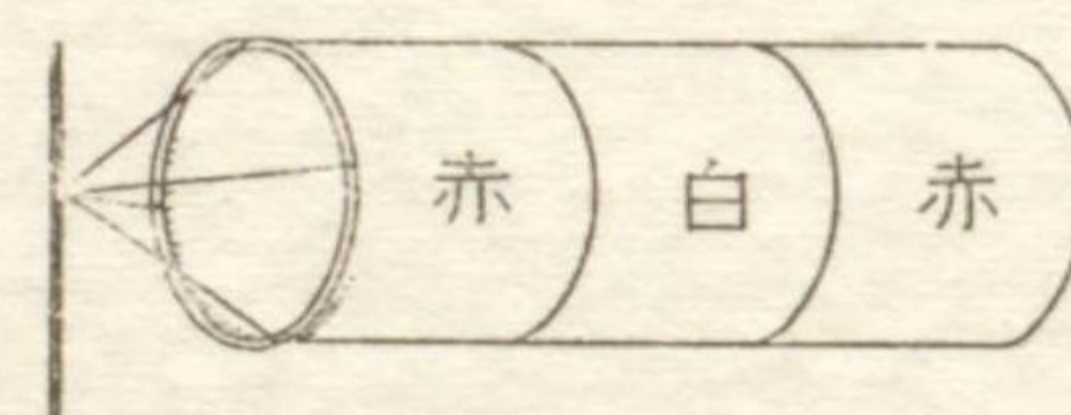
潜水艦作業中之ヲ隨伴スル艦船アルトキハ該艦船ニ於テB旗(赤旗)2箇ヲ連續掲頭又ハ桁端ニ掲揚シ以テ附近5哩以内ニ潜水艦作業中ナルヲ示シ又必要アルトキハ國際信號ニ依リ自艦ヲ基點トシテ潜水艦ノ所在方位ヲ示ス

- 2. 一般船舶前號ノ標識又ハ前號ノ信號ヲ掲揚スル艦船ヲ認メタルトキハ該標識又ハ該艦船ノ動靜及信號ニ注意シ且水面ノ見張ヲ最嚴ニシテ行動スヘシ
- 3. 潜水艦ハ已ムヲ得サル場合ヲ除ク外一般船舶ノ常用航路ヲ避ケ行動スヘキニ依リ一般船舶ハ可成常用航路以外ニ逸セサル様努ムヘシ

海軍省令第20號 (大正15年12月7日官報)

帝國海軍艦船、航空機作業、掃海作業、曳船作業及測量作業ニ從事中ハ衝突等ノ危險ヲ豫防スル爲左記ノ信號ヲ爲シ該艦船ノ運動自由ナラサルカ針路ノ變換困難ナルカラ表示スルヲ以テ其ノ附近海面ヲ通航シ又ハ同海面ニ於テ作業スル船舶ハ之ニ注意スヘシ

- 1. 航空機發著作業ニ從事中ノ艦船ハ晝間最見エ易キ所ニ左圖ノ如キ吹流1箇ヲ掲揚ス



前項ノ信號ヲ爲セル艦船航進中ナルトキハ航空機發著作業中ナルヲ以テ其ノ前路ニ接近スルハ危險ナリ又該艦船停止セルトキハ航空機發著又ハ出入作業中ナルヲ以テ其ノ1,000米以内ニ接近スルハ危險ナリ

- 2. 掃海作業中ノ艦船ハ最見エ易キ所ニ晝間ニ在リテハ直徑2尺ノ黒球1箇ヲ掲揚シ夜間2隻以上ノ場合ニ在リテハ周圍少クトモ2海里ノ距離ヨリ見得ヘキ①②③3箇ノ燈ヲ上下ニ少クトモ4尺宛ヲ隔テテ連掲ス

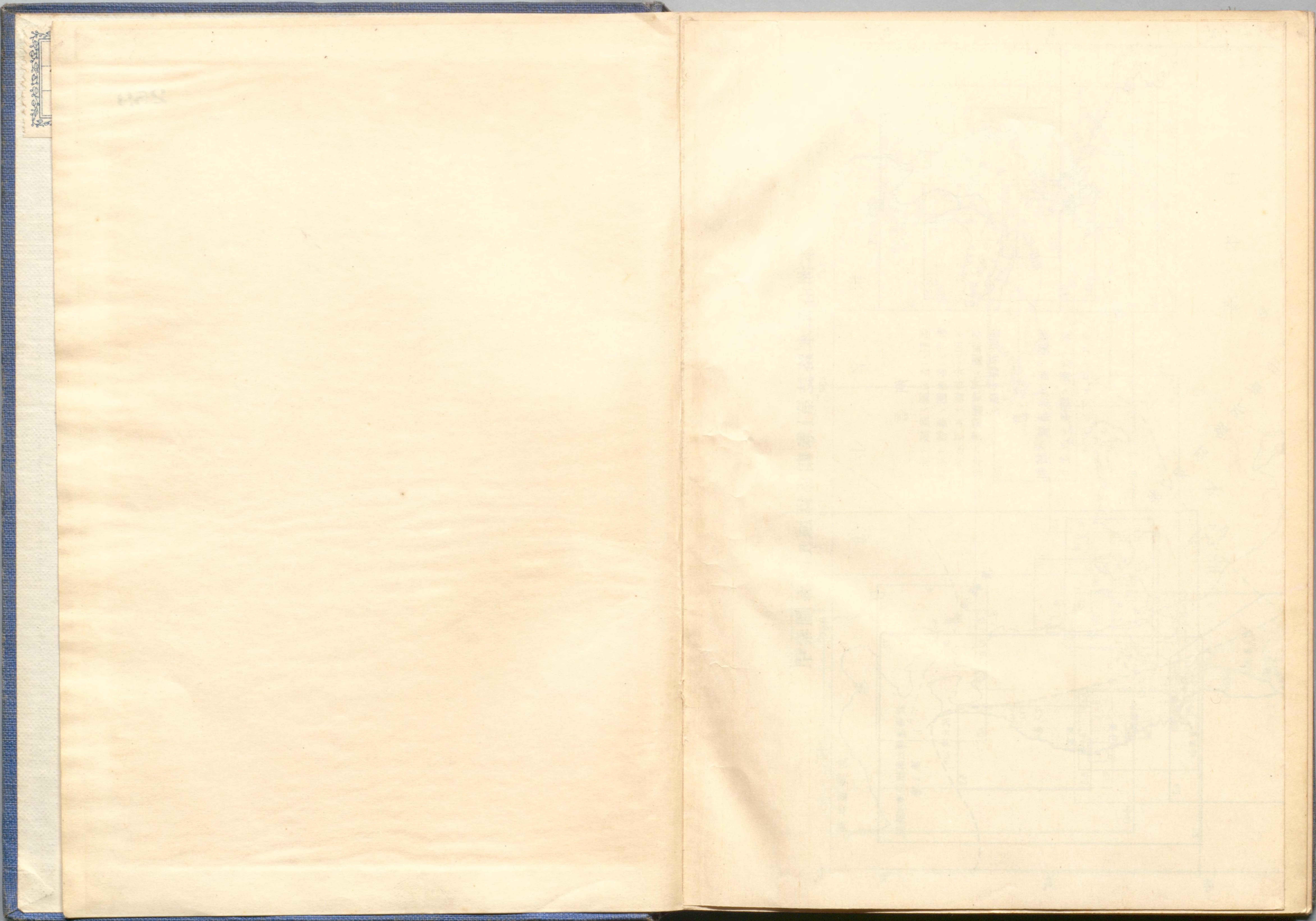
前項ノ信號ヲ爲セル艦船單艦(艇)ノ場合ニハ掃海索ヲ其ノ左右斜後ニ曳航スルヲ以テ其ノ500米以内ニ接近スルハ危險ナリ又該艦船對艦(艇)又ハ群艦(艇)ノ場合ニハ翼端及後尾ノモノヨリ500米以内ニ接近スルハ危險ナリ

對艦(艇)ノ間ヲ航過セサル様特ニ注意スルヲ要ス

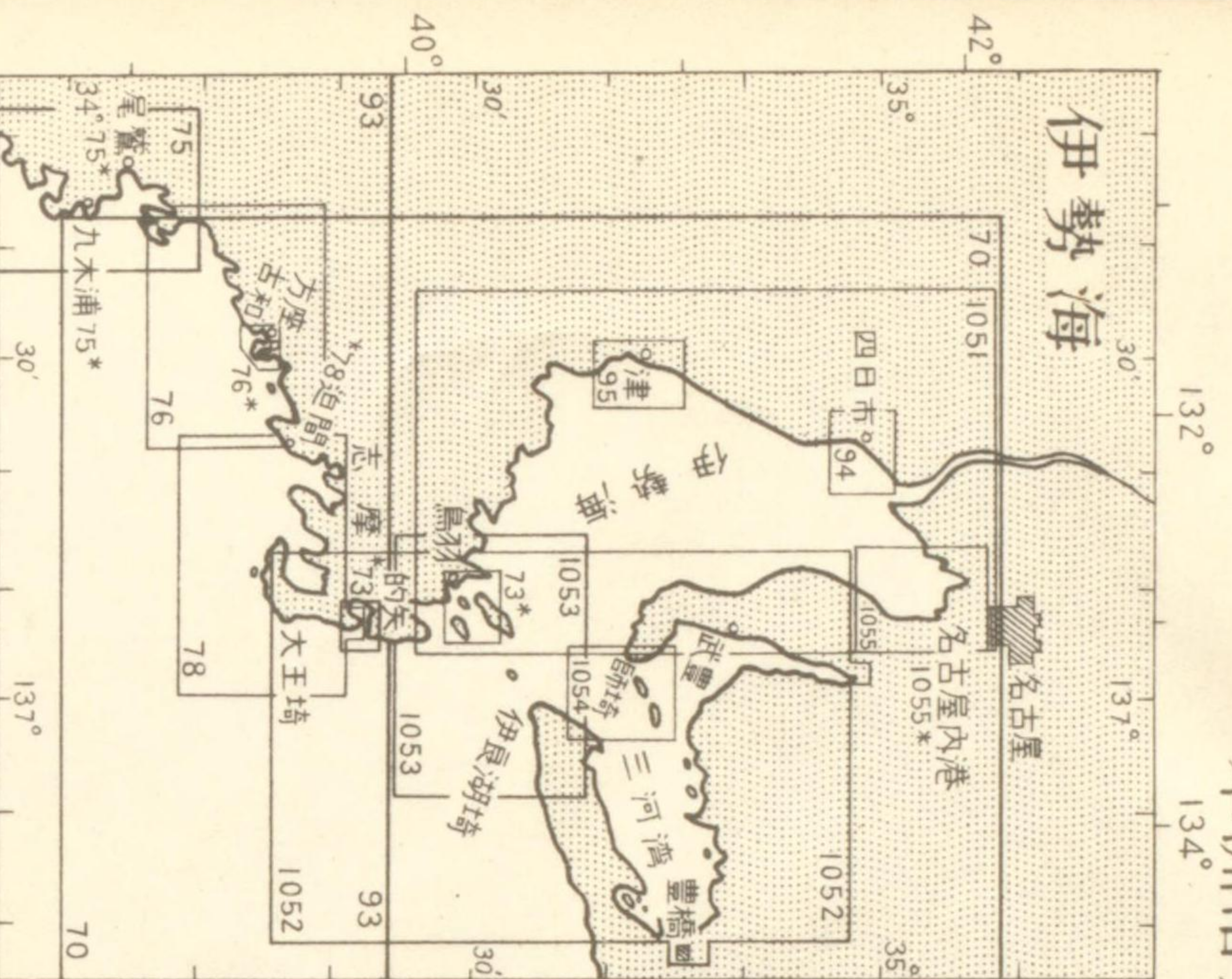
- 3. 艦船他ノ艦船又ハ艦砲射撃用標的等ヲ曳航中又ハ其ノ曳索ヲ揚收中ハ晝間最見エ易キ所ニ直徑2尺ノ黒球3箇ヲ上下ニ少クトモ6尺宛ヲ隔テテ連掲ス

前項ノ場合ニ於テ曳索上ヲ航過スルハ最危險ナリ

- 4. 測量ノ爲停止中又ハ一定針路ヲ航行中ノ艦船ハ晝間最見エ易キ所ニ直徑2尺ノ黒球ノ下ニ少クトモ6尺ヲ隔テ日旗(白赤)1流ヲ連掲ス



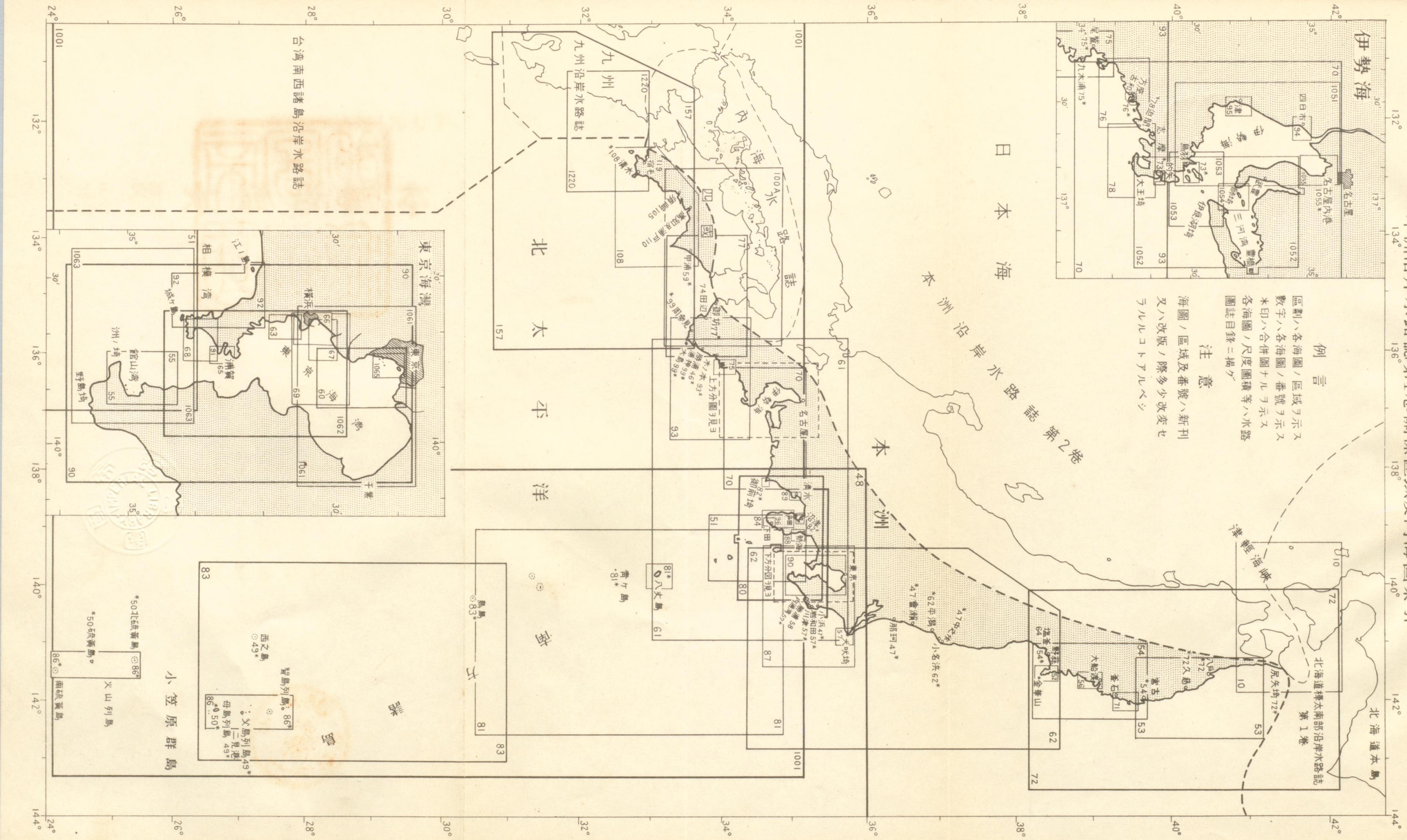
本洲沿岸水路誌第1卷關係區域及同海圖索引



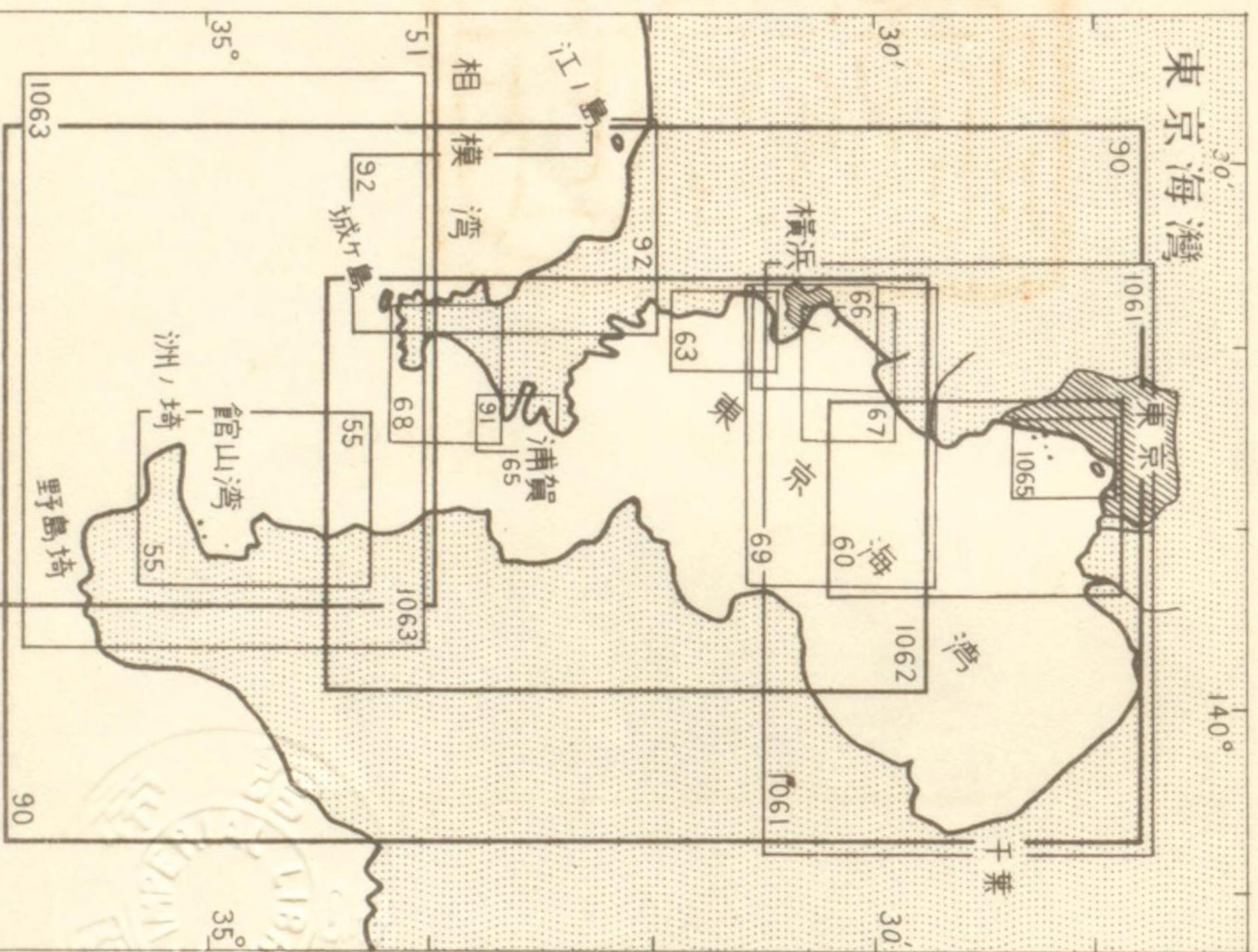
例言
 又 各海圖ノ區域ヲ示ス
 又 各海圖ノ番號ヲ示ス
 又 各海圖ナルヲ示ス
 又 各海圖ノ尺度面積等ハ水路
 圖誌目錄ニ掲グ
注意
 海圖ノ區域及番號ハ新刊
 又ハ改版ノ際多少改變セ
 ラルルコトアルベシ

日本海

本洲沿岸水路誌第2卷



台湾南西諸島沿岸水路誌



小笠原群島

西之島 49*
 智島列島 86*
 父島列島 49*
 母島列島 49*
 86* 50*

北硫黃島 86*
 硫黃島 86*
 火山列島

水-47

本洲沿岸水路誌 第1卷

序

本誌ハ本洲東岸並ニ南岸、四國南岸及南方諸島ノ水路記事ヲ記載ス。

本誌ハ大正14年12月刊行ノ日本水路誌第1卷（後ニ本洲沿岸水路誌第1卷ト改稱ス）ヲ次ノ資料ニ據リ改訂増補シタルモノナリ。

1. 昭和6年10月刊行本洲沿岸水路誌第1卷追補第1
2. 昭和8年水路告示第50號迄
3. 昭和8年11月迄ノ當部蒐集ノ各種資料

本誌ノ誤謬又ハ改補資料ハ速ニ當部ニ通知アランコトヲ希望ス。

昭和9年5月

水路部長 小野 彌 一

關係水路誌ノ沿革

1. 本邦沿岸ニ關スル我ガ國最初ノ水路誌ハ寰瀛水路誌第1卷上下ノ2冊ニシテ明治18年ノ刊行ニ係ル。
2. 明治25年3月寰瀛水路誌第1卷上下ヲ日本水路誌ト改稱シ之ヲ6卷ニ分チ其ノ第1卷ニ日本沿海總記、東京海灣、本洲東岸及南方諸島、又第2卷上ニ本洲南岸、四國南岸及九州東岸ノ記事ヲ記載スルノ方針ヲ樹ツ。
3. 明治25年3月日本水路誌第1卷刊行。
4. 明治27年7月日本水路誌第2卷上刊行。
5. 明治37年12月日本水路誌第1卷第1改版刊行。
6. 明治42年9月日本水路誌第2卷上第1改版刊行。
7. 大正3年1月日本水路誌第1卷第2改版刊行。
8. 大正5年12月日本水路誌ヲ10卷ニ分チ其ノ第1卷ニ日本沿海總記、本洲南岸(東京海灣ヲ含ム)、四國南岸及九州東岸、又第2卷ニ本洲東岸及南方諸島ノ記事ヲ記載スルコトニ方針ヲ改ム。
9. 大正7年3月上記改纂ニ係ル日本水路誌第1卷刊行。
10. 大正11年2月同ジク日本水路誌第2卷刊行。
11. 大正14年12月第1卷及第2卷ヲ合輯改纂シテ日本水路誌第1卷(第3改版)ヲ刊行ス。
12. 昭和4年5月日本水路誌第1卷ヲ本洲沿岸水路誌第1卷(書誌第1號A)ト改稱ス。
13. 昭和4年5月本洲沿岸水路誌第1卷別冊トシテ航路記ヲ刊行ス。
14. 昭和5年6月九州沿岸水路誌改版成ルヲ以テ本洲沿岸水路誌第1卷中ヨリ第5編(九州東岸)ヲ削除ス。
15. 昭和9年5月本洲沿岸水路誌第1卷ヲ改版刊行ス。

凡 例

1. 方位ハ主トシテ眞方位ヲ用ヒ眞北ヲ0度トシ右廻リニ360度ニ至ル又磁針方位ヲ用フル場合ニハ點若ハ度ニ依ル。
2. 風、濤ハ其ノ進ミ來ル方位ヲ、海流及潮流ハ其ノ流レ去ル方位ヲ示ス。
3. 燈光ノ方位ハ海方ヨリ燈光ニ向ヒテ取ル。
4. 四方點及四隅點ノ方位ニ「偏」ノ字ヲ冠シ、其ノ方位ノ左右2點内外ニ方ルモノヲ汎稱ス。
5. 繁文ヲ省ク爲ニ何方位(何々)ヨリ何方位(何々)ニ至ルヲ何方位(何々)至何方位(何々)ト記シ又磁針方位中微ト書スベキヲイト記セリ。
6. 河川又ハ海峡ニ於テ左舷側、右舷側ト稱スルハ河口、海口ヨリ水源ニ向ヒ遡ル船ヨリ見タル左右ヲ稱ス又河川ノ左岸、右岸ト謂フハ水源ヨリ河口ニ向ヒ左右ヲ稱スルモノトス。
7. 水深ハ基本水準面下ノモノヲ「メートル」(米)ニテ示ス。
8. 高サハ平均水面上ノモノヲ「メートル」(米)ニテ示ス。
9. 氣壓及降水量ハ耗、積雪量ハ糧、濕度ハ百分比、溫度ハ攝氏ノ度ニテ示ス。
10. 風力ハ0ヨリ12ニ至ル「ビューフォート」式ニ依リ、風速ハ每秒米ニテ示ス。
11. 地名ト併記セル經緯度ハ通例概位ヲ示ス。
12. 地名ニ()ヲ附セルハ舊名稱又ハ讀ミ方ヲ、〔 〕ヲ附セルハ別名稱ヲ、{ }ヲ附セルハ説明ニ用ヒタル地名ナルコトヲ示ス。

本洲沿岸水路誌第1卷目次

	頁		頁
第1編 總記	1	航路	12
軍港境域及要塞地帯	1	第2編 東京海灣	13
主要ナル港灣	1	野島崎至洲ノ崎	16
氣象	2	浦賀水道	18
風候及天候	2	浦賀水道東濱	19
氣溫	2	館山灣	20
降水	2	浦賀水道西濱	24
濕度	3	金田灣	25
雲量	3	浦賀港	26
霧	4	觀音崎至橫濱港	28
低氣壓	4	橫須賀軍港	29
南方諸島	4	根岸灣	31
氣象通報規程	4	橫濱港	32
潮汐及潮流	4	第1區	36
海流	4	第2區、第3區及第4區	40
足摺崎南方至伊豆諸島	4	橫濱港至東京港	41
伊豆諸島至本洲東岸沖	6	東京港	42
黑潮本流南側諸環流	7	東京港至富津崎	47
航路標識	7	木更津港	49
無線電信所	8	第3編 本洲南岸	51
水難救濟	9	劍崎至石室崎	53
標準時及報時信號	11	劍崎至城ヶ島	55
檢疫	11	三崎港	55
磁氣	11	相模灣	57

	頁		頁
真鶴崎至石室崎	62	桃取水道	113
網代港	64	三河灣	115
伊東港	64	三河灣口附近	115
下田港	67	渥美灣	118
駿河灣	71	蒲郡港	120
石室崎至大瀬崎	73	知多灣	122
田子港	75	武豊港	122
戸田港	76	鳥羽港附近	126
大瀬崎至三保崎	77	菅島水道	127
内浦	77	鳥羽港	129
重須港	77	加布良古水道	132
江之浦	78	鎧崎至大王崎	132
沼津港	78	的矢港	133
清水港	79	大王崎至日ノ御崎	134
三保崎至御前崎	84	大王崎至潮岬	134
燒津港	84	五箇所港	138
御前崎至伊良湖崎	87	槌柄灣	140
伊良湖水道	89	古和港	142
伊勢海	92	長島港	144
伊良湖崎至名古屋港	93	尾鷲灣	145
名古屋港	95	尾鷲港	146
名古屋港至四日市港	103	賀田灣	149
四日市港	104	木本港	150
四日市港至答志島	108	勝浦灣	154
津港	109	勝浦港	154
松阪港	110	大島	159
神社港	111	大島港〔串本港〕	160

	頁		頁
潮岬至日ノ御崎	163	犬吠崎至金華山島	225
田邊灣	168	犬吠崎至鹽屋崎	225
田邊港	171	小名濱港	228
日高港〔御坊港〕	176	鹽屋崎至宮戸島	230
第4編 四國南岸	179	松島灣	232
蒲生田崎至室戸崎	181	鹽竈港	233
室戸崎至足摺崎	186	宮戸島至金華山島	237
室戸崎至白ノ鼻	187	石卷灣	237
浦戸港	189	石卷港	238
白ノ鼻至足摺崎	192	荻濱灣	240
須崎灣	192	大原灣	241
須崎港	193	鮎川灣	241
野見港	194	金華山島至尻矢崎	244
足摺崎至高茂崎	198	金華山島至閉伊崎	244
清水港	199	女川灣	245
宿毛灣	203	志津川灣	248
宿毛港	204	氣仙沼灣	250
片島港	205	氣仙沼港	251
第5編 本洲東岸	209	廣田灣	252
野島崎至犬吠崎	211	大船渡港	253
野島崎至江見ノ鼻	212	釜石港	256
江見ノ鼻至鳥山鼻	214	大槌灣	259
内浦灣	215	船越灣	259
鵜原灣	217	山田港	261
勝浦灣	218	閉伊崎至鮫角	264
鳥山鼻至犬吠崎	219	宮古港	264
銚子港	222	久慈灣	266

鮫角至尻矢崎	268
八戸港(鮫港)	268
第6編 南方諸島	277
伊豆諸島	278
大島至錢洲	281
大島	281
利島	283
鵜渡根島	284
新島	284
式根島	288
神津島	288
恩馳島	290
錢洲	290
三宅島至蘭灘波島	291
三宅島	291
大野原島〔三本嶽〕	293
御藏島	293
蘭灘波島	294
八丈島至鳥島	294
八丈島	294
神港泊地〔神湊泊地〕	295
洞輪澤泊地	297
八重根泊地	298
小島	300
青ヶ島	301
ベヨネース列岩	302
須美壽島	302

鳥島〔三子島〕	303
孀婦岩	304
小笠原群島	304
聳島列島	307
北之島	307
聳島〔平島〕	308
針之岩	308
媒島	309
嫁島〔榮次ヶ島〕	309
父島列島	310
弟島	310
兄島	311
西島	312
父島	313
二見港	314
母島列島	317
母島	317
北港	318
東港	319
沖港	321
向島	323
姉島	323
妹島	324
姪島	325
西之島	325
火山列島	326
北硫黃島	326

硫黃島	328
南硫黃島	330
沖ノ鳥島	331
南鳥島	331
疑存嶼礁	332

地名索引

尋米、米尋、呎米換算表

(終)

附表

- 第1. 布良氣象表
- 第2. 館山氣象表
- 第3. 横須賀氣象表
- 第4. 横濱氣象表
- 第5. 東京氣象表
- 第6. 沼津氣象表
- 第7. 濱松氣象表
- 第8. 名古屋氣象表
- 第9. 津氣象表
- 第10. 潮岬氣象表
- 第11. 高知氣象表
- 第12. 足摺埼氣象表
- 第13. 勝浦氣象表
- 第14. 銚子氣象表
- 第15. 小名濱氣象表
- 第16. 石卷氣象表
- 第17. 宮古氣象表
- 第18. 八丈島氣象表
- 第19. 父島氣象表

本洲沿岸水路誌第1卷挿圖目次

對 景 圖

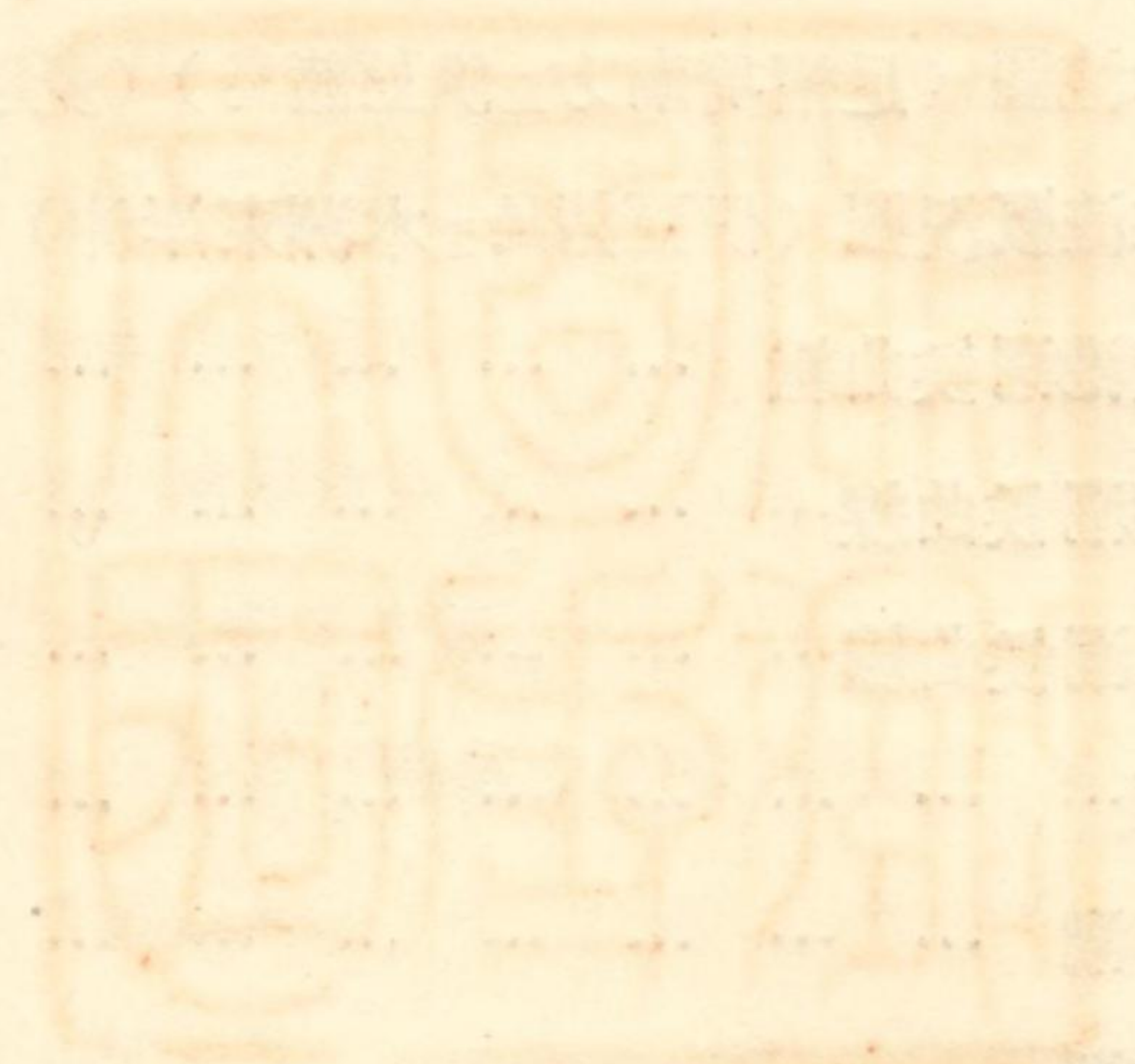
		對面頁
第 1.	東京海灣口 (西方ヨリ望ム)...	18
第 2.	下田港 (南方ヨリ望ム)...	} 68
第 3.	駿河灣口 (西方ヨリ望ム) ...	
第 4.	伊良湖水道 (東方ヨリ望ム)...	} 90
第 5.	伊良湖水道 (南方ヨリ望ム)...	
第 6.	鳥羽港 (東方ヨリ望ム)...	128
第 7.	朝熊岳ヨリ大臺原山ニ至ル (賀田灣沖ヨリ望ム) ...	} 144
第 8.	大臺原山ヨリ那智妙法山ニ至ル (賀田灣沖ヨリ望ム) ...	
第 9.	那智妙法山ヨリ大島ニ至ル (檜野埼東方ヨリ望ム)...	} 154
第 10.	潮岬燈臺ヨリ安宅埼附近ニ至ル (潮岬南西方ヨリ望ム)...	
第 11.	室戸埼附近 (東方ヨリ望ム)...	186
第 12.	空ヨリ見タル浦戸港口附近 ...	188
第 13.	足摺埼附近ヨリ沖ノ島ニ至ル (南方ヨリ望ム)...	198
第 14.	野島埼附近 (東方ヨリ望ム)...	} 212
第 15.	野島埼附近 (南方ヨリ望ム)...	
第 16.	筑波山ヨリ川尻埼附近ニ至ル (那珂湊港沖ヨリ望ム) ...	} 226
第 17.	鞍掛山附近ヨリ水石嶺ニ至ル (川尻埼沖ヨリ望ム)...	
第 18.	水石嶺ヨリ三森山附近ニ至ル (富岡送信所沖ヨリ望ム)...	230
第 19.	金華山島ヨリ志津川灣口附近ニ至ル (氣仙沼灣沖ヨリ望ム)...	} 246
第 20.	大島ヨリ氷上山ニ至ル (廣田灣沖ヨリ望ム) ...	
第 21.	廣田灣口ヨリ首埼ニ至ル (氣仙沼灣沖ヨリ望ム) ...	} 252
第 22.	大船渡港口ヨリ吉濱灣口ニ至ル (越喜來灣沖ヨリ望ム)...	

第 23.	三貫島ヨリ鮫埼ニ至ル (船越灣沖ヨリ望ム)	對面頁
第 24.	宮古港口附近 (北方ヨリ望ム)	} 258
第 25.	眞埼ヨリ鮫角ニ至ル (階上岳沖ヨリ望ム)	
第 26.	鮫角附近 (北東方ヨリ望ム)	266
第 27.	神子元島及利島ヨリ神津島ニ至ル (石室埼沖ヨリ望ム)	268
第 28.	御藏島及藺灘波島 (南側ヨリ望ム)	} 284
第 29.	三宅島ヨリ八丈島ニ至ル (西側ヨリ望ム)	
第 30.	八丈島 (南方ヨリ望ム)	294
第 31.	青ヶ島 (北方ヨリ望ム)	} 300
第 32.	青ヶ島 (南東方ヨリ望ム)	
第 33.	ベヨネース列岩 (南西方ヨリ望ム)	
第 34.	ベヨネース列岩 (西方ヨリ望ム)	
第 35.	須美壽島 (北方ヨリ望ム)	} 302
第 36.	須美壽島 (東方ヨリ望ム)	
第 37.	須美壽島 (南方ヨリ望ム)	
第 38.	鳥島 (北方ヨリ望ム)	} 304
第 39.	鳥島 (東北東方ヨリ望ム)	
第 40.	鳥島 (南東方ヨリ望ム)	
第 41.	孀婦岩 (南方ヨリ望ム)	
第 42.	孀婦岩 (南西方ヨリ望ム)	
第 43.	父島列島 (北西方ヨリ望ム)	310
第 44.	母島列島 (西方ヨリ望ム)	318
第 45.	北硫黃島 (南東方ヨリ望ム)	} 326
第 46.	南硫黃島 (南南西方ヨリ望ム)	
第 47.	硫黃島 (南側ヨリ望ム)	328

附 圖

第 1.	黒潮本流圖 (足摺埼南方至伊豆諸島) (夏季)(冬季)	對面頁
第 2.	夏季海流概況圖 (伊豆諸島至本洲東岸沖)	4
第 3.	横須賀港潮候曲線	6
第 4.	宮古港潮候曲線	14
第 5.	二見港潮候曲線	210
第 6.	眞 潮	278
第 7.	込ミ眞潮	280
第 8.	込ミ逆潮	280
第 9.	出シ眞潮	280
第 10.	出シ逆潮	280

(終)



本洲沿岸水路誌 第1卷

第1編 總記



本卷ハ本洲東岸竝ニ南岸、四國南岸及南方諸島ニ關シテ記述ス。

沿岸記記載ノ順序ハ東京海灣ヲ起點トシ先ヅ西進シテ本洲南岸及四國南岸ヲ順記シ、更ニ東京海灣外ヨリ北上シテ本洲東岸ノ記載ヲ終ヘ三度東京海灣外ヲ發シ南下シテ南方諸島ヲ記述ス。

本洲沿岸ニ於ケル本卷區域ノ端末ハ何レモ水路圖誌上定メタル津輕海峽、紀伊水道及豊後水道ノ各限界（外口）ナルヲ以テ此等水道ノ外海ヲモ意味スル各水道全般ノ記事ニ就テハ津輕海峽ニ在リテハ北海道樺太南部沿岸水路誌第1卷（海峽南濱ノ記事ハ本洲沿岸水路誌第2卷）ヲ、紀伊水道及豊後水道ニ在リテハ内海水路誌ヲ見ルベシ。

軍港境域及要塞地帯

本卷記載ノ區域内ニ於ケル軍港ハ横須賀ノミニシテ其ノ境域圖ハ水路誌附録第1卷ニ在リ但シ海面上ノ境域ハ海圖上ニモ記載ス。

又陸軍ニ於テ防禦營造物ノ地帯竝ニ區域ヲ定メタル箇所ハ次ノ如シ。

東京灣要塞地 父島要塞地

上記地帯竝ニ區域ヲ表示スル圖ハ水路誌附録第1卷ニ在リ。

主要ナル港灣

本卷記載ノ區域内ニ於ケル開港、内務省ニ於テ選定シタル第1種重要港灣及第2種重要港灣ハ下ノ如シ。

開港 横濱、清水、武豊、名古屋、四日市。

第1種重要港灣 横濱。

第 2 種重要港灣 東京、清水、名古屋、四日市、浦戸、小名濱、鹽竈、宮古。

開港港則、其ノ他ノ諸規則ハ水路誌附録第 1 卷ニ記載ス。

氣象

風候及天候

本洲沿岸ニテハ冬夏共ニ信風ノ支配ヲ受ク、冬季ノ偏北西信風ハ甚ダ強ク且數日間吹續ス、而シテ低氣壓「アジア」大陸ヨリ日本海ニ出デ千島南部附近ニテ發達スルトキハ一般ニ信風極メテ優勢ト爲リ、本洲ノ日本海沿岸ニテハ吹雪屢到リ航海爲ニ困難ト爲ルコトアレドモ、太平洋側ニテハ風勢ハ強大ナルモ多クハ雨雪ヲ伴ハズ晴天北西ノ寒風ヲ伴ヒ數日連續スルヲ普通トス。

冬季信風ノ流行期間大陸ヨリノ寒風ハ日本海ニ於ケル暖海面上ノ濕氣ヲ包容シ來リ沿岸附近ニ於テ吹雪ヲ催ス、之ニ反シ太平洋側ハ寒季中特ニ 11 月至 1 月間ハ天氣良キヲ常トシ特ニ犬吠埼以西ノ沿岸ニ於テ然リトス、然レドモ鹽屋埼以北ノ沿岸ニテハ稍日本海側ニ類シ屢吹雪ヲ見ルコトアリ。

夏季ニハ概ネ南至東ノ信風流行ス、一般ニ夏季ノ信風ハ冬季ノ信風ニ比スレバ劣勢ニシテ天氣及氣候ニ及ボス影響顯著ナラズ、梅雨季節ヲ除ク外天氣一般ニ良好ナルヲ普通トス。

氣溫

本洲南岸ニテハ著シク暖流ノ影響ヲ受ケ氣候概ネ溫和ナレドモ東岸ニテハ暖流ノ影響少ク却ツテ寒流ノ影響ヲ被ルコト大ナリ、冬季ニ於テ 12 月 1 月及 2 月ノ平均氣溫潮岬ニテハ夫々 9.8, 7.1, 及 7.5 度ヲ示シ、宮古ニテハ夫々 2.0, -0.5 及 -0.1 度ヲ示ス、夏季ニ於テハ 7 月 8 月及 9 月ノ平均氣溫潮岬ニテ夫々 25.1, 26.0 及 23.7 度、宮古ニテ 20.0, 22.0 及 18.4 度ヲ示ス。春秋ニ於ケル氣候ノ轉換ハ北スルニ從ヒ急ニシテ本洲南岸ニテハ比較的徐々ニ轉換ス（日本近海氣象海流圖參照）。

降水

本洲南岸東岸共ニ冬季比較的寡雨ニシテ時トシテ數週間雨ヲ見ザルコトアリ、然レドモ東岸ニテハ降雪ヲ見ルコト稀ナラズ、殊ニ北部ニ於テ然リトス、夏季ノ降雨ハ概ネ 6 月半ニ始リ 7 月半ニ終ルヲ例トス、之所謂梅雨ニ

シテ北太平洋ノ高氣壓本洲東岸沖合ニ逼リ此ノ高壓部ヨリ吹き出ス寒冷ナル氣流ハ溫暖ナル氣層ノ下ニ突入シ爲ニ天氣陰鬱ト爲ルヲ例トス、之ニ加フルニ揚子江方面ヨリ頻繁ニ襲ヒ來ル低氣壓ハ此ノ高氣壓ニ堰キ止メラレ停滯シツツ其ノ勢力ヲ減退シ益陰鬱ナル天氣ヲ助長ス特ニ本洲南岸ニ於テ其ノ現象顯著ナリ、然レドモ此ノ季節ニ於ケル雨量ハ甚シク大ナラズ、大雨ハ多ク 8 月 9 月ノ交來襲スル颱風ニ伴フ。

降水年量ノ分布ハ東岸ニ於テハ少ク 1,000 乃至 1,500 耗、南岸東部ニテハ 1,500 乃至 2,000 耗、紀伊半島沿岸及四國沿岸ニテハ 2,500 耗以上ヲ算ス（日本近海氣象海流圖參照）。

濕度

濕度ハ一般ニ夏ニ高ク冬ニ低シ即チ宮古ニ於テ 1 月 69.8% 8 月 87.9% 潮岬ニテハ 1 月 63.2% 7 月 89.1% ヲ示ス、夏季ノ高温高濕ハ此ノ沿岸ニ於ケル顯著ナル特性ニシテ又大體日本全體ノ特性ナリトス。

雲量

月別平均曇量ハ一般ニ冬季ニ少ク夏季特ニ梅雨季ニ多シ、潮岬ニテ 1 月 4.2 (最小) 6 月 8.1 (最大) 宮古ニテ 12 月 4.5 (最小) 7 月 7.7 (最大) ナリ、一般ニ冬季ハ晴天稀ナラズ之ニ反シ夏季ニハ比較的曇天ヲ見ルコト多シ、一例トシテ次ニ宮古及潮岬ニ於ケル夏冬 2 季ノ晴天曇天日數ヲ示ス。

月 別	晴 天 及 曇 天 日 數			
	宮古 (明治 30 年至昭和元年 30 年間)		潮岬 (大正 2 年至昭和 4 年 17 年間)	
	晴 天	曇 天	晴 天	曇 天
12	6.9	4.7	8.8	5.9
1	6.2	5.3	9.9	5.7
2	3.5	6.2	7.0	8.4
6	1.6	16.9	1.6	20.0
7	1.5	18.7	3.1	14.7
8	2.5	16.2	3.9	11.4

霧 夏季霧發生ノ頻繁ナルハ金華山島以北ノ沿岸ニシテ犬吠埼附近ニテハ比較的少ク本洲南岸ニテハ一層減少ス、霧ノ詳細ニ就テハ沿岸各地ノ記事ニ讓ル、尙霧ノ分布ニ就テハ日本近海氣象海流圖ヲ參照セヨ。

低氣壓 颶風 前ニ述ベタル如ク冬季「アジア」大陸ヨリ出デ來リタル颶風ハ千島南部附近ニテ發達シ爲ニ屢本洲東岸附近ニ於テ暴風ヲ見ルコトアリ、又6月7月ノ交ニハ揚子江方面ヨリ來ル低氣壓ガ梅雨ノ因ヲ成ス、一般ニ前者ノ場合ニハ屢暴風猛威ヲ逞ウスルヲ特徴トス、冬季颶風大陸ヨリ出デ來ルトキ屢顯著ナル不連續線ヲ伴フコトアリ、此ノ不連續線上ニ在ル數低氣壓ガ往々黑潮流域上ニテ急速ニ發達シ本洲東岸南部附近ニテ猛威ヲ振フコトアリ。

10 **颶風** 颶風ノ襲來ハ8月9月ノ交最多ク7月及10月之ニ亞グ、7月ハ西部ニ10月ハ南方諸島方面ヨリ襲ヒ來ルモノアレドモ其ノ數少ク例年10月ニ至レバ天氣定マルヲ普通トス、颶風ハ北東ノ進路ヲ以テ來ルモノ多キモ稀ニ異常進路ヲ採ルモノアリ、又未ダ警報セラレザルニ先チ南海ヨリ低氣壓ノ突如トシテ現ハレ來ルコトアリ、此ノ場合「ウネリ」ニ注意セバ其ノ來襲ヲ豫知シ得ルコトアルベシ。

南方諸島 伊豆諸島ノ氣象ハ本洲南岸ト大差ナシト見得ベク尙第300頁八丈島ノ氣象記事ヲ參照セヨ。

小笠原群島ニ關シテハ第306頁至第307頁ニ記載ス。

氣象通報規程 氣象通報ニ關スル諸規程ハ水路誌附錄第3卷ニ記載シ

20 アリ。

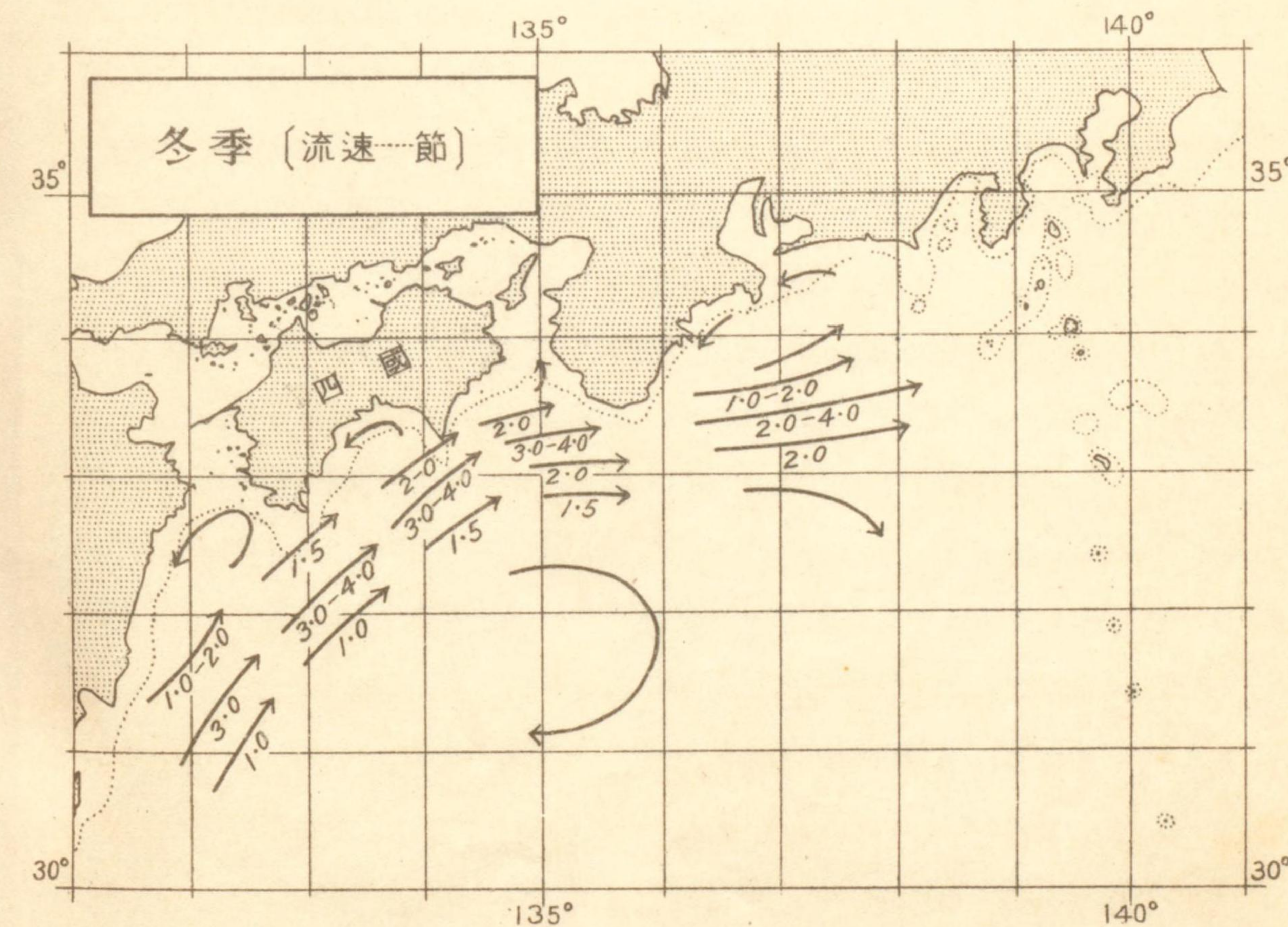
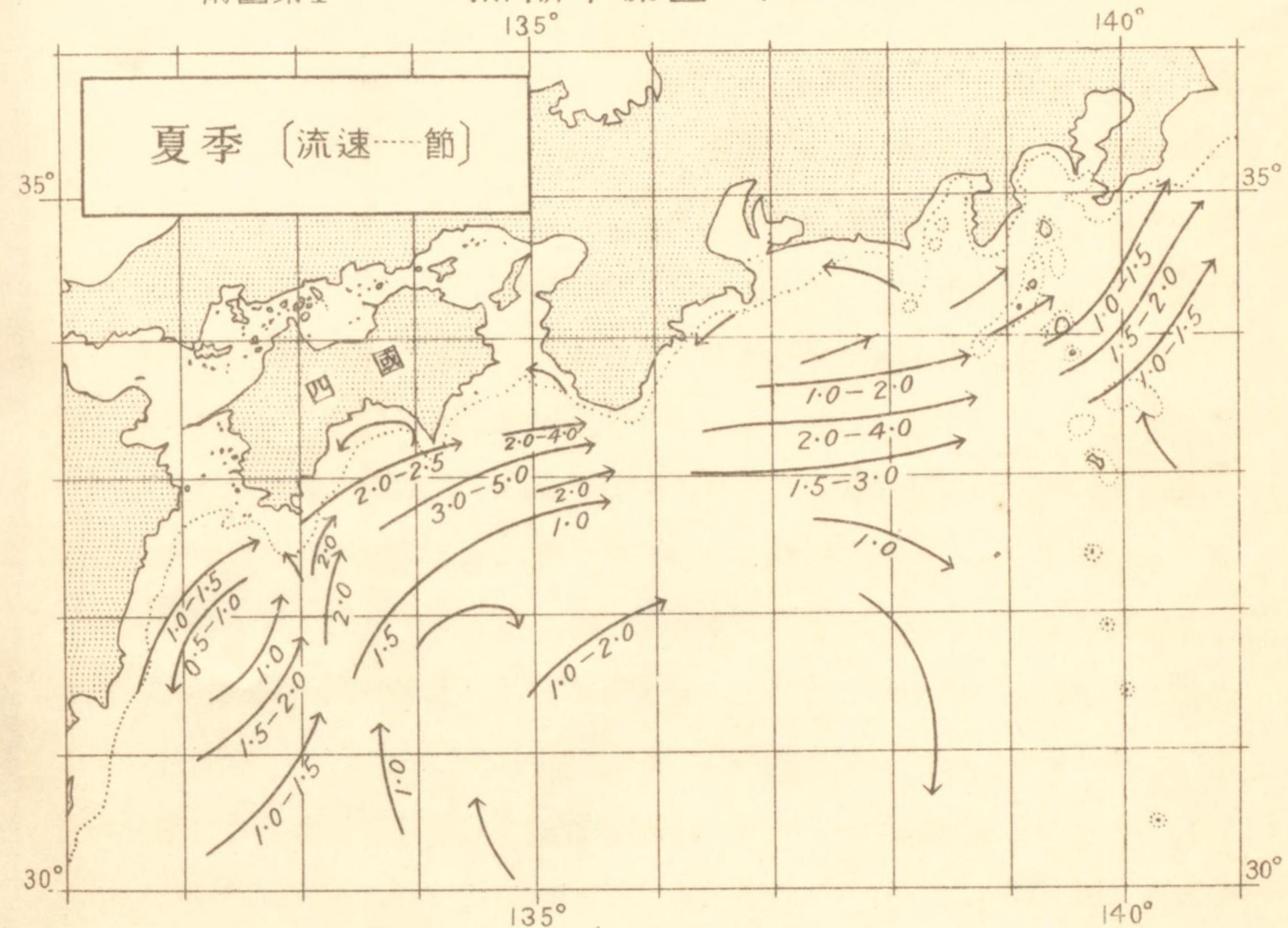
潮汐及潮流

第2編以下ニ於テ各編首ニ記載ノ記事ヲ見ルベシ。

海流

足摺埼南方至伊豆諸島 黑潮本流ハ大體其ノ調査ヲ終了セルモ尙精測ヲ要スルモノアリ殊ニ季節ノ變化等ニ就テハ其ノ詳細明ナラズ、以下大正15年(1926年)以降昭和6年(1931年)迄ノ測量成績ヲ骨子トシテ調査セル結果ヲ夏季及冬季ニ分チ概述ス。

附圖第1 黑潮本流圖 (足摺埼南方至伊豆諸島)



航海者ハ宜シク海流ノ季節ニ因ル變化竝ニ一時的ニ變化スルコト等ヲ銘記シ注意ヲ要ス。

夏季(第4頁對面附圖第1夏季圖) 足摺埼ノ南方九州東岸沖合ニ左旋ノ環流アリ、其ノ東側ノ偏北流ト西側ノ偏北東流トガ略足摺埼南南東線上ニテ相合シ黒潮本流ヲ形成ス、足摺埼南南東線以西ノ海面ハ一般ニ流況複雑季節的ノ變化亦大ナルモノノ如ク航海上注意ヲ要ス。

室戸埼足摺埼間ノ大開灣内ニ顯著ナル反流アリ夏季ノ觀測ニ依レバ其ノ流速1節弱ニシテ沿岸ニテハ潮流ノ影響ヲ受ク。

室戸埼南方ニテハ本流ハ同埼ノ南約5哩ヨリ幅約50哩、流向東微北ニシテ流速2節内外、其ノ中央部幅20哩ノ流帶ハ流速2.5乃至5節ノ強流ヲ示ス、本流ハ之ヨリ潮岬南方ニ向ヒ其ノ北縁ハ市江埼附近ニ及ブモノノ如ク、市江埼至潮岬間ノ沿岸ヲ洗フ海流ハ狂奔シテ潮岬南方ノ本流ヲ強ムルモノノ如シ即チ潮岬ヨリ南方約20哩間ハ東流3乃至4節ヲ示シ、30哩附近ニ於テハ約2節ト爲リ沖合ニ至ルニ從ヒ漸次流速ヲ減ズルモ70哩附近ニ於テ尙幅約20哩、流速1乃至1.5節ノ東流ヲ驗セシコトアリ。

室戸埼至市江埼一線以北ニ於テハ左旋ノ環流ヲ豫期スルモ潮流ノ影響亦大ナルベシ、舊記ニ依レバ紀伊半島沿岸ヲ洗フ海流強勢ナル場合市江埼以北日ノ御埼間ニ於テ1節強ノ北上海流ヲ驗スルヲ普通トスト謂フ。

潮岬沖東方ニテハ御前埼ノ南南東ノ一線迄略同一ノ流幅流速ヲ持續シテ東流シ夫ヨリ三宅島ト御藏島トノ間及御藏島ノ南方ヲ通過シ野島埼沖合ニ向フ、黒潮ノ一部ハ潮岬ヨリ御前埼南方ニ至ル間ニ右方ニ轉向シ青ヶ島南方ニ向フ、潮岬以東黒潮本流ノ北側ニ於テハ左旋ノ環流アルモノノ如ク、神子元島至潮岬ノ直航航路上ニ於テハ紀伊半島南方ノ外ハ顯著ナル海流ヲ見ザルヲ例トス、然レドモ神子元島及伊豆諸島北部ニテハ海流稍顯著ナルヲ普通トス、又大王埼經由ノ航路上ニ於テハ御前埼至大王埼間ニテ偏西、大王埼至潮岬間ニテ偏南ノ弱キ流ヲ驗スルヲ普通トス。

冬季(第4頁對面附圖第1冬季圖) 夏季足摺埼ノ南西方ニ在リシ顯著ナル

渦流ハ冬季ハ略足摺埼ト種ケ島北端トノ一線以內北緯 31 度 40 分ノ緯線以北ニ退クガ如シ、而シテ黒潮本流ハ都井岬沖合ヨリ足摺埼沖合ニ向ヒ顯著ナリ、足摺埼南方ニ於テハ本流ハ同埼ノ南方 10 湮ヨリ幅 40 湮ニ互リ流向東北東流速 1 節以上ニシテ其ノ中軸（足摺埼ノ南方 20 湮ヨリ幅 20 湮）ハ 3 乃至 4 節ノ強流ヲ示シ其ノ東方ニテハ流速稍減少ス。

室戸埼南方ニテハ同埼ノ南方 5 湮ヨリ幅約 50 湮ニ互リ 1 節以上ノ流帶アリ、同埼ノ南 20 湮以北ハ 2 乃至 3 節ノ強流ヲ示ス（夏季ニ比シ流軸北方ニ偏ス、室戸埼足摺埼間ノ大開灣ノ環流モ恐ラク多少收縮スルモノト思ハル）、之ヨリ本流ハ阿波礁ヲ洗ヒ潮岬南方ニ向フ。

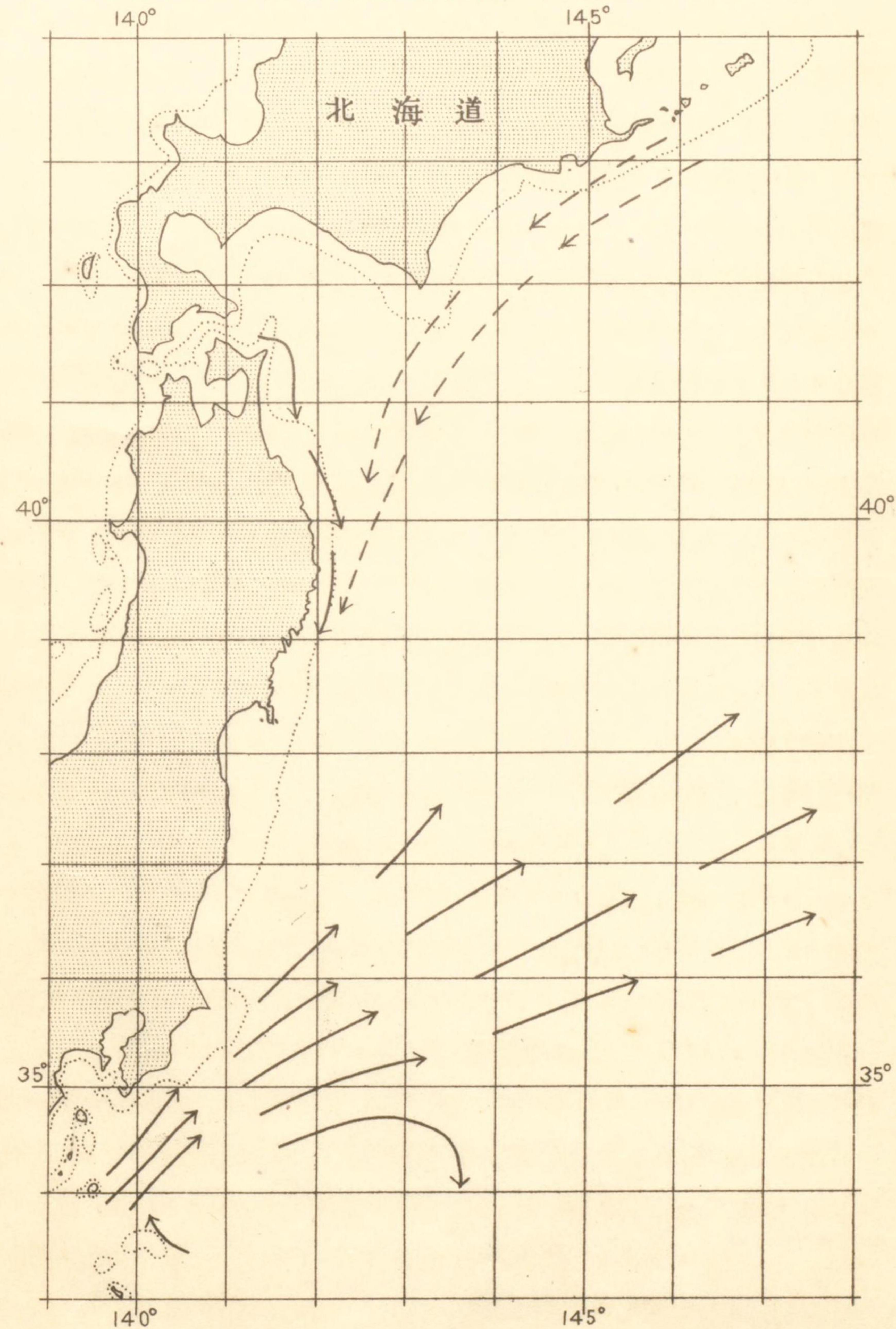
- 10 潮岬南方ニテハ流向ハ略東、流速ハ同岬ノ南 25 湮迄概ネ 3 節内外ヲ示シ、潮岬南方 10 湮附近最強ナルヲ例トスルモ（一般ニ夏季ニ比シ流勢大ナルガ如シ）時ニ沿岸ニ強ク沖合ニ弱キコトアリ、又日ニ依リ流速著シク變化スルコトアリ。潮岬以東伊豆諸島迄ノ間ニテハ海流ハ夏季ト大差ナシ、本流ハ約 3 節ノ東流ヲ示ス（昭和 7 年 1 月觀測）然レドモ伊豆諸島西側ニテハ年ニ依リ季節ニ依リ流況著シク相違シ或ハ流軸南偏スルコトアリ或ハ北偏スルコトアリ、特ニ航海者ノ注意ヲ要ス。

伊豆諸島至本洲東岸沖（第 6 頁對面附圖第 2） 御藏島ノ兩側ヲ通過

シタル黒潮本流ハ略東北東ニ流續シ遠ク太平洋上ニ去ル、本流ノ北側伊豆諸島ノ間ニテハ概ネ偏東流ヲ見ルヲ普通トスレドモ時ニ變調流ヲ見ルコトアリ。

- 20 昭和 7 年（1932 年）2 月野島埼ノ南南東ノ線ニ於テ距岸 10 湮ニテハ 1.5 節、15 至 25 湮間ハ約 3 節、流向北東乃至東北東ノ強流アリ、昭和 2 年（1927 年）9 月ノ觀測ニ依レバ野島埼ノ南南東約 60 湮ノ處ヨリ南方約 30 湮ニ互リ流向東北東約 1.5 節ノ流ヲ見タリ、而シテ此ノ流ハ東經 148 度附近迄ハ略同一ノ流向流速ヲ持續スルモノノ如シ、大正 12 年（1923 年）8 月水産講習所所屬天鷗丸ノ觀測ニ依レバ野島埼沖合ヨリ略北東ニ向ヒ顯著ナル流帶ヲ示セリ、此等ニ依レバ此ノ附近ニテハ年ト季節トニ依リ流帶ハ多少移動スルヲ見ル、此ノ本流ノ北側ニテハ微弱ナル北東流アリテ北海道沿岸沖合ヨリ南西方ニ流レ來ル親潮ト或ハ相

附圖第 2 夏季海流概況圖（伊豆諸島至本洲東岸沖）



觸接シ、或ハ其ノ間ニ渦流ヲ見ルコトアルガ如シ。

津輕海峡ヨリ出デ來ル暖流ハ夏季殊ニ顯著ニシテ親潮寒流ト合流シ時トシテ犬吠崎以南ニ達シ其ノ尖端ハ伊豆諸島ニ達スルコトアルガ如シ。

黒潮本流南側諸環流 (附圖第1及第2) 野島埼沖合黒潮本流ノ南側ニテハ一般ニ流速著シク減少シ東經144度附近ニテ流向著シク南方ニ轉ジ八丈島東方ニ向ヒ茲ニ小環流ヲ形成ス、又紀伊半島南方ニ於テ北緯30度附近ヲ中心トスル1環流アリ、其ノ南東方ニ他ノ環流アリ。

航路標識

航路標識ノ様式、規程 航路標識ノ様式、規程等ニ關シテハ東洋燈臺表上卷ヲ參照スベシ。

燈光及霧信號ニ關スル注意 1. 光力弱キ燈光ハ光達距離不規則ナルコトアリ即チ時ニ依リ光達圈内ニ入ルモ燈光ヲ視認シ得ザルコトアリ又光達距離外數哩ヨリ之ヲ望見シ得ルコトアリ。

2. 天氣密濛ノトキニ當リ燈光ヲ發見セント欲セバ先ヅ燈光ノ強度如何ヲ顧慮セザルベカラズ、光力微弱ナル燈光ハ煙霧ノ爲ニ隱サレ易キコトアリ。

3. 空氣ノ模様ニ依リテハ白光ニシテ紅色ヲ呈スルコトアリ又白光ト紅光トノ間或ハ白光ト綠光トノ間ナル限界線ノ兩側ニハ必ズ光色判然セザル部分存スルモノナリ故ニ2箇以上ノ分弧ヲ有スル燈臺ニ於テハ單ニ光色ノミニ頼ラズシテ必ズ其ノ燈光ノ方位ヲ取り以テ其ノ位置ヲ確メザルベカラズ。

4. 燈臺ノ明弧ト暗弧トハ明瞭ナル限界アルモノニ非ズ、近距離ヨリ望ムトキハ殊ニ然リ、故ニ暗弧ノ限界線近傍ニハ多少餘光アルコトニ注意スベシ。

5. 近傍ノ陸角等ニ依リ燈光ヲ遮蔽セラルル燈臺ニ在リテハ便宜上其ノ遮蔽限界ヲ記入シアルモ此ノ限界ハ燈臺ヨリノ距離ニ依リ變ズルコトアリ即チ距離遠ケレバ地形ニ依リ遮蔽物ヲ越エテ明視シ得ルコトアルガ如シ。

6. 霧信號ノ音達ハ大氣ノ狀況及地勢等ニ依リテ變ズルコトアルヲ以テ必ズシモ音響ノ方向及強弱ニ依リテ霧信號ノ位置及距離ヲ判知スル能ハザルノミナラズ其ノ所在附近ニ於テモ時トシテハ音響ヲ聽キ得ザル區域アルコトアリ、

又高音低音ノ兩調ヲ有スル聯成霧笛モ時ニハ其ノ 2 音ノ 1 ヲ聴取シ得ザルコトアリ、尙甲板上ニテ聴キ得ザル音響モ橋上ニテハ能ク之ヲ聴取シ得ルコトアリ。

7. 海上ニ於テハ既ニ霧發生セルモ霧信號所ヨリハ之ヲ認識シ能ハザル場合アリテ爲ニ信號ヲ開始セザルコトアリ、又霧ヲ認ムルモ發動機ヲシテ其ノ作動ヲ始メシムル用意整フ迄ニ多少ノ時間ヲ要スルコトアリト知ルベシ。

無線電信所

無線電信所、無線電信及放送無線電話ニ依ル氣象通報、無線航行警報、無線電信ニ依ル緊急水路告示放送、放送無線電話ニ依ル緊急水路告示竝ニ航路標識ニ關スル放送、無線方位測定通信等ニ關シテハ水路誌附録第 3 卷ニ詳記シアリ、参照ヲ要ス。

無線電信局 本卷区域内ニ於ケル無線電信海岸局及同固定局ハ次ノ如シ。

海岸局 東京無線船橋送信所、横濱税關港務部、潮岬無線電信局、銚子無線電信局、父島無線電信取扱所。

固定局 東京無線小山送信所、同檢見川送信所、同船橋送信所、下田郵便局、箱根無線電信局、師崎郵便局、篠島郵便局、名古屋無線依佐美送信所、鳥羽郵便局、神島電信局、答志郵便局、柏島郵便局、母島郵便局(高知縣)、東京無線原ノ町送信所、神津島郵便局、御藏島郵便局、八丈島郵便局、父島無線電信取扱所。

20 無線羅針局及無線標識局 本卷区域内ニ於テ無線羅針局及無線標識局業務ヲ取扱フ無線方位信號所ノ所在地次ノ如シ。

野島埼燈臺 石室埼燈臺 犬吠埼燈臺 鹽屋埼燈臺

金華山燈臺 鯉埼燈臺 尻矢埼燈臺 大島燈臺

航行警報 銚子無線電信局及潮岬無線電信局ニ於テハ必要ニ應ジ航行警報ヲ放送ス。

横濱税關港務部ニ於テハ私設無線電信規則第 22 條竝ニ第 24 條ノ規定ニ依ル船舶遭難通信竝ニ航行上ノ危険警戒ニ必要ナル通信及東京海灣出入船舶ニ對シ航

行注意ヲ要スル場合ノ通信ヲ行フ。

東京中央放送局ニ於テハ放送無線電話ニ依リ氣象通報ノ際必要ニ應ジ航行警報ヲ放送シ内地各放送局(本卷区域内ノモノハ静岡、長野、濱松、名古屋中央、高知、前橋、仙臺)ニ於テハ之ヲ中繼放送ス。

水路告示放送 緊急ヲ要スル水路告示ハ午後 9 時 5 分ヨリ同 15 分迄ノ間ニ於テ東京無線電信局ヨリ無線電信ニ依リ邦文又ハ英文ニテ放送ス、又必要ニ應ジ東京無線電信局以外ノ遞信省所管無線電信海岸局ヨリ放送スルコトアルベシ。

緊急水路告示中必要ナル事項ハ午後 7 時官省公示事項(海軍省發表水路部公示事項)トシテ東京中央放送局ヨリ放送無線電話ニ依リ放送シ内地各放送局ニ於テハ之ヲ中繼放送ス。

航路標識ニ關スル放送 遞信省燈臺局所管ノ航路標識新設、改廢、異變等一般艦船ノ航行保安上注意ヲ要スベキ緊急事項ハ前記緊急ヲ要スル水路告示中ニ含マレ東京無線電信局其ノ他ヨリ無線電信ニ依リ放送セララルモ其ノ中ノ必要ナルモノハ之ヲ遞信省公示事項トシテ午後 7 時東京中央放送局ヨリ放送無線電話ニ依リ放送シ内地各放送局ニ於テハ之ヲ中繼放送ス。

氣象通報 本卷区域内ニ於テ無線電信ニ依リ氣象放送ヲ行フ無線電信局ハ東京無線電信局、銚子無線電信局、中央氣象臺、横濱税關港務部及潮岬無線電信局ナリ。

東京中央放送局ニ於テハ放送無線電話ニ依リ毎日數回定刻氣象通報ヲ放送シ内地各放送局ニ於テハ之ヲ中繼放送ス。

水難救濟

帝國水難救濟會 帝國水難救濟會ハ日本帝國沿海ニ於ケル人命財産ノ遭難ヲ救助スル爲ニ設ケラレタル社團法人ニシテ明治 22 年ノ創立ニ係リ本部ヲ東京市深川區永代河岸ニ置キ、本邦沿岸各地ニ救難所及救難支所ヲ置ク、詳細ハ水路誌附録第 1 卷ニ就テ見ルベシ。

本卷區域ニ於ケル救難所及同支所ハ下表ノ如シ(括弧内ハ救難所支所トス、●

印ヲ附スルハ救命銃備附箇所ナリ。

府縣名	救難所 (救難支所)
東京府	●東京 (深川)
神奈川県	●横濱、●三崎
静岡県	掛塚 (駒場)
愛知縣	常滑、師崎、●福江
三重縣	四日市、贄崎、●鳥羽、波切、五箇所灣 (宿田曾、南海)、 ●九鬼
和歌山縣	新宮、太地、串本 (大島)、田邊、御坊
10 高知縣	●室戸、浦戸
千葉縣	布良、勝浦、●銚子
茨城縣	●湊、久慈、平潟
福島縣	原釜
宮城縣	荒濱、●閑上、●石巻、渡波 (小竹、長渡、田代、江ノ島)
岩手縣	大船渡、釜石、●宮古 (山田、田老)
青森縣	湊

海難救助ニ従事スル會社 海難救助ニ従事スル會社ハ東京「サルヴェージ」株式會社及帝國「サルヴェージ」株式會社等ナリ、何レモ救助船其ノ他必要ナル船舟要具ヲ準備シ救難作業ニ従事ス。

20 東京「サルヴェージ」會社ハ東京ニ本社ヲ有シ、門司ニ出張所アリテ各地ニ代理店ヲ有ス、同社救助船那須丸 (總噸數 693 噸、實馬力 1,200) 及吾妻丸 (總噸數 431 噸、實馬力 1,330) ハ共ニ無線電信裝置ヲ有シ、前者ハ門司ヲ、後者ハ小樽又ハ函館ヲ定繫港トス。

帝國「サルヴェージ」會社ハ大阪ニ本社ヲ有シ、東京、門司、函館、小樽等ニ出張所、神戸ニ事務所、各地ニ代理店アリ、同社救助船祐捷丸 (總噸數 807 噸、實馬力 2,200)、海元丸 (總噸數 314 噸、實馬力 750) 及工作船魁丸 (總噸數 185 噸) ハ門司ヲ、救助船甲隆丸 (總噸數 852 噸、實馬力 1,050)、大浦丸 (總噸數

672 噸、實馬力 1,000)、來島丸 (總噸數 668 噸、實馬力 1,000) 及第二魁丸 (總噸數 237 噸、實馬力 520) ハ函館又ハ小樽ヲ定繫港トシ、救助船ニハ無線電信ノ設備ヲ有ス。

標準時及報時信號

標準時ハ中央標準時 (東經 135 度ノ子午線ニ於ケル平時即チ綠威平時ヨリ早キコト 9 時 0 分 0 秒) ヲ使用ス。

横濱港ニハ税關港務部構内ニ報時球アリ、詳細ハ東洋燈臺表上卷ニ就テ見ルベシ○清水港ニ於テハ市設報時信號塔ヨリ「サイレン」ニ依ル報時信號ヲ行フ○燒津港ニハ電働「サイレン」報時裝置ヲ有ス○又四日市港ニ於テハ市役所ニ「サイレン」吹鳴所トシテ高塔ヲ建設セリト謂フ。

東京無線電信局及銚子無線電信局ニ於テハ無線電信ニ依リ報時信號ヲ放送ス、詳細ハ水路誌附録第 3 卷ヲ参照スベシ。

東京中央放送局ニ於テハ毎日定刻放送無線電話ニ依リ報時信號ヲ放送シ内地各放送局 (本卷区域内ノモノハ静岡、長野、濱松、名古屋中央、高知、前橋、仙臺) ニ於テハ之ヲ中繼放送ス。

檢疫

本区域内ニ於テ檢疫ヲ施行スル海港ハ横濱港トス、其ノ他ノ海港ニ於テ臨時ニ檢疫ヲ施行スルトキハ内務省告示ヲ以テ之ヲ指定ス。

海外諸港及臺灣、朝鮮、樺太ヨリ來ル船舶ニ對シテハ常時檢疫ヲ施行ス、尙詳細ニ關シテハ水路誌附録第 1 卷所載ノ海港檢疫法、同施行規則及船舶檢疫規則其ノ他ヲ参照スベシ。

磁氣

當地方ノ偏差ハ總テ西偏ニシテ其ノ値ハ大體緯度ト共ニ増加シ昭和 8 年ノ算定結果ニ依レバ四國南岸及本洲南岸ハ 4.5 乃至 5 度ニシテ本洲東岸中野島崎至金華山島ノ間ハ 4.7 乃至 5.5 度金華山島至尻矢崎ノ間ハ 5.5 乃至 6.5 度ナリ、南方諸島中火山列島ハ 1 乃至 1.5 度同列島以北ノ小笠原諸島ハ 1.5 乃至 2 度島島附近ハ 3 度ニシテ青ヶ島至大島ノ間ハ 4 乃至 4.7 度ナリ○偏差ノ年量ハ西偏ニ

増ニシテ其ノ値ハ火山列島附近ニ於テ1.6分ニシテ大體緯度ト共ニ増加シ尻矢
 埼ニ至レバ2.8分ナリ。

地方磁氣 南方諸島ニ於テハ地方磁氣ノ爲磁針偏差局部的ニ攪亂セララル
 所多ク大島波浮港附近及岡田村附近ニ於テハ2乃至2.5度増ヲ、三宅島附近ニ
 於テハ約1.5度ノ増或ハ減ヲ、八丈島附近ニ於テハ約1.5度増ヲ夫々感ズルヲ
 以テ注意ヲ要ス。

航 路

本卷關係區域ニ於ケル航路ニ就テハ近海航路誌第2編ヲ参照スベシ、但シ該誌
 ハ主ナル航路ニ就キ其ノ一般標準ヲ示セルニ過ギザルヲ以テ航海者ハ宜シク之
 10 ヲ参考トシ季節、天候、晝夜、船舶ノ特性等ニ應ジ各自ニ適切ナル航路ヲ選定
 スベク尙氣象及海流ニ就テハ近海航路誌第1編及本卷第1編ヲ、各港出入港針
 路法ニ關シテハ本卷第2編以下當該地ノ項ヲ見ルベシ。

第 2 編

東 京 海 灣

本編ニ於テハ本洲南岸ノ一部タル野島埼至劍埼（主トシテ東京海灣）ニ就テ記
 述ス。

東京海灣ハ洲ノ埼ト劍埼トノ間ニ灣入ス○灣ノ西濱ニハ金田灣、浦賀港、横須
 賀軍港、横濱港、東濱ニハ館山灣、木更津港沖、又灣首ニハ東京港等ノ各泊地
 アリ。

大正12年9月1日相模灘附近大地震ノ爲東京海灣沿岸ハ一般ニ地盤隆起シ灣
 口附近ニ於テ隆起量最大2米ニ達シ北上スルニ從ヒ其ノ量ヲ減少セリ而シテ劍
 埼ニ於テハ2米、洲ノ埼ニ於テハ1.8米ノ隆起アリタリ。

針路法 西方ヨリ來リ伊豆大島ヲ經過シタル後晴天ニハ東方ニ布良鼻附近
 ノ高地孤島ノ如ク見エ富山及鋸山ノ著峯兀立スルヲ見ルベシ、鋸山ニ向首シ劍
 埼附近ノ諸險ヲ避ケ次デ浦賀水道ノ中央ニ航進スベシ○東方ヨリ東京海灣ニ入
 ラントスルトキハ布良鼻附近ノ險礁ヲ顧慮シ過度ニ陸岸ニ接近セザルヲ可トス
 ○濃霧雨雪ノ爲海岸ヲ認メ得ザルトキハ努メテ測深ヲ行ヒ水深60米ヨリ淺キ
 處ニ入ラザル様注意スベシ灣口沖附近ニ於ケル水深ハ甚ダ變化ニ富ムヲ以テ測
 深航行上利用スベキ處少カラズ○海獺島ノ東方附近ハ潮流急激ニシテ漲落共ニ
 西方ニ壓流セララルコト多ク落潮期ニ於テ特ニ強勢ナルヲ以テ警戒スベシ。

觀音埼ヲ過ギタル後ハ第2及第3海堡ノ中間又ハ第3海堡ト觀音埼トノ間ヲ經
 テ欲スル方向ニ向フベシ觀音埼ト富津埼トノ間ハ潮流強キヲ以テ第2海堡ニ壓
 流セラレザル様注意スベシ○第2海堡ヲ第3海堡ト見誤リ、第1海堡ヲ第2海
 堡ト、富津埼ノ海堡型建物ヲ第1海堡ト誤認シ爲ニ第1海堡ト第2海堡トノ間ニ
 坐洲スル外國汽船往々アリ、從ツテ此ノ不祥事ハ晝間ニ起ルヲ例トス畢竟不注

意ニ起因スルモノナルヲ以テ通航船舶ハ適當ノ注意ヲ怠ラザランコトヲ要ス。

潮汐 本洲南岸ニ於ケル潮汐ハ各地大差ナク春秋ノ朔望前後ニ於テハ1日ニ略規則正シク2回ノ高潮ト2回ノ低潮トヲ生ズ、高潮時ハ地方平時ニテ5時乃至7時ニシテ升降ハ1乃至1.5米ナリ○春秋ノ朔望前後ヲ除ク外ハ日潮不等アリ即チ相次グ高潮及低潮ノ時及高サニハ不等アリ、一般ニ潮汐ノ性質トシテ日潮不等ハ太陰ガ赤道ヲ距ルコト最大ナル頃即チ春秋ニハ兩弦ノ頃夏冬ニハ朔望ノ頃ニ最モ著シク太陰ガ赤道附近ニ在ル頃即チ春秋ニハ朔望ノ頃夏冬ニハ兩弦ノ頃ニ小ト爲ル、此ノ區域内ニテハ高潮時ノ不等ハ稍大ナレドモ低潮時ノ不等ハ甚ダ小ナリ之ニ反シテ高潮ノ高サニハ不等小ナレドモ低潮ノ高サニハ不等大ナリ而シテ此ノ低キ低潮ハ春夏ニハ晝間ニ秋冬ニハ夜間ニ起ルヲ常トス。

各地ニ於ケル潮汐ノ性質ヲ明ニセンガ爲ニ横須賀港ニ於ケル潮候曲線ヲ掲グ、地方ニ依リテ多少ノ差異アレドモ本洲南岸、四國南岸及九州東岸ノ各地ニ於テハ之ト大差ナシ。

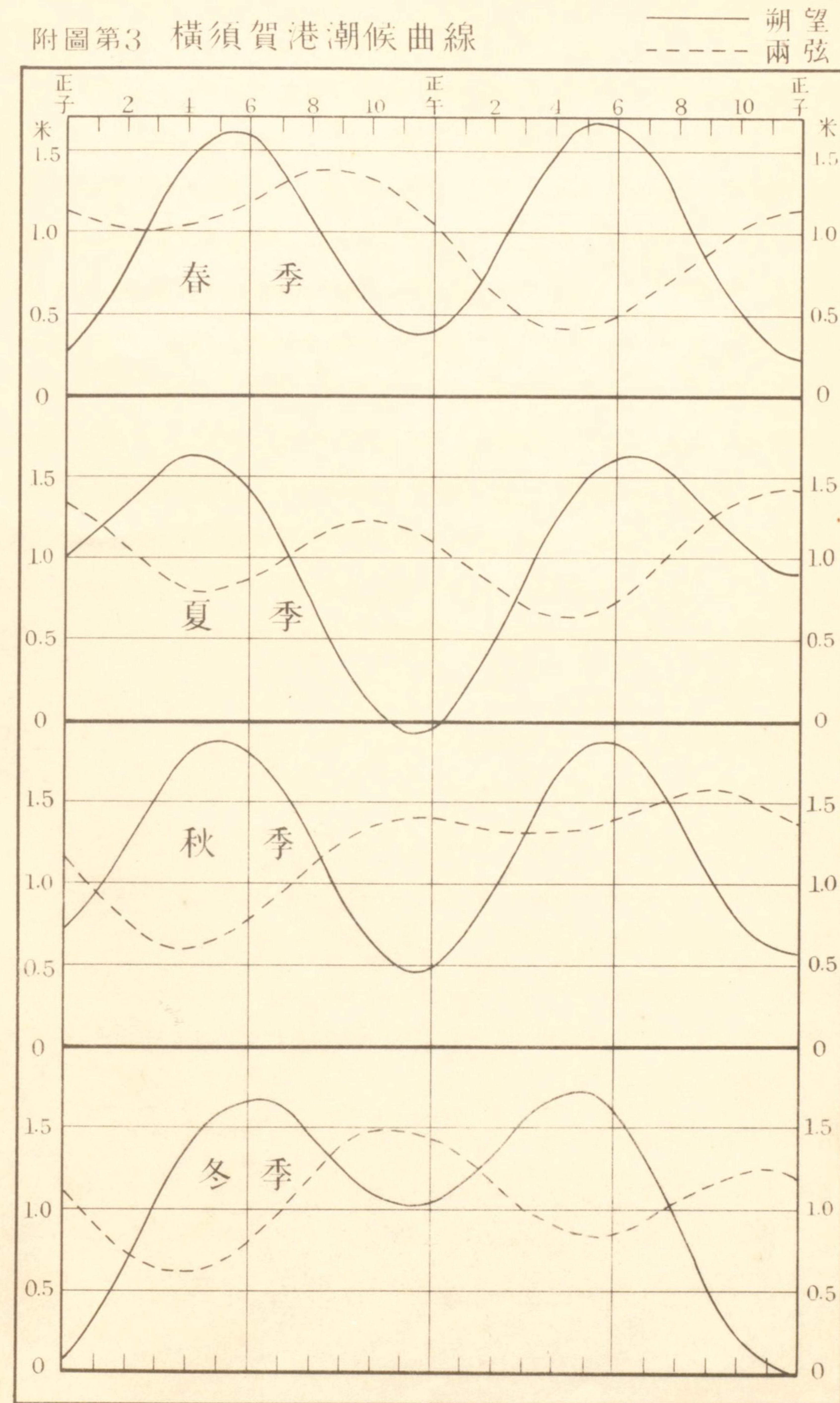
横須賀港潮候曲線 此ノ曲線ハ四季ノ朔望及兩弦ニ於ケル平均ノ状態ヲ示スモノナリ年ニ依リ多少ノ差異アルベシ(第14頁對面附圖第3參照)。

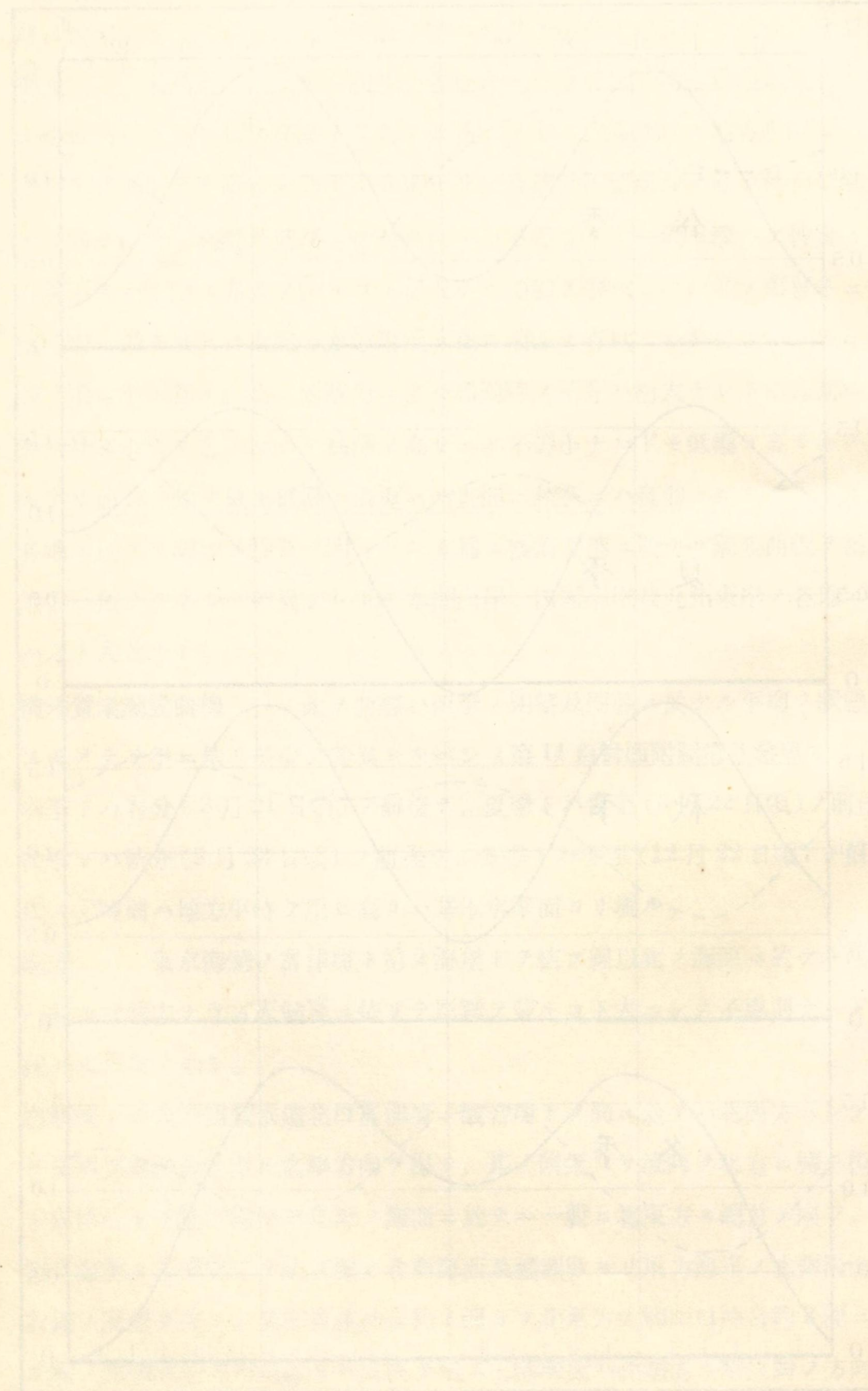
春季トハ春分(3月21日頃)ノ前後ヲ、夏季トハ夏至(6月22日頃)ノ前後ヲ、秋季トハ秋分(9月23日頃)ノ前後ヲ、冬季トハ冬至(12月22日頃)ノ前後ヲ指ス○時刻ハ地方平時ヲ用ヒ高サハ基本水準面ヨリ測ル。

潮流 東京海灣ノ富津埼ト第2海堡トヲ結ブ線以北ノ海面ニ於ケル潮流ハ一般ニ流速大ナラズ天候等ニ依リテ影響ヲ蒙ルコト大ニシテ不規則ナレドモ流況ハ大凡次ノ如シ。

漲潮流ノ方向ハ浦賀水道北口富津埼ト觀音埼トノ間ニ於テハ北西方ニシテ之ヨリ横須賀港沖合ニ至ル迄略方向ヲ保チ、其ノ附近ヨリ流向ヲ北方ニ轉ジ根岸灣ト富津埼トヲ結ブ線ヨリ北東ノ海面ニ於テハ一般ニ北東方ニ灣首ニ向フ、但シ第2海堡ト富津埼トヲ結ブ線ノ北側海面及盤洲鼻ヨリ東方海岸ノ北側海面ニハ右旋ノ反流ヲ生ジ、又本牧鼻沖合約1哩ヨリ北東方六郷川口沖合約2哩ニ引ケル線ノ西側海面ニハ左旋スル反流ヲ生ズ○落潮流ハ漲潮流ト略反對ノ方向ニ流

附圖第3 横須賀港潮候曲線





ルレドモ、富津埼北側海面及盤洲鼻北側海面ニ生ズル左旋反流ハ漲潮流ノ場合ニ比シ區域小ニシテ、横濱沖ノ反流ハ存在セザルガ如シ。

流速ハ一般ニ海灣ノ西側ニ於テハ東側ニ比シテ大ナリ、大潮期ニ於ケル最強流速ハ第2海堡西側、本牧鼻沖、六郷川口沖ニ於テ1乃至1.5節ナリ。

氣象 東京附近 寒季中天氣頗ル良好ナリ、殊ニ11月12月好天氣數日間連續シ時ニ低氣壓來襲シ風雨ヲ見ルノミ、降雪ハ稀ナリ、然レドモ1月至3月ノ間ニ五、六日降雪アルヲ普通トス、時ニハ地上數糶ノ積雪ヲ見ルモ天氣恢復シ數時間ノ日光ニ會ヘバ忽チ融解スルヲ例トス⊙夏季ニハ氣溫カナリ上昇シ濕氣亦多ク暑熱ヲ感ズレドモ海風陸風ハ著シク日中ノ暑熱ヲ緩和ス、8月ハ一年中最モ暑キ月ニシテ一般ニ晴天多ク日射強シ。

東京海灣東濱及西濱 冬季一般ニ溫和ナルコト次表ニ依リ知ルヲ得。

		平均最高氣溫 (大正5年至同14年)												
觀測所	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
	布良	10.8	10.9	13.6	18.2	21.0	23.9	26.7	29.0	26.9	22.0	17.8	13.1	19.5
館山	10.6	10.8	13.4	18.4	21.7	24.7	28.7	30.2	27.5	22.2	17.8	13.1	19.9	
木更津	9.3	9.6	12.9	18.5	22.1	24.8	29.3	31.0	28.6	22.5	17.5	11.9	19.8	
横須賀	8.6	8.9	11.8	17.3	20.8	23.6	27.9	29.1	26.0	20.2	15.9	10.9	18.4	

		平均最低氣溫 (大正5年至同14年)												
觀測所	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
	布良	2.9	2.8	4.7	10.6	13.9	17.6	21.4	23.0	20.7	15.2	10.7	5.5	12.4
館山	0.6	1.5	3.9	9.8	13.6	17.7	22.0	22.9	20.3	14.1	8.8	3.0	11.5	
木更津	0.1	0.6	3.1	8.8	12.7	17.0	22.1	22.9	19.9	13.9	7.7	2.2	10.9	
横須賀	0.9	1.6	3.7	9.7	13.3	17.4	21.7	23.0	20.3	14.2	9.0	3.6	11.5	

		平均降水量												
		(明治34年至大正14年) 25年間						(横須賀ノミハ大正10年至 同14年 5年間)						
觀測所	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
布良	良	72	92	126	143	165	176	165	155	251	229	123	73	1770
館山	山	75	105	148	167	187	203	174	197	283	260	129	87	2015
木更津	津	60	85	112	125	131	156	124	180	212	209	99	58	1551
横須賀	賀	58	144	116	183	213	205	147	245	322	253	93	55	2035

霧 東京海灣ノ霧ハ6月及7月ニ多ク霧日數ハ各1.5日ニ達シ2月ハ0.6日ニシテ最少ヲ示ス、一般ニ靜穩ナル日ノ夜半又ハ早朝ニ發生スルコト多ク、太陽ノ上昇ト共ニ消散スルヲ普通トスルモ例外アリ、觀音崎、城ヶ島、洲ノ埼等ノ附近ハ比較的濃霧ヲ見ルコト多ク稀ニハ視界100米ニ達セザルコトアリ。

野島崎至洲ノ埼

野島崎ヨリ洲ノ埼ニ至ル一帯ノ海岸ハ岩濱ト沙濱ト相混リ海岸ニ沿ヒ低丘連互ス。

野島崎 房總半島ノ最南端ヲ成シ平低ニシテ海岸ヨリ突出スルコト約2.5鏈(第212頁對面對景圖第14及第15參照)其ノ西側ハ偏北風ノトキ小型船舶ノ避泊ニ適ス○此ノ埼ノ南方1鏈ニ干出1.8米ノ險礁及4鏈ニナガッホート稱スル水深14米ノ暗岩アリ。

野島崎燈臺 埼ノ中央ニ設ク、白塗八角形「コンクリート」造○燈高、礎上24.2米、平均水面上36.1米○同燈臺ノ光芒ヲ南方35乃至40哩ヨリ認メタル航洋汽船ノ報告アリ。

霧信號 野島崎燈臺ニ霧笛ヲ備ヘ毎55秒ニ1回吹鳴ス、即チ吹鳴5秒、停鳴50秒。

無線羅針局及無線標識局 野島崎燈臺敷地内ニ野島崎無線方位信號所ヲ設ケ無線羅針局及無線標識局業務ヲ行フ○信號法ハ無線方位測定通信規則ニ據ル、執務時間等水路誌附録第3卷參照。

布良鼻(メラ) 野島崎ヨリ西方ニ走ルコト約3哩ニシテ布良鼻ニ至ル、此ノ間距岸約1哩以内ニハ岩礁多シ○布良鼻附近ハ一帯ニ稍低キ岩岸ニシテ其ノ頂ヲ大山ト謂ヒ高サ146米、此ノ附近ニ於ケル著山トス、山ノ南西側ニ急峻ナル崖崩アリテ顯著ナリ(第18頁對面對景圖第1參照)。

鬼ヶ瀬 布良鼻ノ南西方5鏈ヨリ西南西方ニ向ヒ擴延スルコト9鏈ニ達スル危險ナル礁脈ニシテ礁上最小水深2.2米アリ、此ノ附近ハ常ニ湍潮ヲ生ジ荒天或ハ波濤アルトキハ破浪ス、然レドモ海上平穩ナルトキハ接近スル迄此ノ礁脈ヲ認メ難キヲ以テ船舶房總半島ヲ繞航スルトキニ當リテハ此ノ礁脈ヲ充分離隔スルヲ要ス。

海流 鬼ヶ瀬附近ニ於ケル黒潮海流ハ其ノ流向142度ニシテ流速約3節ナリ、然レドモ屢反對方向ノ流1週間以上繼續スルコトアリ。

布良港 布良鼻ノ北方約4鏈ニ在ル漁船ノ繫留港ニシテ大正12年ノ大地震以來港内土地隆起ノ爲殆ド干出シ漁船ノ繫泊ニ適セザルニ至リシヲ以テ其ノ後浚渫工事ニ着手セリ○夜間出入船舶ノ爲港ノ北隅海岸ニ紅線2燈アリテ其ノ一線ハ無礙ノ入進航路ヲ示ス○魚類及日用品ヲ辨ジ得ベシト雖モ淡水ハ極メテ不良ナリ。

港ノ北東方約7鏈ニ官幣大社安房神社アリ。

氣象 卷末附表第1布良氣象表ヲ參照スベシ。

地方暴風標 大山ノ西方ナル中央氣象臺附屬富崎測候所(報時氣象受信専用無線電信ヲ有ス)ニ地方暴風標アリ。

險礁 布良鼻ノ北西方約8鏈ニ3礁アリ、最西ノモノヲカロ根ト稱シ水深6.5米、中央ノモノハ水深2.1米ノダイゴ根、東方ノモノハ水深3.1米ノ内ノ根ニシテ各礁共周圍急深ナリ。

平沙浦 布良鼻ヨリ洲ノ埼ニ至ル長サ約5哩ノ露開セル1大沙灣ヲ成セル部ヲ平沙浦ト稱ス、遠淺ニシテ波濤常ニ襲來スレドモ北風及東風ニハ波浪少ク假泊シ得ベシ○此ノ一帯ノ海岸ニハ松樹密生セル低丘連互シ特異ノモノナキモ頑固山東方ノ沙山ハ認メ易ク其ノ頂ニハ松樹疎生シ其ノ北西側ニ白色ノ岩ア

リ、又沙山ノ南方約5 鏈ナル高サ 31 米ノ小丘ハ松樹鬱蒼トシテ 遠望島嶼ノ如ク 烟霧其ノ背後ノ低丘ヲ蔽フトキハ洲ノ埼ト誤認スルコトアリ。

布良沖海溝 平沙浦ノ沖合 2.5 湮布良鼻ノ西方同距離附近迄深入セル海溝アリ其ノ幅約 1 湮、深サ 250 乃至 500 米、兩側ハ水淺ク海底不同ナル爲荒天又ハ海流潮流烈シキトキハ附近一面ニ湍潮ヲ生ズ。

大山 平沙浦ノ北西端ニ近ク背後ニ位スル大山ハ高サ 192 米、其ノ形圓錐形ニシテ山面赭青相半シ洲ノ埼半島ニ於ケル最高峯トス。

浦賀水道

浦賀水道ハ東京海灣口タル劍埼、洲ノ埼間ヲ外口（第 18 頁對面對景圖第 1 參照）トシ觀音埼ト富津埼トノ間ヲ内口トスル東京海灣内ノ部分ナリ。

沖ノ山 東京海灣ノ灣口沖ニ在リテ洲ノ埼ノ西方約 9 湮ニ位シ附近ノ深海ヨリ聳立セル海臺ヲ成ス、同礁ハ深度 31 米ヲ以テ掃海測量ヲ了セリ。

水底電線 金谷、千駄埼間ニ水道ヲ横斷スル線 4 條アリ、又洲ノ埼東方約 1 湮ノ處ヨリ大島元村ニ至ルモノ 1 條アリ。

潮流 浦賀水道ニ於テハ一般ニ漲潮流ハ北方ニ、落潮流ハ南方ニ流ルト雖モ天候及海流ノ影響ヲ蒙リ海水ノ流動ハ極メテ複雑ナリ。

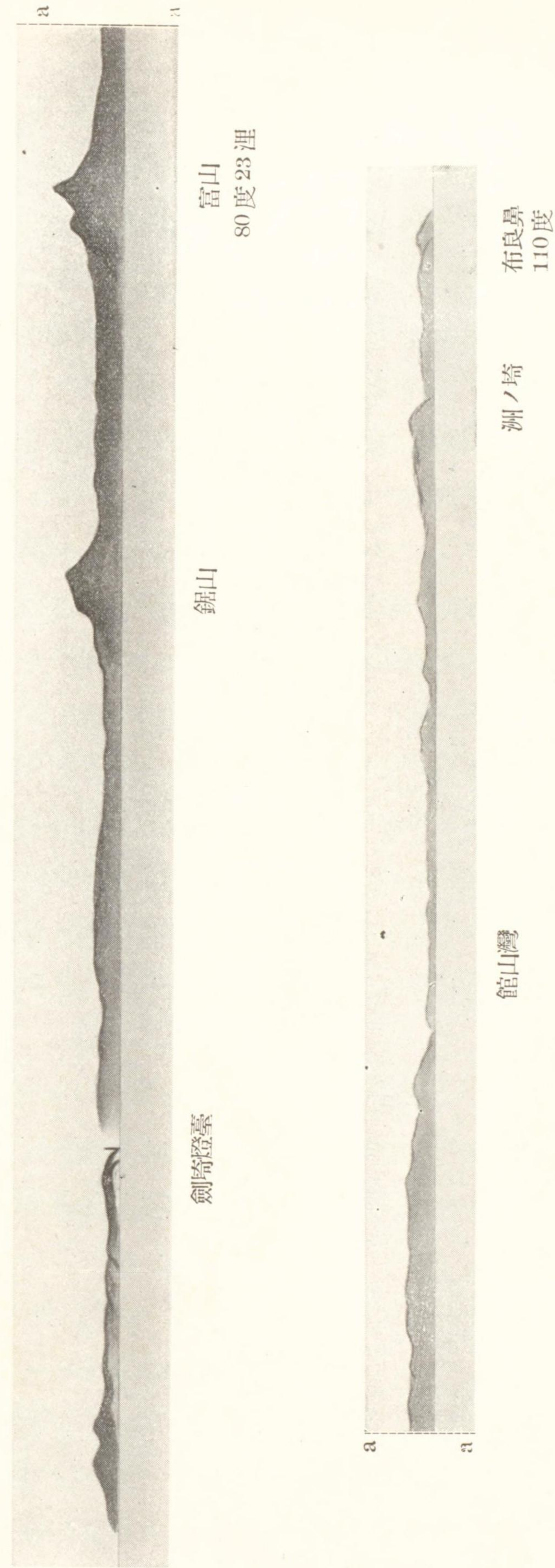
劍埼南東方海面ニ於テハ潮流ハ北東及南西ニ流レ、北東流ハ高潮前 1 時乃至高潮時ニ最強ニシテ南西流ハ低潮前 1 時乃至低潮時ニ最強ナルガ如シ、然レドモ劍埼ヨリ南東方ニ延ビタル淺瀬附近ヲ除ク外ハ流速一般ニ微弱ニシテ不規則ナリ、又此ノ附近ニハ日ニ依リテ北東方又ハ南西方ニ流ルル極メテ不規則ナル海流アリ、海水ノ流動ハ極メテ不規則ニシテ時トシテハ海流ハ潮流ヲ壓シテ海水ハ終日一方ニ流ルルコトアリ。

浦賀水道北部ニ於テハ潮流ノ流速大ニシテ且海流ノ影響ヲ蒙ルコト尠シ、觀音埼東方海面ニ於テハ漲潮流ハ北北西ニ、落潮流ハ反對ノ方向ニ、觀音埼ト第 3 海堡トノ間ニ於テハ漲潮流ハ西北西方ニ、落潮流ハ之ト反對ノ方向ニ流レ、又第 3 海堡ト第 2 海堡トノ間ニ於テハ漲潮流ハ北西方ニ、落潮流ハ之ト反對ノ方向ニ流ル、而シテ此ノ附近ノ海面ニ於テハ水道東側ノ海岸附近ヲ除ク外ハ南流

第 18 頁對面

東京海灣口
(西方ヨリ望ム)

第 1



ハ北流ニ比シテ一般ニ流速大ニシテ觀音埼沖合數哩以内、觀音埼第3海堡間及第3海堡第2海堡間ニ於ケル大潮期ノ南流ハ2乃至2.8節ニ達スルモ北流ハ1.2乃至1.5節ニ過ギズ、北流ハ横須賀港ノ低潮後約0時40分ヨリ高潮後約0時40分迄、南流ハ高潮後約0時40分ヨリ低潮後約0時40分迄流ルルヲ常トスレドモ小潮期ニハ之ト稍大ナル差ヲ見ルコトアリ、又潮流ハ風ノ影響ヲ受クルコト大ニシテ特ニ北風強吹又ハ連吹スルトキハ南流ハ流速及流續時間ヲ増ス又小潮期ニ際シテ1日1回潮ト爲ルカ又ハ升降甚ダ小ナルトキハ水道最狹部ノ中央ニ於テモ終日南流ノミヲ見ルコトアリ。

土用浪 此ノ浪ハ夏季土用前後ニ相模灘ニ起リ浦賀水道ニ及ボシ數日ニ互ルコトアリ、其ノ前兆ハ累々タル積雲（俗稱立雲）伊豆大島以東ニ聳ユルヲ見レバ遠カラズシテ來ル、此ノ浪ハ沖合ヨリモ海岸ニ近ヅクニ從ヒ其ノ勢ヲ逞ウスルモノニシテ大抵沖合ニ於テ其ノ高サ3米ナルトキハ海岸ニ於テハ奔騰スルコト6米餘ニ及ブト謂フ、故ニ此ノ浪ニ逢フ船舶ハ努メテ遠ク岸ヲ離レテ航セザルベカラズ、此ノ浪ハ風ノ強弱ニ拘ラズ其ノ勢強激ナリ其ノ勢力一時ニ大ナルトキハ退クコト又早く然ラザルトキハ永續ス而シテ其ノ過ギタル後ハ概ネ南風ト爲リ天候波浪共ニ靜穩ノ日多シト謂フ。

浦賀水道東濱

洲ノ埼ヨリ北方約20哩富津埼ニ至ル浦賀水道ノ東濱ハ房總半島ノ西岸ニシテ山岳多シト雖モ沿岸ハ概シテ好キ耕地ヲ成シ館山北條、船形、勝山、保田、湊等ノ町邑其ノ間ニ在リ、船舶ノ碇泊地トシテハ館山灣、假泊地トシテハ觀音埼對岸一帶ノ開灣アリ。

洲ノ埼 東京海灣口ノ東端ニシテ遠ク南方若ハ北方ヨリ望メバ恰モ一列ノ小山ノ連互スルガ如ク埼端ハ低クシテ岩多シ。

洲ノ埼燈臺 洲ノ埼北西隅庚申山頂ニ在リ、白塗圓形「コンクリート」造
○燈高、礎上12.1米、平均水面上45.1米。

小禿出シ礁 洲ノ埼最北端ノ北西方8鏈ニ在ル水深6米ノ暗岩ニシテ廣サ東西約30米南北約2米アリ、晴天無風潮流微弱ナルトキノミ辛ウジテ發見シ

得ルニ過ギズシテ洲ノ埼ヲ廻ル館山灣出入船舶ニ對シテハ危險ナリ、富山(371米)頂ト明神埼トノ一線ハ該礁上ニ導ク◎小禿出シ礁ノ東方約4鏈ニ水深12米ノ暗岩カサゴ根アリ。

潮流 洲ノ埼ヲ通ズル東西線以南距岸1哩以内ニ於テハ潮流ハ略規則正シク漲潮流ハ北方ニ落潮流ハ南方ニ流レ高低潮時後約1時ニ轉流シ漲潮流ハ2・3節落潮流ハ1・5節ニ達スルヲ驗セリ、距岸1哩以外ニ在リテハ潮流不規則ニシテ大正4年3月竝ニ同5年11月ニ終日南流ノミヲ驗セリ而シテ其ノ流速2・8節ニ達シタルコトアリ◎洲ノ埼ノ北西方約1哩ニ於テ大正4年3月竝ニ同5年9月ニ最強2節ノ速サヲ以テ終日南西方ニ流ルルヲ驗セリ、是恐ラク海流ノ影響ナラン◎又時期ニ依リ洲ノ埼附近ニハ西方ヨリ來ル強キ向岸流ヲ見ルコトアリ是黒潮ノ混流シ來ルモノニシテ遠ク沖合ヨリ伊豆半島沿岸ニ接近シ來リ相模灘ニ入り大島ノ北方ヨリ洲ノ埼ニ向ヒ直進シ海岸ニ近ヅキ分流シテ一ハ館山灣ニ入り他ハ布良沖ニ至リ遠ク南東方ニ奔流スルモノノ如シ、此ノ地方ニテ之ヲ「下リ潮」ト謂フ、此ノ流ハ稀ニ見ル變流ナレドモ數日間續キ其ノ速サ強ク3節以上ニ達スルモノノ如シ而シテ其ノ流向ハ落潮流ト殆ド相等シキヲ以テ落潮期ニ於テハ特ニ強勢ナルヲ推知シ得ベシ、此ノ附近ヲ航スル船舶ノ警戒ヲ要スル所ナリ◎又南方遠ク三宅島方面ヨリ來ル變流アリ三宅潮ト俗稱ス、是亦稀ニ見ルモノニシテ黒潮ノ海岸ニ接近シ來ルモノノ如シト雖モ其ノ流向「下リ潮」ト相反シ漲潮流ト同一流向ヲ取り東京海灣内ニ入ル其ノ速サ強大ナルガ如キモ向岸流ナラザルヲ以テ航行船舶ノ危險ナシ。

館山灣 洲ノ埼ト大房鼻トノ間ニ灣入スル開灣ニシテ偏東乃至偏南風ニハ好個ノ避泊地ナリ但シ灣央ハ水深稍深ク海底ノ傾斜急ナリ、灣ノ北側ニハ點礁散在スルモ其ノ他ハ無礙ニシテ概ネ沙濱ヲ成シ松樹茂ル◎灣ノ奥部ヲ館山港トシ港首ニ防波堤築造中ナリ。

館山北條町 館山町ハ灣内ノ主邑ニシテ汐入川ヲ挾ンデ北條町ト相接シ人口館山町9,184及北條町9,651(昭和5年國勢調査)ヲ算セシガ昭和8年4月18日ヨリ合併シテ1町ヲ成シ館山北條町ト稱ス◎同町ニ警察署、郵便局、横濱税

關館山税關監視所、館山海軍航空隊、千葉縣水産試験場等アリ。

船形町及那古町 船形町ハ灣ノ北側ニ在リテ那古町ト相接ス、人口船形町5,730及那古町4,298(昭和5年國勢調査)◎船形町ニ防波堤アリテ其ノ東方ナル漁港ノ西側ヲ成ス。

上陸棧橋 汐入川口北側ニ舊北條町上陸用木造棧橋アリ◎之ヨリ南西方500米及900米ニ舊館山町上陸用木造棧橋ヲ設ク◎那古觀音堂南西方約600米ニモ上陸棧橋アリ。

目標 洲ノ埼東方ノ波左間村落ニ火ノ見櫓及突堤(先端ニ電燈ヲ設ク)アリ◎正木燈臺南方ノ城山ハ松樹繁茂セル孤立山ニシテ北西方ヨリ望メバ黒色圓錐形ヲ呈シ頗ル顯著ナルヲ以テ灣内錨地ニ近ヅカントスル船舶ノ好目標ナリ又館山暴風雨標附近ノ白塗著屋(水産試験場)竝ニ無線電柱2基モ目標トスルニ足ル、沖島ハ樹木茂リ顯著ナリ◎安房北條驛南東方約300米及北方1,050米ニ在ル火ノ見櫓ハ白燈ヲ點ジ夜間入港ノ好目標ナリ◎那古觀音堂及其ノ南方約1,000米樹間ノ新築木造小家屋、船形町南方海岸ノ煙突、船形觀音堂及其ノ西方約150米ニ在ル赤屋根家屋等ハ好目標ナリ、又船形觀音堂附近ニ白色燈火2箇アリ此ノ附近ノ最高燈ニシテ石段ニ點ジアル燈火ト共ニ夜間ノ好目標ナリト謂フ◎雀島モ亦顯著ナリ。

正木燈臺 館山北條町ノ西方ニ在リ、白塗格子製櫓形鐵造◎燈高、礎上15.1米、平均水面上24.2米。

船形港防波堤燈竿 防波堤先端ニ在リ、白塗圓筒形「コンクリート」造◎燈高、礎上6.1米、平均水面上9.1米。

險礁 沖島ノ西側3鏈間ハ淺瀬擴延シ其ノ最外端ハ島瀬ト稱ス◎船形町防波堤ヨリ西方5鏈ニ互リ數多ノ水上岩暗岩散點ス◎雀島ト其ノ北方陸岸トノ間ハ淺瀬ナルヲ以テ接近スベカラズ◎白根ハ大房鼻ノ南方850米ニ在ル暗礁ニシテ北方ヨリ館山灣ニ入ル船舶ニ對シテハ危險ナリ、此ノ礁ハ大房鼻水上岩ノ西端ト浮島南東端ニ在ル小島トヲ連スル一線ト那古山頂ト雀島トヲ連結スル一線トノ交叉スル處ニ在リ。

繫船浮標 灣内東方ニ海軍ニ屬スル紅塗圓臺形繫船浮標 2 箇碇置シアリ。

錨地 正木燈臺ヨリ 325 度水深 17 米ノ附近ハ能ク北ヨリ東ヲ經テ南西ニ至ル間ノ諸風ヲ遮蔽ス、若シ風向聊カニテモ西方ニ轉ゼントスルノ兆アルヲ見バ速ニ拔錨スルヲ可トス是西風ニ伴ヒ強濤起ルヲ以テナリ◎館山海軍航空隊ノ東隣ニ海軍専用海面區域アリ海圖ニ就テ見ルベシ。

暴風雨標及地方暴風標 舊館山町上陸場附近ニ暴風雨標アリ地方暴風雨標ヲ兼ヌ◎船形町防波堤内端附近ニ地方暴風標アリ。

交通 東京三宅島八丈島間就航ノ東京灣汽船會社定期汽船ハ館山港ニ寄港ス◎舊北條町ニ停車場アリ鐵道ハ木更津ヲ經テ西廻リニ又勝浦ヲ經テ東廻リニ各千葉市ニ通ズ。

貿易 昭和 6 年ニ於ケル館山港入港船舶ノ隻數並ニ噸數及移出入品價額下ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
	2,462	175,782	687,563 圓	1,768,368 圓
(内汽船)	537	104,355		

移出品ノ主ナルモノハ白土、綿織物、藥品等ニシテ移入品ノ主ナルモノハ菓子、和酒、砂糖等ナリ。

物資 魚類及野菜ハ灣内前記ノ各町ニテ求メ得ベシ◎淡水ハ館山北條町ニテ得ラル。

20 氣象 卷末附表第 2 館山氣象表ヲ參照スベシ。

大房鼻 館山灣口ノ北端ニシテ松樹繁茂シ遠望黑色ヲ呈スルガ故ニ認識シ易シ。

海岸 大房鼻ヨリ北方約 7 哩ノ明金崎ニ至ル迄ニ 3 小灣アリ、最南灣ヲ富浦灣トシ其ノ灣口北端ヲ南無谷崎(ナムヤ)ト稱ス。

猪瀨島 南無谷崎ノ西方 7.5 鏈ニ小嶼猪瀨島アリ高サ 7.2 米、島ノ南西方及北東方ニハ約 200 米ノ間礁脈擴延ス。

險礁 猪瀨島ノ南西方 4 鏈ニイガイ瀨アリ 1.8 米干出ス◎同島ノ南方約 9

鏈ニ宮出シ礁アリ礁頂干出 0.4 米◎「イガイ」瀨ト宮出シ礁トヲ連結シタル線以東ニハ數多ノ岩礁散在ス。

艦船速力試驗距離標 南無谷崎ノ北方至近ト猪瀨島トニ各 1 箇、勝山町ノ南方ニ 2 箇又北方ニ 3 箇ノ立標アリ◎此ノ附近ニ於テ橋頭又ハ桁端ニ標信旗ノ下ニ A 旗ヲ連綴掲揚シテ航走スル艦船ハ現ニ速力試驗施行中ノモノナルヲ以テ他ノ船舶ハ之ニ近寄ラザル様注意スルヲ要ス。

勝山町 前記 3 小灣中中央灣ノ北端ニ在リ人口 5,038 (昭和 5 年國勢調査)。

浮島 勝山町ノ西方 6.5 鏈ニ在ル島ニシテ高サ 49 米四周斷崖ナリ、島ノ西方 100 米以外ハ水深シ。

險礁 浮島ノ南南東方 6 鏈ニ沖ノ根ト稱スル淺岩アリ水深 4.7 米、此ノ礁ト八磯立標トノ間ニハ礁脈相連ル◎浮島ノ東側ト陸岸トノ中央ニ白根アリ其ノ礁脈ハ東西ニ擴延シ水道ヲ塞グガ故ニ小形船ノ外通航スベカラズ。

富山(トミサン) 勝山町ノ東南東 4.5 軒ニ在ル雙頭ノ高山ニシテ山頂共ニ樹木繁茂シ浦賀水道ニ於ケル顯著ナル目標ノ一ナリ、北峯ハ南峯ヨリ稍低ク南方ヨリ望メバ重複シテ 1 頂ヲ成ス、南峯樹頂ノ高サ 371 米(第 18 頁對面對景圖第 1 參照)。

保田町 前記 3 小灣中北方小灣ノ略中央ニ在リ人口 5,691 (昭和 5 年國勢調査)◎町ノ南方ニ地方暴風標アリ。

沈船 横須賀鎮守府ニ於テ保田町前面平島ノ南南西方約 3 鏈ノ處ニ艦首ヲ北イ西ニ向ケテ廢潜水艦 1 隻ヲ沈置セリ、艦上ノ水深 13 米。

鋸山 其ノ形鋸齒ニ似タル浦賀水道東濱ノ著峯ニシテ西方ヨリ望メバ孤峯ノ如ク兜狀ヲ呈シ頗ル好目標ナリ、高サ 329 米(第 18 頁對面對景圖第 1 參照)。

明金崎(ミョウガネ) 鋸山山背ノ盡クル所ニシテ三浦半島ノ岩戸山ト東西相對峙ス◎崎ノ北方ニ金谷村落アリ。

海岸 明金崎ヨリ富津崎ニ至ル海岸ハ 1 開灣ヲ成シ中央ニ小突角磯根岬アリ、岬ヨリ北方ハ低キ沙濱ナルモ南方ハ鋸山ヨリ斜降セル高地ニシテ海岸岩多

ク急深ナリ、該灣ハ浦賀水道内ノ船舶通路ト水底電線トヲ避ケタル海面ニシテ風強カラザルトキ艦船ノ假泊地トシテ適當ナル水深ヲ有シ且夜間諸燈臺ノ燈光方位ニ依リ錨場確知ノ便アリ○灣濱ニ注流スル湊川口ニ湊町アリテ河口ノ北岸ニ地方暴風標アリ○磯根岬ノ北東方大貫町小久保川口ニ船客乗降用棧橋アリ東京灣汽船會社房相連絡船（横須賀、大貫、横濱間）ノ使用スル所ニ屬ス。

富津埼（フツ） 浦賀水道東濱ノ北端ナル低キ沙地ノ埼ニシテ觀音埼ト相對シテ東京海灣ノ咽喉ヲ成ス○埼端ヨリ西方ニ向ヒ第1海堡迄擴延スル干出沙嘴アリ、其ノ外方ハ第2海堡至近迄淺シ○埼ノ内側ニ富津町アリ。

警戒 富津埼附近ニ於ケル潮流ハ大潮期3節以上ノ速サニテ埼端ヲ繞走ス、即チ此ノ附近ハ強キ潮流ノ衝ニ當ルヲ以テ沙嘴常ニ變位シ且其ノ縁邊ニ於ケル水深ノ變化甚ダ大ナルガ故ニ第2海堡以東ニ入ルベカラズ、尙船舶該埼上ニ在ル築造物ヲ第1海堡ト誤認セル爲第1海堡ノ西方ニ坐洲シタル實例アルヲ以テ注意ヲ要ス。

水底電線 富津埼ヨリ對岸大津ニ至ル1條及同埼ヨリ第1海堡ヲ經テ走水ニ至ル2條ノ水底電線アリ、別ニ第1海堡ヨリ第2海堡及猿島ヲ經テ山崎ニ至ル1條アリ。

浦賀水道西濱

劍埼ヨリ觀音埼ニ至ル浦賀水道ノ西濱ハ即チ三浦半島ノ東岸ニシテ此ノ間ニ金田灣、久里濱灣及浦賀港ノ3灣入アリ、觀音埼附近ヲ除クノ外沿岸ハ概ネ水深ク暗岩離礁多シ○半島内ニハ大楠山、武山等ノ諸山アリ、低キ丘陵連互シテ平地少シ。

松輪埼 三浦半島頭部東方突出部ノ稱ニシテ其ノ北端ヲ雨埼トシ南端ヲ劍埼トス、此ノ間ノ海岸一帯ニ石陂凹凸甚シク距岸3鏈以內ニハ孤岩暗礁散布スルヲ以テ6鏈以內ニ接航セザルヲ可トス○地勢内方ニ比シ稍低ク丘陵起伏シ海岸ニ接シテ高サ43米ノ臺形地ヲ成シ其ノ地脈ハ内方約1哩餘ニ在ル岩戸山ニ連互ス。

劍埼燈臺 劍埼上ニ設ク、白塗八角形「コンクリート」造○燈高、礎上

12.1米、平均水面上40.6米○同燈臺ニ於テ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ。

險礁 劍埼燈臺ヨリ116度2.6鏈ニ吉野瀬ト稱スル水深14米ノ離礁アリ○吉野瀬ヨリ松輪埼ノ方向ニ海老根、マツカケ根、次右衛門根、岩戸出シ、角兵衛根、トーツ根及ガンダイ根等ノ諸礁點在スルヲ以テ此ノ附近ヲ通航スル船舶ハ警戒ヲ要ス。

岩戸山 劍埼ノ西北西方約3軒ニ在ル雙頭山ニシテ西頂ハ東頂ノ西ニ竝列シ殆ド同高ナリ共ニ松樹茂リ附近ノ最高所ナルガ故ニ認識シ易シ。

金田灣（海圖 68） 雨埼ト千駄埼トノ間ニ於テ灣入スルコト約2哩幅約4哩ノ開灣ナリト雖モ西半圓ノ風ニ對シテハ良好ナル假泊地ナリ、但シ夏季土用前後ニハ相模灘ヨリ土用浪ノ襲來スルコトアリ甚ダ危險ナルヲ以テ其ノ前兆ヲ察知セバ寄泊スベカラズ○灣ノ北西濱ニハ内陸ヨリ斜降セル1山脈アリ其ノ最高嶺ヲ武山トシ樹頂ノ高サ220米入灣ノ好目標ナリ又雨埼上ニ顯著ナル松樹アリ。

灣内距岸6鏈以內ハ水深10米ヨリ淺シ○灣ノ沿濱ニハ北下浦及南下浦兩村ニ屬スル村落點在ス、南下浦（ミナミシタウラ）ニ郵便局アリ電信ヲ取扱フ。

險礁 灣内北西部ニハ一帯ニ暗礁多ク距岸8鏈ニ及ビ海底險惡ナルヲ以テ近寄り難シ、此等ノ礁ト灣央ニ位スル掛り根トノ間ハ距離約8鏈ニシテ水深12乃至18米ナレドモ險所伏在セザルヲ保シ難シ、灣央ニハ他ニホーロク根アリ○灣内南西部ニハ沖島附近ニ數礁アリ。

障碍物沈置區域 灣内北部ニ海圖上圓形斷線ヲ以テ示ス障碍物沈置區域アリ、此ノ区域内ニ於テハ水中沈置物ノ敷設碇置若ハ之ニ類似ノ作爲、探海掃海若ハ之ニ類似ノ作爲、海中爆發及漁撈探藻ヲ禁止セラル。

錨地 灣ノ南西部ニ於テ水深8乃至18米沙底ノ處ヲ可トス○漁網ノ爲入泊豫定針路ヲ變更スルノ餘儀ナキニ至ルコト少カラズ。

千駄埼 金田灣口ノ北端ニシテ大楠山脈（第59頁參照）ノ下降シ來レル端末タル白色ノ斷崖ナリ○埼端ヨリ東方約1哩ノ間ハ淺礁點在シ海底極メテ險惡ニシテ其ノ外端附近ニ海獺島及笠島アリ、海獺島（アシカ）ハ2箇ノ黒岩ニシテ

外方ノモノ稍大ナリ、笠島ハ干出岩ナリ。

海獺島燈標 内方岩上ニ設ク、上部黒塗櫓形格子製鐵造下部「コンクリート」造○燈高、礎上12.1米、平均水面上15.4米。

警戒 笠島ノ東方附近ハ潮流急激ニシテ漲落共ニ西方ニ壓流サルルヲ驗セリ故ニ此ノ海面ヲ航スルトキハ海獺島ヲ適當ニ隔テテ航過スルヲ要ス。

久里濱灣 千駄埼ト千代埼トノ間ノ灣入部ニシテ灣首ニ沙濱アリ其ノ内方ハ平地ニシテ之ヲ灌溉セル川ハ瀉ト爲リテ該沙濱ノ北端ヨリ灣ニ注入ス○久里濱村ハ灣ノ南西濱ニ在リ。

久里濱、千駄埼間ニハ距岸3鏈ノ間又千代埼附近ニハ大塚根ヲ最外端トスル險惡地各擴延ス○灣央ニ於テ水深7米内外ノ處ニ錨地ヲ得ベシト雖モ水底電線ニ留意スルヲ要ス○灣首沙濱ニ在ル「ペルリ」記念碑ハ灰色ヲ呈シ入灣ノ好目標ナリ。

千代埼 久里濱灣口ノ北端ニシテ埼端ニ高サ11米ノ圓錐丘嶼大塚アリ、大塚ノ前面ニハ更ニ小嶼小塚アリ。

燈明埼 千代埼ノ北方ニ於テ北東方ニ突出セル低キ埼ニシテ浦賀港口ノ南端ヲ成ス、此ノ埼附近ニハ岩礁多ク北東方1.5鏈迄3米ヨリ淺シ○埼端ニ石造ノ基本水準標アリ、其ノ横線下2.86米ヲ以テ基本水準面トス。

險礁 小塚根ハ浦賀港外南部ニ於テ燈明埼ノ南東方約650米ニ位シ廣サ約200米、礁上最淺部水深3.5米ナリ○**チョウザカ礁**ハ浦賀港口水路ノ北側ニ在ル淺礁ノ最南端ナリ。

浦賀港 (海圖 65) 港口ノ幅約1.5鏈灣入約5.5鏈港内狹隘ニシテ山腹ヲ繞ラスヲ以テ烈風ノトキハ風強キコトアルモ小形船舶ニハ最好ノ泊地ナリ。

浦賀町 港ノ兩岸ニ市街アリ西側ヲ西浦賀又東側ヲ東浦賀ト稱シ共ニ浦賀町ニ屬ス、町ノ人口20,136(昭和5年國勢調査)○横濱稅關浦賀稅關監視所アリ。

目標 港内東側ノ南端ニ於テ南東方ニ突出スル**明神埼**(根埼)ハ其ノ前面淡褐色ノ斷崖ニシテ埼上ノ城山(明神山)ニハ樹木茂リ樹頂ノ高サ84米遠望認

メ易シ○港口西側ニ在ル大起重機ト其ノ背後ノ大煙突トハ港口ニ近ヅク場合ノ好目標ナリ○港口ノ南側及北側ヲ標示スル爲紅塗浮標各1箇ヲ碇置シアリ。

地方暴風標 明神埼ニ地方暴風標アリ。

繫船浮標 港口ニ2箇、港内ニ9箇ノ紅塗繫船浮標アリ何レモ浦賀船渠會社ノ所有ニ屬ス。

船渠 港内ニ浦賀船渠株式會社ニ屬スル船渠2及船臺6アリ、同社ハ船舶汽機及汽罐ノ新造竝ニ修理ヲ爲ス、船渠要目次ノ如シ。

名稱	全長(米)	盤木上ノ長サ(米)	渠口幅(米)		渠口底上ノ水深(米)			盤木上ノ水深平均高潮(米)
			上部	下部	最高潮	平均高潮	最低潮	
第1號	151.5	146.9	21.0	18.0	8.2	7.6	6.1	10.1
第2號	139.0	125.3	19.8	16.2	7.6	7.3	5.8	7.0

物資 通常ノ日用品ヲ辨ジ得ベク魚類ハ豊富ナルモ生肉及野菜ハ乏シ○水ハ概シテ不良ニシテ市中處々ニ井水アリト雖モ皆飲料ニ適セズ唯西浦賀字宮ノ下ニ在ル2井水ハ稍良好ナリト謂フ。

交通 湘南電氣鐵道及自動車道路ハ横須賀ヲ經テ横濱ニ通ズ○港口ノ内方ニハ渡船場2箇所アリ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數竝ニ噸數及移出入品價額下ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
	1,211	107,366	277,246 圓	1,596,067 圓
(内汽船)	43	53,684		

移出品ノ主ナルモノハ金屬製品ニシテ移入品ノ主ナルモノハ船用機械、鐵、木材等ナリ。

潮流 港口附近(燈明埼以内)ニ於テハ漲潮流ハ北流シ落潮流ハ南流スレドモ其ノ流甚ダ弱ク常ニ風力ニ壓セラレ方向一定セズ概シテ風下ニ流レ流速大潮時ニ於テモ0.3節ヲ超エザル如シ。

鳥ヶ埼 明神埼ノ東方5鏈ニ在リ、地勢低ク距濱3鏈ノ間ハ水甚ダ淺シ○明神埼ト鳥ヶ埼トノ間ハ概ネ淡褐色ノ斷崖ニシテ直グ附近ハ水甚ダ淺ク海草多シ○鳥ヶ埼ヨリ觀音埼ニ至ル間ノ海岸ハ起伏甚シク距岸2乃至3鏈ノ間ハ淺礁散布シテ近寄ルベカラズ、其ノ沙濱ヲ成ス處ニ鴨居、腰越ノ2村落アリ。

香山根(カヤマネ) 鳥ヶ埼ノ南東方5鏈即チ浦賀港外北部ニ於テ最モ外方ニ在ル暗礁ニシテ地ノ香山根及沖ノ香山根ノ2礁ヨリ成ル最淺部水深前者ハ2米後者ハ2.2米ナリ。

觀音埼至横濱港

觀音埼ヨリ横濱港ニ至ル海岸ハ屈曲彎入ニ富ミ此ノ間ニ大津灣、横須賀軍港及
10 根岸灣アリ。

觀音埼 東京海灣ノ咽喉ヲ成シ浦賀水道ノ北端ヲ劃スル險峻ナル埼ニシテ樹木繁茂シ最モ顯著ナリ、此ノ埼ノ前面ハ船舶ノ通航頗ル頻繁ナリ○埼ノ北方2湮ニ第3海堡アリ。

觀音埼燈臺 觀音埼上ニ設ク、白塗八角形「コンクリート」造○燈高、礎上15.1米、平均水面上55.9米。

第3海堡燈臺 第3海堡北西側ニ設ク、四角櫓形鐵造○燈高、礎上11米、平均水面上21米。

第2海堡燈臺 第2海堡南側中央ニ設ク、上部白塗鐵造四角形櫓形下部白塗「コンクリート」造○燈高、礎上8.8米、平均水面上17.9米。

20 **海岸** 觀音埼ヨリ海岸ハ北西方ニ走リ約9鏈ニシテ旗山埼ニ至ル、此ノ間海岸ハ凹凸屈曲多ク處々ニ小沙灣ヲ成ス、陸地ハ南方一帯ニ山脈ヲ帶ビ樹木茂ル○旗山埼ハ浦賀町ニ屬スル走水村落ノ北東角ニシテ丘上ニハ松樹疎生シ海岸ノ大部分ハ石堤ヲ繞ラスヲ以テ甚ダ顯著ナリ、埼端ハ約2鏈ノ間石破伸出スルモ其ノ外界ハ水頗ル深シ○走水ハ1小灣ヲ成シ北東風ノ外安全ナル小舟ノ泊地ナリ、村落ノ西方山腹ニ走水神社アリ。

大津灣 旗山埼ノ西方8鏈ノ松崎ヲ灣口ノ東端トスル幅約2湮ノ露開灣ニシテ沙濱ヲ有シ中部ニ大津アリ浦賀町ニ屬ス ○灣ノ東部ハ概ネ淺瀬ニシテ

イガイ根、黒部等ノ諸險アリ、灣ノ中部ニハ水深8米ノ富士山出シ礁アリ、灣ノ西部ハ横須賀軍港ノ境域内ニ屬シカゴオトシ礁ヲ東端トシテ其ノ以西猿島ノ南西方ニ至ル間ニハ淺瀬ヲ散布ス。

横須賀軍港 海圖上斷線ヲ以テ示ス第3區外方境界以内ヲ軍港境域トス、多數ノ繫船浮標ヲ碇置シアリ、第2區以内ニハ横須賀及長浦ノ兩凹入部ヲ有シ横須賀鎮守府及之ニ屬スル各廳廠アリ○本軍港ニ入港セント欲スル船舶ハ水路誌附録第1卷所載軍港要港規則及横須賀軍港細則ヲ遵守スルヲ要ス。

横須賀半島ノ内端ニ之ヲ挟ミ横須賀市アリテ人口110,301(昭和5年國勢調査)又長浦ノ灣首ニ田浦町アリテ人口26,825(昭和5年國勢調査)ヲ算セシガ昭和8年2月15日ヨリ衣笠村ヲ、同4月1日ヨリ田浦町ヲ各横須賀市ニ編入セリ、
10 横須賀市ニ鎮守府氣象觀測所及横濱稅關横須賀稅關監視所アリ。

猿島 松崎ノ北東方1.8湮ニ在リ南北ニ長ク平頂ニシテ疎林ヲ冠シ樹頂ノ高サ53米、島ノ北端ヲ除キ周圍ハ皆淺瀬ヲ繞ラス○同島ノ南東方約4鏈ニ高サ1.5米ノ稻荷島アリ。

勝力埼(カツリキ) 横須賀半島ノ北東角ニシテ其ノ附近ニハ中ノ根、佐久根等ノ岩礁及淺瀬多シ、横須賀港ニ寄港スル定期汽船ハ此ノ埼ト猿島トノ間ヲ出入シテ記念艦三笠至近ノ入江ニ發着ス。

浮標 佐久根及中ノ根ノ外端ヲ示ス爲球形頭標附黒塗圓錐形浮標各1箇ヲ碇置シアリ。

沖ノ根 軍港境界ノ屈曲點ニ位スル水深7.8米ノ礁ナリ。
20

東北防波堤東燈臺 東北防波堤ノ南東端ニ設ク、黑白横線塗四角形櫓形鐵造○燈高、礎上15.1米、平均水面上17.6米○船舶出入港ノ際ハ勝力埼沖ノ淺礁ヲ避ケ安全ナル航路ヲ指導スル好首尾目標ト爲ル。

東北防波堤西燈臺 東北防波堤ノ北西端ニ設ク、綠塗四角形櫓形鐵造○燈高、礎上10.6米、平均水面上13米。

北防波堤東燈臺 夏島東側防波堤(北防波堤)ノ東端ニ設ク、紅塗四角形櫓形鐵造○燈高、礎上10.6米、平均水面上13米。

注意 航空機ノ標識用トシテ追濱附近數箇所ニ500燭光紅色電燈(燈高、平均水面上約39乃至62米)ヲ點ジ又附近ノ水上竝ニ陸上ニ多數ノ電燈ヲ點ズルコトアルニ付一般船舶ハ航路標識ト誤認セザル様注意ヲ要ス。

交通 東京灣汽船會社ハ房相連絡線(横須賀、大貫、横濱間)ヲ經營ス○横須賀東京間ニハ直通電車頻繁ニ運行ス、尙湘南電氣鐵道ニ依リ浦賀、逗子及横濱ニ至ルコトヲ得。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶(海軍艦船ヲ除ク)ノ隻數竝ニ噸數及移出入品價額下ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
10	9,698	229,170	174,604 圓	5,574,378 圓
(内汽船)	3,512	133,854		

移出品ノ主ナルモノハ和洋酒ニシテ移入品ノ主ナルモノハ絹及綿織物、米、和洋酒、和洋紙、砂糖等ナリ。

氣象 卷末附表第3横須賀氣象表ヲ參照スベシ○暴風警報信號ハ横須賀海軍港務部ノ所掌ニ屬ス。

海岸 横須賀軍港防波堤ヨリ小柴埼、八幡鼻ヲ經テ鴻ノ巢鼻ニ至ル3.5哩間ノ海岸ハ距岸5鏈以內水深7米ヨリ淺シ、其ノ北部ノ沖距岸6鏈ニコガ根又約2哩附近ニイガイ根、中根及蝸根等ノ淺瀬アリ。

浮標 上記「イガイ」根ニハ其ノ北西側ヲ示ス圓筒形頭標附黒塗圓錐形浮標1箇、中根南東側及「コガ」根南側ニハ三角形頭標附紅塗圓錐形浮標各1箇ヲ碇置シアリ○「イガイ」根ノ南東方及沖ノ根ノ南方ヨリ根岸灣央ニ至ル各數哩ノ間ニ數箇宛ノ海軍艦船用紅塗浮標アリ。

長濱檢疫所 八幡鼻ト鴻ノ巢鼻トノ中間ニ在リテ横濱稅關港務部ニ屬シ横濱港出入船舶ノ檢疫ニ關スル一切ノ事務ヲ施行シ且傳染病發生ノ船舶ニ消毒法ヲ實施ス○檢疫所ノ前濱ニ突出セル2條ノ上陸棧橋アリ長サ各74米、其ノ前面ニハ缺圓狀ノ防波堤ヲ設ケ入口兩側ニ四角形鐵筋「コンクリート」造燈竿ヲ樹ツ、共ニ燈高礎上8.6米。

富岡錨地 長濱檢疫所前面ニ於テ前記諸淺瀬ノ南方水深16乃至20米ノ處ヲ富岡錨地ト稱ス。

戸塚航空標識燈 根岸灣西方戸塚町ノ北西方約4.3軒ニ設ク。

根岸灣(海圖 63) 鴻ノ巢鼻ト八王子鼻トノ間ニ在ル半圓形ノ開灣ニシテ南東風ノ外ハ平穩ナルモ濱岸遠淺ニシテ不便ナリ○灣首ノ堀割川ハ横濱港ニ至ル運河ニシテ河口ニ埠頭ヲ築キ舟艇ノ出入ヲ容易ナラシム、上陸ハ該埠頭ニ依ルヲ便トス、横濱市營電氣軌道ハ該埠頭内端附近ヲ經テ杉田ニ通ズ。

目標 堀割川口右岸埋立地ニ建テル塵芥處理所(白色家屋)ト其ノ煙突(高サ地上45.7米)ハ海上ヨリノ好目標ナリ。

錨地 灣内ニ入泊セントスル船舶ハ海軍艦船用紅塗浮標ノ外カキ根及サベットモト稱スル鴻ノ巢鼻ヨリ斗出セル淺洲ノ外端トカド根ト稱スル堀割川ヨリ伸出セル沙洲ノ最淺部トヲ避ケテ其ノ錨地ヲ選定スルヲ要ス。

潮流 大潮期ニ於テ灣内潮流ハ其ノ最大流速約0.5節ニ過ギズ、流向ハ漲潮ニ於テ偏北東ニ向ヒ落潮ニ於テ偏南西ニ向フ、漁夫ノ言ニ依レバ春季ハ稍急速ナル流動アリト謂フ○轉流ハ低潮時ニ於テハ低潮ト略同時ナルガ如ク又憩流時ハ詳ナラザルモ低潮時ニ於テハ其ノ前後各約1時間位ハ最モ微弱ナルガ如シ。

本牧鼻 觀音埼以內ノ東京海灣西濱ニ於テ著シク突出セル低キ山脈ノ盡端ナリ、此ノ鼻ノ一部タル南端ニ八王子鼻ト稱シ黄色ノ險崖ヲ成シ松樹茂リ遠望顯著ニシテ觀音埼ヲ入レバ之ヲ認メ得ベシ。

本牧鼻ヲ圍ム大淺堆ヲ荒洲ト稱シ其ノ南東端ハ八王子鼻ヨリ南東方ニ伸出スルコト約1哩ニシテ其ノ端末附近ニ下根及蝦根ノ2淺所アリ、洲ノ外端ハ急深ナリ、此ノ堆ハ南東風ニ依リテ生ズル大浪ノ勢力ヲ阻止シ以テ横濱港ノ錨地ヲ安全ナラシムルノ効アリ。

荒洲挂燈浮標 荒洲ノ南東端ニ碇置ス、黒塗圓錐形上部格子製檣鐵造○燈高水面上3.6米。

十二天鼻 本牧鼻ノ北端ニ位シ高サ24米ノ孤立小丘ニ依リテ圓崖ヲ成ス、鼻上ニ横濱港ノ南界ヲ示ス立標ヲ樹ツ。

本牧挂燈浮標 十二天鼻ノ北東方1.3 哩横濱港界線上ニ碇置ス、黒塗圓臺形上部格子製檣鐵造○燈高水面上 4.5 米○船舶ハ本浮標ノ東方ヲ通航スルヲ要ス。

横 濱 港 (海圖 66, 67)

本牧鼻ヲ廻レバ即チ横濱港ニシテ港界ハ十二天鼻ヨリ本牧挂燈浮標ヲ經テ46度5 哩迄引キタル一線及該線ノ北東端ヨリ正北ニ鹽濱2 標柱迄引キタル一線以內トス○港内ヲ第1 區乃至第4 區ノ4 區ニ區分ス、其ノ境界ハ海圖ニ就テ見ルベク碇泊スベキ船舶ノ種別下ノ如シ。

- 10 第1 區 汽船、總噸數 500 噸未満ノ帆船、雜種船 (但シ雜種船ハ沿岸附近ニ限ル)。
- 第2 區 軍艦。
- 第3 區 汽船、總噸數 500 噸以上ノ帆船、爆發物又ハ容易可燃物搭載船舶。
- 第4 區 汽船、帆船、雜種船、容易燃焼物搭載船舶。

横濱市 横濱市ハ磯子區、保土ヶ谷區、中區、神奈川區及鶴見區ノ5 區ニ分レ南方磯子區ヨリ北方鶴見區ニ至ル延長約 13 軒ニ互ル大市街ニシテ昭和5 年國勢調査ニ依レバ人口 620,306 商業殷盛ナリ。

築港 明治 39 年 4 月起工シタル第 2 期擴張工事ハ大正 6 年 11 月ヲ以テ竣工セシガ更ニ大正 10 年 4 月第 3 期擴張工事ヲ起シ其ノ工事中大正 12 年大震火災ニ遭遇シタル爲大正 12 年 10 月ヨリ震災復舊工事ニ着手シ昭和 6 年 3 月ヲ以テ復舊工事ノ竣工ヲ見引繼キ目下第 3 期擴張工事實施中ニシテ昭和 9 年竣工ノ豫定ナリ○尙第 4 期擴張工事トシテ將來京濱運河ニ通ズル水路兩側ノ埋立、大岡川口新埠頭設置、舥船溜、危險物置場及貯木場設置等ニ就テ計畫セラレツツアリ。

第 3 期擴張工事ノ主ナルモノハ外國貿易設備トシテ北水堤ノ内外ニ互ル地域ノ埋立、岸壁竝ニ物揚場築設、舥船溜及舥船水路築造、聯絡橋架設等、又内國貿易設備トシテ第 1 區内北西側岸地先ノ埋立、岸壁竝ニ物揚場築設、舥船溜築造、其ノ他港内ノ浚渫、繫船浮標ノ増設、外防波堤ノ築造等ナリ○上記以外横濱市

營トシテ新山下町地先貯木場新營工事及子安生麥地先工場用地區埋立工事ハ目下施行中ナリ。

檢疫 本港出入船舶ニ對スル檢疫一切ノ事務ハ横濱稅關港務部長濱檢疫所ノ所掌ニシテ入港船舶アル毎ニ港務部ヨリ檢疫官吏出張臨檢シ晝間檢疫ヲ行フヲ例トス、若シ消毒ヲ要スレバ富岡錨地ニ回航セシム、人員檢疫ノ外家畜檢疫及植物検査アリ○水路誌附録第 1 卷檢疫ニ關スル諸法令參照。

諸法規 水路誌附録第 1 卷開港港則及開港港則施行規則ヲ見ルベシ。

燃料 石炭供給ハ總テ民間會社ノ經營ニシテ横濱市内ニハ貯炭場 30 箇所アリテ貯炭量約 4 萬噸ニ及ビ船舶ニハ舥船ヲ以テ供給ス○第 4 區川崎市地先埋立地ノ三井物產會社石炭埠頭ニハ 4 萬噸迄貯藏シ得ル貯炭場ト 3 臺ノ最新式石炭荷役機ヲ設備シ日中ノミノ作業ニテ 1 日 7,000 噸ノ荷役能力 (1 臺 1 時間ニ付 300 噸) ヲ有ス、尙將來荷役機及貯炭場ヲ倍加スル擴張計畫中ナリト謂フ。燃料油モ亦民間會社ノ營業ニシテ其ノ貯油槽ハ全部第 4 區鶴見地先埋立地ニ在リ、現在船舶ニ供給ヲ行フモノハ三井物產會社ト「ライジングサン」石油會社トノ 2 者ナリ、前者ハ油舥船 4 隻總計積量 1,360 噸ヲ有シ供給能力 1 時間約 250 噸、後者ハ油舥船 5 隻總計積量 550 噸ト給油汽船 3 隻トヲ有シ此ノ汽船 3 隻ヲ以テ同時給油ニ使用セバ 1 時間約 390 噸ノ給油能力アリ。

給水 給水ハ市營ニシテ繫船岸壁ニ 39 箇所、棧橋ニ 16 箇所ノ給水栓ヲ設ケ 1 船ニ對シ 1 時間約 90 噸ノ給水能力アリ、沖繫船ニ對シテハ水槽船 6 隻、唧筒船 5 隻ヲ備フ、給水料ハ岸壁及棧橋 1 立方米ニ付 20 錢 (小艇ニハ 30 錢)、水堤内同 50 錢、水堤外同 65 錢 (北水堤燈臺ヨリ 1 哩ヲ超ユル毎ニ 15 錢ヲ加フ)○中區元濱町ニ横濱船舶給水事務所アリ。

舥船及通船 昭和 6 年 3 月ノ調査ニ依レバ舥船數 2,733 隻 (此ノ積量總計 272,060 噸) ヲ算ス。

通船ハ市營ニシテ西波止場棧橋、萬國橋西詰及神奈川七軒町ノ 3 箇所ニ發着所ヲ設ケテ定期運航ヲ爲シ別ニ發動機船 11 隻、手荷物運搬用舥船 4 隻、乗用通船 6 隻ヲ以テ防波堤内外ノ海陸連絡交通ニ從事ス、他ニ特約通船、特別仕立通船、

貸切通船等ノ規定アリ。

水先人 東京灣水先區水先人組合事務所ハ中區海岸通港務部内ニ在リ、招要法ハ信號又ハ電報ニ據ル、水先人現在 5 名、乗船地點ハ本牧挂燈浮標附近トス稀ニ劍埼、觀音埼等ニテ乗船スルコトアリ○水先ニ關スル法規ハ水路誌附録第 1 卷ニ在リ。

交通 此ノ港ヲ出入スル定期航路ノ主ナルモノハ日本郵船會社ノ歐洲線、Seattle 線、桑港線、New York 線、南米西岸線、濠洲線、Bombay 線、Calcutta 線、上海線、裏南洋線、大阪商船會社ノ歐洲線、New York 線、東阿經由南米東岸線、南阿經由南米東岸線、濠洲線、Bombay 線、Calcutta 線、南洋線、

10 Philippine 線、Saigon, Bangkok 線、近海郵船會社ノ牛莊線等ニシテ其ノ他諸會社ノ内外國航路ニ從事スル汽船定期寄港ス。

寄港スル外國汽船會社ノ主ナルモノハ歐洲線ノ Peninsular and Oriental S. N. Co. (P. O.) 及 Messageries Maritimes Cie. (M. M.), 北米線ノ Canadian Pacific S. S. Co., American Mail Line & Dollar Line 及 Blue Funnel Line, 濠洲線ノ Eastern & Australian S. S. Co. (E. & A.) 等ナリ。

鐵道ニハ省線東海道線、橫須賀線、京濱線及橫濱線（東神奈川、八王子間）ヲ通ズル外橫濱、浦賀、逗子間ニ湘南電氣鐵道線、橫濱品川間ニ京濱電氣鐵道線、橫濱東京澁谷間ニ東京橫濱電鐵線、橫濱厚木間ニ神中鐵道線、川崎立川間ニ南武鐵道線、川崎濱川崎間ニ省線、其ノ他鶴見臨港鐵道、橫濱市營電車線等アリ

20 ○鐵道省驛トシテハ保土ヶ谷、櫻木町、橫濱港、橫濱、東神奈川、鶴見、川崎ノ諸驛アリ。

貿易 昭和 6 年ニ於ケル入港船舶ノ隻數並ニ噸數、輸移出入品價額及主ナル品目下ノ如シ。

	外國航路		內國航路	
	隻數	噸數	隻數	噸數
	2,593	10,665,742	64,120	4,478,933
(內汽船)	2,593	10,665,742	21,938	3,299,407

	輸出品價額	輸入品價額	移出品價額	移入品價額
	367,725,275 圓	308,468,433 圓	237,605,659 圓	167,798,513 圓
主ナル	輸出品	生絲、絹織物、蟹罐詰、小麥、玩具、銅、電球等。		
	輸入品	小麥、機械及同部分品、棉花、重油、羊毛、木材等。		
	移出品	砂糖、鐵、石炭、木材、鐵管、羊毛等。		
	移入品	砂糖、石炭、臺灣米、罐詰食料、鐵、朝鮮米等。		

潮汐 偏南風強吹スルトキハ潮升常時ヨリ高キコト約 0.3 米ニ至ル。

潮流 橫濱港内ニ於ケル潮流ハ一般ニ微弱ニシテ流況ハ日ニ依リテ著シク異ルコトアルモ其ノ平均狀況ハ次ノ如シ。

漲潮中央期ハ港内ニ於ケル潮流最モ強キ時ニシテ、水堤外ニ於テハ略北北西方ニ流レ北水堤ト東水堤トノ中間ノ通路ニ近ヅクヤ流向ヲ少シク西方ニ轉ジ西北西ニ向ツテ水堤内ニ流入ス、水堤内ニ於テ此ノ潮流ハ扇狀ニ擴ガリ其ノ中軸ハ次第ニ流向ヲ西ヨリ南西ニ轉ジ新波止場突堤端附近ニ於テハ北西及南東ニ分流ス、北西ニ流ルルモノハ西突堤ノ端ヲ過ギテ西方ニ轉ジ南東ニ流ルルモノハ東突堤端ヲ過ギ該突堤ト稅關大棧橋トノ間ノ海面ニ一派ヲ流出シ主派ハ尙大棧橋端ニ沿ヒテ南東ニ流レ、東水堤ニ近ヅクニ及ビテ次第ニ流向ヲ左方ニ轉ジ、北水堤ト東水堤トノ中間ノ通路ト稅關大棧橋トノ中間ノ海面ニ左方ニ旋廻スル環流ヲ成ス、東水堤西側、稅關大棧橋南東ノ海面ニハ右旋スル環流ヲ生ズルモ流速甚ダ微弱ナリ。

漲潮中央期ヲ過グルヤ水堤内海面ニ於ケル潮流ハ次第ニ衰フ、高潮期ニ達スルヤ水堤通路附近ニ於テハ潮流甚ダ微弱ト爲ルモ水堤内ニハ漲潮期ノ殘流尙存在ス、特ニ北水堤ト東水堤トノ中間ノ通路ト稅關大棧橋トノ中間海面ニハ尙明ニ環流存在シ新波止場東突堤及稅關大棧橋ノ端附近ニ於テハ相當ノ流速ヲ以テ南東方ニ流ル。

稅關大棧橋端附近ノ南東流ハ高潮期ヲ過ギテ次第ニ流向ヲ左方ニ轉ジ落潮中央期ニ達スレバ東至北東ニ流ルレドモ流速甚ダ微弱ナリ、落潮中央期ニ於ケル水堤内ノ潮流ハ水堤通路附近ヲ除ク外ハ一般ニ微弱ニシテ略北水堤ト東水堤トノ

中間ノ通路ノ方向ニ向ツテ一様ニ流レ、漲潮中央期ニ於ケルガ如キ特徴アル流況ヲ呈セズ。

低潮期ニ於ケル水堤内ノ潮流ハ極メテ微弱ニシテ一定ノ流ナシ。

北水堤及東水堤間ノ通路ハ潮流ノ流速最強ナル處ナルニモ拘ラズ流速 0.5 節ヲ超ユルコト稀ナリ、潮流ノ平均流況ハ上記ノ如シト雖モ日ニ依リテ著シキ差異ヲ呈スルコトアリ又海面ヨリノ深サニ依リテ著シク流況ヲ異ニスルコトアリ、其ノ變化ハ單ニ風向、風速又ハ天候ニ支配セララルモノニハアラズシテ其ノ原因ハ複雑ナルガ如シ、又風速大ナルトキニハ之ガ爲ニ生ズル潮流ノ變化ハ相當ニ大ナルベク、船體ニ及ボス風壓ト相俟テテ操船上ニ相當大ナル影響ヲ及ボスベシ。

10

尙書誌第 206 號「横濱港ノ潮流」ヲ参照スベシ。

氣象 卷末附表第 4 横濱氣象表ヲ参照スベシ。

第 1 區 (海圖 66)

北水堤及東水堤以内ニシテ安政 6 年 (1859 年) 6 月 2 日開港以來ノ部分ヲ含ミ横濱港ノ中心ヲ成ス海面ナリ○第 1 區ニ面スル横濱市ノ部分ハ中區及神奈川區ノ西部ナリ、海事關係ノ官廳公衙ハ多クハ此等ノ區ニ在リテ其ノ主ナルモノハ神奈川縣廳、横濱市役所、横濱稅關、同港務部、横濱水上警察署、遞信省燈臺局、東京遞信局海事部横濱出張所、神奈川縣測候所、横濱市港灣部、縣立眞金町病院、横濱商工會議所、生絲檢査所及各國領事館等ナリ○燈臺局及測候所ハ各報時氣象受信専用無線電信ヲ有ス。

20

投錨禁止區域 船舶ハ第 2 號挂燈浮標 (假設) ト第 3 號挂燈浮標 (假設) トノ間ヨリ水堤内ニ出入スル航路内即チ海圖上斷線ヲ以テ示ス投錨禁止區域内ニ於テ碇泊及繫留ヲ禁止セラル。

目標 山手町萬國信號所、同所至近ノ測候所紅白塗信號杆、新港岸壁突堤端ノ 50 噸起重機、神奈川町發電所附近ノ黑色大煙突 1 箇及白色大煙突 2 箇ハ海方ヨリ望ミテ顯著ナリ。

東水堤燈臺 東水堤ノ北端ニ設ク、白塗六角形上部鐵造下部「コンクリー

ト」造○燈高、礎上 13.6 米、平均水面上 15.5 米。

北水堤燈臺 北水堤ノ南端ニ設ク、紅塗六角形上部鐵造下部「コンクリー
ト」造○燈高、礎上 13.6 米、平均水面上 15.5 米。

縣廳標示燈 神奈川縣廳屋土塔ニ掲グ○燈高平均水面上 48.3 米。

信號所標示燈 萬國信號所旗竿上ニ掲グ○燈高、礎上 20.5 米、平均水面上 60 米。

繫船岸壁 新港町ニ東西 2 箇ノ突堤アリ幅各 124 米其ノ間隔 109 米ナリ、海方ハ全部繫船岸壁ニシテ其ノ延長 1,679 米アリ、約 2,000 噸及 3,000 噸級ノ汽船各 3 隻、約 6,000 噸級ノモノ 6 隻、8,000 噸以上ノモノ 1 隻合計 13 隻ヲ同時ニ繫留シ得ベシ。

10

陸上ニハ上屋、倉庫アリ、岸壁ニハ總テ軌道ヲ敷設シ之ニ 1.5 乃至 5 噸移動起重機ヲ設置ス又兩側突堤端ニ 50 噸及該突堤ノ西側内方ニ 20 噸ノ固定起重機ヲ設ク○岸壁ニハ給水管ヲ繞ラシ繫留船舶ニ飲料水及罐水ヲ供給ス又市内直通ノ電話アリ、尙横濱驛ヨリ臨港線ヲ敷設シアリテ其ノ終點ヲ横濱港驛ト稱ス○西端岸壁ノ西隣ニ延長 201 米ノ波除堤アリ。

岸壁ヲ細別スレバ次ノ如シ。

岸壁番號	延長 (米)	水深 (米)	岸壁番號	延長 (米)	水深 (米)	岸壁番號	延長 (米)	水深 (米)
1 號	97.6	6.0	5 號	158.5	9.0	9 號	180.0	9.0
2 號	110.9	7.2	6 號	158.5	9.0	10 號	105.4	9.0
3 號	142.9	8.4	7 號	158.5	9.0	11 號	107.2	7.3
4 號	208.1	11.0	8 號	158.5	9.0	12 號	93.2	7.3

(注意) 1 號、2 號、6 號岸壁ニハ其ノ壁面ニ處々段縁突出シアリ○3 號、5 號、7 號、8 號岸壁ハ低潮面下約 5 米ノ處ニ幅 0.3 乃至 0.5 米ノ段縁突出ス○5 號、6 號岸壁接續部及 8 號岸壁突堤ノ防舷材下部ニハ舊岸壁ノ一部殘存シアルヲ以テ此等ノ岸壁ニ繫船ニ際シテハ注意ヲ要ス

棧橋 西波止場外端ヨリ 369 米突出セル鐵造棧橋アリ、橋側ノ水深 11 米基

部 7.3 米ニシテ其ノ兩側ニ 10,000 噸級ノ汽船 4 隻ヲ同時ニ繫留シ得ベク、市内直通ノ電話アリ、棧橋上ニハ二階建上屋 2 棟ヲ設ケ棧橋端ニ白光燈ヲ掲グ、西波止場基端ニ港務部及水上警察署アリ◎西波止場ノ兩側ニハ波除堤各 1 箇アリテ東側波除堤端ニハ紅燈ヲ掲グ。

神奈川浮標 北水堤燈臺ヨリ北西方 670 米ノ處ニ三角形頭標附紅塗圓錐形浮標ヲ碇置ス。

繫船浮標 第 1 區内ニ 27 箇(内 4 箇ハ曳船用 1 號至 4 號)ノ繫船浮標ヲ碇置ス、浮標碇置用錨鎖ノ方向ハ 1 號及曳船用 4 箇ノ浮標ハ南イ西、北イ東ニ、2 號ハ南西、北東ニ其ノ他ノ浮標ハ南北ノ方向ニ在リ◎他ニ横濱船渠會社及淺野船渠會社私設ノモノ三、四アリ。

暴風雨標及地方暴風標 山手町神奈川縣測候所構内ニ在リ。

横濱稅關港務部電信局 稅關港務部構内ニ在ル海岸局ナリ◎通信事務ハ(1)私設無線電信規則第 22 條(船舶遭難通信)及同 24 條(航行上ノ危險警戒ニ必要ナル通信)ノ規定ニ依ル通信(2)公衆通信(3)港務部事務用通信◎通信時間自 4 月 1 日至 10 月 31 日迄ハ午前 4 時至午後 8 時、自 11 月 1 日至翌年 3 月 31 日迄ハ午前 6 時至午後 8 時トス、但シ夏季中海外ニ於ケル傳染病流行指定地アリタル場合ニハ午後 12 時迄延長スルコトアリ◎東京海灣出入船舶ニ對シ航行注意ヲ要スル場合ニハ其ノ都度適宜通報ス。

報時信號 港務部構内ニ在リ、報時橋(白塗)ニ裝置シアル白塗線 1 條ヲ有スル紅塗報時球ニ依リ報時信號ヲ行フ、信號ハ毎日(但シ日曜日及一般ノ休日トシテ指定セラレタル日ヲ除ク)本邦中央標準時 12 時(正午)即チ綠威平時 3 時ニ行フ◎球ハ常ニ橋ノ下部横桁上若ハ之ニ相當スル箇所ニ据置キ正午約 5 分前ニ橋ノ上部横桁下ニ引揚ゲ正午降下セシメ其ノ降下シ始ムル瞬間ヲ以テ正午トス。

信號ニ過誤アリタルトキハ橋ノ横桁ニ W 旗ヲ掲揚ス、故障ニ依リ報時信號ヲ爲スコトヲ得ザルトキハ橋ノ横桁ニ D 旗ヲ掲揚ス。

信號所 株式會社萬國信號所ハ元横濱船舶信號所ト稱シタルモノニシテ山

手町ニ在リ、其ノ事業ノ主ナルモノハ港内在泊及附近航行船舶ト陸上各方面トノ通信連絡、海難事故發見救助、氣壓信號掲揚、標示燈點燈、探照燈ヲ以テスル海面警戒、船舶動靜見張、船舶日報ノ發行等トス◎通信連絡ハ主トシテ信號及電話ニ依ル、信號ハ旗旒信號、手旗信號、點滅信號、喇叭發音信號及探照燈信號ヲ用ヒ指呼信號ヲ「JOK 標信」トス、尙連絡用トシテ無線電信機ヲ備フル通信艇 2 隻ヲ有ス◎此ノ信號所ニ於テ測候所ノ觀測シタル午前 6 時(信號時間約午前 7 時乃至 7 時 15 分)及正午(信號時間約午後 0 時 30 分乃至 0 時 45 分)ノ氣壓(緯度 45 度ノ平均海面ニ更正シタルモノ)ヲ國際信號法ニ依リ耗ノ 10 分數迄信號ス◎本所内ニ私設無線電信局(呼出符字 JOK)アリ又報時氣象受信専用無線電信ノ施設ヲモ有ス。

消防及救難設備 稅關港務部ニ屬スル消防船大小 2 隻アリ又救難艇トシテ小形内火艇 2 隻アリ港内火災若ハ浸水シテ危險ニ瀕セル船舶ノ救援ニ資ス。

船渠 横濱船渠會社ニ屬スルモノ 3 箇、淺野造船會社ニ屬スルモノ 2 箇アリ其ノ要目次ノ如シ。

會 社	番 號	長 サ(米)		渠口幅(米)		渠口水深(米)	
		上 部	下 部	上 部	下 部	高 潮	低 潮
横 濱 船 渠 會 社	第 1 號	195.0	192.4	28.7	23.0	9.1	6.8
	第 2 號	121.9	115.8	18.5	13.7	8.2	6.1
	第 3 號	150.8	149.3	20.5	19.4	7.4	4.7
淺 野 造 船 會 社	第 1 號	201.1	198.9	29.6	25.9	12.5	—
	第 2 號	153.0	151.6	21.6	19.8	9.4	—

尙横濱船渠會社ニハ全長 182.9 米、口幅 54.9 米、渠口水深 8.2 米ナル濕船渠 1 箇アリ。

海員救濟會 中區吉濱町ニ社團法人日本海員救濟會アリ、同會設立ノ海員「ホーム」竝ニ横濱市設立同會委託ノ海員「ホーム」、海員養成所及海員病院ヲ

經營ス。

第2區、第3區及第4區 (海圖66, 67)

此等海上ノ各區ニ面スル陸上ハ南方ニ在リテハ横濱市中區新山下町及山手町方面ニシテ北方ニ在リテハ横濱市神奈川區ノ東部竝ニ鶴見區及川崎市ナリ、横濱市ト川崎市トノ沿岸境界ハ第4區「ライジングサン」石油會社ト日清製粉會社間ノ水路ニシテ第4區ハ俗ニ鶴見工業港ト稱セラル○山手町所在測候所及萬國信號所ニ就テハ第1區中ニ記述ス○北方沿岸ニハ埋立ニ依ル大工業地帯ノ實現ヲ見ツツアリテ其ノ中鶴見川口以東ハ東京灣埋立會社ノ經營ナリ、安善町2丁目海岸ニ稅關派出所アリ○工事施行中ナル第3區内市營埋立地ノ各隅8箇所ニハ不動紅光燈ヲ設置シアリ。

川崎市 川崎市ハ人口104,351(昭和5年國勢調査)近來附近工場地帯ト爲リシ爲急激ナル人口ノ増加ヲ見ルニ至レリ。

投錨禁止區域 第1區ノ記事ニ在リ(第36頁)。

立標 川崎市鹽濱海岸ニ2標柱アリ横濱港ノ東界ヲ示ス。

目標 子安東京榨油會社横濱工場西方ノ「フォード」自動車製造工場附屬水槽、其ノ東方580米ニ位スル白色大煙突、淺野造船所船臺「クレーン」、安善町1丁目ノ2大瓦斯槽、日清製粉會社工場、東京電燈火力發電所屋上黑色煙突、川崎市日本鋼管會社ノ併列煙突等ハ好目標ナリ。

鶴見防波堤 鶴見川崎地先埋立地護岸ヨリ593米ヲ隔テ之ト平行スル延長4,109米ノ防波堤ハ第4區ノ南海ヲ成ス○防波堤ト埋立地トノ間ノ海面ハ最低低潮面下9米ニ浚渫シ竣工ノ上ハ水面積70餘萬坪ノ廣錨地ヲ得ル計畫ニシテ「サンドポンプ」ヲ以テ吸上ゲタル此ノ錨地及縱横運河ノ海底土沙ヲ以テ埋立テ行ヒツツアリ○防波堤ノ南端ニ紅塗四角形檣鐵造假設燈竿アリ、燈高平均水面上6.9米、同燈竿ハ後方芝浦製作所ニ明キ電燈アルヲ以テ視認困難ナリト謂フ。

第1號挂燈浮標 北外防波堤築設工事現場北端附近ニ假設シ防波堤工事ノ危險區域ヲ標示ス、黑塗圓筒形上部檣形鐵造○燈高、水面上3.6米。

第2號挂燈浮標 北外防波堤豫定位置南端附近ニ假設シ防波堤工事ノ危險

區域ヲ標示ス、紅塗圓筒形上部檣形鐵造○燈高、水面上3.6米。

第3號挂燈浮標 南外防波堤豫定位置北端附近ニ假設シ防波堤工事ノ危險區域ヲ標示ス、黑塗圓筒形上部檣形鐵造○燈高、水面上3.6米。

第4號挂燈浮標 南外防波堤築設工事現場南端附近ニ假設シ防波堤工事ノ危險區域ヲ標示ス、紅塗圓筒形上部檣形鐵造○燈高、水面上3.6米○工事ノ進捗ニ伴ヒ新山下町埋立地東方端ニ向ヒ650米迄移動ス。

子安浮標 北水堤燈臺ヨリ北東方1,380米ノ處ニ三角形頭標附紅塗圓錐形浮標ヲ碇置シテ子安沖ニ擴延スル洲ノ外端ヲ標示ス。

繫船浮標 第4區錨地内ニ3箇ノ繫船浮標ヲ碇置シアリ、船舶ハA, B及B, C間ニ各艙艦ヲ繫留スルモノトス、其ノ碇置用錨鎖ハ何レモ西南西、東北東ノ方向ニ在リ○第3區内北水堤燈臺ノ北東方800米ニ繫船浮標1箇(23號)碇置シアリ。

横濱港至東京港

横濱港界ト東京港界トハ其ノ間僅ニ約3哩ヲ隔ツルニ過ギズ、沿岸ハ一帯ニ低ク海面ハ遠淺ニシテ海苔養殖場多シ。

京濱運河計畫 將來横濱港第4區ヨリ東京港内舊第2砲臺ニ至ル間沿岸ヲ埋立テ鶴見防波堤ニ續ク防波堤ヲ連互シ其ノ間ニ幅員200米水深3.5米延長約8哩ノ長キ運河ヲ築造スル豫定ナリト謂フ。

羽田ノ鼻 六郷川〔多摩川〕ノ海ニ注入スル處ニシテ南東方盤洲鼻ト相對シテ東京内灣ノ狹部ヲ成シ地低シ現在ハ鼻端ヲ埋立テ競馬場ヲ設ケアリ、此ノ鼻ノ周圍ニハ羽田洲ト稱スル泥堆約1哩干出ス。

羽田燈標 羽田洲ノ外方海中東京港界線上ニ設ク、黑白横線塗圓形「コンクリート」造○燈高、礎上13.4米、平均水面上15.1米。

川崎挂燈浮標 羽田洲ノ南端附近ニ碇置ス、黑塗截頭圓錐形上部格子製檣鐵造○燈高水面上3米。

艦艇用浮標 羽田燈標ノ東方約5哩ノ處ヨリ南西方數哩間ニ互リ數箇ノ海軍艦艇用紅塗浮標アリ。

品川灣 羽田ノ鼻ヲ南界トシ江戸川ヲ北界トスル灣古來ノ名稱ニシテ今日ニ於テハ此ノ灣ノ區域ハ全部東京港界内ニ含マル。

東京港 (海圖 1065)

東京港ノ區域ハ江戸川右岸端ヨリ羽田燈標ノ東南東1哩ノ點ニ引キタル一線ト該點ト羽田燈標ヲ貫ク一線トニ依リテ圍マレタル部分ニシテ港界内ハ河水ニ因ル泥土ノ堆積夥シク淺瀬大半ヲ占メ其ノ大部分ハ海苔養殖場タリ。

東京市 昭和5年ノ國勢調査ニ依レバ當時15區ヨリ成レル東京市ノ人口2,070,913ナリシガ昭和7年10月1日附近各郡ヲ併合シ總計35區ヨリ成ル大東京市ヲ形成スルニ至リ世界ノ都市中面積ニ於テ第5位人口ニ於テ第2位ト爲レリ、港ニ臨ム區ハ江戸川、城東、深川、京橋、芝、品川、大森、蒲田ノ8區ナリ○隅田川口ニ於テ川岸ニ位スル官廳トシテハ東京水上警察署、東京遞信局海事部、東京地方海員審判所、横濱稅關東京稅關支署、水產試驗場等アリ、海軍經理學校及東京市中央卸賣市場モ亦川ニ面ス、同市場ニ隣接シテ其ノ北西方ニ位スル水路部ニハ基本水準標アリ○同川口外ニ於ケル公廳トシテハ芝浦棧橋ノ東京市港務所、芝浦1丁目第2號埋立地ノ東京市港灣部等アリ。

河川 隅田川ハ源ヲ埼玉縣秩父山地ニ發ス、千住ヨリ上流ヲ荒川ト稱シ下流ヲ隅田川ト謂フモ川口ニ至リ特ニ大川ト稱ス、別ニ荒川放水路ヲ設ケ江戸川トノ間ニ於テ港内ニ流入セシム○中川ハ利根川ノ支流ニシテ下流ニ於テ屈曲多カリシモ最近人工ニ依リ荒川放水路ノ外側ニ沿ヒ中川放水路ヲ設ケ以テ流路ヲ變更シ同ジク港内ニ流入セシムルコトト爲セリ。

三枚洲 荒川及中川放水路口ヨリ江戸川口ニ互ル廣漠タル干出泥堆ナリ。

築港 東京市ハ大正11年以來隅田川ノ改良工事ニ着手シ芝浦日之出町棧橋及臨港鐵道ノ實現ヲ見タルモ更ニ昭和5年東京港修築計畫ヲ決定シ10箇年繼續事業トシテ工事實施中ナリ、其ノ計畫ノ大要次ノ如シ。

航路浚渫 舊第5及第2砲臺連結線以南ノ航路ヲ延長6,000米幅員145米(將來200米ニ改ムル豫定)ヲ保チテ水深7.6米ニ浚渫シ6,000噸級以下ノ船舶ノ出入ニ支障ナカラシム、更ニ港内主要航路トシテ月島南端ヨリ

第2砲臺ニ達スル間延長3,182米幅員145米ヲ水深6.6乃至7.5米ニ浚渫ス。

假防波堤築造 舊第3第6及第2砲臺ヲ連結シ其ノ延長655米ニシテ既設ノ第3砲臺及深川地先埋立地ヲ連絡スル假防波堤ト相俟テ内港ヲ作ル(此ノ計畫一部變更ノ豫定)。

防沙堤築造 航路ニ沿ヒテ其ノ兩側ニ防沙堤延長5,255米ヲ築造ス。

波除堤築造 芝浦第8號埋立地ノ南東面ニ波除堤510米ヲ設ケ舢舨ノ碇繋場ヲ作ル。

其ノ他芝浦町1丁目第2號埋立地、月島東方第4號及第5號埋立地ニ繫船岸壁ノ築造、舊芝離宮恩賜庭園前第1號埋立地ニ繫船棧橋築造、月島及築地間隅田川橫斷可動橋架設、各所物揚場護岸、上屋及倉庫建造、一般浚渫及埋立地等ナリ。尙東京府直轄事業トシテ舊第4砲臺ヨリ目黒川口ニ至ル南方沿岸ノ埋立工事施行中ナリ。

目標 大森町海岸東京瓦斯會社銀色瓦斯槽(高サ平均水面上約70米)、芝浦瓦斯槽、麴町區永田町新築國會議事堂、第5號及第8號兩埋立地中間ニ在ル白色大煙突、小名木川南方銀色瓦斯槽(高サ平均水面上約66米)等ハ皆顯著ナル目標ナリ。

飛行場 羽田江戸見町(穴守稻荷ノ北方)埋立地ニ東京飛行場アリ、信號柱及羅針儀修正臺ヲ有ス○立會川南方附近ニ中島飛行機製作所ノ建設ニ係ル水上飛行場アリ。

東京飛行場航空標識燈 上記羅針儀修正臺南方格納庫屋上ニ設ク。

大森舟艇港 大森町海岸東京瓦斯會社前ニ石堤ヲ繞ラシ舟艇港ヲ形成ス、此ノ港ノ北東端ヨリ北東方ニ長サ約830米ノ水路ヲ開鑿シ外端ニ2箇ノ鐵製標柱ヲ樹テ入口ヲ示ス、通路ノ兩側ニハ半潮ニ没スル石堤アリ處々ニ切レ目ヲ有ス小舟ハ此ノ處ヲ横ニ通航シ得ベシ。

見張船 舊第2砲臺南南東方約2,500米ニ水上警察署ノ見張船(廢驅逐艦)ヲ碇置シ錨地指定、暴風信號、警戒及救護等ニ從事セシム。

舊砲臺 徳川幕府ノ築造セル舊砲臺 6 箇ノ中西端ノ 2 箇即チ第 1 砲臺ト維新迄ニ完成ヲ見ザリシ第 4 砲臺トハ私有 (緒明) ニシテ東端ノ 2 箇即チ第 3 及第 6 砲臺ハ市有ナリ、中央ノ 2 箇即チ第 2 及第 5 砲臺ハ海軍省ニ屬シ其ノ中間ハ内港ニ至ル水道ヲ成ス又第 5 砲臺ニ水上警察署見張所 (白塗「コンクリート」造、平均水面上ノ高サ 28 米)ヲ設ク。

鐵道用可動橋 芝浦日之出町北側河口ニ臨港線可動橋 (跳上橋) アリ、同橋下水路ノ通航ニ關スル信號ハ次ノ如シ。

信號

意義

10 可動橋ニ紅光燈 (6 箇)ヲ點ジ可動橋ノ北方及南方ノ信號燈ニ閃紅光燈ヲ點ジ電鈴振鳴 }通航ヲ禁止中

可動橋ノ南北兩側ニ綠光燈 2 箇宛ヲ點燈通航差支ナシ

東京無線中央通信所 麴町區大手町ニ東京無線電信局ノ中央通信所アリ、送信所ハ栃木縣小山、千葉縣檢見川及船橋、福島縣原ノ町及富岡ノ 5 箇所又受信所ハ埼玉縣福岡及岩槻ノ 2 箇所アリ。

東京中央放送局 芝區愛宕山放送局内ニ於テ毎日中央標準時ノ正午及午後 9 時 30 分ノ 2 回ニ時報ヲ行フ、毎日午後 7 時水路部公示事項トシテ緊急水路告示及遞信省公示事項トシテ燈臺局所管航路標識ニ關スル放送其ノ他定時氣象通報、航行警報等ノ放送ヲ行フ、呼出符號 J O A K ⊙送信所ハ埼玉縣北足立郡新郷村ニ在リ。

20 **聖路加國際メヂカルセンター** 京橋區明石町聖路加國際「メヂカルセンター」ニ於テ時々尖塔上ノ十字架ヲ照明ス。

東京劇場 築地同劇場北端ノ塔上ニ時々回轉白色電燈ヲ點ズ。

汚水處分場 荒川放水路口西側砂町前面ニ汚水處分場アリ。

浮標 大川口ニ至ル可航水道ノ東側ニハ挂燈浮標ノ外圓錐形頭標附紅塗圓錐形鐵造浮標 6 箇 (第 3, 5, 9, 11, 13, 15 號) 西側ニハ圓筒形頭標附黑塗圓錐形鐵造浮標 7 箇 (第 4, 6, 8, 10, 12, 14, 16 號)ヲ碇置シアリ。

第 1 號挂燈浮標 上記可航水道入口ニ近キ西側ニ碇置ス、黑塗圓筒形鐵造

上部四角檜形 ⊙燈高水面上 3.3 米。

第 2 號挂燈浮標 可航水道入口ニ近キ東側ニ碇置ス、紅塗圓筒形鐵造上部四角檜形 ⊙燈高水面上 3.3 米。

品川第 7 號挂燈浮標 可航水道ノ屈曲點西側ニ碇置ス、黑塗圓筒形鐵造上部格子製檜 ⊙燈高水面上 3.6 米。

漂標 港内改修工事ニ伴ヒ第 2 號挂燈浮標ノ内方ニ於テ航路ノ東側ニ漂標 2 箇 (A, C 號) 第 1 號挂燈浮標ノ内方ニ於テ航路ノ西側ニ漂標 4 箇 (B, D, E, F 號)ヲ設置セリ、漂標ハ何レモ平均水面上ノ高サ 7 米ナル塗粧セザル木造竿柱ニシテ上部ニ橢圓形鐵製籠頭標ヲ掲グ。

品川燈臺 舊第 2 砲臺西端ニ設ク、白塗圓形煉瓦造 ⊙燈高、礎上 5.7 米、平均水面上 17 米。 10

沈船 品川燈臺ノ南東方約 4,000 米ニ長サ 61 米ノ「スクーター」形沈船アリ低潮面下 1.5 米ニ在リテ全ク認識シ得ズト謂フ (大正 8 年)。

芝浦棧橋 日之出町埋立地ニ長サ 566 米橋側水深 7.6 米ノ鐵筋「コンクリート」造棧橋アリテ 1 噸捲電動起重機 3 臺、給水栓 7 箇ヲ裝備シ 3,000 噸級ノ汽船 6 隻ヲ同時ニ繫留シ得 ⊙棧橋上ニハ上屋設備アリ汐留驛ト臨港鐵道線ヲ以テ連絡ス、棧橋ノ南端ニハ東京市港務所又其ノ北方約 200 米ニ私設芝浦船舶信號所信號塔アリ。

芝浦町岸壁 芝浦棧橋ノ南隣ニ工事完成セル芝浦町岸壁 (芝浦町 1 丁目第 2 號埋立地)ハ長サ 909 米壁側水深 7.6 米ニシテ 6,000 噸級ノ汽船 7 隻ヲ同時ニ繫留シ得、其ノ南端ニ港務所ノ見張所及信號所アリ ⊙上屋設備及臨港鐵道ハ目下工事中ニ屬ス。 20

繫船浮標 舊芝離宮恩賜庭園前第 1 號埋立地東方ヨリ芝浦町岸壁ノ東方ニ至ル迄ノ間距岸 250 乃至 300 米ノ處ニ第 1 號至第 12 號計 12 箇ノ繫船浮標ヲ碇置ス ⊙濱離宮東方第 15 號浮標附近及月島第 3 號埋立地西方ノ 2 箇所ニ桴用圓臺形小形繫船浮標各 1 箇ヲ碇置ス。

地方暴風標 品川本宿、碇置見張船、芝浦日之出町巡查派出所、東京水上

警察署及永代橋東側帝國水難救濟會ニ各地方暴風標アリ。

天氣豫報標 上記日之出町巡查派出所及東京水上警察署ニ地方天氣豫報標アリ。

諸規則 東京港ニハ港務部ヲ設置セズ警視廳管理ノ下ニ東京水上警察署之ガ取締ニ任ジ錨地ノ指定其ノ他港務全般ヲ處理ス○東京港取締規則、同執行心得、東京市棧橋繫船浮標上屋使用條令、同施行細則等ハ水路誌附録第 1 卷ニ在リ。

給水 芝浦棧橋繫留船舶ニ對スル給水ハ市營ニシテ浮標繫留船舶其ノ他一般沖合ノ給水ハ東京給水會社ノ營業ニ屬ス、市營給水ハ棧橋水栓箇數 7、水栓 10 1 箇當給水能力 1 時間 20 立方米、給水設備使用料給水量 1 立方米迄毎ニ水料共 15 錢ナリ。

水先人 隅田川水先區水先人組合事務所ハ芝區芝浦町 1 丁目 1 番地ニ在リ、之ヲ招クニハ信號、電報又ハ代理店ヨリ電話申込等ニ依ル、水先人現在 4 名、乗船地點ハ滯標口沖ヲ例トス○水先ニ關スル法規ハ水路誌附録第 1 卷ニ在リ。

交通 此ノ港ヲ出入スル定期船ノ航路ハ朝鮮、臺灣、樺太、小笠原群島其ノ他内地各港ニ至ルモノ等總計約 20 線アリテ之ヲ經營スル主ナル會社ハ近海郵船、大阪商船、朝鮮郵船、原田汽船、山下汽船、北日本汽船、栗林商船、北海道炭礦汽船等ナリ、前記ノ外東京灣汽船會社ハ靈岸島ヲ起點トシテ東京大島神津島線、東京三宅島八丈島線及東京大島下田線ヲ經營ス。

20 芝浦棧橋ニ最モ近キ省線電車驛ヲ濱松町驛若ハ田町驛トス。

貿易 昭和 6 年ニ於ケル入港船舶ノ隻數並ニ噸數及移出入品價額下ノ如シ。

隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
11,864	3,390,467	110,526,604 圓	538,709,293 圓
(内汽船) 5,434	3,238,849		

移出品ノ主ナルモノハ金屬製品、砂糖、石油、機械類、絹織物、米、鐵、塗料等ニシテ移入品ノ主ナルモノハ砂糖、米、鐵、和洋紙、羊毛、藥品、鮮魚介、

石炭、豆類等ナリ。

船渠 石川島造船所ニ船渠 1 アリ 4,000 噸以下ノ船舶ヲ入ルルヲ得ベシ、其ノ要目次ノ如シ。

全長(米)	盤木上ノ長サ(米)	渠口ノ幅(米)		渠口底上ノ水深(米)			盤木上ノ水深(米)		
		上部	下部	最大高潮	平均高潮	最大低潮	最大高潮	平均高潮	最大低潮
94.5	91.4	19.4	15.2	4.9	4.6	3.4	4.3	4.0	2.7

潮流 港内潮流ノ方向ハ漲落潮共ニ航路(陸岸)ニ沿ウテ流レ落潮ニ強ク漲潮ニ弱シ、流速ハ浚渫工事ノ進捗ニ伴ヒ多少ノ變動ヲ免レザルベキモ昭和 3 年頃驗測ノ結果ハ下記ノ如シ。

驗潮位置	舊第 2 第 5 砲臺間	芝浦町 1 丁目護岸前面
落潮ノ最大流速	2.3 節	1.5 節
漲潮ノ最大流速	1.3 節	1.1 節

氣象 卷末附表第 5 東京氣象表ヲ參照スベシ。 10

東京港至富津埼

東京港東端ヨリ富津埼ニ至ル海岸ハ土地一帯ニ低ク泥堆干出スルコト距岸 1.5 乃至 2.5 哩ニ達ス、行徳町、船橋町、千葉市、木更津町、富津町等其ノ間ニ在リ。

江戸川 江戸川ハ中川ト共ニ利根川ノ支流ニシテ最近行徳町北方ヨリ分ルル江戸川放水路ヲ設ケラレタルヲ以テ流水ノ大部分ハ此ノ短距離ノ流路ヲ經テ海ニ入ル。

浮標 江戸川口ノ南南西方約 3.5 哩ニ水産試驗場ニ屬スル淺海利用蠣養殖試驗場ヲ示ス三角形頭標附紅塗圓錐形浮標 1 箇ヲ碇置シアリ、此ノ浮標ノ南方 20 米ニ四隅ニ黒塗圓筒形浮標ヲ連結シタル 4.54 米平方ノ木製筏ヲ碇置シ前記浮標ヲ中心トスル半徑 145 米ノ海面ヲ以テ一般船舶通航禁止區域トス而シテ此ノ實驗ハ昭和 11 年 6 月迄行ハルル豫定ナリ。 20

船橋町 昭和 5 年國勢調査ニ依レバ人口 22,612 アリ ○同町海岸ニ地方暴風標アリ。

船橋送信所 東京海軍無線電信所ノ送信所ニシテ且東京無線電信局ノ送信所タル海岸局兼固定局ナリ、船橋町ノ北北西方約2.5浬ニ在リ、其ノ無線電信柱ハ顯著ナル目標ニシテ晴天ノ日ニハ20浬ノ海上ヨリ認ムルコトヲ得。

夜標 船橋町ノ東方小丘上八幡社内ニ私設夜標アリテ航行小舟ノ好目標ナリト謂フ。

海岸 船橋町ヨリ千葉市附近ニ至ル間ノ海岸ハ屈曲少ク沙濱ニシテ内部ハ25米内外ノ臺地ヲ成ス、此ノ間ノ海岸ニ津田沼町、幕張町、檢見川町等アリ。

檢見川送信所 檢見川町ノ南東隣ニ東京無線電信局ノ送信所タル固定局アリ、其ノ9基ノ電信柱ハ顯著ナル目標ナリ。

10 千葉市 千葉縣廳ノ所在地ニシテ人口49,088(昭和5年國勢調査)◎市ノ南東方亥ノ鼻臺病院屋上ノ高塔竝ニ其ノ東方至近ノ大建築物及千葉縣廳ハ附近海上ヨリ望ミ顯著ナリ◎鐵道ハ南ハ木更津ヲ經テ館山北條ニ又大網、勝浦ヲ經テ同ジク館山北條ニ、東ハ佐倉ヲ經テ銚子ニ、北ハ兩國ニ通ズ、尙京成電氣軌道線ニ依リ東京方面ハ上野、日暮里、白鬚、押上各驛ヘ又途中津田沼ヨリ分レテ成田ニ至リ得ベシ。

寒川港 千葉市ノ海岸寒川口ニ修築シタル小舟港ヲ寒川港ト稱シ川口ノ右岸ヨリ約3.5鏈鈎狀ニ突出セル石堤ノ内側ニ在リ、干出沙堆ヲ掘鑿シテ之ニ至ル1條ノ水路ヲ設ケ其ノ兩側ニ濬標ヲ樹テテ之ヲ標示ス、水深港内約2米水路1米内外ナリ。

20 地方暴風標 千葉市ニ地方暴風標アリ。

海岸 千葉市ヨリ盤洲鼻ニ至ル18浬間ノ海岸モ亦概ネ低クシテ姉崎町附近ハ約30米ノ臺形地ヲ成ス◎岩ヶ崎ハ稍突出シ養老川此處ニ開口ス◎八幡町及姉崎町ハ海岸ニ在リテ各高潮水深約1.5米ノ濬筋アリ、兩町ノ中間ニ五井町アリ。

地方暴風標 姉崎町ニ地方暴風標アリ。

立標 君津郡高津村落沖ニ嘗テ速力試験ニ使用セシ立標2箇存在ス但シ破損ノ儘ノ状態ニ在リ。

盤洲鼻(バンズ) 羽田ノ鼻ト約9.5浬ヲ隔テテ相對スル低キ鼻ニシテ南端ニ小櫃川(コビツ)開口ス、鼻端ニハ淺堆沿布シ其ノ外界ハ極メテ急深ナルヲ以テ接航スル場合ニハ注意ヲ要ス。

漁礁 盤洲鼻北方約2浬ニ人工漁礁試験ノ爲廢驅逐艦1隻、艦首ヲ北北東方ニ向ケテ沈置シアリ附近ノ水深7.5米。

浮標 盤洲鼻ノ西南西方約3.5至5.5浬間ニ漁業用紅塗圓筒形浮標3箇碇置シアリ。

同鼻ヨリ西方約6.3浬ニ海軍艦艇用紅塗圓臺形繫船浮標(上部ニ框式構造物及圓錐形頭標ヲ附ス)3箇ヲ碇置ス◎此ノ繫船浮標ノ北東方約1.8浬ノ處ヲ南端トシ此ヨリ北東方數浬ノ間數箇ノ海軍艦艇用紅塗浮標アリ。

海岸 盤洲鼻ヨリ富津崎ニ至ル間ハ約10浬ノ灣形ヲ成シ土地低シ、此ノ間ノ海岸ニ木更津町、青堀町(船溜防波堤アリ)、富津町等アリ◎小糸川ノ東岸ニ近ク海岸ニ孤立セル圓頂峯人見山ハ樹木密生シ附近唯一ノ好目標ナリ、樹頂ノ高サ87米。

木更津港 木更津港ハ盤洲鼻ノ南側ニ在リ、東京内灣東濱ニ於ケル主要ナル小商港ナリ、木更津町ハ人口10,334(昭和5年國勢調査)漁家多ク和船ノ來往少カラズ、町ノ前面ニ石堤ヲ設ケ築港シテ此等ノ泊地ト爲シ濬筋ヲ通ジテ出入スルコトヲ得セシム◎目下町ノ西方及北西方海岸ニ於テ埋立工事中ナリ尙航路及港内浚渫、防沙壁及外防波堤築設等ノ工事ヲ計畫中ナリト謂フ。

錨地 木更津町ノ南西方ニ於テ人見山ノ23度310米附近ヲ可トス、此ノ處ハ能ク南東風ヲ遮蔽スルモ北西風殊ニ西風ニハ海上靜穩ナラズ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數竝ニ噸數及移出入品價額下ノ如シ、但シ入港船舶ハ全部發動機船又ハ帆船ナリ。

隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
4,868	45,988	1,260,783 圓	722,826 圓

移出品ノ主ナルモノハ内地米、竹材、薪及木炭等ニシテ移入品ノ主ナルモノハ肥料、紙類、和洋酒、石油等ナリ。

交通 鐵道ハ千葉、館山北條、久留里ノ3方面ニ通ズ。

地方暴風標 木更津町及富津町(第24頁參照)ニ各地方暴風標アリ。

第 3 編

本 洲 南 岸

(東京海灣ヲ除ク)

水路圖誌上ニ於テ本洲南岸ト稱スルハ千葉縣野島崎至和歌山縣日ノ御崎間ノ海岸ナリ、本洲南岸ハ5大灣(東京海灣、相模灣、駿河灣、三河灣、伊勢海)ヲ有スルヲ以テ其ノ特徴トス。

本洲南岸ノ東端部タル野島崎至劍崎間ノ記事ハ之ヲ第2編ニ收メアルヲ以テ本編ニ於テハ之ヲ除キタル劍崎至日ノ御崎間ニ就テ記述ス。

潮汐 第2編第14頁潮汐ノ記事ヲ見ルベシ。

潮流 潮流ハ一般ニ海岸ニ沿ヒテ東西ニ流レ西流ハ低潮時或ハ其ノ後1時ヨリ次ノ高潮時或ハ其ノ後1時迄流レ東流ハ高潮時或ハ其ノ後1時ヨリ低潮時或ハ其ノ後1時迄流ル。潮流ノ速サハ大ナラズ。

海流 第1編海流記事參照。

氣象 劍崎至潮岬間主要地ニ於ケル氣候表次ノ如シ。

最 寒 月 (1 月) ノ 氣 溫				
觀 測 所	月 平 均	平均最低	最低極	年 月 日
沼 津	5.4	0.5	- 8.1	明治 26 年 1 月 26 日 (1893 年)
濱 松	5.1	1.3	- 6.0	大正 12 年 1 月 2 日 (1923 年)
名 古 屋	3.3	- 0.9	-10.3	昭和 2 年 1 月 24 日 (1927 年)

最 暑 月 (8 月) の 氣 溫				
觀 測 所	月 平 均	平均最高	最高極	年 月 日
沼 津	25.9	30.6	36.6	大正元年9月2日(1912年)
濱 松	25.8	30.0	37.2	明治27年7月19日(1894年)
名 古 屋	26.6	31.6	37.7	大正12年8月15日(1923年)

一般ニ冬季ハ天氣良ク偶低氣壓ニ依リテ荒天降雨ヲ見ルニ過ギズ、從ツテ雲量比較的少ク日照時多シ、初夏ニハ梅雨アリ天氣陰鬱ニシテ比較的高溫ナルニモ拘ラズ濕氣多シ7月半乃至8月ニ至レバ天氣漸ク固定シ又著シク暑熱ヲ感ズルニ至ル。

次ニ主要地ノ平均雲量、日照時百分比、濕度ノ表ヲ示ス。

平 均 雲 量 (明治30年至昭和元年 30年間)													
月別 觀測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
沼 津	4.6	5.3	6.1	6.7	7.3	8.3	8.0	6.8	7.6	6.7	5.3	4.2	6.4
濱 松	4.0	4.6	5.4	6.5	6.8	7.9	7.4	6.3	7.1	6.2	4.6	3.8	5.9
名 古 屋	4.8	5.0	5.4	6.1	6.4	7.5	6.9	5.9	6.8	5.7	4.8	4.7	5.8

日 照 時 百 分 比 (明治41年至昭和2年 20年間)													
月別 觀測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
沼 津	62	56	54	51	48	38	46	55	45	46	59	63	52
濱 松	62	57	54	49	46	37	46	55	42	43	56	60	51
名 古 屋	54	55	54	51	50	40	50	56	42	48	55	54	51

平 均 濕 度 % (明治25年至昭和元年 35年間)													
月別 觀測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
沼 津	67	65	68	73	76	80	81	79	80	77	73	68	74
濱 松	65	63	66	74	77	83	85	83	83	77	72	67	75
名 古 屋	75	71	69	72	73	78	79	78	81	78	76	76	75

此ノ表ニ依レバ夏季濕度ハ東部ニ於テ稍多ク西部ニ少シ且何レモ80%ヲ超過スルモノ多シ。

劍 埼 至 石 室 埼

此ノ區域ハ三浦半島ノ南岸ニ始リ相模灣ノ沿岸ヲ中央トシ伊豆半島東岸ヲ終尾トス、沿岸ニハ行遊ノ地多キモ大形船舶ニ對シテハ安全ナル泊地皆無ナリ○又此ノ沿岸ニテハ夏季中土用前後ニ土用浪ト稱スル高浪襲來スルコトアリ(第19頁參照)○此ノ沿岸ト大島トノ間ノ海ハ所謂相模灘ナリ。

漁網 相模灣及伊豆半島沿岸ニ於テハ冬春ノ漁期間漁網ヲ展張スル處多ク其ノ中ニハ距岸1乃至2哩ノ沖ニ達スルモノアリ航行船舶ハ注意ヲ要ス。

海流 劍埼ト大島トノ間ニテハ偏東方ノ海流ヲ見ルコト多ク伊豆半島ト大島トノ間ニテハ概シテ北東方ニ流レ海流風潮ト其ノ方向一致スルトキハ流速ヲ増加ス而シテ大島側ハ伊豆半島東側ニ比シ流速強ク前者ノ流勢特ニ強キ場合ニハ伊豆半島側ニハ却ツテ反流ヲ見ルコトアリ。

沖ノ山(第18頁參照)附近ニテハ偏東乃至偏南流ヲ驗スルコト多ク大正13年6月22日特務艦關東ハ沖ノ山附近ニテ略東流3.5節ヲ感ジタリト謂フ○大正4年夏季軍艦八雲ハ大島ノ北方ニ於テハ流向少シク東偏シ其ノ北西側ニ於テハ一般ニ北東流ヲ見ルコト多ク流速1乃至3節ニシテ時ニ4節ニ達シ又稀ニハ南西乃至西流1節ナルヲ驗シタルコトアリ○第279頁至第281頁海流記事ヲ參照スベシ。

潮流 劍埼ト大島トノ間ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ落潮流ハ南方ニ流レ高低潮後1時ニ轉流ス、大潮期ニ於ケル流速約1節トスルモ風ニ起因スル皮流ガ海流ト其ノ方向一致スルトキハ意外ノ流速ヲ見ルコトアリ又大島北東方ニ於テハ黒潮ノ變調流ナル「込ミ眞潮」「逆潮」等ノ爲意外ノ北壓ヲ受クルコトアリ。

大島ト伊豆半島トノ間ニ於テハ漲潮流ハ西南西方ニ落潮流ハ東北東方ニ流ルルヲ以テ一般ニ漲潮期ニハ西方ニ落潮期ニハ東方ニ壓流セラルル傾向アリ、此ノ海面ニ於ケル潮流ノ勢力ハ比較的強大ニシテ落潮流ト海流ト相合スルトキハ3節内外ニ達スルコトアリ、漲潮流ハ海流ト相殺シテ其ノ流勢ヲ減少スルノミナ

ラズ時トシテハ海流ヲ壓シ却ツテ偏南西流ヲ驗スル場合アリ、故ニ此ノ海面ノ航海ニ際シテハ潮流ト海流トノ合成流ノ影響ヲ考慮スルヲ要ス、伊豆半島沿岸ニ接近セバ全ク潮流ノミニ左右セラレ流速概ネ1節内外ナルガ如シ。

氣象 相模灘沿岸ハ氣候一般ニ溫和ニシテ特ニ冬季ニ於テ然リ、冬季北西風吹き荒ムトキモ伊豆半島沿岸ハ山脈ニ遮蔽セラレ海岸附近ハ風勢著シク緩和セラル、尙第210頁氣象記事中風候ノ項ヲ參照スベシ。

主要地ニ於ケル氣候表次ノ如シ。

平均最高氣溫 (大正5年至同14年 10年間)														
觀測所	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
三崎		9.7	9.7	12.7	18.3	21.4	24.5	28.2	28.9	26.5	21.0	16.6	11.5	19.1
小田原		8.9	9.7	12.5	17.7	21.4	24.3	28.8	29.6	26.8	21.0	16.2	11.2	19.0
伊東		10.2	10.8	12.9	18.2	21.5	24.5	29.0	30.2	27.2	21.6	17.5	12.9	19.7

平均最低氣溫 (大正5年至同14年 10年間)														
觀測所	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
三崎		2.0	2.2	4.2	10.2	13.9	17.7	21.9	23.2	20.4	14.4	9.7	4.2	12.0
小田原		-0.2	0.5	3.2	9.2	12.9	17.2	21.7	22.2	19.9	13.9	7.9	2.2	10.9
伊東		0.6	1.7	3.9	9.5	12.9	17.3	22.0	22.7	20.0	14.3	9.0	3.7	10.6

平均降水量 (大正10年至同14年 5年間)														
觀測所	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
三崎		39	125	99	160	165	189	96	171	279	195	102	49	1669
小田原		88	185	160	194	227	284	153	395	338	167	92	77	2360
伊東		56	171	131	185	235	297	200	220	403	272	92	58	2320

劍崎至城ヶ島

劍崎ヨリ西方三崎町迄約3湊ノ間ハ即チ三浦半島ノ南岸ニシテ海岸屈曲シ概ネ岩崖ヲ成ス、其ノ西端沖ニ城ヶ島アリ。

氣象 大正12年12月ヨリ翌年2月ニ至ル測量期間ノ經驗ニ依レバ三崎附近ニテハ10月至11月中旬ハ主トシテ偏西若ハ偏東風吹き海上平穩ノ日多ク1月下旬ニ至レバ漸次偏西風増加シ天候不良ノ日多シ、午前中風力弱ク天候良好ナル日ニ於テ俄ニ西風猛吹シ來リ荒天ト變ズルガ如キコト屢ナリ○冬季ニ於ケル風向ハ偏西風ニ次デ偏北風多シ而シテ偏北風時ニハ概シテ海上平穩ナルコト多シ。

濛氣ハ此ノ沿岸ノ特徴ニシテ平穩ノ日若ハ偏北風微吹ノ日ニ於テ殊ニ甚シキヲ覺ユ而シテ午前中濛氣濃密ナルトキト雖モ午後ニ至レバ消散スルコト多ク又西風強吹セル翌日ハ濛氣ナキヲ常トス。

劍崎 松輪崎ノ南東角ニシテ崎端附近ニ小山ト稱スル巨岩屹立ス、崎上ニ燈臺アリ(第24頁參照)。

江奈港 劍崎ノ西方約5鏈ニ在リテ北方ニ彎入スル小灣ナリ石波灣岸ヲ充塞シ水深甚ダ不齊ナリ。

岩戸山 三浦半島南岸約中央ノ内方ニ在リテ顯著ナリ(第24頁參照)。

大瀬 劍崎ヨリ西方約1.5湊ノ間ハ距濱殆ド5鏈ノ處迄礁脈擴延ス、其ノ西端ヲ大瀬ト稱シ距濱4鏈ニ位シ低潮ニ干出ス○大瀬ノ西方ニハ多數ノ點礁アリ。

三崎瀬戸 三浦半島ト城ヶ島トノ間ノ水道ニシテ其ノ西半ハ亦三崎港域タリ、水道ノ長サ約1湊幅約1乃至3.7鏈沙底ニシテ水深1.8乃至9米アリシガ大正12年大地震ノ結果陸地ノ隆起2米内外ニ達シ瀬戸ノ東口ハ一部徒涉シ得ル程度ノ淺瀬ト化セリ。

三崎港 三浦半島南端ノ漁港ニシテ三崎瀬戸ノ西半ト三崎町東側ノ入江トヲ以テ港域トス、大震災ノ際地盤隆起セルヲ以テ港内面積約28,000坪ヲ水深2.1米ニ浚渫シ又瀬戸西口ノ北濱ヨリ城ヶ島燈臺ニ向ヒ長サ250米ノ防波堤ヲ

築造シ昭和3年修築竣工セリ○三崎町ハ稍繁華ナル市街ニシテ人口12,243(昭和5年國勢調査)魚類、野菜其ノ他ノ日用品ヲ得ベシ、淡水ハ良質ノモノ少シ。三崎町ニ在ル向ケ崎漁業組合(神奈川県水産試験場三崎分場構内ニ在リ)ニハ私設無線電信及無線電話ノ施設アリ○三崎町ヨリ省線逗子驛(23.5 軒)浦賀湘南電鐵驛(15.9 軒)及省線横須賀驛(21.7 軒)ニ至ル各乗合自動車便アリ。

防波堤燈臺 防波堤南端ニ設ク、白塗圓形「コンクリート」造○燈高、礎上7.3米、平均水面上9.2米。

地方暴風標 町ノ西方丘上ニ地方暴風標アリ。

10 **貿易** 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數並ニ噸數及移出入品價額下ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
	17,199	215,500	2,771,394 圓	913,945 圓
(内汽船)	45	6,350		

移出品ノ主ナルモノハ鮮魚ニシテ移入品ノ主ナルモノハ礦油、氷、絹及綿織物等ナリ。

城ヶ島 東西ノ長サ約1 哩ノ狹長ナル島ニシテ高サ33米内外ノ平臺地ヲ成シ北側ニ村落アリ、島ノ中央兩側ニ各小突出アリ北方ノモノヲ遊ヶ崎、南方ノモノヲ赤羽根崎ト稱ス、赤羽根崎ニ數本ノ松樹アリテ其ノ北側ニ水難救濟會出張所アリ。

島周ニハ礁脈沿布ス、島ノ南側最モ外方ニ在リテ危險ナル淺岩ヲ赤羽根崎南西方約2.5 鏈ノ元名出シトス水深3.4米波浪高キトキ破浪ス、此ノ岩ノ東南東方約4 鏈ニ水深8.9米ノシバ根アリ○島ノ東端安房崎ヨリ南東方ニ伸出スル岩礁ノ最高部ヲ神樂高根ト稱シ干出1.7米○島ノ西端長鶴崎ヨリ擴延セル岩礁ノ外端ヲ岩骨ト稱シ干出0.5米○島ノ北西端灘ヶ崎ノ西方1.3 鏈ニ居島(イ)アリ數小岩ヨリ成リ高サ2.3米。

城ヶ島燈臺 島ノ西端ニ設ク、白塗圓形「コンクリート」造○燈高、礎上

9.1米、平均水面上29.4米。

潮流 三崎瀬戸附近ニテハ海流ノ影響ヲ受ケ潮流ハ種々變化スレドモ一般ニ漲潮流ハ西方若ハ北方ニ流レ落潮流ハ南流スルヲ常トス○季節風候等ニ因リ海流ノ影響一様ナラザル爲時ニ終日南流ノミ續キ北流ヲ見ザルコトアリ○一般ニ南流或ハ東流ハ冬季ニ多ク西流ハ秋季ニ多ク現ハルルヲ常トスルモノノ如シ○西流ノ最強流速ハ瀬戸内ニ於テハ1.3節、城ヶ島ノ西方ニ於テハ2.8節又南流ノ最強流速ハ城ヶ島ノ西方2 哩餘ノ處ニ於テハ1 節ナルコトヲ實驗セリ。

相模灣

相模灘ノ北部ニシテ城ヶ島ト西方眞鶴崎トノ間ニ灣入スル大開灣ヲ相模灣ト稱ス○灣ノ東濱即チ三浦半島ノ西側ハ城ヶ島ヨリ約10 哩ノ間偏北ニ走り次デ岸線約20 哩ノ間西方ニ向ヒ小田原近傍ヨリ漸次南方ニ折レ約6 哩ニシテ眞鶴崎ニ至ル。

灣内一般ニ深水ニシテ特ニ國府津、小田原附近ニ於テハ200米界ハ距岸0.5 哩ニ近ヅク○灣岸ニハ小網代、小多和、江之島及眞鶴等ノ泊地アレドモ概ネ狹隘且淺瀬ニシテ風浪ニ暴露シ小形船舶ノ錨地タルニ過ギズ。

灣首殊ニ小田原近傍ノ海岸ニテハ暴風襲來ノ數日前ヨリ「ウネリ」岸ヲ衝キ漸次勢ヲ増シ暴風中心ノ通過スルニ當リテハ津浪ヲ起シ沿岸ニ多大ノ損害ヲ與フルコトアリ。

歌舞島ノ鼻(カクジマ) 三崎瀬戸西口ノ北端ニシテ城ヶ島燈臺ト南北相對ス此ノ鼻附近ニハ岩礁散布ス○鼻端ヲ距ル西方約3 鏈ニ水深4.1米ノ礁アリ釜根ト謂フ。

歌舞島ノ鼻ト其ノ北方約8 鏈ニ在ル諸磯崎トノ間ハ多岩ノ灣岸ヲ成シ暗礁多數散布シ海底險惡ナリ。

諸磯崎 諸磯港口ノ南端ニシテ其ノ北端ニ松樹叢アリ○此ノ崎ヨリ西方へ約4.5 鏈ノ處迄岩礁擴延シ波高キトキハ破浪ス、此ノ岩礁中ニ水上岩數箇アリ北ヲ蝦島(エビ)南ヲ大島ト稱ス。

諸磯港 諸磯崎ト辨天鼻ト南北相對シテ港口ヲ成ス小舟ノ避泊地ニ過ギズ

港内中部ノ北濱ニ基本水準標アリ同標石面横線下2.35米ヲ以テ基本水準面トス○港内南濱ノ内方高サ47米ノ丘上ニ在ル1著松ハ遠望甚ダ顯著ナリ。

油壺港 諸磯港ノ支灣ニシテ之ニ比スレバ狹隘ナルモ四周陸地ニ包マレ小舟ノ避泊ニ良シ○辨天鼻ニハ松樹繁茂ス此處ニ東京帝國大學理學部臨海實驗所アリ。

漁網 諸磯港外及小網代港宮田灣ノ中間ニ於テハ特ニ冬春ノ漁期漁網ノ展張シアルニ會スルコト多シ。

網代埼 諸磯港ト小網代港トヲ分界セル平坦ノ低丘ニシテ松樹茂ル○此ノ埼ヨリ244度約2鏈ニヤギ瀬アリ水深3米礁ナリ。

10 **小網代港(コアジロ)** 諸磯港ノ北隣ニ在リ西風ニ暴露セル開灣ニシテ港内狹ク大船ノ錨泊ニ適セズ唯相模灣ヲ航スル小船ノ北東若ハ南東風ヲ避クルニ適スルニ過ギズ○港首小網代村落ノ海岸ニ顯著ナル白屋アリ。

宮田灣 小網代港ノ北方約1.2湮ニ在リ小舟ノ錨地トスルヲ得ベキ淺瀬ノ灣ニ過ギズ漁港トシテノ名稱ハ下宮田港ナリ。

水底電線 宮田灣口ノ北端矢作埼(ヤハギ)ノ北方ニ大島元村ニ至ル水底電線ノ陸揚地アリ、陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合1,200米迄ハ左右各100米以内其ノ他ハ各200米以内ヲ線路區域ト指定ス。

荒埼 矢作埼ヨリ北西方ニ走ルコト約1湮ニシテ荒埼ニ至ル、荒埼ハ小多和灣口ノ南端ニシテ著シク西方ニ斗出ス○荒埼ノ西南西方約3鏈ニ水深6米ノ

20 **暗岩アリ横掛根ト謂フ。**
上記海岸ノ約中央ニ在ル佃嵐埼(ツクダラ)ヨリ248度約3鏈ニ暗岩**ガンダイ**根アリ岩上水深3.8米。

龜城礁(カメギ) 荒埼西方沖ノ龜城礁ハ險岩ノ集合ニシテ相模灣中最モ恐ルベキモノナリ、其ノ長サ東西約9鏈南北約5鏈ニシテ最淺部ハ低潮時ニ岩頭ヲ簇出シ其ノ中最大ナルモノハ1.4米干出ス○城ヶ島燈臺ヲ152度以下ニ見テ進メバ此ノ礁脈ノ西方ニ導ク。

潮流 龜城礁ノ西方ニ於テハ漲潮流ハ北西方ニ流レ北方ニ進ムニ從ヒ漸次

北偏ス、落潮流ハ龜城礁ノ西方5鏈ノ處ニテハ南西方ニ流レ8鏈ノ處ニテハ南南東方ニ向ヒ其ノ流速各0.8節ナリ。

小多和灣(コタウ) 荒埼ト其ノ北方三浦ヶ埼トノ間ニ在リ東方ニ彎入スルコト約1.3湮ニシテ西風ノ外諸風ヲ遮蔽シ且底質沙泥ニシテ錨搔キ良好ナレドモ灣口ニ多數ノ暗礁アルヲ以テ僅ニ小船ノ泊地タルニ過ギズ○灣首内方ノ武山(タケ)ハ山頂樹木茂リ頗ル顯著ナル目標ナリ、樹頂ノ高サ220米(第25頁参照)。灣口外ニハ**エビ根**、**シラ根**等ノ暗礁アリ○灣内錨地ニ入ル航路ノ兩側ニハ**カサゴ根**及**ツブ根**アリ○灣ノ中央ニ在リテ最モ危險ナル**ホソ根**トシ**舵掛礁**、**中根**等ト共ニ一線上ニ列シ灣内錨地ニ至ル通路ヲ閉塞ス。

灣口南側ニ於テ海岸少シク彎入セル處ニ荒井村落アリ同地海岸ハ小舟ノ達着容易ナリ。

長井町ハ灣口南側ニ在リ人口5,284(昭和5年國勢調査)郵便局アリ電信ヲ取扱フ○町ノ背後ノ丘上ニ地方暴風標アリ。

三浦ヶ埼 小多和灣口ノ北端ニシテ其ノ前面ニハ天神島、笠島等ノ島嶼及其ヨリ北西方ニ點出スル礁脈ノ外端ニハ**オーツブ根**アリ。

三浦ヶ埼ヨリ海岸ハ北西方ニ走ルコト2湮強ニシテ**長者ヶ埼**ニ至リ次デ北方ニ折レ約9鏈ニシテ**芝埼**ニ至ル此ノ一帯海岸ハ岩礁沿布ス。

大楠山(オホクス) 三浦ヶ埼ノ北東方内地ニ大楠山アリ高サ242米三浦半島第一ノ高山ニシテ山頂雜草茂リ遠望顯著ナリ。

20 **新宿灣** 芝埼ノ北方約1.5湮ニ**大埼**アリ其ノ東側ニ在ル開灣ヲ新宿灣ト謂フ、西或ハ南西ノ風ニ暴露シ錨地タルノ價值少シト雖モ向海風時ノミ小船ノ假泊地タリ得ベシ○灣口ノ南端**鐙摺ノ鼻(アブズル)**ノ石陂ノ西側ヲ廻レバ其ノ前面ニ沙濱アリテ小舟ノ達着比較的容易ニシテ附近ニ於ケル好上陸所トス○灣首田越川ヲ挾ミテ逗子町アリ人口15,308(昭和5年國勢調査)省線横須賀線逗子驛及湘南電鐵驛アリ。

大埼ヨリ鎌倉町村木座ニ至ル間ハ斷崖ニシテ概ネ絶壁ヲ成シ其ノ間ニ逗子町ニ屬スル小坪村落アリ。

由井ヶ濱 鎌倉町ノ前面材木座ヨリ坂之下ニ至ル間ノ沙濱ニシテ此ノ濱前面ノ灣ハ海底悪クシテ錨地タルノ價值ナシ、此ノ濱ニ東京帝國大學理學部地震觀測所アリ報時氣象受信専用無線電信ヲ有ス◎鎌倉町ハ人口26,646(昭和5年國勢調査)横須賀線鎌倉驛アリ又此ノ地ヨリ片瀬、藤澤ニ至ル江之島電氣鐵道線ヲ通ズ。

由井ヶ濱ノ沖合ニハシヨウセン根(水深1.5米)、ハイコシ根(水深11.6米)、ツブ根(水深20米)、日暮シノ大根(水深13.5米)、イガイ根(水深4.5米)等ノ淺礁アリ◎此ノ濱ノ西端ニ續ク海岸ノ突出部ヲ稻村ヶ崎ト稱シ白色ノ險崖ナルヲ以テ顯著ナリ。

- 10 **水底電線** 由井ヶ濱中央滑川口西側ニ小笠原群島ニ通ズル水底電線ノ陸揚地アリ、此ノ陸揚地ヨリ沖合1,000米迄ハ線條ノ左右各20米以内、夫ヨリ2,700米迄ハ線條ノ左右各100米以内、夫ヨリ2哩迄ハ線條ノ左右各500米以内ヲ以テ線路區域ト指定ス。

七里ヶ濱〔袖之浦〕 稻村ヶ崎ヨリ江之島ニ至ル約2哩間ノ海濱ニシテ沿濱ニハ腰越津村及片瀬町ニ屬スル人家アリ。

江之島泊地 七里ヶ濱ノ西端ニ在ル江之島ハ高サ60米至岸概ネ險崖ヲ成シ樹木繁茂ス、此ノ島ハ半潮ニ干出スル沙堆ニ由リテ本陸ト連ルモ尙木造棧橋ヲ架設シテ交通ニ便ス、此ノ島ハ對岸片瀬町ニ屬シ島上ニ江之島神社及多數ノ旅館アリ又地方暴風標アリ。

- 20 **泊地**ハ江之島ノ西方ニシテ北至東ノ風ヲ防グト雖モ沙底ニシテ錨搔キ悪ク且常ニ強キ長濤アルヲ以テ安全ナラズ、島ノ東側ハ小動ヶ崎(コユルギ)ト相對シテ其ノ間ニ灣形ヲ成セドモ海底險惡ナルヲ以テ用ヒ難シ◎魚類ハ新鮮ナルモノヲ得ラルルモ野菜ハ乏シ◎片瀬郵便局ニテ電信ヲ取扱フ。

島ノ對岸ニハ鎌倉ヨリ藤澤ニ至ル江之島電氣鐵道線ヲ通ジ又藤澤、原町田ヲ經テ東京市新宿ニ至ル小田原急行電鐵驛アリ◎藤澤町ハ人口25,473(昭和5年國勢調査)附近屈指ノ商業地ナリ。

海岸 江之島ヨリ西方8哩照ヶ崎ニ至ル間ハ海岸總テ平低ノ沙岸ニシテ

相模川〔馬入川〕其ノ間ニ注流ス、相模川口ハ大正12年ノ大地震以來土地隆起ノ爲小舟モ出入困難ト爲リシガ其ノ後浚渫ニ着手セリ。

姥ヶ島 江之島ノ西方3哩距濱1哩ニ在リ東西約4鏈ノ間ニ列布セル群岩ニシテ其ノ最大岩ヲ烏帽子岩ト稱ス高サ16米ノ白色尖岩ニシテ好目標ナリ◎烏帽子岩ノ東方約6鏈ニ大根(水深0.9米)及西北西方7鏈ニ男サウ根(干出岩)アリ◎烏帽子岩ノ北西方約1.1哩ニシテ茅ヶ崎町海岸ニ近ク平島アリ稍姥ヶ島ニ似タル列岩ナリ。

平塚航空標識燈 平塚西方高麗山(195米)著樹ヨリ100度約3.8軒ニ設ク。

照ヶ崎 江之島ノ西方約8哩大磯町ノ前面ニ在ル低キ崎ニシテ其ヨリ岩礁擴延シテ約600米ニ及ブ◎大磯町ハ人口9,693(昭和5年國勢調査)其ノ海岸ニ地方暴風標アリ。

大磯町ノ北西方ニ位スル大山ハ高サ1,260米尖峯ニシテ箱根連峯ヨリ稍東方ニ孤立シ最好目標ナルモ海圖80記載區域ノ外ニ在リ。

海岸 海岸ハ照ヶ崎ヨリ漸次南方ニ折レ約16哩ニシテ眞鶴崎ニ至ル此ノ間概ネ沙岸ナレドモ石橋村落附近ヨリ岩岸ト爲ル◎國府津附近ノ海岸ハ顯著ナル深水ニシテ200米界ハ距岸0.5哩ニ通ル。

國府津町 照ヶ崎ノ西方5.5哩ニ在リ人口4,493(昭和5年國勢調査)◎東方ヨリ來レル東海道本線ハ之ヨリ海岸ヲ辭シテ北西方ニ走り、熱海線ハ此ノ地ヨリ分レテ南走ス◎國府津驛背後ノ斷崖ハ顯著ニシテ遙ノ海上ヨリ容易ニ識別シ得ベシ。

小田原町 相模灣首ノ西端ニ在リ酒匂川口ノ西側箱根山ノ東麓ニ位シ人口26,102(昭和5年國勢調査)◎熱海線當地ヲ通ズル外松田、秦野、厚木、原町田ヲ經テ東京市新宿ニ至ル小田原急行電鐵線、大雄山ニ至ル大雄山鐵道線(電車)及強羅(電車)ヲ經テ早雲山(鋼索線)ニ至ル箱根登山鐵道線ノ各起點地タリ、又三島町ヲ經テ沼津市ニ至ル乗合自動車便アリ。

前面ノ海ハ全ク露開セルヲ以テ繫船ニ便ナラズ又附近ノ海岸ハ無風或ハ北風微

吹スルトキノ外小舟ノ達着困難ナリ○町ノ西端ニ近ク閑院宮御別邸アリ其ノ建築物ハ顯著ニシテ20湮以上ヨリ容易ニ識別シ得ベク好目標ナリ○海岸ニ地方暴風標アリ。

大根 眞鶴港口北端ノ北方約8鏈距岸約100米ニ在ル高サ1.3米ノ岩ニシテ之ヨリ岩脈約1.5鏈ノ間南東方ニ延出ス。

眞鶴港(マナヅル) 眞鶴埼ノ北側ニ在ル漁港ナリ港口最モ狭キ處ハ約200米灣入約300米ニシテ東至南東ノ風強吹スルトキハ高浪浸入スルモ其ノ他ノ風ニテハ小船ノ避泊ニ適ス、底質泥沙ニシテ錨搔キ悪シカラズ、但シ港口ニ南北防波堤ヲ築設シ港内海岸ヲ埋立テ護岸ヲ行フ修築工事ノ計畫成リ防波堤ハ現在10 工事施行中ニ屬ス。

港首ノ眞鶴町ハ人口4,084(昭和5年國勢調査)郵便局アリ○魚類及多少ノ野菜ヲ辨ジ得ベシ、海岸ニ2箇ノ井戸アレドモ鹹味アリ高所ノ井水ヲ汲メバ1乃至2噸ノ水ハ容易ニ得ラルベシ○町ノ南側丘上ニ無線電信柱アリ海軍ニ屬ス○眞鶴小學校構内ニ地方暴風標アリ。

北防波堤燈臺 北防波堤先端ニ設ク、紅塗圓筒形「コンクリート」造○燈高、礎上11.1米、平均水面上13米。

眞鶴航空標識燈 眞鶴町南南東方無線電信柱ノ西方至近ニ設ク。

眞鶴埼至石室埼

眞鶴埼ノ西方2.4湮ニ在ル千年川ハ神奈川縣ト静岡縣トノ境界ヲ成シ其ノ以南石室埼ニ至ル間ハ即チ伊豆半島ナリ、半島ハ富士火山帯ニ屬シ箱根ノ連山南方ニ伸ビ半島東部ノ脊梁ヲ成シ到ル處温泉湧出ス、地勢概ネ峻シク沿岸險崖ニ富ミ山嶽重疊シテ平野ヲ見ズ○沿岸ニハ熱海、網代、伊東及下田等ノ諸港アレドモ何レモ常ニ安全ナル泊地タル能ハズ○伊東以南ニ至リテハ交通未ダ不便ニシテ山路ヲ自動車ニ依ル外主トシテ海上交通ニ依ル。

漁網 沿岸處々ニ漁網アリテ距岸1湮餘ニ達スルモノアリ注意ヲ要ス。

交通 伊豆半島沿岸ノ交通ハ主トシテ東京灣汽船會社ノ經營ニ屬シ熱海伊東間及熱海下田間(伊東、熱川、稻取、河津經由)ニ1日往復各1回宛ノ定期

航海ヲ爲ス。

眞鶴埼 此ノ埼ハ小田原町ノ南方約6.5湮ニ在リ南東方ヘ斗出スルコト約1.5湮遠望顯著ナル舌狀ノ埼ニシテ城ヶ島ト相對シテ相模灣口ノ西端ヲ成ス○埼端ヨリ南東方ニ向ヒ約3.5鏈ノ間礁脈伸出シ其ノ外端ニ近ク笠島アリ高サ18米ノ巨岩ニシテ岩頭3箇ニ分ルヲ以テ三ツ石ナル別名アリ。

眞鶴埼ヨリ南方約11.5湮川奈埼ニ至ル間ノ海岸ハ屈曲シテ稍灣形ヲ成ス處數箇所アリ。

吉濱泊地 眞鶴埼ノ西側ナル吉濱村前面ノ開灣内水深10乃至20米泥沙底ノ處ハ風向ニ依リ假泊スルヲ得ベシ、吉濱村ハ人口3,704(昭和5年國勢調査)郵便局アリ電信ヲ取扱フ。

村ノ南方千年川ノ上流山間ニ湯河原町アリ人口5,400(昭和5年國勢調査)温泉地トシテ名アリ。

十國峠航空標識燈 眞鶴町ノ西方約9.5軒ニ位スル日金山頂ニ設ク。

熱海泊地 眞鶴埼ノ南西方約5湮ニ在ル開灣ニシテ偏東風ニ全ク暴露スルモ其ノ他ノ風ニハ熱海町ノ前面水深14米底質泥沙ノ處ハ一時ノ錨地ト爲スヲ得○灣岸ハ左右岩岸中央礫岸其ノ前面淺瀬ニシテ上陸所ハ町ノ北端ニ在リ岩上ニ小舟ヲ引揚ゲテ上陸ス。

熱海町ハ人口13,121(昭和5年國勢調査)温泉ヲ以テ名アリ郵便局アリ○國府津ヨリ分歧セル熱海線ノ終點驛アリ目下更ニ伊豆山脈ヲ横斷シ沼津ニ達スル線路延長工事中ニ屬ス尙伊東トノ間ノ鐵道モ工事中ナリ、沼津市及伊東町ヘハ乗合自動車ノ便アリ○町ノ北東方約1湮ニ在ル伊豆山村落ハ熱海町ニ屬シ温泉地ナリ。

灣ノ北部ニ在ル白色ノ險崖ハ識別シ易シ○90米丘頂東方ノ東京陸軍衛戍病院熱海分院及其ノ北東方險崖上ニ在ル赤塗ノ熱海「ホテル」ハ海上ヨリノ好目標ナリ○熱海町北方ノ岩戸山(高サ734米)ハ同地ヲ識別スル好目標ナリ○夜間ノ好目標トシテハ熱海驛北西方山腹萬平「ホテル」構内(エビスビール)及驛前「アサヒ」食堂ノ各「ネオン」廣告燈竝ニ十國峠航空標識燈ヲ算ス。

暗礁 魚見埼ノ東方約1.5鏈ニソーダイ根ト稱スル暗礁アリ礁上水深0.5米又同埼ノ北東方約3鏈ニビタガ根ト稱スル暗礁アリ礁上水深10米。

初島 熱海泊地ノ南東方約5.5湮ニ在リ「ハツシマ」トモ稱シ「ハシマ」トモ呼ビ高サ51米ノ平低嶼ニシテ熱海町ニ屬ス○島ノ周圍少許ノ間ハ淺瀬ヲ以テ圍ム、海上靜穩ナルトキハ島ノ西側及北側ニ舟艇ヲ達着シ得。

網代港 (アジロ) 熱海泊地ノ南方2.5湮餘ニ在リ、偏北東ノ諸風ニ暴露スルモ南、西及北ノ3面ハ山嶺ヲ以テ圍マルルガ故ニ伊豆半島東岸中ニテハ最良ノ港ナリ○錨地ハ江川埼ノ西方約4鏈網代町ノ前面水深約40米沙泥底ノ處ヲ可トス、小船ハ更ニ陸岸ニ近ク錨泊セバ北東強風ニモ割合ニ安全ナルヲ得ベシ。

10

網代町ハ人口3,536(昭和5年國勢調査)魚類ヲ辨ズルモ野菜ハ少シ、郵便局アリ。

地方暴風標 網代町海岸ニ地方暴風標アリ。

風候 網代港附近ニ於テハ1月及2月ハ偏西又ハ偏北風多ク概ネ晴天ナリ、3月及4月ハ北東風多ク5月至8月ハ偏南又ハ偏東風多シ、9月及10月ハ偏南又ハ偏東ノ風アリテ時々暴風雨アリ、11月及12月ハ偏北又ハ偏西風アリ、然レドモ四季共ニ港内波荒キヲ見ズ。

宇佐美灣 江川埼ノ南方2.5湮ニ在ル大埼ノ西側ニ位スル開灣ニシテ露開セル錨地ニ過ギザルモ舟艇ヲ入ルベキ防波堤アリ、灣首ニ宇佐美村アリ人口3,741(昭和5年國勢調査)郵便局アリ電話ヲ以テ伊東郵便局ヲ介シ電信事務ヲ取扱フ。

20

伊東港 宇佐美灣ノ南方2湮ニ在ル開灣ニシテ錨泊安全トハ稱シ難シ、偏東ノ風浪ニ對シ漁船ノ碇繫ヲ安カラシムル爲伊東町ノ東部ニ海岸ト直角ニ長短2基ノ防波堤アリ。

伊東町ハ人口16,433(昭和5年國勢調査)溫泉ヲ以テ知ラル、静岡縣水産試験場分場(構内ニ地方暴風標アリ)及郵便局アリ○當地ヨリ熱海線ニ連絡スル定期自動車運行ス又沼津市及駿豆鐵道修善寺驛ニ至ル乗合自動車便アリ、尙最近

沼津方面ヲ經テ下田ニ至ル道路開通シ乗合自動車運轉ス。

大川口ノ南東方約200米ニ長サ63.7米ノ製氷會社棧橋(錆色)アリ端末ハ高サ平均水面上2.4米アリ、瓦斯會社黑色「タンク」大川口北岸ノ白塗海濱病院ト共ニ著明ナル目標ナリ。

警戒 港外手石島(高サ40米)ノ北西方1,300米附近ニ漁網ヲ展張スルコトアリ夜間入港スル船舶ハ手石島ノ北西方8鏈ヨリ大川口ニ至ル一線以南ノ海面ニ進入セザル様注意ヲ要ス○又手石島東方ノ水上岩尾根(高サ2.5米)ハ特ニ夜間航行ニ際シ危険ナリ。

上陸所 上記製氷會社棧橋又ハ其ノ東側ノ東京灣汽船會社棧橋ヲ利用スルカ或ハ沙濱ニ小舟ヲ寄セテ上陸スルヲ得ベシ、靜穩ナラザルトキハ防波堤内方海岸ヨリスルカ若ハ高潮時ヲ選ビ大川ニ入ルカ何レカヨリ他ニ適當ナル上陸所ナシ。

10

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數並ニ噸數及移出入品價額下ノ如シ。

隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
5,167	183,293	809,583 圓	2,651,635 圓
(内汽船) 1,785	149,872		

移出品ノ主ナルモノハ鮮魚介、魚節等ニシテ移入品ノ主ナルモノハ鮮魚介、米、木材、和洋酒、製造煙草等ナリ。

川奈港 手石島南方1湮強ニ在ル灣入部ニシテ露開セル錨地ニ過ギザレドモ漁港トシテハ防波堤アリテ漁舟ヲ保護ス、灣首ノ川奈村落ニ郵便局アリ電話ヲ以テ伊東郵便局ヲ介シ電信事務ヲ取扱フ。

20

諸山 川奈港内方ノ小室山(高サ321米)及大室山(高サ590米)ハ共ニ無樹ノ圓形山ニシテ雜草生ズ○大室山ノ西南西方3.5軒ニ在ル矢筈山ハ山頂ニ顯著ナル磊石アリテ特種ノ形狀ヲ呈ス(南東方ヨリ望メバ双頭ナリ)○矢筈山南西方ノ天城山(高サ1,405米)ハ半島中部ニ崛起スル最高峯ニシテ顯著ナルモ交叉方位ノ目標トシテハ尖銳ヲ缺クノ嫌アルノミナラズ雲ニ蔽ハレテ山頂見エザ

ルコト多シ (第 68 頁對面對景圖第 3 参照)。

日蓮埼 川奈埼ノ南方約 5 湮ニ在リ此ノ附近ハ黑色ノ岩岸ヨリ成リ極メテ急深ニシテ距岸 3 鏈ノ處 200 米ノ水深アリ、埼上蓮着寺ノ石燈籠ハ毎夜點燈シアルモ極メテ接近セザレバ認メ難シ夜間又ハ雨中等ニハ接近セザルヲ可トス。

海岸 日蓮埼ヨリ南西方爪木埼ニ至ル約 15 湮間ノ海岸ハ概ネ高ク且平カナル岩岸ニシテ急深ナリ而シテ稻取及外浦ノ 2 小港アル外他ニ錨地トスベキ處ナシ◎熱川(アタカハ)及河津ニ温泉アリ。

稻取燈臺 稻取町ノ北東方ニ設ク、白塗六角形石造◎燈高、礎上 3.3 米、
10 平均水面上 129.1 米◎此ノ燈臺ハ之ニ接近スルニ非ザレバ光力弱キ爲好晴ノ夜ニテモ發見困難ニシテ晝間目標トシテノ燈臺自體モ認メ易カラザルヲ現状トス。

稻取港 日蓮埼ノ南西方 8 湮ニ在ル 1 小港ナリ、其ノ南側ニ稻取岬アリテ南西至南東ノ間ヲ遮ルガ故ニ南或ハ西ノ風ニハ小船ノ錨地ニ適ス港内水深 2 乃至 9 米沙底ナリ本港ハ近ク修築工事ヲ起ス豫定ナリ◎昭和 6 年ノ調ニ依レバ出入船舶ノ隻數ハ伊東港ト比較シ汽船ニ於テ約同數、發動機船ニ於テ約 $\frac{1}{3}$ ヲ算ス。

稻取町ハ人口 6,292 (昭和 5 年國勢調査) 魚類豊富ニシテ此ノ地ニ郵便局アリ◎稻取町役場内ニ地方暴風標アリ。

20 **水底電線** 稻取港ノ南西方約 3 湮ノ處(河津川口ノ北方)ヨリ大島元村ノ北側濱及新島本村泊地海岸迄各 1 條ノ水底電線ヲ敷設シアリ、河津陸揚地ヨリ前者ハ沖合 915 米迄ハ線條ノ左右ニ設置シアル各 2 箇ノ陸標ニ依リテ標示スル 2 條ノ直線以內、其ノ他ハ線條ノ左右各 180 米以內又後者ハ沖合 1,000 米迄ハ線條ノ左右各 50 米以內其ノ他ハ線條ノ左右各 200 米以內ヲ以テ線路區域ト指定ス。

暗岩 河津川口ノ南方尾ヶ埼ヨリ南方約 1 湮ニ水深 6.4 米岩及其ノ北西方陸岸トノ間ニ水深 4.6 米岩アリ。

外浦灣(ソトウラ) 爪木埼ノ北西方 1 湮餘ニ在リ幅約 2 鏈水深 3 乃至 8 米底質沙及岩ノ小灣ニシテ小船ノ假泊地タルニ過ギズ◎灣ノ南側ニ外浦村落アリ。

灣ノ前面ニハ小嶼岩礁多ク其ノ最大ナルモノヲ輪島(高サ 14 米)ト謂フ之ト灣口南側ノ筆島(高サ 20 米)トノ間ハ灣ニ入ルノ航路ニシテ幅約 1.5 鏈ニ過ギズ◎前記小嶼岩礁中最モ外方ニ在ルハ高潮ニ没スル佐久根ニシテ航路上ニ位スルヲ以テ夜間航行ニ際シ特ニ危険ナル存在ナリ。

爪木埼 伊豆半島ノ南東角ニシテ其ヨリ數多ノ岩礁海中ニ擴延シ其ノ最外端ニ 1 岩島アリ高サ 33 米、此ノ岩島ノ北方 2.5 鏈ニ水深 2 米ヨリ淺キ暗岩アリ◎埼ノ東南東方約 2 湮ノ處ニハ海底ニ著シキ變化アリ水深 109 米ヨリ急激ニ
237 米ニ増加ス漁夫ハ之ヲ「ガンガラ」岩ト謂フ◎埼ノ北東方約 4 湮水深 117 米ノ海底ニ人工漁礁トシテ廢潜水艦 1 隻ヲ沈置シアリ船體上ノ最淺水深 113 米ナルヲ以テ船舶ノ航行ニハ何等支障ナシ。

爪木埼ヨリ下田港ニ至ル約 2 湮間ノ海岸ハ岸線屈曲シテ惠比須島(高サ 37 米)、**ジウガ根**(干出 1.5 米)其ノ他ノ岩嶼暗岩多ク水深不規則ナルヲ以テ距岸 8 鏈以內ニ接近スベカラズ。

潮流 爪木埼附近ハ潮流強ク常ニ 2 節餘ノ速サヲ有ス其ノ方向ハ風位ニ依リテ變化スト雖モ概シテ漲潮流ハ南西方ニ落潮流ハ北東方ニ流ル、落潮流ガ黒潮ト合スル場合ニハ其ノ流速漲潮流ヨリ稍強シ土俗之ヲ眞潮ト唱フ。

下田港(海圖 96 分圖) 共ニ埼頂ニ松林ヲ有スル洲佐利埼(スサリ)ト
20 狼煙埼(ノロシ)トノ間ニ彎入シ赤根島ノ南端ヨリ正東ニ引キタル一線ヲ以テ港界ト爲シ三方陸地ニ圍マルルガ故ニ此ノ附近ニ於ケル良港ト稱スルヲ得ベシ、然レドモ港内狭キヲ以テ大船ノ泊地タルニ適セズ又偏南若ハ南西風吹クトキハ港外ヨリ波濤侵入シ來リ錨泊困難ナルヲ缺點トス(第 68 頁對面對景圖第 2 参照)◎目下稻生澤川口浚渫、岸壁築造等修築工事施行中ナリ。

下田町 港首ノ西端稻生澤川(イノウザワ)下流ノ西側ニ在リ人口 7,679 (昭和 5 年國勢調査)、町役場、警察署、郵便局(局内ニ無線電信局アリ、通信距離

ハ50 湮ニシテ御藏島、神津島及八丈島各局トノ間ニ於テ交信ス)等アリ○町ノ北方ニ立ツ下田富士(高サ192米)ハ樹木多キ圓錐形ノ峯ニシテ入港目標トスルニ足ル(第68頁對面對景圖第2參照)、更ニ其ノ北方ニハ蓮臺寺溫泉アリ○上陸所ハ町ノ南端附近ニ在リ。

險礁 狼煙埼ノ南側ニハ干出岩及暗岩散在ス其ノ最モ東ニ在ルヲカサ根(水深6.4米)トス○大流礁(オホナガレ)ハ港口ノ中央ヨリ少シク東方ニ偏在スル危險ナル暗礁ニシテ礁上水深3.1米周圍急深ナリ○女郎岩ハ港首西方距岸70米ニ在リ高潮ニ洗フ(高サ1.2米)○女郎岩ト雌鳩島トノ約中央及雌鳩島ト犬走島トノ間ニ各淺礁アリ。

- 10 **和歌ノ浦** 樹頂ノ高サ96米ナル城山〔鷓島〕ノ南側ト赤根島トノ間ニ在ル小港ニシテ港口東ニ面シ東西兩側ニハ防波堤ヲ築造シアルヲ以テ港内ハ小舟ノ避泊ニ適ス。

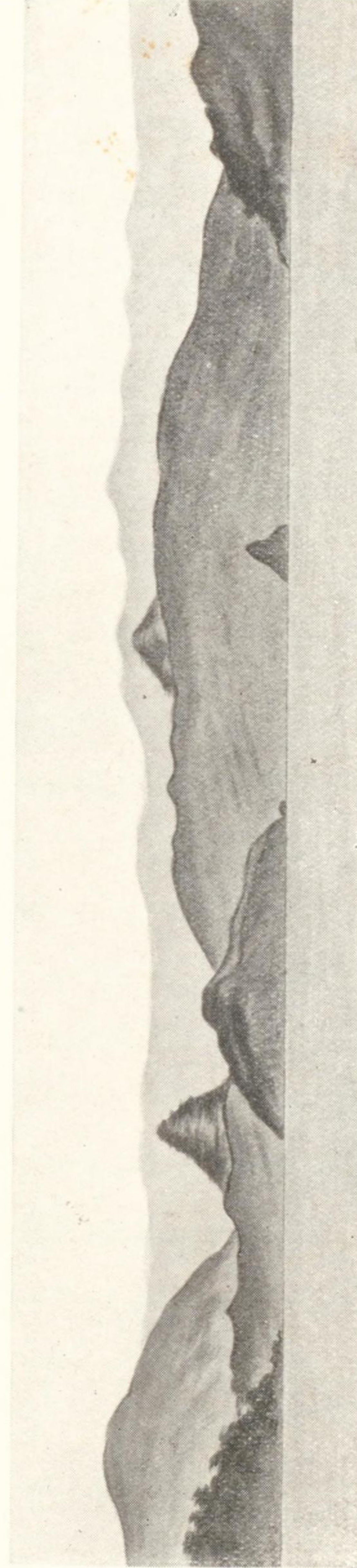
島嶼 赤根島ハ港ノ西側ニ位スル樹木多キ島(高サ84米)ニシテ其ノ南面ハ赭色ノ險崖ヲ成シ顯著ナリ、島周ハ此ノ一面ヲ除ク外總テ岩嶼及干出岩ヲ以テ圍ム(第68頁對面對景圖第2參照)○犬走島(イヌバシリ)ハ港ノ中央ニ位シ高サ47米樹木多キ圓錐形ノ島ニシテ脚部ニ洞穴アリ島ノ東側ハ淺瀬ヲ繞ラシ其ノ縁附近ニ數箇ノ干出岩アリ(第68頁對面對景圖第2參照)○雌鳩島(ミサゴ)ハ犬走島ノ北方ニ在リ矮樹茂リ高サ17米犬走島ト共ニ好目標ヲ成ス○辨天島ハ雌鳩島ノ東方港首ニ在リ白色ヲ呈シ投錨ノ好目標ナリ。

- 20 **錨地** 雌鳩島頂ヲ338度犬走島頂ヲ234度ニ望ミ水深9.6米沙泥底ノ處ヲ好錨地トス○小形船舶ハ犬走島西端ト雌鳩島西端トノ一線ノ中央ヨリ稍西方ニ泊スルヲ便トス、然レドモ8月9月頃殊ニ多キ偏南若ハ南西風起ルトキハ錨泊不安ナルヲ以テ港ノ東側赤埼ト辨天島トノ一線ノ中央或ハ少シク其ノ内方ニ投錨セバ比較的安全ナリ。

針路法 東方ヨリ來リ下田港ニ入港セントスルトキハ須崎漁港ノ南方約0.5湮ニ互リテ擴延セル「ジヨウガ」根礁脈ヲ遠ク避クルヲ要ス○下田港口ニ近ヅキタルトキ雌鳩島ノ西端ヲ犬走島ノ東端ト一線11度ニ見テ進メバ大流礁

第68頁對面

第2 下田港 (南方ヨリ望ム)



第2

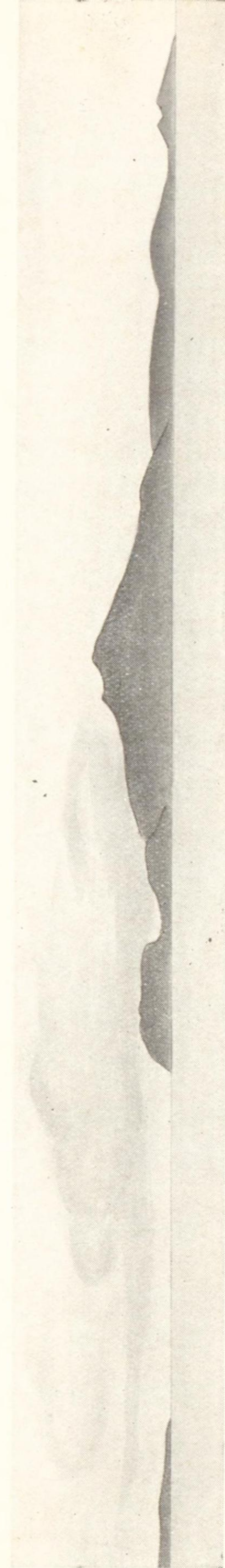
犬走島

赤根島

下田富士 349度3.5湮

駿河灣口 (西方ヨリ望ム)

第3



御前埼 47度16.5湮

天城山 62度57湮

ト赤根島附近ノ岩礁トノ中央ヲ通航シ得ベシ、次デ大流礁ノ正横ニ達シタル頃ヨリ適宜錨地ニ進入スベシ、犬走島東側ニハ礁脈擴延スルヲ以テ過度ニ接近スベカラズ。

地方暴風標 町ノ南端川岸ニ地方暴風標アリ。

船渠 稻生澤川口ニ小船渠（最大入渠船舶總噸數 500 噸）アリ帆船ノ修理ヲ爲ス其ノ要目次ノ如シ。

構 造	長 サ (米)		幅 (米)		渠口幅(米)		渠口水深(米)	
	上 部	下 部	上 部	下 部	上 部	下 部	高 潮	低 潮
石 造	54.2	52.2	13.3	9.3	10.7	9.1	3.8	2.3

物資 米、野菜、魚肉其ノ他普通ノ日用品ヲ辨ジ得ベシ◎汲水所ハ下田町ノ武ヶ濱ト港ノ東濱赤埼トニ各1箇所アリ水質佳良ナレドモ其ノ量多カラズ、故ニ入港船舶ハ東京灣汽船會社ノ經營ニ係ル稻生澤川上流ノ汲取河水ヲ飲用ニ供ス四季共ニ多量ニシテ其ノ價1噸ニ付突堤内40錢、川外錨地50錢ナリ。 10

交通 東京灣汽船會社ハ東京、大島、下田間毎日1回、熱海、下田間（伊東、熱川、稻取、河津經由）毎日1回及沼津、下田間（戸田、土肥、田子、仁科、松崎、子浦、妻良經由）毎日1回ノ各定期航海ヲ營ミ尙東京、三宅島、八丈島間ノ定期船ハ月3回往復共當港ニ寄港ス◎蓮臺寺附近ニ至ル馬車鐵道アリ又修善寺驛ニ至リテ駿豆鐵道ニ連絡スル定期自動車便アリ、尙最近ハ沼津、伊東ヲ經テ熱海ニ通ズル乗合自動車便アリ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數竝ニ噸數及移出入品價額下ノ如シ。

隻數	噸數	移出品價額	移入品價額	
10,090	766,510	3,421,463 圓	4,203,483 圓	20
(内汽船) 1,820	512,290			

毎年4月5月頃ヨリ10月頃迄ノ漁期中ハ常ニ100隻以上ノ漁船輻輳ス、又11月頃ヨリ1月迄ハ偏西風最強ノ時期ナルヲ以テ此ノ期間ニハ帆船ノ避泊スルモ

ノ多シ。

移出品ノ主ナルモノハ 鑛石、薪及木炭、鮮魚介、石花菜、石材、魚節等ニシテ移入品ノ主ナルモノハ 和洋酒、内地米、砂糖、絹及綿織物、煙草、礦油等ナリ。

大浦灣 狼煙埼北東側ノ小灣ナリ灣内水深4乃至14米ナリト雖モ埼ノ北側ニ接シタル一部分ノ外ハ岩礁散在シ且偏南風起ルトキハ大浪起リ錨泊ニ適セズ。

湊錨地 (海圖96分圖) 下田港ノ南西方4哩ニ位スル小灣ニシテ灣内狹隘且岩礁多ク僅ニ小形船舶ノ入泊ヲ許スノミ而モ南東方ニ露開セルヲ以テ良好ナル錨地ト稱シ難シ◎高潮時ニハ短艇ニテ手石川ヲ遡航シ得◎灣首東端ニ海軍病院アリ其ノ前面海岸松原ニ黑白塗菱形頭標附黑白横線塗木造竿2箇ヨリ成ル導標アリ此ノ2立標一線上ニ神子元島アリ船舶出入ニ當リ目標ヲ供ス。

神子元島 (ミコモト) 湊錨地ヨリ導標一線上約4哩ニ在リ海面ニ屹立セル岩島ニシテ高サ32米南東方ヨリ北西方ニ向ヒテ長ク其ノ長サ2.5鏈雜草蘚苔密生ス(第284頁對面對景圖第27參照)◎島周ニハ岩礁散布シ3鏈以內ニ近寄ルベカラズ唯西側ニ1小凹アリ小舟ノ上陸所トス◎島ノ南東端ヨリ南東方約1.5鏈ニ沈船アリ(汽船神壽丸、昭和2年)。

神子元島燈臺 島ノ最高處ニ設ク、黑白横線塗圓形石造◎燈高、礎上18.2米、平均水面上50.6米。

20 險礁 神子元島ト陸岸トノ間ニハ**十六根**(水深7.8米)**横根**(2岩ヨリ成リ大ナルモノハ高サ14米)**平根**(高サ2.9米)**トヨ根**(高サ7.1米)**石取根**(高サ16米)**サク根**(高サ1.2米、周圍ニハ水深9米ヨリ淺キ岩頭多數點在ス)等ノ險礁アリ、此等ハ一連ノ礁脈上ニ在リ各礁間ノ水深不齊ニシテ且海底危險ナルヲ以テ大形船舶ハ成ルベク神子元島ノ南方ヲ通航スルヲ可トス。

潮流 神子元島北方約1哩ニ於テハ西流(漲潮流)ハ低潮後約2時ヨリ高潮後約2時迄、東流(落潮流)ハ高潮後約2時ヨリ低潮後約2時迄流レ大潮ノ最強流速3節ニ達ス、但シ此ノ附近ニハ時トシテ強勢ナル海流アリテ潮流ヲ壓

シ終日東流シ最強流速5節ヲ驗シタルコトアリ◎島ノ北西方及北方ニ湍潮ヲ見ルコトアリ是海底ノ凹凸不齊ニ起因スルモノナルベシ。

氣象 神子元島附近ハ地勢ノ關係上天候特ニ變化シ易ク何等ノ前兆ナクシテ南西強風ノ突然北東強風ニ變ジ又北東強風ノ俄ニ南西強風ニ變ズルハ屢實驗スル處ニシテ此等ノ強風ト強キ海流潮流トノ爲此ノ附近ノ海上ハ狂瀾怒濤ヲ起スコト珍シカラズ。

長津呂港 (ナガツロ) 石室埼ノ東側ニ在ル狹長ナル漁港ニシテ水深3乃至18米沙底ナリ◎港首ノ長津呂村落ニ郵便局アリ電信ヲ取扱フ。

石室埼 (イロウ) 伊豆半島ノ最南端ニシテ峻シキ高岩嘴ナリ◎埼上燈臺ニ隣接シテ嘗テ存在セシ中央氣象臺附屬長津呂測候所ノ跡アリ。

石室埼燈臺 埼上ニ設ク、白塗圓形「コンクリート」造◎燈高、礎上9米、平均水面上59.9米。

無線標識局 石室埼燈臺敷地内ニ石室埼無線方位信號所ヲ設ケ無線標識局業務ヲ行フ(水路誌附錄第3卷參照)。

氣象 舊長津呂測候所ニ於ケル5箇年間ノ觀測ニ依レバ石室埼附近ノ風ハ全年ヲ通ジテ北東風(特ニ8月9月10月)及西風(特ニ1月至3月及11月12月)最モ多ク全觀測回数中各約其ノ $\frac{1}{4}$ ヲ占メ夏季ハ東風次デ南西風、冬季ハ北風又ハ西風多シ◎暴風日數ハ5月、6月、7月及8月ノ17乃至19日ヲ最少トシ其ノ他ノ月ハ22乃至28日ニ達シ1月ヲ最多トス◎濃霧ハ割合ニ少ク3月至7月ノ間毎月1乃至2日ヲ見ルニ過ギズ。

駿河灣

石室埼ヨリ御前埼ニ至ル30哩ノ間ヲ灣口(第68頁對面對景圖第3參照)トシ其ヨリ北東方ヘ彎入スルコト約33哩ニシテ灣内水深甚ダ深ク2,000米ヲ超ユル所アリ、御前埼附近ノ外航行ノ妨ゲト爲ルモノナシ◎灣岸ニハ清水港、内浦ノ外東濱ニ小港三、四アリ◎南西風吹クトキハ灣内波濤高シ。

石花海 (セノウミ) 灣口ノ中央ニ石花海ト稱スル1大堆アリ水深概ネ200米以下ニシテ其ノ北端ニ近ク32米ノ淺所アリ、此ノ淺所ノ西方直近ニ漁礁築

設ノ爲艦首ヲ南南西方ニ向ク廢驅逐艦1隻ヲ沈置シアリ本沈置物上端ノ水深ハ47米ナリト謂フ。

石花海附近ニ於ケル潮流ハ不規則ニシテ常ニ其ノ方向ヲ變轉ス漁夫ハ之ヲ「石花海ノ七變化(ナナカハリ)」ト稱ス。

漁網 駿河灣沿岸全周ヲ通ジ四季ヲ問ハズ何處ニカ距岸2哩以内ニ互リ漁網ノ展張セラレアルヲ常トス航行船舶ハ宜シク警戒ノ要アリ。

交通 東京灣汽船會社ハ伊豆半島西岸及南岸(沼津、戸田、土肥、田子、仁科、松崎、子浦、妻良、下田間)ニ定期航路ヲ經營ス即チ沼津土肥間毎日往復各1回、沼津松崎間毎日往復各2回、沼津妻良間毎日往復各1回、沼津下田間毎日往復各1回トス。

沼津ヨリ清水ヲ經テ御前崎ノ北隣ニ至ル迄ハ鐵道線ヲ以テ連結セラル○伊豆半島西岸ヲ除キ概ネ乗合自動車ノ便アリ。

海流 黒潮ノ一部ハ御前崎沖ヨリ伊豆半島西岸ノ波勝崎ヲ衝キ2派ニ分レ北派ハ半島西岸ニ沿ヒ北流ス漁夫ハ之ヲ本潮(ホンジオ)ト謂フ、此ノ海流ハ大瀬崎ノ北方原町海岸ニ到リ更ニ2支ニ分レ其ノ1支ハ東流シテ時針ノ方向ニ内浦内ヲ一周シ大瀬崎ニ至リテ原流ニ合ス、他ノ1支ハ西流シテ由比、興津ノ海岸ニ沿ヒ御前崎ニ至リ同崎ヨリ更ニ西方白羽ノ沖合ニ流ルルモノト南流シテ本流ニ合スルモノトノ2派ニ分ル。

6月7月ノ頃ニ至レバ波勝崎附近ヲ衝ケル海流ハ更ニ1分流ヲ生ジ大井川尻附近ニ向フ漁夫ハ之ヲ中潮掛(ナカシオカケ)ト稱ス、此ノ分流ハ永續スルコト稀ニシテ僅々一兩日若ハ數日ニ互ルコトアリ或ハ又二、三箇月中斷シテ再ビ來ルコトアリ、大井川、安倍川ノ氾濫期ニハ河水ニ左右セラレテ跡ヲ絶ツ而シテ一般ニ來襲スルモノ不規則ノモノタルヲ免レズ。

本潮ハ年中殆ド持續シ天候及季節ニ依リ流速ニ變化アルモ通例其ノ速サ1箇内外ナルガ如シ而シテ偏南風強吹スルトキハ流速ヲ増シ高低潮時ニハ流勢微弱ト爲ル又落潮時ノ流速ハ漲潮時ニ比シ大ナルガ如シ即チ潮汐ノ爲其ノ流速ニ變化アリ。

春分前後ニ於テハ黃色ヲ帶ブル低溫ノ海流灣内ニ流入スルヲ石花海附近ニ於テ見ルコトアリ溫度低キガ故ニ寒流ノ一部ナルガ如シ季節ノ替リ目ニ此ノ黃色流ノ來襲スルヲ寒流ノ終トシテ暖流魚タル鯉ノ漁期ニ入ルト謂フ。

氣象 伊豆半島西岸及沼津港附近ハ冬季信風ニ暴露シ偏西強風頗ル卓越ス、此ノ地方夏季氣溫高ク30度ヲ超過スル所アリ。

駿河灣沿岸主要地ニ於ケル氣候表次ノ如シ。

平均最高氣溫														
月別 觀測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年	統計年
沼津	11.4	11.9	14.2	19.0	22.3	25.3	28.7	30.6	27.5	22.8	18.3	13.6	20.5	明治30年至昭和元年 30年間
興津	10.4	11.3	13.7	18.5	21.8	24.8	28.7	30.2	27.5	22.4	18.0	12.9	20.0	大正5年至同14年 14年間

平均最低氣溫														
月別 觀測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年	統計年
沼津	0.5	1.1	3.8	9.2	13.0	17.7	21.7	22.4	19.5	13.4	7.7	2.6	11.1	明治30年至昭和元年 30年間
興津	1.1	2.2	4.1	9.8	13.3	17.9	22.0	22.6	20.1	14.3	8.8	3.5	11.6	大正5年至同14年 10年間

平均降水量														
月別 觀測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年	統計年
沼津	86	86	148	185	176	239	233	260	297	200	106	79	2094	明治30年至昭和元年 30年間
興津	63	142	146	215	236	251	251	309	366	247	99	67	2392	大正5年至同14年 10年間

石室崎至大瀬崎

此ノ沿岸即チ駿河灣ノ東濱ハ一般ニ險崖ヨリ成リ岸線屈曲多ク妻良子浦港、田子港、安良里港、戸田港等ノ小港アリ、風向ノ變化常ナキ爲帆船ハ港口ニ近ヅクモ入港シ能ハザルコト屢アリト謂フ。

鯉島 石室崎ノ西方1哩距岸4鏈ニ在リ高サ26米黒色ノ不毛ナル島ニシテ識別シ易シ。

中木港 大根島ノ北方ニ在ル漁港ニシテ港口南方ニ面スレドモ港外ニ岩嶼

アリテ大浪ヲ遮ルヲ以テ和船及西洋形帆船ノ避泊スルモノ多シ。

三ツ石崎 石室崎ト妻良子浦港トノ約中央ニ在ル高サ201米ノ尖頂ナル崎ニシテ海方面ハ懸崖絶壁ヲ成シ顯著ナリ、崎端ニ3箇ノ尖岩アリ其ノ最外方岩ヨリ海方2鏈ノ處ニ危険ナル洗岩アリ。

妻良子浦港 (メラコウラ)(海圖84分圖) 三ツ石崎ト波勝崎トノ中間ニ在リテ京ノ字島ト龍崎ト相對シテ港口ヲ成ス、港口幅約4鏈彎入約6鏈港内中央部ノ水深12乃至15米沙底ニシテ錨搔キ善キモ偏西風ニ暴露ス、11月至翌年3月迄ハ西風特ニ強シ。

港内ハ更ニ子浦港及妻良港ナル2小港ニ分ル子浦村落ニ三濱村役場及郵便局アリ◎魚類ヲ得ベク又子浦港海上ニ在ル給水装置ニ依リ淡水ヲ辨ジ得ベシ。

錨地 大形船舶ハ港口附近ニ於テ根ヶ崎ヲ93度ニ小宇留井島西端ヲ355度ニ望ム水深23米沙底ノ處ヲ可トシ小形船舶ハ更ニ港内ニ入り白崎ヲ43度約1.8鏈ニ望ム水深13米ノ處ヲ好錨地トス。

宇留井島 (ウルイ) 龍崎ノ北西方約7鏈ニ在リ高サ54米岩崖島ニシテ頂上ニハ雜樹茂ル、特ニ島ノ北側ニハ多數ノ水上岩暗礁アリ陸岸トノ間ハ殆ド淺瀬ヲ以テ連接ス◎宇留井島ノ東方4鏈距岸120米ニ小宇留井島アリ高サ24米。

波勝崎 (ハカチ) 波勝崎ハ宇留井島頂ノ北西方1.6湮ニ在リ駿河灣東濱中最モ斗出セル崎ニシテ其ノ頂ハ高サ260米形尖リタル錐ノ如ク松樹鬱黒トシテ之ヲ蔽ヒ妻良子浦港ヲ認ムルノ好目標ナリ◎崎ノ南方約2鏈ニ辨慶根ト稱スル干出岩(干出1.2米)アリ。

潮流 波勝崎附近ニ於テハ漲潮流ハ北流シ落潮流ハ南流スレドモ流勢微弱ナリ、海流ハ日ニ依リテ北流或ハ南流シ流速1.5乃至2.5節ニ達スルコトアリ。

岩地港 (岩知港) 波勝崎ヨリ海岸ハ北走スルコト約2湮ニシテ雲見崎ニ至リ次デ北東方ニ折ルルコト1.5湮ニシテ丸山崎ニ至ル、丸山崎ノ南側ニ岩地港アリ400噸以下ノ帆船此ノ地ニ泊スト謂フ。

松崎港 丸山崎ヨリ海岸ハ東方ニ彎入シテ松崎港ヲ成ス此ノ港ハ150噸以下ノ帆船ノ常碇泊地ナリ◎松崎町ハ人口4,616(昭和5年國勢調査)伊豆半島西岸ニ於ケル主邑ニシテ繁榮下田町ニ次グ此ノ兩町間ニハ山路ヲ越エテ自動車ヲ通ズ、松崎町ノ主産物ハ鯉節ナリ。

松崎港ヨリ田子港迄約3湮間ノ海岸ハ甚ダ高カラザルモ險崖絶壁出入シテ鋸齒狀ヲ呈シ其ノ前面ニハ數多ノ暗岩及水上岩2乃至3鏈間擴延ス。

沖ノ島 波勝崎ノ北方7湮附近ニ於テ田子港外諸險中最モ外方ニ在ル暗礁ニシテ礁上最淺部ノ水深2.9米アリ、港口北側ノ辨天島頂ト大島北西端トノ一線ハ同礁ノ南端ヲ通ズ、田子島ノ南方ヨリ田子港ニ入ラントスル船舶ハ此ノ礁ニ留意ヲ要ス。

田子島 沖ノ島礁ノ北方約0.5湮ニ在ル田子島ハ尖形ノ2岩嶼ヨリ成リ矮樹雜草茂リ遠望著明ニシテ田子港ニ入ラントスル船舶ノ好目標ナリ、東嶼ハ高サ29米ニシテ之ヨリ東方約120米ニ干出1.7米岩アリ、西嶼ハ高サ47米ニシテ之ヨリ南方1.5鏈ノ間數多ノ岩礁アリ。

田子港 (タゴ)(海圖84分圖) 田子島ノ東方ニ於テ尊之島(ソソノ)ト辨天島ト南北相對シテ港口ヲ成ス、港内ノ水深ハ距岸200米ニ至ル迄20乃至30米アリ且北、東、南ノ3面ハ山脈ヲ繞ラシ港外ニハ島嶼岩礁アリテ南、西2面ノ屏障ヲ成スヲ以テ大船ニハ港内稍狭キ感アルモ駿河灣東側ノ1良港ト謂フヲ得ベシ然レドモ北西方ハ全ク露開セルヲ以テ冬季ノ泊地トシテハ適セズ。

港首白崎ノ南北ニ各村落アリ北ヲ大田子ト謂ヒ南ヲ田子ト稱ス、田子ニ田子村役場及郵便局(電信ヲ取扱フ)アリ、田子村ノ人口4,527(昭和5年國勢調査)。

錨地 大船ハ港口ヨリ稍内方ニ於テ辨天島頂ヲ318度ニ尊之島頂ヲ214度ニ望ム水深38米泥底ノ處ニ又小船ハ田子村落ノ前面ニ於テ白崎ヲ37度ニ尊之島北東端ヲ305度ニ望ム水深30米泥底ノ處ニ好錨地アリ。

地方暴風標 田子村漁業組合所在地ニ地方暴風標アリ但シ實施期間ヲ毎年4月至10月間ニ限ル。

物資 上水道ノ設備アリ淡水ヲ辨ジ又製氷會社アリテ年中氷ヲ供給ス。



安良里港(アラリ)(海圖 84 分圖) 今山(高サ 303 米)ヲ隔テ田子港ノ北隣ニ在リ該山ノ北方根崎ヨリ東方ニ斗出スル低キ沙嘴網屋崎ト其ノ北東方約 90 米ニ在ル辨天島(高サ 9 米)トノ間ヲ港口トシ之ヨリ南方ニ曲ルコト 4 鏈四周高山ヲ繞ラシ各方ノ風ヲ遮ルト雖モ港口狹クシテ鋭ク屈曲シ且其ノ兩側ヨリ淺瀬延出シ僅ニ其ノ中央ニ狹水路ヲ存スルノミナルヲ以テ唯小船ノ避泊地トシテ使用シ得ルニ過ギズ◎港内東濱ノ村落ヲ安良里ト謂ヒ村役場及郵便局(電信ヲ取扱フ)アリ、安良里村ノ人口 1,898(昭和 5 年國勢調査)◎地方暴風標アリ毎年 11 月至 3 月間ヲ以テ實施期間トス。

沖ノ根 北方ヨリ安良里港ニ向フ接岸航路附近ニ 1 孤立暗礁アリ沖ノ根ト稱ス岩上水深 1 米ヨリ淺ク之ヨリ居士ヶ坂(高サ 303 米)ハ 100 度 3.5 鏈ニ當ル◎沖ノ根ノ南東方約 150 米ニ高サ 6.7 米ノ岩アリ割レ石ト謂フ。

地方暴風標 安良里港ノ北方約 6 湮ニ位スル土肥漁港(此ノ港ハ最近修築スト謂フ)ニ地方暴風標アリ。

達磨山(ダルマ) 土肥漁港ノ北東方約 7 軒ニ達磨山(高サ 982 米)アリ伊豆半島西岸屈指ノ高山ニシテ戸田港ニ入ルノ好目標ナリ。

戸田港(ヘダ)(海圖 82 分圖) 安良里港ノ北方 9 湮ニ在リ港口ハ幅 2.2 鏈ニ過ギザルモ其ノ兩側水深ク船舶ノ出入ニ危険ナシ、港内ハ長サ幅共ニ約 5 鏈アリ水深稍深キニ過グルモ山脈殆下之ヲ圍ミ北西風ノ外總テノ風ヲ遮蔽スルヲ以テ伊豆半島西岸ニ於ケル最好ノ避泊地トス。

20 港口ノ南端ヲ御濱崎(オハマ)ト謂ヒ北方ヘ斗出スルコト約 4 鏈松樹繁茂セル平低ノ沙嘴ニシテ甚ダ顯著ナリ、此ノ崎上ニ東京帝國大學ノ水泳場宿舍アリ◎港口ノ北端ハ外澤海山ノ山脚ニシテ赭色ノ險崖ヨリ成ル、外澤海山(ソトタクミ)ハ高サ 221 米ノ圓形山ニシテ芝草之ヲ蔽ヒ港口ヲ知ルノ目標ナリ。

港ノ東濱ニ戸田村アリ 4,061(昭和 5 年國勢調査)魚菜及飲料水ヲ辨ジ得ベシ◎村役場、郵便局(電信ヲ取扱フ)アリ又村役場ニ地方暴風標アリ。

錨地 稻荷山頂ヲ 48 度ニ御濱崎ノ北東端ヲ 310 度ニ望ム水深 34 米泥底ノ處ヲ可トス、海岸ハ急深ニシテ水深 18 米ヨリ 2 乃至 3 米ニ急減スルヲ以テ距

濱 200 米以内ニ接近スベカラズ。

氣象 戸田港ニ於テハ 3 月ヨリ 6 月ニ至ル 4 箇月間ハ雨天多ク 9 月 10 月ニハ暴風アリ 12 月ヨリ 2 月ニ至ル 3 箇月間ハ西風多シ。

江梨山 大瀬崎ノ南方ニ江梨山アリ高サ 437 米尖形無樹ニシテ晴天ノ日東方ヨリ駿河灣ニ入ルトキ波勝崎ノ西方 4 乃至 5 湮ノ處ヨリ此ノ山ヲ認メ得ベク又南方ヨリ來ルトキハ御前崎ヲ航過セバ直ニ認メ得ベク内浦入港船舶ノ好目標ナリ。

大瀬崎 伊豆半島ノ北西角ニシテ北方ヘ約 4 鏈突出シ崎上松樹茂リ其ノ中央ニ大瀬神社アリ崎端ハ卵石ヲ以テ圍ミ急深ナリ。

大瀬崎至三保崎

大瀬崎ヨリ江之浦迄ハ崖岸ナルモ江之浦ヨリ清水港ニ至ル間即チ駿河灣ノ北濱ハ一帯ノ低キ沙濱ニシテ弓形ヲ成シ且水深ク更ニ險礁ヲ認メズ、此ノ長キ沙濱中狩野川口ヨリ富士川尻ニ至ル迄ハ所謂田子ノ浦ニシテ松林低キ濱ニ疎生シ其ノ北方ニハ富士山、愛鷹山等ノ峻峯聳立ス◎富士川ヨリ興津川ニ至ル間ヲ清見湯ト稱シ内方山脈隆起ス◎灣北濱ノ西端ニ清水港アリ良港トス。

内浦(ウチウラ) 大瀬崎ヨリ其ノ北東方狩野川口ニ至ル一線以東ノ諸灣ヲ總稱シテ内浦ト謂フ、此ノ灣内ニ江之浦及重須ノ兩港アリテ其ノ中間ニ樹木ヲ以テ蔽ハルル錐形島淡島(高サ 134 米)横タハル。

漁網 淡島ト陸岸トノ間ハ幅約 170 米ノ水道ヲ成セドモ島ノ南東側ヨリ南東方ニ向ヒ斜ニ水道ヲ横斷シテ常時長サ 328 米ノ漁網ヲ展張シアルヲ以テ通航スルヲ得ズ。

潮流 内浦灣内ノ潮流ハ漲落ニ拘ラズ或ハ東ニ向ヒ或ハ西ニ向ヒ甚ダ不規則ナリ◎大久保鼻ヨリ狩野川口ノ我入道ニ至ル沿岸ノ潮流ハ一般ニ方向不定ニシテ且強キヲ實驗セリ。

重須港(オモス) 淡島ノ南端ト長井崎ト相對シテ港口ヲ成シ概ネ泥沙底ニシテ北西風ノ外ハ安泊シ得ルモ水深稍深キヲ缺點トス◎三津村落ノ南端岬角ヨリ北西方ニ向ヒ約 200 米ノ間水深 8 乃至 13 米ヲ以テ礁脈突出シ外端ニ 9.1

米ノ暗岩アリ○郵便局ハ三津村落ニ在リ電信ヲ取扱フ。

錨地 淡島東端ヲ343度ニ長井崎北端ヲ282度ニ望ミ小海村落海濱ヲ距ル約2鏈水深35米泥底ノ處ヲ好錨地トス、此ノ錨地ハ江之浦ヨリハ稍淺キヲ優レリトス○小船ハ港ノ南西側ニ在ル辨天島ノ北東方約200米水深32乃至34米沙泥ノ處ニ投錨スルヲ得ベシ。

江之浦 淡島ト大久保鼻ト南北相對シテ港口ヲ成シ港口幅6.5鏈アレドモ港内水深キニ過ギ良港ト謂フヲ得ズ○港内多比ニ狹隘ナル和船泊地アリ○港口ノ北端大久保鼻ハ高サ142米ノ圓形山ニシテ芝竹繁茂シ傘ノ如シ○港内ノ小嶼沖ノ瀬及口ノ瀬ニハ各石堤ヲ築キアリ。

10 港ノ北濱ニ江之浦村落アリ沼津市ヲ距ル陸路約6軒ニシテ自動車ノ便アルヲ以テ大抵ノ日用品ハ沼津市ニ於テ辨ジ得、江之浦ニ郵便局アリ電信ヲ取扱フ。

錨地 大久保鼻ノ南端ヲ293度ニ淡島北端ヲ211度ニ望ム水深50米泥底ノ處ヲ可トス然レドモ西風アルトキハ波荒ク又北東風強吹スルトキハ嵐アリテ安全ナラズ○小船ハ大久保鼻南端ヲ245度ニ江之浦村落東端ノ白色斷崖ヲ6度ニ望ム處ニ投錨スルヲ得ベシ但シ沖ノ瀬ニ接近セザル様注意ヲ要ス。

鷺頭山 大久保鼻ノ北北東方約1.5軒ニ在ル高サ392米ノ尖頂山ニシテ其ノ北面ニ樹叢アリ鬱黒トシテ恰モ帽ヲ冠スルガ如シ、其ノ北方略同距離ニ在リテ平頂ナル**大平山**(高サ262米)ト共ニ船舶ノ好目標ナリ。

20 **磯ヶ根** 大久保鼻ヨリ318度約1.2湮距岸3.5鏈ニ在ル暗岩ニシテ岩上水深15米至近ハ急深ナリ。

沼津港 狩野川口ヨリ上流約1湮永代橋ニ至ル間ヲ沼津港ト謂フ、其ノ間航路ヲ低潮面下2.1米ニ浚漑シ鯉漁船ノ出入ヲ自由ナラシメタレドモ土沙ノ堆積ニ伴ヒ特ニ川口ニ於テ常ニ水深減少ノ傾向アリ、從ツテ僅々150噸程度ノ東京灣汽船會社伊豆半島西岸定期船サヘ干潮時ニ於テハ導水堤外ニ碇泊シ貨客ハ舢舨ヲ以テ輸送スル状態ニ在リ、又西風強吹スルトキハ川口ノ波高ク出入極メテ危険ナリ○川口ノ兩側ニ導水堤アリ西側ノモノハ長ク其ノ長サ約300米其ノ先端ニ200燭光電燈ヲ點ズ○川口ヲ入り約3鏈ノ左岸ニ我入道村落アリ其ノ

前面ハ水深約3米アルヲ以テ川口ヲ出入スル船舶ノ稍大ナルモノハ皆此處ニ碇泊ス。

沼津市 沼津市ハ人口44,027(昭和5年國勢調査)市役所、警察署、郵便局、静岡縣沼津測候所(報時氣象受信専用無線電信ヲ有ス)等アリ○東海道線ハ箱根外輪山ノ外側ヲ迂回シテ當市ニ來リ其ヨリ西ハ海岸ニ沿フ、駿豆鐵道(電車)ハ當市ヨリ修善寺ニ至ル又三島町ヲ經テ小田原町ニ達スル乗合自動車便アリ。

三島町ニ箱根無線電信局(固定局)、中央氣象臺三島支臺等アリ○箱根山海平ニハ中央氣象臺附屬箱根山測候所アリ。

地方暴風標 沼津測候所構内ニ地方暴風標アリ。

物資 日用品ヲ辨ジ得ベシ、此處ニ泊スルモノハ概ネ河水ヲ飲料ニ供ス。

氣象 卷末附表第6沼津氣象表ヲ參照スベシ。

沼津航空標識燈 鷺頭山ヨリ336度約4.2軒ニ設ク。

富士山 駿河灣首ノ北方約25軒ニ屹立ス高サ3,776米山腰以下ハ樹木鬱蒼タルモ上方ハ生木ナク險岩削ルガ如シ、頂上ニ乾池アリ其ノ四周ニ八峯環列ス山容甚ダ端正ニシテ四望一樣全ク圓錐形ヲ成シ山頂常ニ多少ノ白雲ヲ冠シ雲霧概ネ之ヲ蔽ヒ其ノ全容ヲ見ルコト稀ナリ。

富士川 富士川ハ上流ニ於テ釜無川ト稱シ山梨縣ノ北西隅ニ屹立セル駒ヶ嶽ノ西麓ニ發スル本邦中屈指ノ急流ニシテ田子ノ浦ノ西側ニ於テ駿河灣ニ注流ス、川口ヨリ上流約2.2湮ニ東海道線ノ鐵道橋アリ之ヨリ上流約40湮鵜澤町迄舟楫ヲ通ズ○該鐵道橋ノ西方ニ岩淵驛、東方約2.6軒ニ富士驛アリ、富士驛ハ亦甲府市ニ至ル富士身延鐵道線(電車)ノ起點タリ。

田子浦航空標識燈 富士川口ノ北東方約1.5湮ノ地ニ設ク。

清水港(海圖89) 三保崎ノ最北端真崎(マ)ヨリ0度ニ引キタル一線以內ヲ以テ港界ト爲シ港内水深28米ヨリ淺ク泥底ニシテ駿河灣中ノ最良港ナリ開港場ニシテ製茶ノ輸出及木材ノ移輸入ヲ以テ名アリ○港内真崎ヨリ江尻驛ニ至ル一線以南ノ水面ハ特ニ靜穩ナルヲ常トス○埋立地以外ノ港内沿岸ハ概ネ沙濱

ニシテ陸上平坦ナリ。

清水市 清水港ニ面スル區域ノ中最北ハ興津町ノ西端ニシテ之ガ南隣ニ接セル袖師村以南ハ總テ清水市ナリ、清水市ハ人口 55,665 (昭和 5 年國勢調査) ナリ市役所、警察署、同水上分署、横濱税關清水支署、見付專賣局清水出張所、静岡縣水産試験場 (私設無線電信及無線電話ヲ有ス)、内務省横濱土木出張所清水港修築事務所、静岡縣清水港務所等アリ。

築港 清水港ハ軌近産業ノ發達ト陸上交通機關ノ改善ニ伴ヒ明治 41 年度ヨリ浚渫埋立及船溜築造等ノ諸工事を着手シ大正 3 年度ヲ以テ第 1 期計畫ヲ竣工セシメタルガ更ニ大正 10 年度ヨリ第 2 期工事を移リ途中大正 12 年ノ大地震ニ依ル被害ノ復舊工事を兼ネ繫船岸壁、鐵道省岸壁、物揚場護岸、防波堤、船溜、貯木場、臨港鐵道及上屋ノ築設、浚渫、埋立等ヲ實施中ナリ、清水船溜防波堤ハ清水市營ニ依リ新ニ築造中ナリ。

岸壁ハ清水船溜ト巴川口トノ間 818 米ヲ埋立テ其ノ前面ヲ低潮面下 7.1 乃至 10 米ニ浚渫シ 20,000 噸級 2 隻、8,000 噸級 1 隻及 3,000 噸級 2 隻ノ汽船ヲ同時繫船セシメ、又同川口ヨリ南方 266 米間埋立地ノ岸壁ヲ鐵道省用石炭陸揚場ト爲シ其ノ前面ヲ低潮面下 5.1 乃至 7.1 米ニ浚渫シ 3,000 噸級汽船 2 隻ヲ同時接岸可能ナラシメ更ニ鐵道省岸壁以南 733 米ヲ物揚場護岸トスルモノナリ。

埋立地ハ上記ノ外主ナルモノハ折戸灣首、三保貝島埼以東及江尻驛前至庵原川間 (民間工事) ナリ。

20 貯木場ハ折戸灣首ニ設ケ長サ 745 米ノ防波堤ヲ以テ其ノ外側ヲ防護ス。

目標 北方ヨリ庵原川ニ至ル迄ノ間ニ於テハ興津川口西端ヨリ北北東方約 900 米ニ在ル松叢 (樹頂ノ高サ 84 米)、興津町清見寺等ハ目標トスルニ足ル○庵原川至巴川間ニ在リテハ江尻小學校北西方約 200 米ノ火見櫓 (夜間白燈ヲ點ズト謂フ)、小芝神社附近著松、江尻驛南方 250 米ノ橋本製茶機械製造工場煙突 (赤煉瓦)、清水船溜北方豊年製油會社工場大煙突、同會社西方ノ報時信號塔、該船溜西側ノ搬炭機 (テレファー)、船溜入口ニ近キ 2 煙突 (灰白色及黑色)、清水港燈竿附近ノ水産試験場無線電信柱 (白塗三角錐形鐵塔 2 基、高サ地上 33.3

米) 等ハ顯著ニシテ晝間入港ノ好目標ナリ○打戸灣沿岸ニハ工場多數建設セラレ煙突多シ○貝島埼以東ニ於テハ埋立地南西端ニ近キ最勝閣 (白色洋館ノ佛教修道院ニシテ高サ 18 米)、同閣北方ノ日本石油會社油槽、眞埼ノ飛行機格納庫等ハ好目標ナリ。

夜間目標トシテハ清水港燈臺及燈竿以外ニ下記ノ燈火アリ夜間入港ノ好目標ナリ但シ風雨ノ際又ハ市内電燈故障ノトキハ消燈スルコトアルベシ。

- (1) 上記豊年製油會社煙突上ノ紅色電燈 (燈高平均水面上 18 米)。
- (2) 上記報時信號塔上ノ「ネオンライト」(不動綠光ナレドモ氣象通報ノ爲紅白綠黃色電燈ヲ共ニ掲揚スルコトアリ、燈高平均水面上 35.1 米)。
- (3) 折戸灣ノ西方鐵舟寺觀音堂附近ニ在ル紅色電燈 (燈高礎上 9.8 米)。

飛行場 眞埼西側ニ水産試験場水上飛行機離着場、其ノ海岸ニ飛行機格納庫及旗竿アリ、飛行機ハ主トシテ魚群ノ探索ニ使用シ發着ノ際該旗竿ニ吹流シヲ掲揚スト謂フ。

船溜 江尻驛前 (之ハ運河ニ接續ス)、清水港驛前及三保埼埋立地東側ニ各船溜アリ、清水港燈竿ノ前面ニモ小面積ノ船溜 (舊船溜) アリ○上陸所トシテハ舊船溜内税關支署棧橋ヲ以テ最モ便利ナル着舟所トス。

清水港燈臺 三保埼ノ東端ナル吹合岬 (大鼻) 海岸ニ設ク、白塗八角形「コンクリート」造○燈高、礎上 15.6 米、平均水面上 21.5 米。

清水港燈竿 清水船溜ノ南方新造繫船岸壁背面 (舊築港南防波堤内端) ニ設ク、塗裝セザル木造竿○燈高、礎上 8.5 米、平均水面上 11.2 米。

假設導燈 夜間入港船舶ノ岸壁繫留用ニ供スル爲折戸灣首西方宮加三ニ下記ノ如ク導燈 (不動紅光) 2 箇ヲ假設シアリ、港内投錨ノ際ノ目標トモ爲シ得。

前燈 燈高平均水面上 8.9 米。

後燈 燈高平均水面上 14 米、前燈ヨリ 181 度 40 分 542.5 米ニ在リ。

繫船岸壁工事區域標示燈 新造繫船岸壁北端東西兩側ニ電燈 (白燈) ヲ點ズ。

錨地 最好ノ錨地ハ眞崎ト江尻驛前船溜南端トヲ通ズル一線以南ニ於テ水上飛行機離着場ヲ距ルコト約200米附近水深25米泥底ノ處ニ在リ。

針路法 西方ヨリ來リテ清水港ニ入ラントスル船舶ハ御前埼燈臺ヲ北方約5浬ニ望ム處ヨリ少シク針路ヲ左折シ同燈臺ヲ298度約5浬ニ望ムトキ針路ヲ25度ニ轉ジテ富士山ノ東側ヲ指シテ進メバ先ヅ左舷ニ静岡市北方約11浬ニ在ル高サ1,041米ノ龍爪山(リュウザウ)ヲ認メ次デ其ノ前面下ニ清水市南方ノ有渡山ヲ認ムベシ、有渡山ヲ西ニ望ムニ到ラバ漸次吹合岬ニ近ヅキテ之ヲ廻リ眞崎ヲ南東ニ見ルトキ錨地ニ進入スベシ。

10 東方ヨリ來ルモノハ石室埼燈臺ヲ東方約5浬ニ望ム處ヨリ針路ヲ341度ニ取リテ航進シ有渡山ヲ西ニ見ルニ至ラバ漸次前記ノ如ク三保埼ヲ廻リテ錨地ニ至ルベシ。

貝島埼埋立地北方ノ錨地ニハ常ニ船舶在泊スルヲ以テ一時清水港沖合ニ錨地ヲ選定セザルヲ得ザルコトアルベシ。

警戒 密濠ノ際海岸ヨリ遠ザカリテ航進シ來リ興津附近ノ山脈ヲ有渡山ト見誤リ其ノ低處ヲ三保埼ト誤ル虞ナシトセズ然レドモ三保埼上ニハ顯著ナル白塗ノ清水港燈臺アルヲ以テ之ヲ識別ノ資料ト爲スニ留意スベキナリ。

地方暴風標 清水市役所構内ニ地方暴風標アリ。

20 報時信號 豊年石油會社ノ西方ニ市ノ新設ニ係ル報時信號塔アリ下部鐵筋「コンクリート」造白色、上部框式鐵造濃卵色ニシテ上端ニ燈架ヲ有シ夜間ハ綠色「ネオンライト」ヲ點ズ、燈高平均水面上35米○本塔ニ於テ毎日正午「サイレン」ニ依リ報時信號ヲ行フ、又夜間ハ氣象通報ノ爲上記「ネオンライト」ト共ニ紅白綠黃色ノ電燈ヲ掲揚スルコトアリ。

諸規則 清水港取締規則、清水港繫船岸壁及上屋管理規則、同施行細則等ハ水路誌附録第1卷ニ在リ。

物資 大抵ノ日用品ヲ得ベシ、凍氷ハ日東製氷會社之ヲ供給ス○石炭ハ主トシテ九州炭ニシテ約5軒ノ商店之ヲ商ヒ常時ノ貯量總計約18,500噸、積込ハ舢舨ヲ用ヒ手揚又ハ本船ノ揚貨機ニ依リ1日ノ能力約500噸ナリ○給水ハ岸

壁ニ於テハ市營ノ上水道ヲ12.7糎(5吋)給水管ニ依リ積取ルモノニシテ1噸ノ價岸壁渡15錢沖渡45錢ナリ、沖渡ハ請負商ノ給水船ニ搭載運搬スルモノトス。

水先人 當港ニハ未ダ水先區ノ規定ナキモ現在水先人3名アリテ其ノ事務所ハ清水市清水受新田155番地ニ在リ、電報ヲ以テ豫報セバ眞崎沖ニ通船ニテ來リ乗船ス。

交通 日本郵船會社香港 Seattle 間、大阪商船會社香港 New York 間ノ航路ニ從事スル汽船ハ各往航ニ於テ清水ニ寄港ス其ノ他定期不定期ノ寄港船舶多シ○鐵道ハ東海道線當市(驛名ハ江尻)ヲ通ズル外静岡市トノ間ニ静岡電氣鐵道線アリ尙静岡ヨリ安倍鐵道線ニ依リテ北方牛妻迄達シ得ベシ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數並ニ噸數、移輸出入品價額及主ナル品目下ノ如シ。

外國航路		内國航路	
隻數	噸數	隻數	噸數
280	1,153,051	4,350	2,192,227
(内汽船) 280	1,153,051	880	2,073,034
輸出品價額	輸入品價額	移出品價額	移入品價額
9,879,451 圓	11,573,449 圓	2,308,038 圓	17,091,942 圓

主ナル

- 輸出品 綠茶、大豆油、罐詰、蜜柑等。
- 輸入品 大豆、豆粕、石炭、木材、穀、硫酸「アンモニア」等。
- 移出品 石炭、木材、蜜柑、礦油等。
- 移入品 木材、米、鮮魚介、石炭、「パルプ」等。

潮流 港内ニ於ケル潮流ハ強カラズ且其ノ方向一定セザルモ港口ニ於テハ漲潮流ハ東方ヨリ南西方ニ環流シ落潮流ハ之ニ反シ南西方ヨリ北東方ニ流ルルガ如シ而シテ其ノ速サ漲落兩流共0.3節内外ニシテ落潮流ハ稍弱シ。

風候 春夏ノ候ハ西乃至南西ノ風多ク海上靜穩ナリ、秋冬ニハ東乃至北東ノ風多ク時ニ風力強大ナルコトアリテ江尻海岸ニ接近セル處ニテハ錨泊ニ稍不

安ヲ感ズルコトアリ而シテ 最多風向ハ東北東ニシテ 其ノ最大風速12米ナリ、又最強ノ風ハ南西及南南西ニシテ最強30.7米ニ達シタルコトアリ、冬季遠州灘ニテ強吹スル西風屢港内ニ吹込ムコトアレドモ概シテ日出後ニ始リ日没前ニ風力衰フルヲ常トス○低氣壓中心ガ此ノ港ノ南方ヲ通過スルトキハ風浪甚ダ大ナラザレドモ中心ガ北方ヲ通過スル場合ニハ風勢強暴ヲ極ムルコトアリ○夏季夜間江尻出シノ微風吹クトキハ翌日ノ好天氣ヲ豫想スルヲ得ベシ。

三保埼至御前埼

三保埼ヨリ御前埼ニ至ル間即チ駿河灣ノ西濱ハ低地ニシテ距岸小距離間ハ遠淺ナレドモ御前埼附近ヲ除ク外危險ナシ其ノ中間ニ和田鼻アリ○泊地トシテハ燒津港及御前埼灣ノ2者アレドモ何レモ露開ス。

警戒 西方ヨリ來リ濃霧ノ爲御前埼附近ノ陸標ヲ認メ得ズシテ清水港ニ向ハントスルトキハ燒津附近ニ到リ沿岸ニ竝列セル松林ヲ見テ三保埼ト誤ルコトアリ又高草山ト有渡山トハ共ニ其ノ東側ノ海岸低ク其ノ地勢略同ジキガ故ニ往々高草山ヲ有渡山ト見違フコトアリ注意ヲ要ス。

有渡山(ウド) 大鼻ノ南西方ニ於テ海岸ニ聳立シ高サ307米其ノ形鯨脊ニ似テ顯著ナリ。

静岡放送局 静岡市ニ在リ放送無線電話ニ依リ報時信號、氣象通報及航行警報等ヲ行フ、呼出符字 J O P K (水路誌附録第3卷參照)。

高草山 有渡山ヨリ西南西方約16軒濱際ヨリ隆起スル1峯ヲ高草山ト謂フ雙頂アリ其ノ1ハ高サ501米ニシテ松樹疎生シ駿河灣西濱ニ於テ最モ顯著ナル山峯ナリ○高草山ヨリ143度3軒ノ海岸ニ在ル孤峯ハ樹叢アリテ顯著ナリ○有渡山ト高草山トノ間ノ平地ニ流出スル川ヲ安倍川ト稱シ静岡市ハ川口ヨリ上流約3哩ニ在リ。

地方暴風標 安倍川口ノ西方用宗(モチムネ)海岸ニ地方暴風標アリ。

燒津航空標識燈 高草山ノ東方約2.4軒ノ山頂(450米)ニ設ク。

燒津港(ヤイヅ) 安倍川口ノ南西方約5.5哩ニ在ル燒津町前面ノ露開錨地ニシテ濱際ニハ岩石暗礁散在スルヲ以テ200米以内ニ近ヅクベカラズ、好

錨地ハ高草山ヲ342度有渡山ヲ46度ニ見ル處ニシテ周圍400米以内ハ水深12乃至16.5米底質沙ナルモ錨搔キハ先ヅ可ナリ○此ノ港ハ漁業船舶ノ在泊スルモノ多數ニ上リ工場銀行等ノ諸機關備ハリ著名ナル水産業ノ基地ナリ、然ルニ從來築港計畫ヲ唱ヘラルルニモ拘ラズ未ダ其ノ實現ヲ見ルニ至ラズ。

燒津町ハ人口20,010(昭和5年國勢調査)沙濱ニ高サ6.4米延長6鏈ノ防波石壁アリ○東海道線ハ此處ヲ通過シ燒津驛ハ町ノ北部ニ在リ○燒津漁業組合構内ニ私設無線電信及無線電話ノ施設アリ出漁中ノ漁船ト交信スルモノニシテ高サ30.5米間隔38米ノ鼠色格子製檣形鐵造柱2基ヲ立ツ、其ノ前柱ヲ利用シテ夜標ト爲シ頂上ニ燈器及地方暴風標アリ、後柱ノ中央ニハ電働「サイレン」ヲ裝備シテ非常警報用ト爲シ平時ニ在リテハ毎日午前6時及正午ニ時ヲ報ズ。

燒津燈臺 上記無線電信電話柱參照○燈高、礎上30.6米、平均水面上37.5米。

風候 燒津附近ニ於テハ夏季ハ南風及西風多ク東又ハ北風ハ稀ナリ。

海岸 和田鼻ヨリ川崎町ニ至ル約8哩間ハ一帯ノ白沙濱ニシテ松樹連立シ其ノ内方7乃至9軒ノ間ハ平低ノ耕地ヲ成ス、大井川ハ沙濱ノ中間松林ノ缺クル處ニ注流ス○大井川口ノ北方吉永村海岸ニ地方暴風標アリ。

金谷航空標識燈 大井川上流ノ金谷町南西方山頂(282米)ニ設ク。

川崎町 大井川口ノ南西方4哩ニ在リ人口11,714(昭和5年國勢調査)勝間田川其ノ西部ヲ流ル其ノ川口ハ水淺ク只高潮平穩ノトキノミ小舟ヲ通ジ得○藤相鐵道線此ノ地ヲ通ズ。

海岸 川崎町ヨリ御前埼ニ至ル間ハ高サ約90米以下ノ臺形地ニシテ内地20乃至22軒ニ至ル迄高山ヲ見ズ。

相良港 川崎町ノ南南西方約3哩裁間川口ニ在リ、此ノ川口ハ淺ク高潮平穩ナルトキニ非ザレバ小舟ヲ通ジ得ザル以テ修築ノ計畫アリ○相良町ハ川口ノ南側ニ在リ此ノ附近ニ於ケル大邑ニシテ人口11,640(昭和5年國勢調査)藤相鐵道ノ相良驛アリ、川口北側ノ支峯ハ叢林アリテ海上ヨリノ目標ト爲ル○町役場構内ニ地方暴風標アリ。

愛鷹岩 相良町ノ前面距岸約1哩ニ2小岩ノ東西ニ相竝ブモノヲ謂フ高サ1.6米◎萩間川口ノ北側海濱ヨリ礁脈擴延シテ約9鏈ニ達シ其ノ外端ハ水深5.6米アリ、此ノ礁脈端ト愛鷹岩トノ間ニ水深4.5米ノ暗岩アリ。

御前埼灣(海圖 82分圖) 御前埼ノ北側ニ於テ同埼ト遠度トノ間ニ在ル開灣ニシテ**元根鼻**ヨリ東方ニ擴延スル岩礁ハ能ク波濤ヲ防グヲ以テ西至北西ノ風ニハ假泊シ得ベシ、冬季船舶東方ヨリ來リ強キ西風ノ爲遠州灘ヲ航進シ難キトキ此ノ灣ニ避泊スルモノ多シ、水深ハ距濱1哩ノ處10米ヨリ深クシテ底質ハ白色ノ粗沙又ハ岩石ヨリ成ル◎灣首ノ御前崎村ハ人口3,855(昭和5年國勢調査)村落ヨリ淡水ヲ得ベシト雖モ上陸ハ不便ナリ◎郵便局ハ御前崎村大山及地頭方村地頭方ニ在リ共ニ電信ヲ取扱フ◎御前崎漁業組合内ニ私設無線電信及無線電話アリ、御前崎村役場構内ニ地方暴風標アリ。

御前崎村ヨリ北方地頭方ニ至レバ之ヨリ藤相鐵道線ニ依リ東海道線藤枝驛ヲ經テ北方岡部迄到リ得ベク又西方池新田ニ到レバ北方ハ堀之内軌道線ニ依リ東海道線堀之内驛ニ(更ニ堀之内ヨリ大井川鐵道線ニ依レバ北方千頭迄)西方ハ中遠鐵道線ニ依リテ東海道線袋井驛ニ(更ニ袋井ヨリ静岡電氣鐵道線ニテ可睡口ヲ經テ可睡又ハ森迄)到ルコトヲ得。

御前埼(海圖 82分圖) 駿河灣口ノ西端ヲ成セル高サ約50米ノ臺形地ニシテ(第68頁對面對景圖第3參照)北ニ向ヒ漸次高マリ綠樹鬱蒼タリ、此ノ埼ノ南側及東側ハ急降シテ平低ノ沙濱ト爲リ遠望恰モ上縁下白ノ2帶ヲ纏フガ如ク南方ヨリ望ムトキハ白帶特ニ顯著ナリ、此ノ沙濱ヨリハ低潮ニ干出スル岩礁擴延シ高潮痕ヲ距ル2鏈餘ニ及ブ◎此ノ埼ニ新設ノ中央氣象臺附屬御前埼測候所アリ報時氣象受信専用無線電話ヲ有ス。

御前埼燈臺 埼ノ南側ニ設ク、白塗圓形煉瓦造◎燈高、礎上17.3米、平均水面上53.3米◎晴天ノ暗夜此ノ燈臺ノ光芒ヲ276度41哩ニ認メタル汽船アリ。

險礁(海圖 82分圖) 元根鼻ノ北東方約1哩ニノタリト稱スル水深9.5米ノ暗岩アリ◎御前岩(ゴゼン)ハ御前埼燈臺ノ東方1.8哩ニ在ル干出0.9米岩ニ

シテ之ヨリ南方6鏈ニ互リ水深4.3米以下ノ礁脈連リ特ニ其ノ北部ハ水淺ク大浪起ルトキハ岩上破浪ス平波高潮ニハ極メテ危險ナリ◎御前岩ト燈臺トノ約中央ニ**エビ根**、**トド根**、**メダヒ**等一連ノ暗岩アリ◎御前埼沙濱周圍ノ外縁ヲ成ス一帶ノ岩礁ノ外方直近ニモ多數ノ暗岩散在シ危險ナリ。

御前埼至伊良湖埼

御前埼ヨリ西方伊良湖埼ニ至ル約60哩間ハ本洲南岸中唯一ノ直條海岸ニシテ一帶ニ沙濱ヲ成シ沙山連リ處々疎樹ヲ見ル其ノ背後ニハ低地起伏シテ山麓ニ達ス、此ノ海岸中濱名湖ノ西方約9哩ノ處ヨリ西方大山近傍ニ至ル約15哩間ハ俗ニ屏風岩ト稱スル黄色ノ險崖ニシテ直立30米ヨリ85米ニ至リ崖面ニハ數多ノ小谷及溪流アリ◎此ノ海岸ニハ船舶ノ避泊ニ適スル港灣皆無ニシテ之ニ面スル海洋ハ所謂遠州灘ナリ。

海流&潮流 5月中ニ於ケル數回ノ驗測ニ依レバ御前埼以西高松埼ニ至ル約52哩ノ間距岸約10哩以內ノ海潮流ハ東流或ハ西流ヲ常態トシ稀ニ向岸流及他ノ不規則ナル流動ヲ見ルコトアリ蓋シ此等ノ流向ハ天候ニ原因スルモノノ如シ、一般ニ漲潮流ハ東方ニ落潮流ハ西方ニ向フ傾アレドモ天候ニ因リ數日乃至10餘日間殆ド同一方向ニノミ流ルルコトアリ、流速ハ0.5節内外ニシテ1節ヲ超ユルコト稀ナリ然レドモ御前埼附近ニ於テハ稍増加シ殆ド2倍ニ達ス◎地方人ノ言ニ依レバ順良ノ日和續クトキハ西流續キ天候不良ノトキハ東流繼續スト謂フ而シテ西流續クトキハ流速落潮期ニ強クシテ漲潮期ニ弱ク東流續クトキハ之ニ反スルモノノ如シ、又流速減ジタル場合ニハ數時間停流スルコトアルモ再ビ依然トシテ其ノ流向ヲ持續スト謂フ◎天龍川口附近ニ於テハ降雨後河水ノ潮流ニ及ボス影響大ナルニ留意ヲ要ス。

氣象 遠州灘ニ於テハ冬季ハ偏西風強吹ス伊良湖水道附近ニテハ之ヲ「尾張出シ」ト稱ス、夏季ハ南風或ハ南東風俄ニ吹キ大波ヲ誘起スルコトアリ又競風(セライ)ト稱シ南風ト北風ト相闘フコトアリテ帆船ニ對シテハ最モ危險ナリ。

沈船 昭和6年7月汽船大日丸ハ御前埼燈臺ノ西方約1.7哩暗岩小高根ノ

東側ニ攔坐シ風浪ノ爲船體破壊シ全ク水面下ニ沈没セリ。

漁礁 人工漁礁設置ノ爲御前埼燈臺ノ南西方約3.6哩水深41.5米ノ海底ニ廢潜水艦1隻ヲ沈置シアリ船體上ノ最小水深36米ナリ。

河東ノ森 御前埼ノ西北西方約14軒河東山(高サ109米)ノ南ニ在ル高サ104米山ノ頂ニ在ル松林ニシテ黒色ヲ呈シ識別シ易シ◎河東山ノ南西方2.8哩距岸1哩ニ高松根(水深5.4米礁)アリ。

25米沙山 高天神山ノ南東方海岸ニ在リ附近ノ沙丘中最モ高ク且孤立セルヲ以テ距岸8乃至9哩ノ沖ニ在リテ御前埼燈臺又ハ掛塚燈臺ヲ認メ得ザルトキト雖モ明ニ識別スルヲ得。

- 10 **太田川** 御前埼ノ西方約17哩ニ於テ川口ニ近ク仿僧川ヲ合セ海ニ注グ、川口ノ内側ハ3.5米内外ノ水深アレドモ川口ハ幅狭ク波浪高ク且降雨出水アルトキハ沙泥上流ヨリ流レ來リテ川口ニ沈澱スルヲ以テ船舶ノ避泊地ト爲スヲ得ズ◎川口附近ニ白色電燈1箇アリテ曇天ノ夜11哩ヨリ認メ得ト謂フ◎本流ト仿僧川トノ間ニ福田町アリ、此ノ町ニ地方暴風標アリ。

天龍川 天龍川ハ源ヲ諏訪湖ニ發シ御前埼ノ西方約21哩ニ於テ海ニ注グ、川口ハ東西2口ニ分レ其ノ洲上ノ水深2米内外ニシテ風少シクアレバ破浪ス、洲ノ位置及水深ハ常ニ變動シ1年ヲ通ジ水深ノ大ナルハ8月至10月ニシテ最小ナルハ3月至5月ナリト謂フ、靜穩ノ日ハ130噸以下ノ帆船ヲ出入シ得ルモ風波アルトキハ船舶ノ出入望ムベカラズ而モ此ノ地方ハ風力常ニ強ク靜穩ノ

- 20 日ハ稀ナリ◎上流ヨリ流下スル土沙其ノ他ハ川口ニ堆積シテ半月形ノ沙嘴ヲ形成ス、偏西風時ニハ其ノ風下ニ當レル水深12乃至18米ノ處ニ錨地ヲ得ベシ。

川口ノ上流1.5哩ニ掛塚町アリ人口5,652(昭和5年國勢調査)木材ノ集散地トシテ名アリ。

掛塚燈臺 天龍川口ノ東岸ニ設ク、白塗圓形上部鐵造下部「コンクリート」造◎燈高、礎上14.5米、平均水面上17.6米。

濱松放送局 掛塚燈臺ノ北北西方約4.6哩ニ濱松放送局アリ、放送無線電

話ニ依リ報時信號、氣象通報及航行警報等ヲ中繼ス、呼出符字JODG(水路誌附録第3卷參照)。

濱松航空標識燈 濱松市中央部ヨリ北々西方約5軒ニ設ク。

氣象 卷末附表第7濱松氣象表ヲ參照スベシ。

濱名湖 掛塚燈臺ノ西方10.5哩ニ其ノ湖口アリ、湖内ハ廣キモ湖口ハ東西ヨリ沙嘴斗出シテ其ノ幅ヲ約500米ニ狭ム、水深低潮時湖口ニ於テ1.2米西嘴ノ北側ニ於テ2米餘アリ、高潮時ニハ小形船ヲ容ルルヲ得ベシト雖モ沙嘴ノ移動間斷ナク水深ノ變化甚シキヲ以テ適當ノ泊地トハ稱シ難シ◎湖口東側ニ舞坂町アリ人口4,620(昭和5年國勢調査)東海道線ハ東方濱松市ヨリ來リ鐵橋ニ依リ辨天島ヲ經テ湖口ノ西側新居町ニ到ル。

地方暴風標 濱松市内静岡縣濱松測候所(報時氣象受信専用無線電信ヲ有ス)及舞坂町水産組合ニ各地方暴風標アリ。

目標 濱名湖口ノ西方約5軒ニ高サ71米ノ單松アリ臺形地ノ東端ニ近ク位シ南至東ノ方向ヨリ望ムトキハ顯著ナリ◎湖口ノ西方約8軒ニ當リ臺形地上ニ白須賀ノ森ト稱スル松林アリ高サ77米、距岸10哩ノ沖合ニ在リテ内陸ノ目標ヲ展望シ得ザルトキト雖モ尙明ニ認ムルコトヲ得ベシ。

高松埼 濱名湖口ノ西方19.5哩ニ在ル岸線ノ小尖出部ニシテ高サ29米松樹密生ス、前面ニハ高サ14米ノ離岩アルヲ以テ認識ヲ助ク◎埼ノ背後ニハ高サ188米ノ赤羽根山アリ南方ヨリ望メバ尖頂ヲ成シ顯著ナリ。

大山 高松埼ノ西方3.7哩ニ在リ御前埼以西海岸近クノ唯一ノ高峯(高サ328米)ニシテ遠望頗ル顯著ナリ(第90頁對面對景圖第4參照)。

沈船 大山ヨリ158度約5哩ニ沈船アリ。

伊良湖水道

海方ヨリ伊勢海ニ入ル最良口ニシテ愛知三重兩縣ノ境界ヲ成シ伊良湖埼ト神島トノ間ニ在リ(第90頁對面對景圖第4及第5參照)◎水道ノ東側ニハ朝日礁、西側ニハ「ゴヅカミ」礁、「シモーサ」礁等アリテ可航部ヲ狭ムレドモ中央部ハ深水無礙ナリ。

南東方ヨリ望ムトキハ神島ト直立山トハ誤認シ易ク夜間ハ特ニ然リトス○伊良湖埼燈臺ノ南東方約3.2哩ニ沈船アリ (大正13年)。

伊良湖埼 伊勢海口ノ東端タル伊良湖埼ハ高サ88米多岩ノ埼ニシテ埼上ヲ古山ト稱シ其ノ東方ニ直立山(チヨッポリ)ト稱スル孤立山アリテ頂上ニ旗竿ヲ有ス(第90頁對面對景圖第4及第5參照)○埼ノ南側ハ長サ約8鏈ノ間沙濱ニシテ其ノ東端ハ岩質ノ突出部ヲ成ス沙濱ノ南方ニハ數箇ノ孤立岩羅列シ其ノ南西端ニ在ルヲ三ツ磯(高サ1.6米)ト謂ヒ内方ノ主ナルモノヲ平島(高サ3.6米)ト稱ス、尙該突出部ノ南方ニハ2箇ノ孤立岩アリ大ナルヲ大島ト謂ヒ其ノ高サ20米、小ナルヲ赤瓶ト謂フ○埼ノ北西側ハ礫濱ニシテ長サ5.5哩ニ及ブ。

伊良湖埼燈臺 古山ノ西方ニ設ク、白塗圓形「コンクリート」造○燈高、礎上12.3米、平均水面上15.5米。

神島 伊良湖埼ノ南西方約2.5哩ニ在リ南北ノ長サ約7鏈幅約6鏈ニシテ東側ハ險崖直立シ島頂(高サ171米)ハ赤色ヲ呈シ各方面ヨリ認ムルコトヲ得(第90頁對面對景圖第4及第5參照)○島ニ神島電信局(無線電信固定局)アリ○神島村ノ人口1,012(昭和5年國勢調査)島ノ北側ニ其ノ主村落アリ○島ノ周圍ハ總テ險惡ナリ。

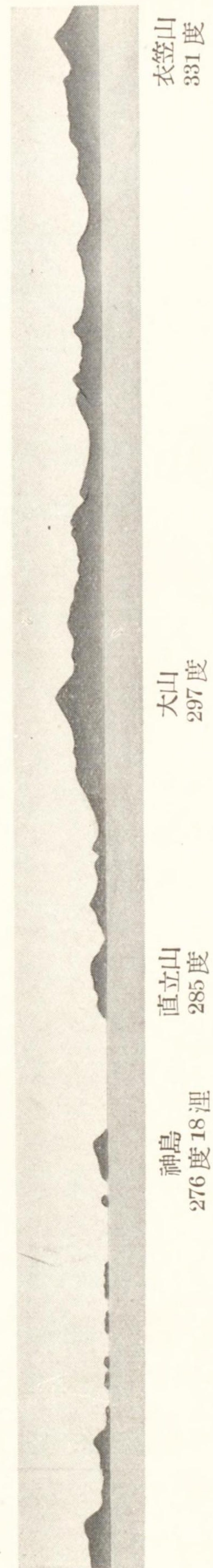
神島燈臺 島ノ北東端ニ設ク、白塗上部圓形下部四角形鐵造○燈高、礎上7.4米、平均水面上112.7米○燈臺ノ下部ニ副燈アリ、「コヅカミ」礁ノ最淺部上ヲ照ス○燈臺ニ於テ船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ但シ夜間ハ之ヲ取扱ハズ。

朝日礁 伊良湖埼ノ外端ヨリ南西方神島ニ向ヒ約8鏈ノ間數箇ノ暗礁アリ其ノ最外端ニ在ル朝日礁ハ水深6.4米ニシテ尖銳ナル錐狀ヲ成ス明治41年軍艦朝日ノ觸礁ニ依リ發見セラレタルモノナリ。

水道西側險礁 伊良湖水道狹部ノ西側ニコヅカミ礁(水深2.2米)アリ神島燈臺下部ノ副燈ハ此ノ礁ノ最淺部上ヲ照ス、該礁ノ北方ニ丸山出シ(水深12.8米)、南方ニハシモーサ礁(水深3.2米)阪手出シ(水深6.4米)アサマヲ

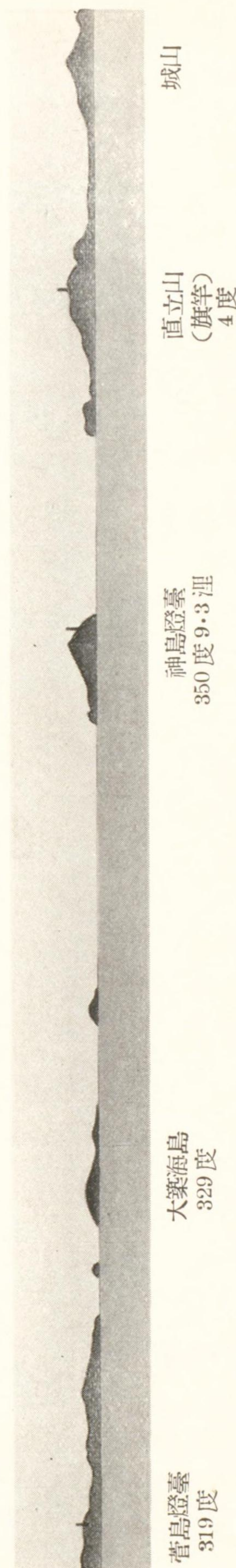
第90頁對面

伊良湖水道 (東方ヨリ望ム)



第4

伊良湖水道 (南方ヨリ望ム)



第5

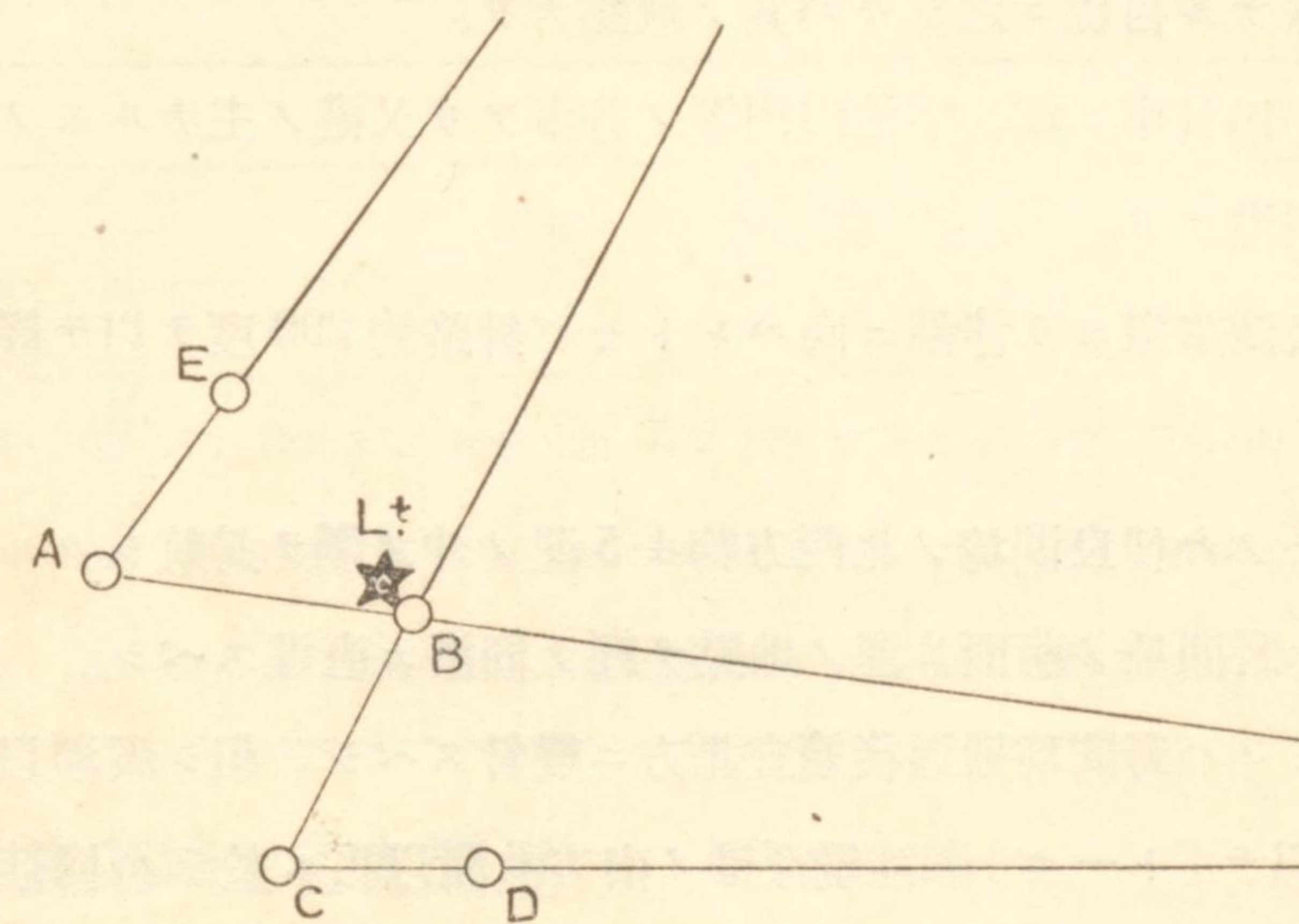
瀬 (水深 9.6 米) セギョウ瀬 (水深 10.9 米) 等ノ暗礁アリ。

コヅカミ礁浮標 「コヅカミ」礁ノ北東方約 250 米ニ圓筒形頭標附白塗截頭圓錐形鐵造浮標 1 箇ヲ碇置シアリ、本浮標ハ時々移動スルコトナキヲ保セズ。

コヅカミ礁導標 神島燈臺ノ近傍ニ下記ノ如キ 5 箇ノ白塗立標 (高サ礎上各 12.7 米) アリ本導標ノ關係位置下圖ノ如シ。

名稱	構造	平均水面上ノ高サ(米)
後列右標 (A)	菱形頭標附鐵柱	159.4
前列中標 (B)	鐵造菱形頭標附鐵柱	120.0
後列左標 (C)	同 上	155.7
前列左標 (D)	鐵造三角形頭標附木柱	127.6
前列右標 (E)	同 上	93.3

10



「コヅカミ」礁及「シモーサ」礁ハ A B 線及 C D 線ノ交叉點ト A E 線及 C B 線ノ交叉點トヲ連ヌル線以西ニ在リ。

鯛ノ島 神島ノ南方約 3.5 湮ニ在ル廣キ淺礁ニシテ最淺水深 8.2 米荒天ノトキ破浪ス、附近約 0.5 湮ノ間水深不規則ナリ。

針路法 伊良湖埼ヲ經テ伊勢海ニ入ラントセバ伊良湖埼ノ約 160 度 2.5 湮ヨリ約 315 度ノ針路ヲ以テ伊良湖埼燈臺ト神島燈臺トノ略中央ヲ航行シテ

「シモーサ」礁、「コヅカミ」礁及朝日礁ヲ避航スベシ（前記「コヅカミ」礁導標ノ項参照）。

潮流 伊良湖水道ノ中央ニ於テハ漲潮流ハ北西方ニ落潮流ハ南東方ニ流ル其ノ流速ハ大正3年5月（月齡2日）ノ驗測ニ依レバ漲潮流ハ鳥羽ノ低潮後4時ニ2節、高潮後3時ニ2.5節ヲ示セリ。

伊勢海

伊勢海ハ伊良湖埼ト答志島トノ間幅約6湊ヲ灣口トシ北北西方ニ向ヒ彎入スルコト約35湊ニシテ東側ハ知多半島ヲ隔テテ三河灣ニ接シ最大水深36米ヲ超エズ概ネ泥質ノ平底ニシテ海岸ニ向ヒ漸次ニ減少スルヲ以テ行船甚ダ容易ナリ、
10 靜穩ナル日ニ於テハ灣内到ル處錨泊ニ適スルモ強烈ナル偏東風ノトキハ東側ニ、偏西風ノトキハ西側ニ轉錨スルヲ可トス、伊勢海ハ航泊ニ適スルコト上記ノ如シト雖モ顯著ナル目標ニ乏シキハ其ノ缺點ナリ。

沿岸ニハ名古屋、四日市、津、宇治山田等ノ各市アリ又港ノ主ナルモノニハ名古屋及四日市ノ兩港アリ。

針路法 伊良湖水道ヨリ津港ニ向ハントセバ針路約290度ヲ以テ經ケ峯ニ向ヒ直進スベシ。

四日市港ニ向フモノハ伊良湖埼ノ北西方約4.5湊ノ沖ノ瀬ヲ避航シタル後、針路約330度ト爲シ野間埼ノ前面2湊ノ地點ヲ經テ同港ニ直進スベシ。

名古屋港ニ向フモノハ野間埼通過後適宜北方ニ變針スベシ、但シ廣瀨以北ニハ
20 淺瀬擴延セルヲ以テ「トーガ」瀬挂燈浮標ノ南方6湊以北ニ於テハ同挂燈浮標ノ180度線以東ニ偏位セザルヲ可トス、同挂燈浮標ヲ正横ニ見ルニ至ラバ名古屋港ニ向ヒ變針スベシ。

木曾川尻ニハ往々坐洲スル船舶アルヲ以テ注意ヲ要ス。

氣象 伊勢海ニ於ケル風力8以上ノ強風ハ主ニ其ノ方向東ヨリ南南東ノ間ニ在リテ3月ヲ除クノ外毎月吹クト雖モ7月ヨリ10月ニ至ル間最モ強シ◎主要地ニ於ケル氣候表次ノ如シ（伊勢海外縁ニ在ル鳥羽港ヲモ含ム）。

尙卷末附表第8名古屋氣象表及附表第9津氣象表ヲ参照スベシ。

平均最高氣温

月別 觀測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年	統計年
名古屋	8.3	9.3	12.6	18.6	22.9	26.3	30.2	31.6	27.7	22.0	16.5	10.6	19.7	明治30年至昭和元年 30年間
津	8.7	9.1	11.9	17.3	21.6	25.2	29.2	30.5	26.8	21.3	16.1	11.1	19.1	明治30年至昭和元年 30年間
鳥羽	9.2	10.3	12.9	19.0	23.3	26.4	31.0	32.0	28.4	22.4	17.0	11.7	20.3	大正5年至同14年 10年間

平均最低氣温

月別 觀測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年	統計年
名古屋	-0.9	-0.5	2.1	7.7	12.2	17.2	21.7	22.6	18.9	11.9	5.7	1.0	10.0	明治30年至昭和元年 30年間
津	0.2	0.5	2.6	7.8	12.3	17.5	21.8	22.6	19.1	12.3	6.6	2.2	10.5	明治30年至昭和元年 30年間
鳥羽	1.2	1.9	3.6	9.3	13.4	18.0	22.6	23.6	20.7	14.8	9.1	3.8	11.8	大正5年至同14年 10年間

平均降水量

月別 觀測所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年	統計年
名古屋	62	70	121	163	166	228	178	175	243	156	82	60	1704	明治30年至昭和元年 30年間
津	53	66	111	155	170	256	184	211	301	185	81	56	1829	明治30年至昭和元年 30年間
鳥羽	69	100	167	232	236	304	220	301	416	287	128	85	2545	明治34年至大正14年 25年間

伊良湖埼至名古屋港

伊良湖埼ヨリ名古屋港ニ至ル間即チ伊勢海ノ東濱ハ三河灣口ト知多半島トヨリ成ル、知多半島ハ高サ100米ニ滿タザル一帯ノ低キ山脈ニシテ南部ニハ矮松多ク北部ニハ疎松アリ其ノ伊勢海ニ面スル海岸ハ伊勢海西濱ヨリモ地勢稍高ク中央部ハ概シテ絳色ヲ呈ス、野間埼以南ハ岩岸ノ處多キモ以北ハ沙濱ニシテ前面ニ一帯ノ淺洲ヲ有シ距岸2乃至3湊ニ達スル處アリ其ノ外縁ハ概ネ急深ナルヲ以テ航行船ハ警戒ヲ要ス◎此ノ一帯ノ海岸ニハ豊濱、内海、西浦、常滑、大野、八幡、横須賀等ノ町邑アレドモ小船ニスラ安穩ト認ムベキ港灣ナク沿岸ハ概シ

テ干出シ高潮時ニ非ザレバ上陸スルコト難シ。

三河灣口附近 伊良湖崎至羽豆崎間ノ島嶼、水道等ニ就テハ第115頁至第118頁ヲ見ルベシ。

沖ノ瀬 三河灣口ノ前面ニ横タハレル水深11米ノ暗礁ニシテ神島燈臺ヨリ336度5湮ニ在リ。

豊濱港 羽豆崎ノ西方2湮ニ在ル沿濱淺瀬ノ灣内ニ豊濱、須佐兩小漁港アリ共ニ豊濱町ニ屬ス、縣ニ於テハ該灣口ニ防波堤ヲ設ケ灣内全部ヲ以テ豊濱港ト爲サントシ計畫中ナリ◎豊濱町ニ地方暴風標アリ。

豊濱港燈竿 豊濱港海岸ニ設ク、塗裝セザル木造竿柱◎燈高、礎上7.3米、平均水面上44.9米。

中洲導燈 豊濱町内ニ於テ豊濱港ノ西方中ノ浦〔中洲〕漁船着岸場ニ下記前後兩燈ヨリ成ル導燈アリ2燈間ノ距離ハ約175米ニシテ之ヲ一線(21度20分)ニ見テ進航スレバ附近ノ暗礁ヲ避クルコトヲ得。

前燈 塗裝セザル木造竿柱◎燈高、礎上7.3米、平均水面上22.2米。

後燈 四角形「コンクリート」造塗裝セズ◎燈高、礎上3.9米、平均水面上46.1米。

山海川口燈竿 中洲導燈ノ北西方1.6湮ナル内海町山海川口ニ設ク、塗裝セザル木造竿柱◎燈高、礎上3.4米、平均水面上7.7米。

内海川口燈竿 山海川口燈竿ノ北西方1.5湮ナル内海町内海川口ニ設ク、塗裝セザル木造竿柱◎燈高、礎上3.4米、平均水面上7.7米。

地方暴風標 内海川口附近ニ地方暴風標アリ。

野間崎〔富具崎〕 知多半島ノ南西端ニシテ高サ77米嶮シキ山丘隆起スルヲ以テ灣内何レノ部分ヨリ望ムモ顯著ニシテ伊勢海ニ出入スル船舶ノ好目標ナリ。

野間崎燈臺ノ南東方2.3軒ニ1沙丘アリ頂上ニ松樹ヲ戴キ山腹ハ白色ヲ呈ス。

野間崎燈臺 崎ノ西側ニ設ク、白塗圓形「コンクリート」造◎燈高、礎上17米、平均水面上20米。

地方暴風標 野間崎燈臺ノ北北東方4.5湮ニ位スル小鈴谷村落ニ地方暴風標アリ。

目標 小鈴谷村落ノ北東方約2軒ニ在ル高サ87米山頂ノ單松ハ稍顯著ニシテ目標トスルニ足ル。

知多本宮山航空標識燈 小鈴谷村落ノ北方約5軒(87米山頂附近)ニ設ク。

常滑町(トコナメ) 野間崎ヨリ海岸ハ稍東方ニ彎曲シテ北方ニ走り約7湮ニシテ常滑町ニ達ス、近ク本町海岸ノ小港ニ修築工事ヲ施スト謂フ、此ノ町ハ人口10,355(昭和5年國勢調査)知多半島西岸ノ主邑ニシテ陶器ノ製造盛ナリ◎愛知電鐵常滑線ノ終端驛アリ約1時間ニシテ熱田ニ達スルコトヲ得、武豊町及師崎町トノ間ニハ定期自動車往復ス又沿岸航行ノ定期小汽船寄港ス◎常滑町ニ地方暴風標アリ。

鬼ヶ崎 常滑町ヨリ海岸ハ少シク西方ニ張出シ小突角ヲ成ス之ヲ鬼ヶ崎ト稱ス。

淺洲 鬼ヶ崎附近沿岸一帯距濱1.6湮以内ハ淺洲ニシテ水深5米以下ナレドモ外縁ハ急ニ深水ト爲ル◎廣瀬ハ此ノ沙洲ノ南方ニ垂下セル部分ニシテ小鈴谷村落ノ西方ニ位ス◎トガ瀬ハ鬼ヶ崎ノ南西方1.7湮ニ在リ最小水深1.8米ニシテ其ノ西側ハ急ニ9.6米ト爲ル。

トガ瀬挂燈浮標 「トガ」瀬ノ北方3.5湮ニ碇置ス、紅塗圓筒形上部格子製鐵造◎燈高、水面上3.6米。

地方暴風標 鬼ヶ崎ノ北方2湮ニ位スル大野町ニ地方暴風標アリ。

八幡町 大野町ノ北方ニ松樹茂レル沙濱新舞子アリ新舞子海水浴場ニ在ル娛樂用鐵製塔ハ高サ30米ニシテ南北ノ方向ヨリ望ミテ顯著ナリ◎新舞子北端ヨリ北東方約5.4軒ニ八幡町アリ人口10,106(昭和5年國勢調査)。

名古屋港(海圖1055) 名古屋港(熱田灣)ハ伊勢海ノ北隅ニ在リ明治40年開港場ト爲リ西突堤燈臺ヲ中心トシ2.5湮ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ弧内ヲ以テ其ノ港界トシ港界内ハ内外2港ニ分チ東西兩突堤、東防波堤及防沙堤ニテ圍

マルル海面ヲ内港トシ内港ニ非ザル港界内ノ他部ヲ外港トス。

名古屋市 名古屋市ハ東區、西區、中區、南區（往時ノ熱田市街ハ此ノ區ニ屬ス）ノ4區ニ分レ庄内川ヨリ天白川ニ互ル大市街ニシテ商工業般盛ナリ人口907,404（昭和5年國勢調査）愛知縣廳、名古屋市役所、愛知縣測候所（報時氣象受信専用無線電信ヲ有ス）等アリ。

名古屋無線通信所 市内中區榮町ニ名古屋無線電信局ノ通信所アリ送信所ハ依佐美村、受信所ハ四日市市ニ在リ。

名古屋中央放送局 局ハ市内ニ在ルモ送信所ハ知多郡有松町桶狭間（鳴海町ノ南東方）ニ在リ放送無線電話ニ依リ報時信號、氣象通報及航行警報等ヲ行フ、呼出符字J O C K（水路誌附録第3卷參照）。

築港 既ニ第1期、第2期及第3期工事ノ竣成ヲ告ゲ10,000噸級船舶ノ出入ヲ自由ナラシムルニ至リシガ尙目下昭和2年度ヨリ昭和13年度ニ至ル繼續事業トシテ第4期擴張工事ノ實施中ナリ○第4期工事計畫ニ於テハ内港航路ノ幅員ヲ178米ニ擴張シ且内外航路ノ水深ヲ共ニ9米ニ浚渫シテ之ヲ固有水深9米ノ點ニ達セシメ、船溜ハ878,000坪ニ擴張同時ニ大形船舶ノ繫留區域ヲ廣メ而シテ2號地先ニ3基、10號地先ニ1基ノ船車連絡用埠頭ヲ造リテ其ノ周圍ヲ繫船岸ト爲シ、船溜及繫船岸壁ニハ同時ニ10,000噸級以下66隻ノ船舶ヲ繫留碇泊セシメ岸壁ニ於テハ夫々接岸荷役ヲ爲スノ設備ヲ整へ、又木材船溜及木材船専用ノ繫船岸壁ヲ特設シテ木材搭載船ノ碇泊場ヲ區別シ、其ノ他7號地ニ船渠ヲ造リテ5,000噸級船舶ノ修理ニ便シ、稻永町地先ニハ10號埋立地ヲ造リ之ヲ石炭竝ニ雜貨ノ取扱場ト爲シ一面亦將來櫛齒形船渠ヲ突出セシムルノ基礎地タラシメントスルモノナリ。

運河 名古屋市内ヲ貫流シ名古屋港、市場間ヲ接續連絡スル運河3アリ、其ノ内堀川ハ市内ノ中部ヲ流レテ内港北部ニ注ギ、新堀川ハ東部ヲ流レテ堀川ニ注グ、中川運河ハ堀川ノ西方ニ在リテ河口ニ閘門ヲ有シ上流終點ニ船溜ヲ設ケ又終點ヨリ堀川ニ連絡スル水路ヲ設ケ此處ニモ閘門アリ。

港内ニ注グ河川ニハ他ニ天白川（テンハク）、大江川、山崎川、荒子川、庄内川、

新川、日光川（蟹江川）等アリ。

外港東濱 八幡町ノ北隣ニ横須賀町アリ人口9,703（昭和5年國勢調査）、横須賀町太田川驛ハ愛知電鐵ノ常滑線（熱田常滑間）ト知多鐵道線（熱田河和間）トノ分岐點ナリ○名古屋市ト天白川ヲ隔テテ上野村、大高町、鳴海町等アリ。

外港西濱 日光川ノ稍上流ニハ蟹江町アリ○庄内川、新川ノ分岐點ニハ下之一色町アリ名古屋市以西ニ於テ此ノ町ノミ名古屋市東隣ノ愛知郡ニ屬ス。

内港沿岸 内港泊地前面ノ埋立地ヲ築地ト謂ヒ1號地ヨリ8號地ニ區分シ1號乃至4號地ヲ西築地、5號乃至8號地ヲ東築地ト稱ス、東西兩築地間連絡ノ爲堀川口ニ應急施設トシテ假橋ノ架設工事中ナリ○1號及2號地ハ商業地域（海事部、警察署、稅關支署、港務所、水先人事務所等ハ總テ2號地ニ在リ）、3號乃至7號地ハ工業地域（海港檢疫所ハ4號地ニ在リ）、8號地ハ貯木場ナリ、東突堤ト東防波堤トノ會合部外側ニ9號地アリ危險物取扱地域トス、10號地ハ稻永町地先ニ工事中ニシテ石炭雜貨取扱區域ト定メラル。

築地2號地ノ約中央ヨリ泊地ニ向ヒ長サ128米幅14米ノ鐵造棧橋アリ兩側水深6乃至8米○該棧橋ノ西方ニ之ト平行シテ西埠頭ノ新設ヲ了レリ長サ874米幅178米周圍水深4.5乃至9米。

内港南東隅ニ8號地前面ノ木材船溜ヲ包ム2防波堤アリ○中川口兩側ニ4號地ヨリ斗出スル長サ54米ノ小防波堤アリ。

目標 外港沿岸ニ在リテハ上野村名和ニ在ル單松（樹頂ノ高サ49米）及其ノ南西方ノ聚樂園大佛（高サ48米）ハ遠望顯著ナリ。

内港沿岸ニ在リテハ9號地「ライジングサン」石油會社ノ油槽、西突堤起點ニ接シ其ノ西側ニ在ル塵芥燒却場煙突（高サ約22米）、4號地中央ノ大日本人造肥料會社建物、6號地北西端ニ在ル東邦電力會社發電所2基ノ煙突（高サ68米）及其ノ東方ノ豐國「セメント」會社煙突（高サ48米）等ハ顯著ニシテ好目標ナリ。

外港航路 長サ約3浬幅250米水深8.5米ニ浚渫シアリ航路中央線ハ6號地豐國「セメント」會社煙突ニ向ヒ其ノ方位ハ31度10分ナリ○此ノ航路入口

南端及中央ニ次ノ通各 1 對ノ挂燈浮標ヲ碇置ス。

- 航路西側 { 外港第 1 號挂燈浮標 黑塗圓筒形上部櫓形鐵造○燈高水面上 3.6 米。
- { 外港第 3 號挂燈浮標 構造及燈高外港第 1 號ニ同ジ。
- 航路東側 { 外港第 2 號挂燈浮標 紅塗圓筒形上部櫓形鐵造○燈高水面上 3.6 米。
- { 外港第 4 號挂燈浮標 構造及燈高外港第 2 號ニ同ジ。

内港航路 西突堤ト防沙堤（水面上ニ露出スルコトナシ）及東防波堤トノ間ニ於テ外港航路ノ終端ヨリ内港船溜ニ至ル航路ニシテ長サ約 2.5 哩幅約 136 米水深 8.5 米ニ浚渫シアリ○防沙堤ノ最南端及中央部ニ菱形頭標附黑白横線塗圓錐形浮標各 1 箇ヲ碇置ス○東防波堤南端ニ高サ平均水面上 11.6 米ノ立五形頭標附紅白横線塗竿柱「コンクリート」造立標ヲ設置ス。

10 航路ノ西側ニハ浮標 3 箇及挂燈浮標 2 箇、東側ニハ挂燈浮標 5 箇ヲ碇置スルコト次ノ如シ。

- 航路西側 { 第 1 號挂燈浮標 黑塗圓筒形上部櫓形鐵造○燈高水面上 3.3 米。
- { 第 3 號浮標
- { 第 5 號浮標 圓筒形頭標附黑塗圓錐形鐵造。
- { 第 7 號浮標
- { 第 9 號挂燈浮標 構造第 1 號ニ同ジ○燈高水面上 3 米。
- 航路東側 { 第 2 號挂燈浮標
- { 第 4 號挂燈浮標
- { 第 6 號挂燈浮標 紅塗圓筒形上部櫓形鐵造○燈高水面上 3 米。
- { 第 8 號挂燈浮標
- { 第 10 號挂燈浮標

西突堤燈臺 西突堤南端ニ設ク、白塗四角形上部櫓形鐵造下部「コンクリート」造○燈高、礎上 16.4 米、平均水面上 18.2 米○此ノ燈臺ニ於テ船舶入港信號及水深信號ヲ行フ。

東突堤頭部燈臺 東突堤西端ニ設ク、紅塗圓筒形上部櫓形鐵造○燈高、礎上 6.1 米、平均水面上 8.5 米。

東突堤中央水路東側燈臺 突堤中央部ニ設ク、白塗圓筒形上部櫓形鐵造○燈高、礎上 6.1 米、平均水面上 8.5 米。

内港浮標 内港碇泊場（船溜）ノ浚渫區域ヲ示ス爲次ノ通碇泊場ノ左舷（4 號地ノ前面）ニ 2 箇、同右舷（木材船溜北防波堤北端ノ北東方、同防波堤中央ノ北西方及同南端ノ北西方）ニ 3 箇ノ浮標アリ。

- 碇泊場左舷 { 第 11 號浮標 圓筒形頭標附黑塗圓錐形鐵造。
- { 第 13 號浮標
- 碇泊場右舷 { 第 12 號浮標
- { 第 14 號浮標 三角形頭標附紅塗圓錐形鐵造。
- { 第 16 號浮標

尚浚渫及測量作業施行ノ爲築地燈臺ヨリ南南西方 660 米ニ圓筒形頭標附圓錐形假設浮標 1 箇ヲ碇置ス。

築地燈臺 築地 4 號地南西角ニ設ク、白塗四角形木造○燈高、礎上 8.2 米、平均水面上 11.2 米○此ノ燈臺ニ於テ船舶出港信號及水深信號ヲ行フ。

中川口燈竿 中川口西側防波堤端ニ設ク、白塗櫓形鐵造○燈高、礎上 7.6 米、平均水面上 10.3 米。

棧橋端燈竿 築地 2 號地中央棧橋端ニ設ク、白塗六角形鐵造○燈高、礎上 7.9 米、平均水面上 9.8 米。

繫船浮標 内港ノ汽船船溜ニハ繫船浮標大小 32 箇ヲ碇置シ得ベキモ現在數ハ 29 箇ナリ、第 4 期工事完成ノ上ハ 12,000 噸級用 2 箇、10,000 噸級用 8 箇、8,000 噸級用 5 箇、6,000 噸級用 7 箇、4,000 噸級用 7 箇、3,000 噸級用 9 箇、2,000 噸級用 6 箇、1,000 噸級用 6 箇計 50 箇ヲ備フル豫定ナリト謂フ○繫船浮標使用料ハ 24 時間ニ付（未滿ハ 24 時間トシテ計算）總噸數 5,000 噸以上 10 圓、3,000 噸以上 7 圓、3,000 噸未滿 3 圓ナリ。

此ノ船溜ハ 4.5 乃至 9 米ニ浚渫シアリ底質ハ一般ニ軟泥ニシテ錨搔キ良好ナリ○木材搭載船ヨリ荷揚ノ際過ツテ海中ニ墜落セル木材ハ比重ノ關係上水面下ニ浮游スルコトアリト謂フ。

9 號地西方危險物搭載船溜ニ繫船浮標 2 箇アリ。

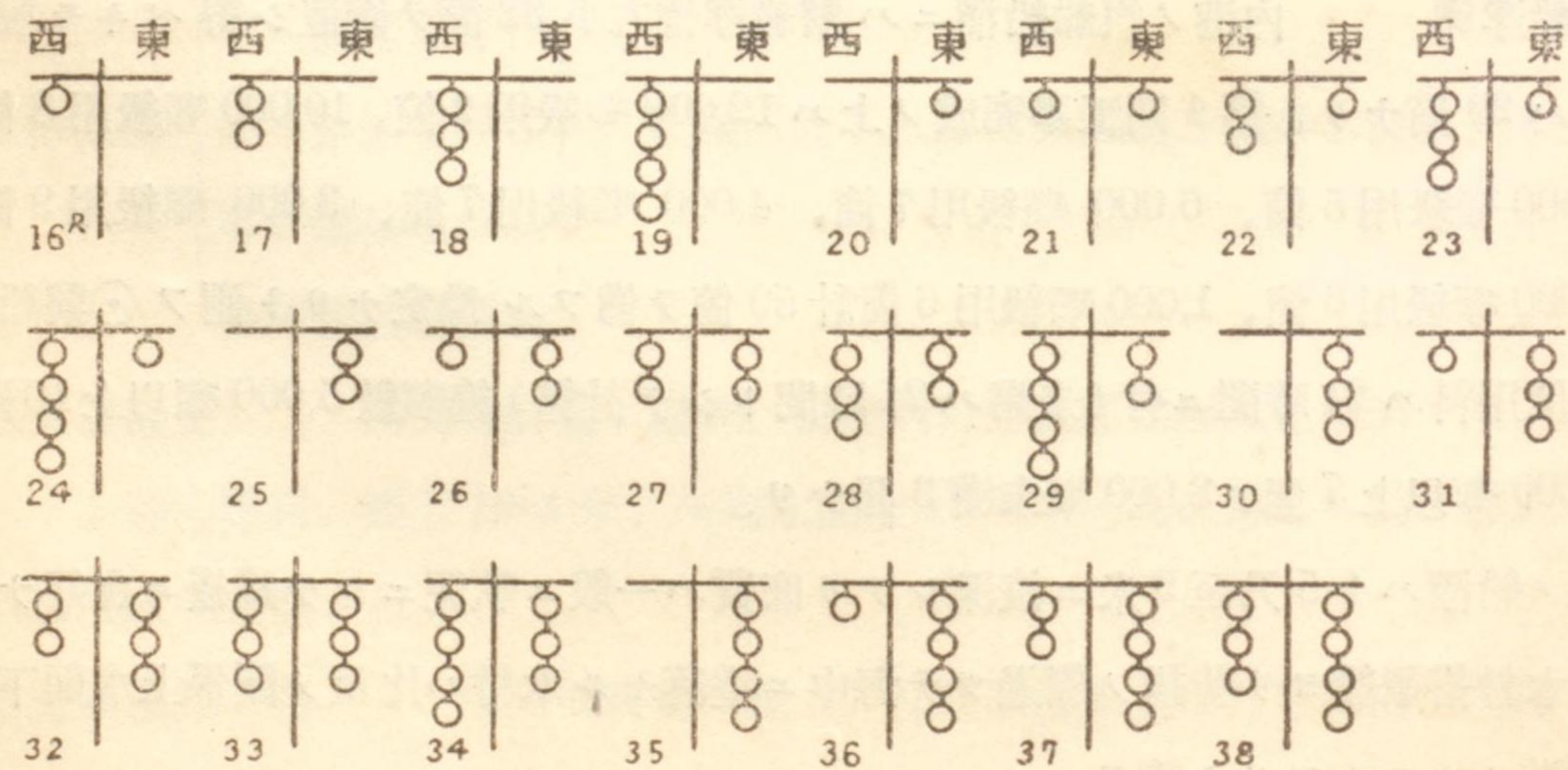
地方暴風標及暴風雨標 築地 2 號地警察署構内、南區、熱田神戸町及外港東濱横須賀町ニ各地方暴風標アリ○2 號地港務所南方海岸無線電柱ニ暴風雨標ヲ掲揚ス。

船舶出入信號 出港船又ハ航路ニ支障アルトキハ紅旗(夜間ハ紅燈)ヲ西突堤燈臺旗竿ニ掲グ又入港差支ナキトキハ綠旗(夜間ハ綠燈)ヲ掲ゲ入港船舶ニ對スル信號ト爲ス、然レドモ此ノ信號法ハ港務所ヨリ有線電話ヲ以テ同燈臺ニ通ジタル上記事旗旒又ハ燈火ニ依リ通信スル組織ニシテ暴風雨ノ際ハ通信ニ故障ヲ生ジ易ク且從來夜間通信ハ成績思ハシカラザルヲ以テ入港船舶ニ對スル命令及船舶ヨリ入港日時其ノ他ノ事項報告ヲ敏活ナラシムル爲名古屋港務所ニ無線電信ヲ裝備ス。

出港船舶ニ對シテハ築地燈臺ニ於テ同様ノ信號ヲ行フ○詳細ハ水路誌附録第 1 卷名古屋港取締規則第 13 條及第 14 條ヲ見ルベシ。

水深信號 西突堤燈臺ニ於テ内港航路ノ水深ヲ下ニ示ス特設信號ニ依リ信號ス、漲潮中ハ竿頭ニ白球(夜間ハ白燈)ヲ掲ゲ高潮期間ハ綠旗(夜間ハ綠燈)ヲ竿頭ニ掲グ、碇泊場ノ水深ヲ示ス爲同一方法ニ依リ築地燈臺ニ於テ信號掲揚ヲ行フ○水路誌附録第 1 卷名古屋港取締規則第 25 條參照。

特 設 信 號



諸規則 前記名古屋港取締規則アリ、水路誌附録第 1 卷ヲ見ルベシ。

船渠及起重機 7 號地北側中央部ニ名古屋港務所機械工場及修築工事用乾船渠(長サ 54.5 米、幅 14.5 米、水深平均高潮面下 3 米)アリ○起重機ハ浮艇式捲揚機(蒸汽力) 12 噸及 30 噸ノモノ各 1 基、2 號地鐵棧橋上ニ手働捲揚機 3.5 噸ノモノ 1 基、其ノ他會社専用ノ 1.5 乃至 2 噸起重機數臺アリ。

給水及給水 3 號地東側及 4 號地南西角ニ各 1 箇ノ水栓アリ共ニ主トシテ沖懸リ船舶ニ運搬供給ヲ爲スモノニシテ名古屋給水會社之ヲ經營シ 33 乃至 92 噸積唧筒附水槽船(給水力 1 時間 35 乃至 70 噸) 5 隻ヲ有ス給水料 1 噸ニ付 43 錢ナリ但シ料金ハ隨時變更セラルベシ○2 號地鐵棧橋ノ東西兩側ニ口徑 6.3 糎(2.5 吋)ノ水栓各 1 箇アリ主トシテ同棧橋繫留船舶ニ直接給水ヲ爲スモノニシテ名古屋棧橋給水社之ヲ經營シ給水力 1 時間 50 噸料金 1 噸ニ付 40 錢ナリ。主トシテ船舶ヘノ給水ヲ營ム製水會社下記 3 アリ。

會 社 名	1 日製水高(噸)	貯水量(噸)
大日本製水會社名古屋出張所	35	2,000
金城製水會社熱田製水所	20	60
築地製水會社	6	20

曳船及通船 縣營曳船 18 隻(總噸數 10 乃至 170 噸)ヲ備ヘ内 3 隻ヲ棧橋專屬ト爲シ棧橋繫離船舶、港内轉錨等ノ需ニ應ズ、使用料ハ棧橋繫離ノ爲ノ場合ニハ 1 回總噸數 1,000 噸以上ノ船舶 5 圓、同未滿 3 圓又其ノ以外ノ場合ニハ 1 時間(1 時間未滿ハ 1 時間トシテ計算ス)ニ付 3 圓トシ夜間ハ各料金ノ 5 割増トス○他ニ民營曳船業者 11 名アリ總數 23 隻(總噸數 10 乃至 21 噸)ノ小蒸汽船及發動機船ヲ以テ曳船業組合ヲ組織シ一定ノ賃金ヲ定メ各自各別ニ營業ヲ爲ス。碇泊船舶ト棧橋トノ間ノ交通連絡ハ名古屋港通船會社ノ經營ニ係リ小舟 48 隻、發動機船 7 隻ヲ之ニ充ツ。

水先人 名古屋港水先區水先人組合事務所ハ築地 2 號地ニ在リ、水先人現在 6 名○船舶外港航路ニ入り國際信號ニテ招要スルトキハ外港第 1 號第 2 號挂燈浮標附近ニテ乗船ス、然レドモ水先人沖待營業所ナキ爲招要信號ヲ見テ直ニ

出動スルモ乗船地點迄約50分ヲ要スルヲ以テ豫メ無線電信其ノ他ノ方法ニ依リ到着時刻ヲ通告シ入港船ヲ待受セシムルヲ可トス○水先ニ關スル法規ハ水路誌附録第1卷ニ在リ。

交通 此ノ港ヲ出入スル定期航路ノ主ナルモノハ日本郵船會社ノ橫濱「ロンドン」線、New York線、Seattle線、濠洲線、Bombay線、Calcutta線、橫濱上海線、大阪商船會社ノNew York線、濠洲線、「アフリカ」線、Bombay線、Calcutta線、南洋線、Saigon, Bangkok線、Philippine線、廣東線、名古屋樺太線、大連汽船會社ノ名古屋大連線等ニシテ其ノ他諸會社ノ内外國各方面ニ至ル汽船定期ニ寄港ス。

10 寄港 スル外國汽船會社ノ主ナルモノハ Blue Funnel Line, North German Lloyd, Hamburg-American Line, Eastern & Australian S. S. Co., Java, China & Japan Line 等ナリ。

鐵道ニハ省線東海道本線ヲ通ズル外中央本線、關西本線、臨港線ヲ發シ又熱田常滑町間ニ愛知電鐵常滑線、熱田河和町間ニ知多鐵道線、熱田豐橋市間ニ愛知電鐵本線、堀川瀬戸町間ニ瀬戸電氣鐵道線、柳橋ヨリ彌富町、津島町、起町、笠松町、小牧町、高山線鶴沼驛、太多線廣見驛、勝川町等トノ間ニ名岐鐵道名古屋各線アリ、市内及下之一色町間ニハ市營電車其ノ他二、三ノ電車會社線アリ○省線驛トシテハ名古屋、白鳥、名古屋港、堀川口、熱田、千種、大曾根ノ諸驛アリ。

20 貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數並ニ噸數、移輸出入品價額及主ナル品目下ノ如シ。

外國航路		内國航路	
隻數	噸數	隻數	噸數
1,208	3,663,102	38,391	3,216,913
(内汽船) 1,208	3,663,102	2,407	2,745,967
輸出品價額	輸入品價額	移出品價額	移入品價額
37,955,439 圓	65,053,426 圓	34,928,640 圓	88,219,708 圓

主ナル

- 輸出品 綿織物、陶磁器、麥酒、箱板、紡績機及織布機等。
- 輸入品 羊毛、石炭、小麥、木材、石油機關、飼料等。
- 移出品 陶磁器、木材、砂糖、麥酒、石炭、肥料等。
- 移入品 砂糖、石炭、木材、朝鮮米、臺灣米、鐵等。

潮流 名古屋港ノ潮流ハ港務所ノ調査ニ依レバ漲潮流ハ港口ヲ斜ニ東突堤ニ向ヒ彎曲シテ内港ニ入り航路ニ沿ヒテ港首ニ向フモノノ如シ其ノ流速概シテ落潮流ニ比シテ稍遲緩ナルヲ常トス、唯東突堤西端附近ノ一部ニ於テ時ニ1.5節ノ流速ヲ見ルコトアリ、落潮流ハ内港泊地ヨリ東突堤端附近迄ハ航路ニ沿ヒテ直流シ其ヨリ航路ニ沿ヒテ内港ノ外ニ出ヅ横須賀町沖ニ向フガ如シ其ノ流速内港ニテハ航路ノ中央部最モ強ク往々1節ニ達スルコトアリ 外港ニテハ最強 10 1.3節ナルガ如シ。

風候 當港ニ於テハ冬季偏北風流行シ東方ニ順轉スルヲ常トス、風位西變セバ晴朗ノ天氣ヲ期待シ得ベシ、風力ノ強キハ南東風ニ多ク波浪ノ大ナルハ偏西風ナリト謂フ。

名古屋港至四日市港

名古屋港ヨリ四日市港ニ至ル間即チ伊勢海ノ北濱ハ低ク概ネ松樹並列ス其ノ内名古屋市ヨリ桑名町ニ至ル海岸ハ石堤ニシテ好目標ナク桑名町以南四日市市附近迄ハ概ネ沙濱ヲ成ス、木曾川及揖斐川此ノ間ニ注ギ名古屋港以西該川口沖ニ至ル間ハ干出洲延出スルコト3湮ニ達ス。

地方暴風標 庄内川上流ノ枇杷島町、日光川上流ノ蟹江町及日光川木曾川 20 間ニ位スル津島町ニ各地方暴風標アリ。

木曾川 木曾川ハ源ヲ長野縣鉢伏山ニ發シ所謂木曾溪谷ヲ經テ伊勢海ノ奥部ニ注入スル急流ニシテ愛知、三重兩縣ノ境界ヲ成ス(但シ川口4湮間ハ鍋田川ガ境界ナリ)、川口ノ西岸ニ最高高潮ニ洗フ長サ1.5湮ノ石造導水堤ヲ有シ堤端ニ球形頭標附紅塗鐵造圓柱形立標(平均水面上ノ高サ6.7米)アリ○川口ヨリ5湮上流ノ彌富町ニ地方暴風標アリ。

揖斐川(イビ) 揖斐川ハ木曾川ノ西方ニ列ビテ流レ川口ニ近ク桑名町ノ前

面ニ於テ其ノ中間ヲ流ルル長良川ヲ合ス、川口西側ニ最高高潮ニ洗フ長サ3湮ノ石造導水堤ヲ有シ堤端ニ球形頭標附紅塗鐵造格子製三角錐形立標（平均水面上ノ高サ7.3米）アリ。

桑名町 揖斐川及長良川合流點ノ右岸ニ在リ人口23,086（昭和5年國勢調査）此ノ町ニ面スル港ハ古來伊勢海ノ要津ト稱セラレ木材ノ集散地トシテ名アリ、近ク修築工事ヲ起ス豫定ナリ○鐵道ハ關西本線ヲ通ズル外大垣市ヲ經テ揖斐町ニ至リ津市ヲ經テ宇治山田市大神宮前ニ至ル伊勢電氣鐵道線及阿下喜町ニ至ル北勢鐵道線アリ。

桑名警察署内ニ地方暴風標アリ。

- 10 **富洲原港** 桑名町ト四日市市トノ中間ニ於テ相接セル富洲原、富田兩町ニ跨ガル河港ナリ目下河口外ニ防波堤竝ニ防沙堤ノ築設、埋立、浚渫（水深1.2米）等ノ工事施行中ナリ○從來ノ港口ヲ標示スル爲港口西側ニ燈竿アリ富洲原漁業組合ノ設立ニ係ル。鐵道ハ關西本線及伊勢電氣鐵道線ヲ通ズル外富田町ヨリ西藤原村ニ至ル三岐鐵道線アリ。

四日市港（海圖94） 名古屋港口ノ西方10湮ニ在リ明治32年ノ開港ニ係リ舊四日市燈臺跡ヲ中心トシテ2.5湮ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ弧内ヲ以テ其ノ港界トス○港内泥底ニシテ錨搔キ善ク其ノ沿濱ノ北半ハ即チ霞ヶ浦ナリ。

- 四日市市** 四日市市ハ人口51,810（昭和5年國勢調査）三瀧川ノ流域ヲ擁シ市役所、警察署、三重縣防疫事務所、名古屋地方專賣局四日市出張所等アリ物資ノ集散甚ダ盛ナリ。

築港 明治43年起工セル第1期修築工事ハ昭和3年7月竣成ヲ見タルモ更ニ第2期修築工事トシテ繫船岸延長563.5米、荷揚場延長154.5米、浚渫立積61,000坪、埋立立積60,000坪、上屋建造2,160坪等ノ諸工事ヲ計畫實施中ニシテ昭和9年度完成ノ豫定ナリ。

尙四日市倉庫運輸會社ノ企畫ニ係ル専用繫船岸壁築造ヲ追加工事トシテ施行シ繫船岸壁154.5米、浚渫立積19,000坪、橋梁1箇竣工セリ。

工事完成ノ曉ニハ繫船岸壁ニ10,000噸級2隻、8,000噸級1隻、若ハ10,000噸級1隻5,000噸級3隻ヲ同時ニ繫留シ又船溜ニハ10,000噸級5隻3,000噸級3隻ヲ同時ニ碇泊セシメ得ベシ。

港内沿岸 港内ノ北端ニハ富田町ノ一部アリテ防波堤及船溜ヲ有スル小港アリ。

四日市稅關支署ノ前面ニ舊港ノ防波堤アリテ舟艇港タル小船溜ヲ圍屏ス此處ヨリ四日市驛其ノ他市街ノ諸處ニ通ズル運河アリ但シ小舟ノ外出入スルヲ得ズ、舟艇港ノ西方ニ續ク市施工ノ埋立地ヲ尾上町トシ尾上町埋立地ト運河ヲ隔テテ第1號埋立地、更ニ運河ヲ隔テテ其ノ東方ニ第2號埋立地（築港事務所、臨時海港檢疫所ハ此處ニ在リ）、旭濱ノ堤防ヨリ北東方ニ向ヒタル後折レテ東方ニ突出スル旭防波堤ノ基部外側ニ在ルヲ第3號埋立地ト謂ヒ之ト第2號地トノ間ノ狹長ナルモノハ東京灣埋立株式會社ノ經營埋立地ナリ。

目標 防波堤燈臺及導燈ノ外市役所（「サイレン」吹鳴所トシテ高サ32米餘ノ高塔アリ）、三瀧川口附近製紙會社ノ大煙突、海員救濟會支部家屋、稅關北西方ノ風車、2號地ニ於ケル商工會議所（三階建「コンクリート」造）竝ニ南隣ノ公會堂（寺院式屋根）、第1號第2號兩地ヲ連ヌル鐵道可動橋（跳上橋）等ハ最モ顯著ナル目標ナリ○市街ノ後方ニ連ル低山脈上ニ在ル垂坂山ノ大松及其ノ南方6.5軒ニ在ル日氷山ノ著松ハ共ニ好目標ナリ。

防波堤燈臺 旭防波堤外端ニ設ク、上部檜形鐵造下部白塗六角形「コンクリート」造○燈高、礎上12.8米、平均水面上14.9米。

導燈 前燈ト2燈ヨリ成ル後燈トアリ此ノ3燈ヲ一線276度15分ニ視レバ船溜ニ至ル水深9.6米ノ浚渫水道ヲ導ク、構造等次ノ如シ。

前燈 第2號埋立地檢疫所南方ニ設ク、紅塗四角形檜形鐵造○燈高、礎上12.1米、平均水面上14.5米。

後燈 第1號埋立地南東角附近ニ設ク、黒塗四角形檜形鐵造○燈高、礎上22.7米及19.7米、平均水面上25.1米及22.1米○前燈トノ距離約460米。

船溜浮標 第2期修築工事ニ基ク浚渫船溜ノ境界ヲ示ス爲第2號挂燈浮標ト第1號及第3至第12號圓錐形浮標11箇トヲ碇置ス、偶數番號浮標6箇ハ北半周圍ニ、奇數番號浮標6箇ハ南半周圍ニ在リ。

第2號挂燈浮標 防波堤燈臺ノ北西方約3.9鏈ニ碇置ス、紅塗圓筒形上部櫓形鐵造○燈高、水面上3.3米。

繫船浮標 10,000噸級用5箇、3,000噸級用3箇計8箇ヲ船溜内ニ碇置ス、前者ハ浮量12噸後者ハ8噸ニシテ其ノ碇置ニハ錨ヲ使用セズ重量各100噸及60噸ノ「コンクリート」錘ヲ用フ但シ最近繫船岸壁築造工事ノ爲1番繫船浮標ヲ撤去セリ○繫船浮標使用料ハ24時間ニ付總噸數5,000噸以上10圓、3,000噸以上7圓、3,000噸未滿3圓ナリ。

地方暴風標及暴風雨標 舟艇港ノ北方附近海員掖濟會支部ノ寄宿舍前ニ地方暴風標アリ又暴風雨標アリ。

起重機 四日市倉庫運輸會社ニ於テハ第2號地ニ揚力1.5噸ノ「モノレールトランスポーター」、第1號地ニ揚力2噸ノ「モノレールテルファー」及揚力1噸ノ「クレーン」各1基ヲ有ス、其ノ電力使用料1日ニ付各20圓、20圓、5圓トス○他ニ修築工事使用中ノ20噸起重機浮艇1隻アリ。

諸規則 港内取締、錨地指定等ノ港務ハ四日市警察署長ノ所掌ナリ○四日市港取締規則、四日市港繫船浮標使用規程、四日市港繫船浮標使用料徵收規則、四日市港上屋使用料徵收規則、四日市港縣營上屋使用規程等アリ、水路誌附録第1卷參照。

給水 繫船岸壁ニテ接岸荷役ヲ爲スモノニ直接給水シ得ル様給水栓7箇所ヲ設備ス給水料1噸ニ付15錢○碇泊船舶ニ對シテハ10時間200噸ヲ供給シ得ル唧筒附給水船2隻ヲ備フ給水料1噸ニ付35錢。

曳船及舢舨 曳船8隻(縣ノ所有ヲ含ム)舢舨157隻アリ、舢舨ノ貨物積載量約11,000噸ニシテ中ニハ發動機ヲ有スルモノモ尠カラズ何レモ各回漕店ニ專屬ス、此ノ外本港ヲ中心トシテ所屬回漕店ヲ有セズ俗ニ旅舢ト稱シ荷役多忙其ノ他ノ場合臨時ニ使用シ得ル舢舨約60隻アリ此ノ貨物積載量4,000噸ナ

リ。
水先人 四日市港水先區水先人事務所ハ市内高砂町ニ在リ同所ニ宛テ招要ノ通告ヲ爲セバ旭防波堤南方迄出動ス、水先人現在1名○水先ニ關スル法規ハ水路誌附録第1卷ニ在リ。

交通 此ノ港ヲ出入スル定期航路ノ主ナルモノハ日本郵船會社ノSeattle線(往航)、橫濱上海線(復航)、近海郵船會社ノ小樽神戸線、攝陽商船會社ノ大阪名古屋線等ニシテ從來當地ニ寄港セシ日本郵船會社、大阪商船會社等ノ外國航路定期船及外國諸汽船會社ノ定期船ハ最近多ク寄港地ヲ名古屋港ニ變更シ吃水大ナルトキノミ當港ニ寄ルヲ例トス、其ノ他不定期貨物船ノ寄港スルモノハ多數アリ。

鐵道ニハ省線關西本線、同臨港線、伊勢電氣鐵道本線ヲ通ズル外四日市市ヨリ湯ノ山ニ至ル四日市鐵道(電車)、同市ヨリ八王子及日永ヨリ分岐シテ内部ニ至ル三重鐵道アリ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數並ニ噸數、移輸出入品價額及主ナル品目下ノ如シ。

	外國航路		內國航路		
	隻數	噸數	隻數	噸數	
	339	1,337,467	11,432	924,507	
(內汽船)	339	1,337,467	1,216	710,953	
輸出品價額	7,043,487圓	輸入品價額	15,564,953圓	移出品價額	19,224,614圓

主ナル

- 輸出品 陶磁器、肥料、米、荏胡麻子油、綿織物、肌衣、玩具。
- 輸入品 練綿、茶子、豆粕、大豆、胡麻子、荏胡麻子。
- 移出品 棉花、砂糖、陶磁器、菓子、金屬及同製品等。
- 移入品 陶磁器(常滑町ヨリ)、洋紙、砂糖、魚糟、石炭等。

潮流 流速ハ0.5節ヲ超エザルガ如シ故ニ皮流ハ風向ニ左右セララルコトアルベシ○憩流時ハ停潮時ト殆ド一致ス。

風候 當港ニ於テハ1年ヲ通ジ北西風及南東風多シ即チ冬季ハ西及北西ノ風夏季ハ東至南ノ風流行ス、秋季颱風時ニ於ケル南東風ハ殊ニ強烈ニシテ走錨スルコトアルヲ以テ警戒ヲ要ス、冬季ノ北西風ハ陸風ナルヲ以テ波浪大ナラズ碇泊ニ危険ナラズ。

四日市港至答志島

四日市港ヨリ答志島ニ至ル間即チ伊勢海ノ西濱ハ一般ニ平低ニシテ白沙青松之ニ沿ヒ山脈ハ遠ク内陸ニ退ク、此ノ高山脈ハ各所同高ニシテ目標ニ乏シト雖モ其ノ南走脈ト北走脈ト相重ナル處ニ一大低地ヲ成シ此ニ相對峙スル2尖峯アリ南東ニ在ルヲ長谷山(高サ321米)ト謂ヒ北西ノモノヲ經ヶ峯(高サ820米)ト稱ス共ニ好目標ナリ、經ヶ峯ノ北方15軒鈴鹿峠東側ニ於テ山脈ノ凹部ニ突起並列スル弧形ノ3峯アリ三兒山ト謂ヒ經ヶ峯ニ亞ギテ顯著ナリ然レドモ距離遠クシテ雲霧ニ蔽ハルル憂アリ○此ノ沿岸ニハ津、松阪、神社等ノ各港アレドモ大形船舶ニ對スル強烈ナル偏東風時ノ安全泊地ナシ。

楠崎(クス) 四日市港旭防波堤ノ南方2.3哩鈴鹿川口北側ニ突出セル沙地ノ崎ニシテ之ヨリ上流約6鏈ニ在ル青塗ノ著屋(其ノ傍ニ煙突アリ)ハ此ノ附近ニ於ケル好目標ナリ。

鈴鹿川上流ニ在ル龜山町ハ關西本線、參宮線ノ分岐點ニシテ中央氣象臺附屬龜山測候所アリ。

關航空標識燈 龜山町ノ西方約5軒ノ關町中央部ヨリ248度約2.5軒山頂ニ設ク。

加太航空標識燈 關航空標識燈ノ西方約7.2軒ニ設ク。

柘植航空標識燈 加太航空標識燈ノ西ノ南方約7.5軒ニ設ク。

上野航空標識燈 柘植航空標識燈ノ南西方約15軒ニ設ク。

千代崎港 楠崎ノ南南西方3.7哩ニ在ル河港ニシテ港口兩側ニ小規模ノ突堤アリ、伊勢電氣鐵道港ノ内方ヲ通過ス○此ノ港ニ燈竿1箇アリト謂フ。

港ノ南西方900米ニ在ル46米丘ノ著松ハ好目標ナリ。

千世崎航空標識燈 千代崎港入口南側ニ設ク。

白子町 千代崎港ノ南西方1.5哩ニ白子町アリ人口6,314(昭和5年國勢調査)家内工業タル友禪型紙ノ製造盛ナリ○町ノ南西方約5.5軒ニ在ル上野ノ著松ハ樹頂ノ高サ67米ニシテ好目標ナリ。

津港(海圖95) 白子町ノ南西方8哩ニ於テ津市ヲ貫流スル岩田川口ニ津港アリ往時本邦3津ノ中安濃津ト稱セラレ般販ヲ呈シタリシモ現在川口ハ水淺ク漸ク最大700噸ノ船舶ヲ入レ得ルニ過ギズ、贅埼燈臺ヲ中心トシ7.5鏈ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ弧内ヲ以テ港界ト定ム。

津市ハ岩田、安濃ノ2川ヲ挾ミテ市街ヲ成シ人口56,089(昭和5年國勢調査)三重縣廳、市役所、警察署、三重縣津測候所(報時氣象受信専用無線電信ヲ有ス)等アリ商工業共ニ盛ナリ。

岩田川口 川口ハ殆ド干出シ僅ニ1條ノ細キ濤ヲ餘スニ過ギザルモ小舟ノ出入ニハ差支ナシ○川口南側ニ突堤アリ又川口北側ニ於テ贅埼燈臺ヨリ東方ニ約120米ノ防沙堤ヲ設置シアリ高潮ニ没ス○贅埼西側ニ船溜アリ僅ニ十數隻ノ舟艇ヲ容レ得ルニ過ギザレドモ最好ノ避泊場ナリ水深0.4米。

目標 岩田川口以北ノ海岸ヲ贅崎浦、以南ヲ阿漕浦ト稱ス此ノ一帯ノ海岸ハ白沙連リ長松並列シ殆ド内方ノ地物ヲ遮蔽スレドモ岩田川口ヲ通ジテ松樹ノ間ニ東洋紡績會社工場ノ煙突4基ヲ見ルヲ得ベシ其ノ中東方ヨリ3番目ノ煙突ト贅埼燈臺トヲ一線270度ニ視テ進ミ適宜錨地ヲ選定スルヲ可トス○岩田川ノ南方ニ在ル測候所ノ屋頂ハ錨地ヨリ明視スルヲ得ベシ。

贅埼燈臺(ニエ) 岩田川口北側ニ設ク、白塗四角形「コンクリート」造○燈高、礎上7.6米、平均水面上15.4米。

錨地 津港界外ニ於テ贅埼沖距岸1.5哩ノ處ハ水深12米泥底ニシテ錨搔キ善ク冬季北西風ノ時ト雖モ碇泊ニ危険ナシ然レドモ9月頃俄ニ起ル南東ノ強風ニハ大ナル警戒ヲ要ス。

地方暴風標 測候所構内ニ地方暴風標アリ。

物資 大抵辨ジ得ベシ○淡水ハ容易ニ得難ク給水設備ナシ。

交通 攝陽商船會社ノ大阪名古屋間定期船此ノ地ニ寄港スルコトアリ○鐵

道ハ省線參宮線、伊勢電氣鐵道本線ヲ通ズル外南方中川驛ヲ經テ大阪市及宇治山田市ニ至リ得ル參宮急行電鐵線、西方川口村ニ至ル中勢鐵道線、北方椋本村ニ至ル安濃鐵道線等アリ○鐵道省驛2アリ北方ノモノヲ津驛、南方ノモノヲ阿漕驛ト謂フ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數並ニ噸數及移出入品價額次ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
	18,128	348,048	393,106 圓	1,838,196 圓
(内汽船)	331	123,890		

10 移出品ノ主ナルモノハ米ニシテ移入品ノ主ナルモノハ大豆、鮮魚、肥料、木材等ナリ。

潮流 此ノ錨地ノ潮流ハ弱ク流速0.5節ニ過ギザルモノノ如シ概シテ漲潮流ハ北方ニ落潮流ハ南方ニ流レ海岸ト併行ス○風向及連日ノ降雨ハ皮流ノ方向ヲ變ゼシムルコト屢ナリト謂フ。

風候 津港ニ於テハ冬季ハ北西及西ノ風、夏季ハ西至北西及南東至東ノ風流行ス。

20 松阪港 津港ノ南方約5哩雲出川ト碓川トノ間ハ即チ大口灣ニシテ從來其ノ灣首ヲ大口港ト稱セシガ最近之ヲ修築シテ松阪港ト改稱シ其ノ港界ヲ西防波堤端ヲ中心トシ3,000米ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ弧内ト定メタリ、此ノ港ハ舊幕時代ニハ紀州家參勤交代ノ要路ニ當リ伊勢領ニ屬セシガ年貢米全部ヲ貯藏スル倉庫ノ設ケアリタル處ナリ。

港首内方ノ松阪町ハ人口26,019(昭和5年國勢調査)ヲ算セシガ昭和8年2月1日ヨリ松阪市ト改ム、當地ハ古來松阪木綿ノ名ヲ以テ知ラレシガ今日ニ於テハ新興ノ商工都市トシテ此ノ地方ニ於ケル物資ノ集散地タリ。

築港 大正9年以來7箇年ノ繼續事業ヲ第1期トシ更ニ昭和3年ヨリ3箇年ノ事業ヲ第2期トシ東防波堤西防波堤及内港防波堤ノ築設、船溜及航路(幅36米)ノ水深2.7米浚渫、埋立、上屋建設等ヲ終了シ面目ヲ一新シタルヲ以テ

700噸級汽船ノ出入ハ安全ト爲レリ。

東防波堤燈竿 東防波堤外端ニ設ク、白塗圓柱鐵造○燈高、礎上5米、平均水面上7.6米。

錨地 大形船舶ノ錨地トシテハ防波堤沖水深7.3乃至12米泥底ノ處ハ錨搔キ善シ然レドモ偏北強風ノトキハ波浪高シ。

交通 本港名古屋運河間ノ定期貨物船毎日1回宛双方ヨリ發航ス。

鐵道ニハ省線參宮線、伊勢電氣鐵道本線、參宮急行電鐵線ヲ通ズル外當市ヨリ北西方家城村ニ至ル名松線、松阪港ヨリ市内ヲ經テ南西方大石村ニ至ル松阪電鐵線アリ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數並ニ噸數及移出入品價額次ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
	3,615	64,995	4,291,900 圓	2,285,220 圓
(内汽船)	150	24,000		

移出品ノ主ナルモノハ木材、木炭等ニシテ移入品ノ主ナルモノハ石炭、砂糖、「セメント」等ナリ。

海岸 碓川口ヨリ桃取水道ニ至ル約10哩ノ海岸一帯ニ於テハ諸川流注出シテ數門洲ヲ成シ且距濱1乃至2哩ノ間淺瀬擴延ス。

20 大淀港 碓川口ノ南東方約2哩大淀町ノ前面大堀川口ニ在ル小河港ニシテ川口兩側ニ防波突堤ヲ築設ス、突堤端ニ燈竿ヲ設ケアリ○本港附近ニ明野陸軍飛行學校アリ。

明野陸軍飛行場航空標識燈 大淀港ノ南イ東約3.5軒ニ設ク。

土路西條燈竿 大淀港ノ南東方3哩土路川口附近ニ設ク、白塗竿柱木造○燈高、礎上7.6米、平均水面上12.4米。

神社港(カミヤシロ) 神社港ハ大淀港ノ南東方約5哩ニ川口ヲ有スル勢田川上流ノ河崎港、川口ノ大湊港、其ノ中間ノ神社港ノ3港ヲ總稱スルモノニシテ宇治山田、神社及大湊ノ1市2町ニ跨ガル。

毎年4月乃至5月頃ハ近海諸港ヨリ神宮參拜ノ團體客ヲ満載セル船舶當港ニ輻輳ス○大湊港ハ古來造船業盛ニシテ現在十數箇ノ造船所アリ300噸以下ノ船舶ヲ造リ得○神社町ヨリ山田驛前迄乗合自動車及乗合馬車ノ便アリ神社町前面ハ低潮時大艇ノ達着自由ナラザルコトアリ○神社町ノ前面ニ於テ五十鈴川ノ分流タル汐合川ハ勢田川ニ合流ス。

宇治山田市 伊勢大廟ノ所在地ニシテ人口51,810(昭和5年國勢調査)、外宮(豐受大神宮)ハ山田ノ南郊ニ内宮(皇太神宮)ハ宇治ニ在リ五十鈴川ノ清流其ノ傍ヲ流ル○鐵道ハ關西本線龜山驛ヨリ分岐シテ鳥羽ニ至ル省線參宮線(山田驛)、津市ヨリ來リテ外宮前ニ至ル伊勢電鐵本線、大阪市當市間ノ參宮急行電鐵參宮線、山田驛ヨリ外宮前ヲ經テ内宮前(途中楠部ヨリ朝熊電鐵ノ平坦線竝ニ鋼索線ニ據リテ朝熊岳ニ登リ得)及二見町ニ至ル合同電鐵線アリ。

10

築港 大正3年ヨリ17箇年ヲ費シテ修築ヲ行ヒ川口兩側ノ突堤築造、航路浚渫、船溜浚渫、河身付替等ノ工事ヲ完成シタルヲ以テ大湊港迄(水深1.5米ニ浚渫)100噸ノ船舶ヲ、神社港迄50乃至60噸ノ船舶ヲ常時出入可能ナラシメ又高潮時ニハ50噸未滿ノ船舶ヲ河崎港迄出入セシメ得ルコトト爲レリ。

目標 朝熊岳ノ鋼索登山電車、二見町東方ノ鎌研山(樹頂ノ高サ129米、海圖1053參照)、突堤燈竿等ハ好目標ナリ○突堤内ニハ紅塗浮標4箇ヲ碇置シテ浚渫水道ヲ示ス。

20

伊勢大湊港東燈竿 神社港北突堤北東端ニ設ク、紅塗四角形「コンクリート」造○燈高、平均水面上6.8米。

伊勢大湊港中央燈竿 北突堤上東燈竿ヨリ南西方約500米ニ設ク、白塗四角形「コンクリート」造○燈高、平均水面上5.5米。

伊勢大湊港西燈竿 北突堤上中央燈竿ヨリ南西方580米ニ設ク、白塗四角形「コンクリート」造○燈高、平均水面上5.5米。

錨地 大形船舶ハ突堤沖合ニ於テ水深適宜ノ處ニ錨地ヲ選定スベシ何等遮蔽物ナキ爲強風時ニハ波濤高ク短艇ノ交通危險ト爲ルコトアリ、又北防波堤ノ北東側ハ漸次土沙流レ來リ水深ヲ減少シツツアリ○昭和4年6月軍艦古鷹ハ鎌

研山ヲ172度ニ望ミ距離4,200米水深18米ノ處ニ錨泊セリ○昭和6年9月某潜水艦ハ東燈竿ノ73度3,500米水深12.8米底質沙ノ處ニ5節ノ錨鎖ヲ出シ碇泊中(天候晴、海上和、風向北東、風速1米、潮流南東流約2節)夜間走錨シタルコトアリ其ノ後揚錨ノ際錨爪ノ光リ居ルヲ認メタリト謂フ錨泊船ハ注意ヲ要ス。

物資 大湊町及神社町ハ供給力少キモ宇治山田市ヨリハ一時ニ多量ナラザル限リ補給シ得ベシ○淡水ノ供給設備ナシ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數竝ニ噸數及移出入品價額次ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
	23,086	331,970	2,178,572 圓	2,075,895 圓
(内汽船)	180	1,080		

10

移出品ノ主ナルモノハ木材、麥、木炭、米、砂糖等ニシテ移入品ノ主ナルモノハ木材、和洋酒、鮮魚介、石炭等ナリ。

潮流 沖合錨地附近ニ於ケル潮流ハ桃取水道ヨリ出入スルモノノ如ク落潮流ハ漲潮流ニ比シ強キガ如シ。

氣象 最多風向ハ北西ニシテ春秋2季ニ5乃至6回位強烈ナル東風起ルヲ常トス○降雨ハ6月及9月ニ最も多シ。

二見町 神社港ノ東方2湮五十鈴川口ニ二見町アリ人口6,129(昭和5年國勢調査)、神社港ヨリ神前崎ニ至ル間ヲ二見浦ト稱シ其ノ中央ニ二見興玉神社及立石〔夫婦岩〕アリ此ノ附近ハ名勝地トシテ知ラレ春季及夏季ニハ參宮團體客ノ乗船セル汽船毎日4回發着ス○省線參宮線ノ二見驛アル外合同電鐵線ノ終點驛アリ。

20

池ノ浦 神前崎(コウサキ)ヲ廻レバ灣入1.3湮ノ淺瀬ノ灣アリ池ノ浦ト謂フ、中央ニ高サ4.2米ノ中ノ島アリ又浦ノ内方ニ三重縣立鳥羽商船學校アリ○中ノ島ノ北方ニ於テ浦ノ東角龜ノ島ノ鼻ト浮島西ヶ崎トノ一線上龜ノ島ノ鼻ヨリ2.3鏈ノ處ニ北風以外ノ好錨地アリ。

桃取水道 此ノ水道ハ伊勢海ヨリ鳥羽港ニ往復スル汽船ノ良航路ニシ

テ其ノ内口(答志島西端、日向島間)ヨリ中口(神前崎、飛島西端間)ヲ經テ外口(飛島北方淺瀬區域、二見浦沖淺洲間)ニ至ル水道中央ノ水深ハ内口中口間20乃至65米ニシテ中口外口間14乃至53米ナリ。此ノ外口中口間ヲ安全ニ通過スルニハ鳥羽町背後ノ相生山(高サ197米)ヲ神前崎ト一線ニ望ミテ航行スレバ可ナリ。

架空線 桃取水道内口ニ架空線ヲ兩端ノ框式鐵造電柱間ニ架設シアリ最下垂部ノ高サハ高潮面上45米ト稱スルモ實際ハ35米内外ナルヤノ疑アリ。

潮流 桃取水道ノ潮流ハ内外口共漲潮流ハ偏北西ニ落潮流ハ南東方ニ流レ略高低潮ニ轉流ス漲潮流ノ速サハ内口ニテ1.8節、外口ニ在リテハ1節アリ、
10 落潮流ノ速サハ内口ニテ2.5節、外口ニ在リテハ0.8節ヲ驗セリ(大正3年8月、月齡1日)。

答志島北岸 答志島ハ桃取水道ノ東方ニ横タハレル長サ約3.5湮、最大幅約1湮ノ島ニシテ高サ約130米ノ山脈全島ヲ貫通シ其ノ最高處ハ島ノ西側ニ在ル宮谷峠ナリ高サ167米。島ノ北側平手崎ト牛島トノ間ニ灣入約8鏈ノ1小灣アリ北方ニ開口シ小舟ヲ泊シ得ベシ。答志島ノ南岸ニ就テハ第127頁ヲ見ルベシ。

上記小灣ノ西側ヨリ一連ノ島嶼連リ西方神前崎ニ向ヒ約2.3湮ノ間擴延シ桃取水道南部ノ北側ヲ形成ス各島嶼間ニハ小舟ノ水路アリ。此等ノ島嶼中最モ西ニ在ルヲ飛島ト稱シ低潮ニハ殆ト相連接スル數小嶼ヨリ成ル、中央ハ浮島ト謂ヒ
20 高サ64米、東嶼ハ長サ5.5鏈ノ細長キ島ニシテ牛島ト謂フ。

大築海島(オホヅクミ) 答志島ノ北東方5鏈ニ在リ高サ84米ニシテ其ノ南側附近ニハ離岩散在ス(第90頁對面對景圖第5參照)。之ト答志島トノ間ニ大中山島(高サ30米)ト稱スル1小島アリテ低潮ノトキハ答志島ニ連接ス。大築海島ト大中山島トノ間ノ水道ハ中央部深ケレドモ南方部ニハ數多ノ險礁アルヲ以テ船舶ノ通航ニ適セズ。

漁礁 大築海島西端ノ北方約1.2湮ニ廢小漁船6隻及其ノ東北東方約5鏈ニ約7噸ノ廢船1隻ヲ沈下シテ漁礁ヲ築造シ同位置ヲ中心トシテ夫々東西及南

北方向各400米區域内ニ於テ其ノ附近ニ約1米角長サ約1.3米ノ「コンクリート」塊各15箇ヲ沈置セリト謂フ(昭和7年)。

小築海島(コヅクミ) 大築海島ノ北東方5鏈ニ在リ長サ1.5鏈高サ49米。之ト大築海島トノ間ノ水道ハ6.4米ノ水深アレドモ幅極メテ狭ク加フルニ左右ヨリ岩礁對出シ甚ダ危險ナリ。

神島北西方諸礁 神島ノ北西方1.6湮ニ横瀬(水深14米)アリ之ヨリ南西方ニハ**コンサ礁**(低潮ニ洗フ尖岩、附近水深6.8乃至9.6米)及**シモーサ礁**(水深1米ノ尖礁)アリ。

三河灣

三河灣ハ伊勢海東隣ノ大灣ニシテ伊良湖崎ト羽豆崎トノ間ヲ灣口トシ渥美半島及知多半島ニ依リ圍マレ東及北ノ2支ニ分レ東方ヲ渥美灣、北方ヲ知多灣ト稱ス、灣内ノ水深ハ概ネ平坦ニシテ規則正シク最深20米ヲ超エズ底質泥沙錯掻キ善ク偏北風及偏東風時ノ避泊地トシテハ伊勢海ニ優レリ。

三河灣内ノ沿岸ニ於テハ渥美灣ノ南濱最モ高ク之ニ次グヲ其ノ北濱トシ知多灣ノ西濱更ニ之ニ次グ、兩灣共其ノ東濱ハ一望十數軒ニ互ル平低ノ耕地ナリ。三河灣内ニ於ケル錨地ハ武豊港ヲ以テ第1トス。

水先 水先法施行細則ニ依リ定メラレタル水先區ニ非ラザレドモ三河灣水先人組合(水先人目下2名)アリテ三河灣出入船舶ノ爲ニ下記ノ通水先營業ヲ爲ス。水先船定繫場ハ知多半島端師崎港ニシテ水先人乗船地點ハ特ニ指定ナキ場合ハ同港沖ナリ、晝夜ニ關セズ要求ニ應ズレドモ水先船ノ出動及師崎水道ノ漁船幅帳ニ對シ整理ノ都合等ニテ多少ノ時間ヲ要スルニ付相當ノ餘裕ヲ以テ半田町三角合名會社淺野商店内事務所宛通知ヲ要望スト謂フ。

交通 愛知商船會社ハ蒲郡鳥羽間ニ於テ毎日往復各1回ノ定期航路ヲ經營ス、其ノ他沿岸往復ノ定期又ハ不定期小汽船便アリ。

三河灣口附近

三河灣口ニハ一系ノ島嶼横タハリ數條ノ水道ヲ成ス即チ此ノ列島ト渥美半島北側トノ間ヲ中山水道ト謂ヒ知多半島トノ間ヲ師崎水道ト謂フ又別ニ日間賀、築

見兩島間ニ小水道アリ。

中山水道ノ潮流 大正3年9月、月齡15日ノ驗測ニ依レバ此ノ水道ノ潮流ハ漲落兩流共渥美半島立馬崎南方ノ海岸線ト略平行シ漲潮流ハ北東方ニ落潮流ハ南西方ニ流レ其ノ最大流速ハ篠島ノ高低潮後3乃至4時ニシテ1.2乃至1.5節ナルコトヲ驗セリ、轉流時ハ篠島ノ高低潮時ト略同時ニシテ殆ド憩流ナシ。

師崎水道ノ潮流 大正3年9月、月齡16日及17日ノ驗測ニ依レバ此ノ水道ノ漲潮流ハ北方ニ落潮流ハ南方ニ流レ其ノ最大流速ハ篠島ノ低潮後3時ニ2節、落潮流ニ在リテハ同島ノ高潮後4時ニ1.8節ナルヲ驗セリ、轉流時ハ篠島ノ高低潮時ト略同時ニシテ殆ド憩流ナシ。

トウノ瀬 中山水道ノ中央ニ横タハレル危険ナル尖礁ニシテ礁上水深3.6米四周急深ナリ◎此ノ暗礁ノ北東方1.5湮距岸5.5鏈ニ草場ノ瀬アリ礁上水深10米ニシテ周圍同ジク急深ナリ。

野島 灣口列島中ノ最南島ニシテ高サ57米島頂ニ顯著ナル1小叢林アリ、島岸ハ北東面ヲ除ク外皆斷崖ニシテ周圍殊ニ北西方ニハ岩石散在ス◎此ノ島ト篠島トノ間ハ深水ナル水道ヲ成ス。

篠島(シノ) 野島ノ北方ニ在リ南北ノ長サ8鏈幅約5鏈ニシテ北部ニ2頂アリ西頂(高サ48米)ハ東頂(高サ42米)ヨリ稍大ナリ、東頂ヲ東山ト稱シ古松疎立スルヲ以テ顯著ナリ「城山ノ松」ナル名アリ、又島ノ中央ヨリ稍西方ニ鬱蒼タル森アリ好目標トス。

東西2頂間ノ低地ニ篠島村アリ人口2,374(昭和5年國勢調査)愛知縣水産試験場及無線電信固定局(篠島郵便局内)アリ、其ノ北側ニハ漁舟常ニ輻輳シ夏季ニハ避暑客ノ來遊スルモノ多シ、此處ヲ篠島港ト稱ス◎此ノ低地ノ兩側ヲ除ケバ全岸總テ險崖ナリ。

篠島村ニ地方暴風標アリ。

松島 篠島ノ西角南風ヶ埼(ハエ)ヨリ214度約2.5鏈ニ在リ2箇ノ尖岩ヨリ成リ其ノ高キ方(高サ29米)ニハ松樹簇立スルヲ以テ認メ易シ、他ノ1岩

ハナベ島ト稱シ高サ15米ノ圓錐形島ニシテ雜草之ヲ蔽フ。

戸龜島 松島ノ北西方約3鏈ニ在ル高サ4.3米ノ平低岩嶼廣龜島〔平島〕ト篠島西角トノ間ニ在ル圓筒形ノ尖頂岩ニシテ白色ヲ呈シ日ニ映ズレバ殊ニ顯著ナリ高サ14米。

木島 篠島ノ北西角附近ニ在ル高サ52米ノ圓頂島ニシテ全島樹木密生ス島ノ南東側ニ高サ3.6米ノ基本水準岩アリ。

小磯島 篠島東山ノ北方2.5鏈ニ在リ高サ39米松樹疎立ス、島ノ中央ニ於テ約2米ヲ隔テ南北2島ニ分ルヲ以テ北方ノ島ヲ別ニ**ドビン島**トモ謂フ◎小磯島ノ北方ニ在ルヲ**中手島**ト稱シ高サ39米松樹繁茂シ周圍險崖ナリ◎中手島ノ北方ニ築見島(ツクミ)アリ高サ56米密生セル樹叢中ニ單松アリテ遠望顯著ナリ兩島ノ約中央ニ孤立暗岩アリ◎上記3島ハ篠島ノ東角ヨリ北走スル一連ノ礁脈上ニ位置ス。

日間賀島(ヒマガ) 篠島ノ北方1.5湮ニ在リ東西ノ長サ約8鏈幅約3鏈高サ28米ニシテ南側ハ險崖ヲ成シ距岸200米ニシテ水深キモ他側ハ總テ5乃至8鏈ノ間海底險惡ナリ。

水底電線 日間賀島ノ北西角ニ師崎町ニ至ル水底電線ノ陸揚地アリ此ノ陸揚地ヨリ沖合110米迄ハ線條ノ左右各30米以內其ノ他ハ線條ノ左右各100米以內ヲ以テ線路區域ト指定ス。

角石燈標(カドイシ) 日間賀島北西角ノ西方約4.5鏈ニ在ル干出0.9米ノ岩礁角石ノ上ニ設ク、下部「コンクリート」造紅塗、上部格子製檜鐵造◎燈高、平均水面上12.1米。

下瀬礁 角石ヨリ南東方約200米ノ間ハ礁脈起伏シ次デ深水ヲ隔テ北ニ鼠島(高サ7.1米ニシテ頂ニ顯著ナル3本松アリ)南ニ下瀬礁(低潮ニ干出ス)アリ。

淺間瀬 角石ノ北東方4鏈ニ位スル淺礁ニシテ最淺部ノ水深3.2米ナリ。

大磯礁 日間賀島ノ東角宮ノ鼻ヨリ53度約5.5鏈ニ在リ其ノ中央部ハ干出2.1米ノ白色礫堆ニシテ3條ノ石壁擴延ス◎大磯ノ北東方約2.5鏈ニ水深

4.5米ノ平藏瀬アリ。

佐久島 列島中最北ニ位スル島ニシテ又三河灣中ノ最大島ナリ、最高點ハ島ノ北東部ニ位シ秋葉山ト謂フ高サ38米、島周ハ概ネ岩岸ニシテ南東及北西ノ兩側ハ淺瀬多シ、南側ハ淺瀬ノ灣ヲ成シ漁舟ノ泊地ト爲ル。

險礁 佐久島ノ西方ニハ平島(水深7.7米)小島(水深5.4米)、東方ニハ高瀬(水深6.4米)小中瀬(水深6.4米)男瀬(最小水深3.6米)等ノ淺礁アリ
○中山水道ヲ通過スル船舶ニシテ男瀬ヲ避クルニハ羽豆崎ノ叢林頂ヲ日間賀島ノ南側ト一線ニ見ル線ヨリ北方ニ入ラザル様注意セバ可ナリ。

渥美灣

10 三河灣中伊良湖崎ト生田鼻トノ一線以東ヲ渥美灣トス灣入約16哩最狹幅5.5哩ニシテ水深底質適良ナルヲ以テ到ル處錨地ニ適ス。

伊良湖崎ノ北方2哩ノ處ヨリ立馬崎ニ至ル迄ハ低キ濱ニシテ松樹疎立ス○立馬崎ヨリ東方大洲崎ニ至ル約13哩間ハ沙礫濱ニシテ渥美灣ノ南濱ヲ成ス○大洲崎至橋田鼻即チ灣首ハ遠淺ニシテ蒲郡港アリ○橋田鼻ヨリ生田鼻ニ至ル約7哩間ノ海岸中東部4哩ノ間ハ背後ニ高キ山脈ヲ負フ岩岸ナルモ西部ノ3哩間ハ平低ノ石堤岸ニシテ淺瀬遠ク擴延ス。

立馬崎(タツマ) 高サ6.5米以下ノ低キ崎ナレドモ伊良湖崎ヲ繞航スレバ明ニ認ムルヲ得ベシ。

福江港 立馬崎ノ東方約2哩沙濱ノ盡クル處ニ在リテ沙泥礫ノ干出洲多ク
20 水淺キモ渥美灣中ニ於テハ小船ノ好泊地トス、沿岸航路ノ小汽船寄港ス○縣ニ於テハ此ノ港ニ防波堤、防沙堤等ノ修築工事ヲ實施中ナリ。

昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數5,933(内汽船1,992)噸數65,955(内汽船37,850)ナリ。

港ノ南方ニ福江町アリ人口11,714(昭和5年國勢調査)農業ヲ主トシ商業之ニ次グ、病院アリ○日用品ハ多少辨ジ得ベシ淡水ハ井水ヲ得ベシト雖モ別ニ給水船ノ設備ナシ○豊橋市ヨリ起リ當町ニ至ラントスル渥美電鐵線ハ目下東方13軒ノ黒川原迄開通シ居レリ。

福江町ニ地方暴風標アリ。

姫島 立馬崎ノ東方約9.5哩ニ在リ高サ62米ノ尖頂島ニシテ渥美灣中屈指ノ好目標タリ、島岸ハ東側ノ外總テ險崖ニシテ急深ナリ○船舶中山水道ニ來レバ必ズ立馬崎ノ上ニ姫島ヲ見ルベク更ニ進ンデ崎ニ接近スレバ此ノ島ト其ノ東方ニ當ル笠山(高サ79米ニシテ樹木之ヲ蔽ヒ形笠ノ如シ)トハ恰モ2島相列ベルガ如キ觀ヲ呈ス。

大洲崎 姫島ノ東方3.5哩ニ在リ高サ3米ニ滿タザル崎ニシテ顯著ナラズ其ノ南側ニ淺瀬ノ灣アリ最低低潮ニハ小舟モ入り難シ○此ノ灣首ニ注グ沙川口ヨリ上流1.3哩ニ位スル田原町ニ地方暴風標アリ。

地方暴風標 大洲崎ノ對岸埋立地ノ内方牟呂吉田村ニ地方暴風標アリ。 10

豊川〔吉田川〕 渥美灣首ニ注グ川流ニシテ川口ノ前面ハ遠淺ナリ高潮ニハ小舟ヲ通ジ得レドモ海水濁レルヲ以テ可航水路ノ識別容易ナラズ○該川口ヲ俗ニ吉田口ト稱ス。

豊橋市 渥美灣首ヨリ内方約4.5軒豊川ノ南岸ニ在リ人口98,555(昭和5年國勢調査)繁盛ノ地ナリ○東海道線ノ外黒川原ニ至ル渥美電鐵線、熱田ニ至ル愛知電氣鐵道線及長篠ニ至ル豊川鐵道線(長篠ヨリ清崎ニ至ル田口鐵道線並ニ川合ニ至ル鳳來寺鐵道線ニ連絡ス)ノ各停車場アリ。

前芝燈竿 豊川口ノ北岸前芝村ニ在リ、白塗木造竿柱○燈高、礎上10米、平均水面上13米。

豊橋沖錨地 豊川口ノ西南西方約2哩水深7米内外ノ處ニ錨地ヲ得ベシ但シ西風吹クトキハ波浪高ク走錨ノ虞アルヲ以テ警戒ヲ要ス。 20

豊橋航空標識燈 豊橋市中央部ヨリ東北東方石卷山東方山頂(483米)南側ニ設ク。

三谷ヶ鼻(ミヤ) 豊川口ノ北西方4哩ニ在リ内方五井山ヨリ來ル山脈ノ南端ニシテ高サ97米○此ノ鼻ト橋田鼻トノ間ニ1灣アリ灣口ノ約中央ニ大島(高サ46米)小島(高サ32米)佛島(高サ4.1米)ノ3小嶼連立シテ灣ヲ東西2口ニ分ツ、前2者ハ松樹繁茂シ佛島ハ褪褐色ノ岩嶼ナリ、又灣首ニ2小島アリ

テ東西相對立ス東ヲ竹島ト謂ヒ樹頂ノ高サ45米、西ヲ龜島ト稱シ高サ19米共ニ松樹繁茂ス。

三谷ノ鼻燈竿 鼻丘上ニ在リ、塗裝セザル木造竿柱○燈高、礎上6米、平均水面上56.3米。

三谷港 (ミヤ) 三谷町 (昭和5年國勢調査人口6,777)ノ前面ニ防波堤ヲ以テ圍マルル小漁港アリ昭和2年縣ニ於テ之ヲ内港トシ更ニ外方ニ防波堤ヲ設ケテ外港ヲ修築中ナリ。

昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數66,687 (内汽船795)噸數673,919 (内汽船167,831)ナリ。

10 **三谷港燈竿** 港内ニ在リ、塗裝セザル四角形石柱○燈高、礎上4.6米、平均水面上11.1米。

目標 竹島ノ北方府相至近山頂(36米)ニ觀光「ホテル」アリ其ノ煙突ハ好目標ニシテ夜間ハ屋上ニ不動白光燈ヲ點ズ。

蒲郡港 (ガマゴホリ) 三谷港ノ西方1湊餘ニ在リ小船舶ノ爲船溜2箇アリ東方ノモノヲ府相港〔東港〕西方ノモノヲ蒲郡港〔西港〕ト稱ス、目下修築工事中ニシテ追テ防波堤及港内岸壁ノ築造、港内及其ノ南方ノ水路浚渫(水深6米)等ノ完成ヲ見ルニ至ルベシ、生糧品ハ多小辨ジ得ベシ○蒲郡町ノ人口14,500 (昭和5年國勢調査)、夏季ニハ海水浴客ノ來遊スル者多シ○海岸ニ地方暴風標アリ。

20 **交通** 鳥羽港トノ間ニ毎日往復各1回宛ノ定期船就航ス○東海道本線ハ三谷町及當町ヲ經テ岡崎市ニ向フ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數並ニ噸數及移出入品價額次ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
	14,275	645,011	1,373,242 圓	4,669,252 圓
(内汽船)	1,389	416,617		

移出品ノ主ナルモノハ石炭、燐寸、綿織物、苧及麻等ニシテ移入品ノ主ナルモ

ノハ石炭、胡麻子、肥料、硝子板等ナリ。

地方暴風標 蒲郡港ノ南西方2.3湊ナル形原町ニ地方暴風標アリ。

橋田鼻 渥美灣ノ北濱中央部ニ於テ最モ多ク斗出スル半島端ニシテ黑色ノ岩鼻ナリ鼻上ニ高サ80米及69米ノ2峯アリ共ニ松樹鬱蒼トシテ遠望顯著ナリ○鼻端ノ北東方2軒ニ在ル高サ92米ノ山頂ニ著松アリ。

辨天島 橋田鼻ノ西北西方1.2湊ニ位シ雜樹茂リ樹頂ノ高サ54米ナル楕圓形岩嶼ニシテ其ノ南西方1.5鏈ノ處ニ高サ5.1米ノ小尖岩アリ○辨天島ノ北方4鏈ニ琵琶島アリ雜樹之ヲ蔽ヒ樹頂ノ高サ39米ニシテ南方ヨリ望メバ其ノ形恰モ横置セル瓢ノ如シ○辨天島ノ東方陸岸ニ近ク松島(樹頂ノ高サ15米)アリ南端ニ矮樹林ヲ有ス。

西浦錨地 松島、辨天島及琵琶島ニ依リ灣形ヲ成セル處ヲ西浦錨地ト稱シ狹隘ナレドモ小船ニ對シテハ偏南風以外ノ風ニ安全ナリ○琵琶島北東方ノ突出部ハ高サ43米ノ臺地ニシテ突端ハ赭岩ナリ。

梶島 辨天島ノ西方2湊ニ在リ形圓屋ノ如ク北側ハ松樹疎立シ頂ニ近ク單松アリ樹頂ノ高サ51米遠望顯著ナリ、島ノ周圍ハ概ネ險崖ニシテ岩礁沿布シ淺瀬廣シ○梶島頂ノ160度7鏈ニ沖ノ瀬アリ礁上水深1.3米ナリ。

幡豆錨地(ハヅ) 辨天島及琵琶島ト其ノ西方梶島トノ間ニ成ル灣内ヲ幡豆錨地ト稱ス偏南及偏西風ヲ除クノ外ノ風ニ對シ安全ニシテ且灣内稍廣キヲ以テ數隻ノ船舶ヲ容ルルニ足ル○北濱幡豆町ニ郵便局アリ電信ヲ取扱フ○灣首西端鳥羽ヨリ吉田町、平坂町、知多灣東側、刈谷町等ヲ經テ矢作川ノ上流ナル西中金ニ至ル三河鐵道本線アリ。

幡豆航空標識燈 東幡豆北方約2軒山頂(331米)ニ設ク。

吉田町 矢崎川口ノ西側ニ在リテ漁港ヲ有ス、前記三河鐵道本線當地ヲ通ズル外此ノ地ヲ終點トシ西尾町ニ至ル愛知電氣鐵道線アリ○吉田町ニ地方暴風標アリ。

矢崎川口燈竿 矢崎川口東岸端ニ設ク、塗裝セザル木造竿柱○燈高、礎上9.1米、平均水面上11.2米。

千間燈竿 (センゲン) 矢崎川西方1.3湊ノ矢作古川口西岸ニ設ク、塗装セザル木造竿柱○燈高、礎上13.6米、平均水面上16.7米。

眞野燈竿 (マノウ) 千間燈竿ノ西方1.2軒(沖南方)ニ設ク、塗装セザル木造竿柱○燈高、礎上9.1米、平均水面上12.2米。

知多灣

三河灣中生田鼻ト羽豆埼トノ一線以北ヲ知多灣トス 灣入約15湊ニシテ其ノ形状牛角ノ如シ、灣口ハ幅約5.5湊ナルモ生田鼻ヨリ淺瀬擴延シテ其ノ大半ヲ占ムルヲ以テ實際ノ可航幅ハ2湊ニ過ギズ、灣内ハ灣口ヲ除クノ外15米ヨリ淺ク底質概ネ泥ニシテ灣濱總テ遠淺ナリ。

10 灣ノ東側ハ一般ニ平坦ナル耕地ニシテ一望山ヲ見ズ、生田鼻ヨリ權現鼻ニ至ル迄ハ概ネ遠淺ニシテ石堤岸ヲ成シ海岸ニ松樹竝列ス○灣ノ西側ハ即チ知多半島ノ東岸ニシテ南方ヨリ北方ニ漸降スル疎樹ノ低山脈連互シ顯著ナル山峯ナシ。

潮流 知多灣内ノ潮流ハ緩漫ニシテ最強1節ヲ出デズ。

西高燈竿 (ニシタカ) 眞野燈竿ノ北西方900米(酒手島南西方約700米海岸)ニ設ク、塗装セザル三角形檣鐵造○燈高、礎上12.7米、平均水面上15.8米。

一色燈臺 西高燈竿ノ西方5鏈(生田鼻北方)ニ設ク、白塗格子製檣狀六角形鐵造○燈高、礎上11.5米、平均水面上15.4米。

地方暴風標 生田鼻ノ北方一色町ニ地方暴風標アリ。

20 **武豊港** 明治32年河和町布土ヨリ正東ニ引キタル一線以北即チ武豊町前面ノ武豊港、北方ノ半田港及龜崎港竝ニ對岸ノ諸港ヲ含ム部分ヲ港域トシ武豊港ナル名稱ノ下ニ開港ニ指定セラレタリ、本港ハ人爲的施設不備ナルト錨地比較的遠隔ナルトヲ以テ良港トハ稱シ難キモ知多半島ノ遮蔽アルヲ以テ冬季間強吹スル偏西乃至北西風ニ對シ安全ナルノミナラズ荷役ヲ廢スルガ如キ場合稀ナリ然レドモ夏季東風或ハ南東風強吹スルトキハ激浪起リ安全ナラズ。

榮生燈竿 (サコウ) 一色燈臺ノ北北西方2.2湊(平坂川東岸内方)ニ設ク、白塗三角檣鐵造○燈高、礎上20.6米、平均水面上24.3米。

平坂町 平坂川口ヨリ上流約2.5湊ニ在リ、三河鐵道本線南北ニ通ジ又此ノ地ヨリ岡崎市ニ至ル岡崎線東方ニ走ル。

西尾町 平坂町ノ東北東方約3.5軒ニ在リ人口17,257(昭和5年國勢調査)、平坂町ヨリ岡崎市ニ至ル岡崎線東西ニ通ジ又南方吉田町ニ走ル愛知電氣鐵道線及北方今村驛ニ至リテ愛知電氣鐵道線ニ連絡スル碧海電氣鐵道線アリ○此ノ町ニ地方暴風標アリ。

權現鼻 知多灣東濱中最モ西方ニ斗出セル石堤ノ鼻(高サ2.9米)ニシテ鼻端ニ傘松アリ顯著ナル目標ナリ。

此ノ鼻ノ南方ニ矢作川(ヤハギ)アリ此ノ川口ノ沙洲ハ低潮時干出距岸2湊ニ及ビ常ニ移動スト謂フ。

權現洲挂燈浮標 權現鼻ヨリ延出セル門洲ノ外端ニ在リ、紅塗圓筒形鐵造、上部ニ格子製檣ヲ組立テ頂上ニ燈器ヲ掲グ○燈高、水面上3.7米。

蜷川燈竿 權現鼻ニ川口ヲ有スル蜷川北岸ニ設ク、塗装セザル木造竿柱○燈高、礎上9.8米、平均水面上13米。

衣ヶ浦 權現鼻以北ノ灣首ヲ衣ヶ浦ト謂フ泥底ニシテ錨搔キ善ク西風ヲ保障スルヲ以テ小船ノ好錨地トス○半田大濱兩町、龜崎新川兩町及龜崎高濱兩町等ノ各對岸間ニ渡船ヲ運航ス。

依佐美送信所 衣ヶ浦北東側ノ依佐美村ニ名古屋無線電信局ノ送信所タル固定局(對歐送信ヲ主トスル大電柱)アリ海上ヨリノ好目標ナリ。

水底電線 龜崎町北東端ト高濱町西端北岸トノ間ニ水底電線1條ヲ敷設シ兩陸揚地ヨリ沖合50米迄ハ線條ノ左右各20米以内其ノ他ハ線條ノ左右各100米以内ヲ以テ線路區域ト指定ス。

沈船 大正15年3月大濱町堀川燈竿ノ西方1.2湊ノ處ニ發動機ヲ補助機關トスル帆船1隻土管ヲ満載シテ沈没シ2檣及船橋樓ヲ水面ニ露出シ居レリト謂フ。

大濱港 權現鼻北方1湊餘ニ大濱港アリ小船用ノ防波堤築造、浚渫等修築工事中ニ屬ス○大濱町ハ人口8,157(昭和5年國勢調査)○地方暴風標アリ。

堀川燈竿ノ北方6鏈ニ岡崎電燈會社ノ白色煙突アリ礎上ノ高サ53米、師崎水道ヨリ視認スルヲ得。

堀川燈竿 大濱町ヲ貫流スル堀川口北岸突堤ニ設ク、塗裝セザル木造竿柱
○燈高、礎上4.1米、平均水面上7米。

境川 衣ケ浦ノ奥ニ開口スル河流ニシテ東岸ニハ刈谷町ヨリ南下スル三河鐵道本線、西岸ニハ大府町ヨリ南走スル武豊線アリ。

小垣江港燈臺 境川東岸依佐美村須賀北方1軒ノ小垣江ニ設ク、四角形石造塗裝セズ○燈高、礎上2.4米、平均水面上5.5米。

半田港(ハンダ) 大濱町ノ對岸衣ケ浦ノ西側ニ在リテ武豊港ノ一部ヲ成
10 ス、本港ハ淺瀬ナルヲ以テ沖合ニ碇泊スル大形船舶ニ至リテ積卸スル船ノ荷役港トシテ發達セルモノニシテ從來ハ市街ヲ貫流スル堀川(阿久比川)ヲ唯一ノ船入場トナセシモ水淺ク低潮ニハ川底ヲ露ハス不便アル爲昭和6年起工目下防沙堤築設、浚渫等ノ修築工事ヲ實施中ナリ。

半田町及成岩町 港ニ面シテ半田町及成岩町アリ人口各16,850及12,832(昭和5年國勢調査)知多灣沿岸中最モ殷賑ナル地ニシテ古來醬油、酢、味噌ノ醸造ニ名アリ近年工業大ニ發達シ綿糸布、麥酒、豆油、麥粉ノ製産少カラズ○物資ハ大抵辨ジ得、上水道ノ設備ヲ有シ堀川岸ニ船舶給水栓アリ○省線武豊線ノ半田驛及警察署ハ半田町ニ、築港鐵道及武豊稅關支署ハ成岩町ニ、知多鐵道線ノ知多半田驛ハ兩町ノ境界ニ在リ。

20 成岩町ニ地方暴風標アリ。

霧標 半田港ニ霧筋右舷側標示ノ爲沖合ヨリ港内ニ向ヒ第2號ヨリ第12號ニ至ル偶數番號ヲ附與セル6箇ノ紅塗圓錐形頭標附四角形「コンクリート」造霧標アリ。

目標 堀川出入船舶ノ夜間目標トシテ同川口ニ100燭光ノ電燈1箇アリ武豊港附近ヨリ視認スルヲ得ベシ○成岩町地方暴風標ノ北方700米ニ在ル東洋紡績會社煙突ハ礎上ノ高サ49米餘、數基ノ煙突中南西端ニ位スルモノノ頂上ニ100燭光ノ電燈アリテ顯著ナリ。

貿易 昭和6年ニ於ケル半田町沖合入港船舶ノ隻數並ニ噸數及半田港移出入品價額次ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
	25,728	855,204	5,546,169 圓	9,597,492 圓
(内汽船)	12,350	499,930		

移出品ノ主ナルモノハ綿糸、飼料、落綿、大豆、石炭、礦油、魚糟、食鹽等ニシテ移入品ノ主ナルモノハ棉花、飼料、大豆、石炭、雜穀、食鹽等ナリ。

武豊港 此處ニハ武豊町前面ノミヲ意味スル武豊港ニ就テ記ス○第122頁武豊港ノ記事參照。

大形汽船ノ錨地ガ最モ陸岸ニ近キハ以北ノ諸港ニ比シ此ノ港ノ利トスル處ナル
10 モ從來荷役ニ使用スル船溜ヲ安全ナル船溜ヲ缺クヲ以テ目下之ガ修築ノ計畫中ニ屬ス。

武豊町ハ人口6,491(昭和5年國勢調査)東海道線大府驛ヨリ分岐セル武豊線ノ終點ニシテ臨港線アリ又知多鐵道線モ此ノ地ヲ通ズ○防波堤ハ低潮ニハ脚部迄露出シ短艇ノ達著ニモ困難ヲ感ズ防波堤ノ北方ニ棧橋、南方ニ送油管突堤アリ○石炭及燃料油ヲ補給シ得、給水船ハ武豊給水會社所有ノ25噸積1隻アリ1噸ノ價65錢、各種食糧品ノ補給可能ナリ。

目標 海岸ヨリ斗出セル防波堤ノ先端ニ夜標(白光)アリ○防波堤ノ南側ニ「ライジングサン」石油會社専用ノ紅塗繫船浮標2箇アリ南北ニ碇置ス○該繫船浮標内方ノ陸岸ニ白色油槽數箇アリテ顯著ナリ。
20

錨地 權現洲挂燈浮標ヲ北界トシ港内水深8米内外ノ處ヲ最モ可トス底質ハ總テ泥土ニシテ錨搔キ善ク潮流亦強カラズ。

貿易 昭和6年ニ於ケル武豊町沖合入港船舶ノ隻數並ニ噸數、同港移輸出入品價額及主ナル品目次ノ如シ。

外國航路		内國航路	
隻數	噸數	隻數	噸數
145	444,763	2,104	526,693

(内汽船)	145	444,763	524	496,673
	輸出品價額	輸入品價額	移出品價額	移入品價額
	3,112 圓	9,166,498 圓	5,861,396 圓	1,995,177 圓

主ナル	輸出品	雜品。
	輸入品	飼料、石油、豆粕、大豆、高粱、石炭、小麥等。
	移出品	飼料、礦油、大豆、爆發物、雜穀、豆粕等。
	移入品	礦油、木材、大豆、豆粕等。

河和町 武豊町ノ南方4.3哩ニ在リ熱田ヨリスル知多鐵道線ノ終點地ニシテ漁港ヲ有ス。

10 大井港口立標 河和港ノ南東方4哩ニ在ル大井港口北側ニ圓錐形頭標附紅塗圓柱土管覆「コンクリート」造立標(平均水面上ノ高サ4.2米)アリ。

師崎港(モロサキ) 知多半島ノ南端羽豆埼ノ北方ニ在ル小舟港ニシテ沿岸航路ノ小汽船寄港シ漁船常ニ輻輳ス、昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數31,042(内汽船17,419)噸數401,706(内汽船259,140)ヲ算ス○師崎町ハ人口5,627(昭和5年國勢調査)町役場ハ大井ニ、郵便局(無線電信固定局ヲ兼ス)ハ師崎ニ在リ○魚類ノ外生糧品ヲ求メ難ク又給水設備ナシ。

師崎海岸ニ地方暴風標アリ。

險礁 師崎地方暴風標ノ東方3鏈ニ在ル高島(礁上水深4.5米)及其ノ南方2鏈ニ在ル野島出シ(礁上水深8.2米)ハ共ニ周圍急深ナリ、師崎水道通航船ハ注意ヲ要ス。

20 羽豆埼(ハヅ) 知多半島ノ極南端ニシテ知多灣口ノ西端ヲ成シ約3鏈斗出ス埼端ハ高サ38米ニシテ甚ダ識別シ易シ、埼ニ接シテ高サ6.5米ノ著岩アリ、屏風岩ト謂フ○埼ノ東方ヨリ南方ニ至ル距岸約3鏈ノ間ハ暗礁散在スルヲ以テ危險ナリ○此ノ埼ト其ノ東方及南東方ニ散在セル諸島トノ間ヲ知多灣ニ入ル師崎水道トス此ノ水道ノ潮流ニ就テハ第116頁ヲ見ルベシ。

鳥羽港附近

伊勢海ノ外縁ニ在ル鳥羽港竝ニ東方及南方ヨリ之ニ至ル通路即チ菅島水道、加

布良古水道及石鏡島至鎧埼間ヲ以テ此ノ記載區域トス。

鳥羽港ハ古來ノ泊地タルモ水道ニ險礁多ク出入ニ心勞ヲ要スルコト多シ。

答志島南岸 答志島ノ北岸ニ就テハ第114頁ヲ見ルベシ。

島ノ南側ハ菅島ト相對シテ菅島水道ヲ形成ス○島ノ東側ニ答志港アリ漁港ニシテ又小船ノ避難港タリ、昭和4年ヨリ南北防波堤、魚揚埠頭、夜標1箇築設(完成)及港内浚渫等修築工事中ナリ、港ニ臨ム村落ハ本島ノ主邑ニシテ鳥羽港トノ間ニ定期巡航船ノ發着1日數回アリ、答志村ノ人口2,775(昭和5年國勢調査)○答志郵便局内ニ無線電信固定局アリ。

島ノ南東角ヲ築上埼(ツキアゲ)ト稱ス高サ67米ニシテ頂ニ松樹繁茂シ遠望恰モ小島ノ如シ(第128頁對面景圖第6參照)。

答志港南防波堤燈臺 南防波堤外端ニ設ク、白塗圓筒形「コンクリート」造○燈高、礎上8.9米、平均水面上11.1米。

神島南西方諸礁 神島ヨリ南西方ニ中ノ島(水深10米)常光寺出シ(水深9.1米)ハタバタ礁(洗岩)沖ノ瀬(2水上岩、3干出岩及1洗岩ヨリ成ル)ヘイデ瀬(水深0.4乃至5米)北卯月瀬(水深2.7米)卯月瀬(水深5.4米)及南卯月瀬(水深7.7米)等ノ險礁列ス、此等諸險礁ノ周圍ハ水深不規則ナルヲ以テ近ヅクベカラズ○南卯月瀬ト菅島ノ北東角ヨリ延出セル礁脈トノ間ハ稍開闊ニシテ幅約1哩ノ水道ヲ成ス。

菅島(スガ)(海圖73分圖) 菅島水道ヲ隔テテ答志島ト相對シ北東及南西ノ長サ約2哩幅約1哩高サ237米ノ島ニシテ南方ヨリ望ムトキハ其ノ頂扁平ノ如ク見ユルモ東方ヨリ望ムトキハ尖峯ノ狀ヲ呈ス(第90頁對面景圖第5參照)○該島ノ北東端ハ白埼ト謂ヒ突出セル多岩ノ埼ニシテ附近5鏈ノ間離岩及險礁擴延ス○島ノ南側モ亦距岸5鏈ノ處迄險惡ナリ。

菅島燈臺 上記白埼ニ設ク、白塗圓形煉瓦造○燈高、礎上8.5米、平均水面上54.5米。

菅島水道(海圖73分圖) 鳥羽港出入ノ東口ニシテ菅島ト答志島トノ間ニ在リ其ノ幅約1哩ナレドモ水道兩側ニ位スル險礁ノ爲狹メラレテ殊ニ間ノ七

島、「ホソエ」礁間ナル最狭部ニ於テハ幅僅ニ 400 米ニ過ギズ。

水道北側險礁 答志島築上埼ノ東方 7 鏈ニヒコ瀬アリ礁上最小水深 0.2 米
○埼ノ南方 3.5 鏈ニ間ノ七島(アヒノシチ)ト稱スル長サ約 5 鏈ノ暗礁アリ最
浅部水深 0.9 米ナリ、之ヨリ南西方水道ノ中央北側ニ次郎太郎(水深 9.1 米)下
ノ長藻瀬(水深 5 米)高ノ長藻瀬(水深 4.5 米)沖ノ長藻瀬(水深 4.5 米)等ノ
險礁アリ。

水道南側險礁 間ノ七島ト相對シテ菅島白埼ノ北方ニホソエ(最浅水深 5.4
米)アリ最モ 航路ニ近ク警戒ヲ要スル 險礁ナリ、其ノ南西方ニ鳥ノ糞(水深 5
米)及長藻瀬(水深 3.2 米)アリ。

10 針路法 伊良湖水道ヲ經テ東方ヨリ鳥羽港ニ入ラントセバ菅島燈臺ヲ約
220 度ニ望ミテ之ニ向ヒ次デ朝熊岳頂ト日和山著松トチ一線約 244 度ニ見テ進
ムベシ此ノ針路ハ亦鳥羽港導燈ヲ略一線ニ見ルベキモ此ノ導燈ハ晝間ニ於テハ
太陽方位ノ關係等ニ依リ 2 哩内外ヨリ明視シ得ルニ過ギザルコトアルヲ銘記ス
ルヲ要ス又上記山頂ノ見通線ハ遠距離ナルガ故ニ天候ノ狀況ニ依リテハ視認困
難ナルコトアルベキヲ以テ警戒ヲ要ス(第 128 頁對面對景圖第 6 參照)○長藻
瀬ヲ過ギタル後ハ沖ノ長藻瀬ヲ避クル爲前記一線ヨリ少シク菅島ノ方ニ寄り航
行スルヲ可トス。

南方ヨリ來リテ此ノ水道ニ入ラントスルトキハ大中山島ト風倉島トノ一線上
(328 度)又ハ大築海島ヲ船首目標トシテ菅島、南卯月瀬間可航水道ノ中央ニ進

20 ミ次デ前記針路ニ入ルヲ得ベキモ變針角度殆ド直角ニシテ且直ニ最狭部ニ望マ
ザルベカラザルヲ以テ大形船舶ニ對シテハ行船上危險ナルヲ免レズ、之ニ反シ
水道ヲ出デントスルトキハ此ノ水路ヲ採ルコト左程困難ナラズ○此等出入ノ場
合ニ於テ小中山ト八幡埼トノ一線 336 度或ハ的矢港北方鐙埼上ノ林ト「ハン
ス」鼻トノ一線約 177 度 30 分ハ白埼ヨリ延長スル礁脈ノ避險標ニシテ又小中
山ト風倉島トノ一線 316 度或ハ菅島燈臺ヲ 250 度ニ見ル線以北ニ在リテ鐙埼ノ
林ト石鏡島トノ一線約 182 度ハ南卯月瀬ヲ避クル避險線ナリ。

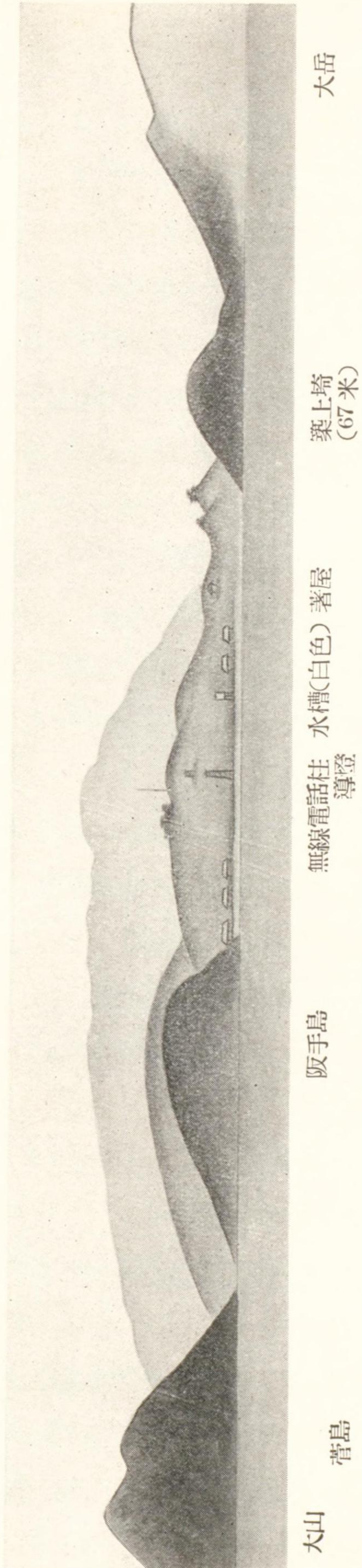
潮流 菅島水道東口附近ニテハ卯月瀬ノ南西方ヨリ來ル潮流ハ菅島神島間

第 128 頁對面

鳥 羽 港
(東方ヨリ望ム)

朝熊岳
244 度 5 哩

第 6



諸礁附近ヲ流ルル潮流ト相合シ偏北方ニ流レテ伊勢海ニ入り落潮流ハ之ニ反スルガ如シ、轉流時ハ高低潮時後約 15 分内外ナリ◎卯月瀬ノ南西方附近ニ於テハ漲潮流ハ北方ニ流レ白埼ノ北東方ニテ 2 岐ニ分レーハ其ノ方向ヲ東偏シテ直ニ伊勢海ニ向フコト上記ノ如ク他ハ白埼ヲ廻リ菅島水道ヲ經テ鳥羽港ニ向フ而シテ落潮流ハ之ニ反ス、其ノ流速ハ漲潮流ニ在リテハ低潮後 3 時ニ 2.3 節、落潮流ハ高潮後 3 時ニ 1.8 節ニシテ低潮後約 15 分ヲ經テ轉流スルヲ驗セリ（大正 3 年 8 月、月齡 30 日及 9 月、月齡 15 日）◎白埼北方ニ於テハ漲潮流ハ偏西ニ落潮流ハ偏東ニ流ル其ノ速サ漲潮流ハ低潮後 3 時ニ 0.8 節、落潮流ハ高潮後 3 時ニ 0.3 節ナルヲ驗セリ（大正 3 年 8 月、月齡 30 日）。

神島西方約 1 哩附近ニ於テハ漲潮流ハ偏北ニ落潮流ハ偏南ニ流レ其ノ速サハ附近暗礁ノ存在ニ因リ處々差アリ、漲潮流ニ在リテハ低潮後 2 乃至 3 時ニ 2.2 乃至 1.5 節、落潮流ハ高潮後 3 乃至 4 時ニ 1.5 乃至 2.8 節ニシテ低潮後約 15 分ヲ經テ轉流スルヲ驗セリ。

鳥羽港（海圖 73 分圖） 鳥羽港ハ答志島ノ最西端ヨリ日向島ノ最北端ニ引キタル一線ト前者ヨリ阪手島最東端ヲ經テ加布良古埼ニ引キタル一線トニ依リテ圍マルル区域内ヲ以テ其ノ港域トシ答志島、菅島、阪手島及本陸ノ高山ニ依リ遮蔽セラレ東北東方ノミ露開ス（第 128 頁對面對景圖第 6 參照）。

縣ニ於テハ城山東方突角及權現堂埼連結線以南海面ノ浚渫ト西濱理立トヲ計畫シ第 1 期工事ヲ施工中ナリ。

鳥羽町ハ人口 7,211（昭和 5 年國勢調査）町役場、警察署、郵便局、大阪稅關鳥羽稅關監視所、海洋氣象臺鳥羽檢潮所、三重縣鳥羽檢潮所等アリ◎鳥羽郵便局分局トシテ無線電信固定局アリ神島ト無線電話ノ連絡ヲ有シ名古屋四日市行船舶通過報知ヲ爲シ又答志局トモ通信ス。

港内沿岸 鳥羽驛前面海岸ニ物揚場及岩崎棧橋（木造ニシテ高潮時ニハ大艇ノ達著差支ナシ夜間ハ先端ニ白熱電燈 1 箇ヲ點ズ）アリ◎相島對岸ニ廢止セラレタル神戸製鋼所鳥羽造船工場ノ跡アリ◎稅關監視所ノ北方中之郷海岸ニハ突堤、浮棧橋、物揚場及船溜等、監視所南隣ニハ製水會社アリ◎權現堂埼附近

ニ油槽アリ。

架空線 阪手島南端ト本陸トノ間ニ架空線ヲ兩端ノ框式鐵造電柱間ニ架設シアリ、最下垂部ノ高サ高潮面上42米ナリト謂フ。

目標 朝熊岳(高サ578米)ハ山頂圓ク雜樹茂リ港背ノ諸山中最も顯著ナリ◎日和山ハ樹木茂リ山腹ニ廣樂園ト稱スル公園アリ頂上ニハ著樹(海越松)、白塗無線電信柱1箇及旗竿1箇アリ、無線電信柱ノ高サハ礎上52米ニシテ導燈見通シ線ノ左側ニ見ユ、此ノ柱ハ導燈中ノ高燈ニ比シ後方ニ在リテ著シク細ク且遙ニ高ク日和山頂界線上ニ聳ユルヲ以テ少シク意ヲ用フレバ之ト誤認スルコトナシ(第128頁對面對景圖第6參照)◎上記高燈ノ南方至近ニ看守房アリ
10 黒塗ニシテ遠方ヨリ認ムルコトヲ得ザル程度ナルヲ以テ光線ノ影響特殊ノ場合ノ外高燈ト見誤ルコトナカルベシ◎導燈低燈ノ北方110米ニ給水用槽アリ灰白色ニシテ晝間遠望顯著ナリ。

樋ノ山〔日ノ山〕ハ日和山ノ南西方又城山(舊城趾)ハ南東方ニ在リ共ニ眺望ヲ賞スル遊覽地ナリ◎桃取水道内口ノ架空線電柱ハ投錨時ノ横目標トシテ良好ナリ。

導燈 日和山東側ニ在リテ次ノ通高低ノ2燈ヨリ成リ2燈一線244度30分ニ見テ進メバ菅島水道ノ暗礁ヲ避クルコトヲ得、2燈間ノ水平距離約160米ニシテ低燈(遠望セバ一見灰白色ノ煙突ノ如シ)ハ鳥羽驛直後ノ山麓ニ當ル。

高燈 白塗圓筒形上部鐵造下部「コンクリート」造◎燈高、礎上7米、平均
20 水面上59.1米。

低燈 白塗四角形鐵造◎燈高、礎上22.7米、平均水面上42.7米。

錨地 吃水大ナル船舶ハ四時風浪ヲ遮蔽スルニ足ル好錨地ヲ得難シ強ヒテ之ヲ求ムレバ答志島大崎ト對岸菅島トノ略中間ニ於テ水深14.6米泥底附近ハ比較的可ナリ、更ニ内方ニ入り阪手島西角白石埼ノ北方約450米水深10米内外ノ處ニテ吃水適度ノ船舶ハ錨地ヲ得ベシト雖モ此ノ附近ハ岩礁點在シ底質ハ泥土僅ニ岩上ヲ蔽フニ過ギザルモノノ如ク好錨地ト稱シ難シ、淺吃水船舶ハ相島ト權現堂埼トノ一線以南ニテ狹隘ナル錨地ヲ得ベク此ノ處ハ錨搔キ善ク且風

浪ヲ全ク遮蔽ス。

水道 鳥羽港ニ到ルニ3水道アリ菅島水道(第127頁)加布良古水道(第132頁)及桃取水道(第113頁)是ナリ、主水道ハ菅島水道ニシテ桃取水道ハ鳥羽港ヨリ伊勢海ニ出入スル汽船ノ常用航路ナリ加布良古水道ハ航路ニ屈折多キモ水道短ク且目標ニ富ムヲ以テ通航困難ナラズ◎桃取水道及加布良古水道ニハ三重合同電氣株式會社ノ建設ニ係ル架空線アリ最下垂部最低水面上ノ高サ45.7米ニ對シ實際ハ高潮面上36米内外ニ過ギザルガ如シ、依ツテ高キ橋ヲ有スル船舶ニシテ特ニ空船ノ状態ニ在ルトキ此ノ兩水道通航ニ際シテハ豫メ研究ノ要アリ。

地方暴風標 町ノ北部鳥羽警察署構内ニ地方暴風標アリ。

10

物資 日用品ハ大抵辨ジ得ベシ◎給水給水及給油ノ施設アリ町ニハ上水道アリ。

交通 攝陽商船會社ノ大阪名古屋線ハ毎日1回往復共寄港シ愛知商船會社ノ定期船ハ毎日1回蒲郡ヨリ來リ又同地ニ向ヒ發航ス◎其ノ他附近諸島ヲ巡航スル發動機船便アリ。

鐵道ニハ此ノ地ヲ起點トシテ省線參宮線、志摩電氣鐵道(英虞灣賢島眞珠港ニ至ル)アリ◎其ノ他の矢、濱島等ニ至ル定期乗合自動車ノ便アリ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶ノ隻數竝ニ噸數及移出入品價額下記ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額	
	32,390	731,532	1,253,476 圓	10,431,832 圓	20
(内汽船)	1,508	384,630			

移出品ノ主ナルモノハ鮮魚介、和洋酒、礦油等ニシテ移入品ノ主ナルモノハ石炭、鮮魚介、食鹽等ナリ。

潮流 大正3年8月及9月ノ驗測ニ依レバ鳥羽港附近ニ於ケル漲潮流ハ菅島南東方ニテ加布良古水道ト菅島水道ノ2水道ヨリ分流シテ鳥羽港ニ向ヒ阪手島ノ北方ニテ兩者合流シ桃取水道ヲ經テ伊勢海ニ入ルモノノ如シ。

氣象 第92頁至第93頁氣象ノ記事参照。

加布良古水道 鳥羽港出入ノ南口ニシテ菅島ト南方陸岸トノ間ニ在リ此ノ水道ハ短ク且目標ニ富ムヲ以テ通航困難ニハ非ザルモ暗礁多ク航路屈曲セルヲ以テ大形船舶ニ對シテ稍適セザルノ憾アリ。

此ノ水道ノ南側ヲ成セル陸岸ハ屈曲シテ幾多ノ小灣ヲ成スモ皆小舟ノ假泊地タルニ過ギズ。

架空線 菅島西端ト其ノ西方阪手島トノ間ニ架空線ヲ兩端ノ樞式鐵造電柱間ニ架设シアリ、最下垂部ノ高サ高潮面上 39 米ナリト謂フ。

險礁 水道ノ可航部附近ニ位シ警戒ヲ要スベキ暗礁ハ水道ノ南口附近ニ在ル米瀨(水深 8.2 米) **ヨセマル**(水深 3.6 米) **長藻瀨**(最小水深 1.8 米) **丸山出シ**(水深 12.3 米) 等ト中央ニ在ル **横瀨**(水深 11.6 米) 及北口ニ近キ **誓願島**(干出 2.1 米) トス。

潮流 加布良古水道ニ於テハ漲潮流ハ偏北西ニ落潮流ハ偏南東ニ流ル其ノ速サ漲潮流ハ低潮後 2 乃至 3 時ニ 1.8 節、落潮流ハ高潮後 4 乃至 5 時ニ 1.5 乃至 1.2 節ニシテ菅島ノ南角龜子鼻南方ニ於テ低潮後約 20 分ヲ經テ轉流スルヲ實驗セリ(大正 3 年 8 月、月齡 1 日)。

石鏡島(イジカ) 加布良古水道外南東方ニ在ル石鏡島ハ高サ 10 米ノ尖岩ニシテ數多ノ岩礁之ヲ圍ム。此ノ岩ノ北西方約 8 鏈ニハ小鯛島(水深 6.8 米) 又南方約 3 鏈ニハ **タナバシ**(棚波瀨、干出 1.8 米) アリ何レモ南方ヨリ來リテ加布良古水道ニ向ヒ轉針スルニ當リ留意ヲ要スル險礁ナリ。

鎧埼至大王埼

此ノ區域ハ志摩半島ノ東側海岸ニシテ遠洲難ニ臨ミ泊地トシテハ的矢港アルノミ。

鎧埼 石鏡島ノ南方 2.6 湮ニ在ル突出部ニシテ埼上ニ在ル松林ト其ノ北西方約 1 軒ノ **富士ヶ岳**(樹頂ノ高サ 116 米) ノ奇形ナル松林トニ依リ容易ニ識別シ得ベシ。

此ノ埼ヨリ南方 2.3 湮菅埼ニ至ル間ハ海岸險惡ニシテ離岩散在ス。

菅埼(スガ) 的矢港口ノ北端ニシテ埼ヨリ南方及南東方ニ向ヒ約 2 鏈ノ

間水上岩礁脈擴延ス。

的矢港(マトヤ)(海圖 73 分圖) 菅埼ト其ノ南方安乘埼トノ間ニ彎入シ港口ハ礁脈兩側ヨリ伸出スルヲ以テ實際ノ可航幅ハ約 500 米ニ過ギズ港内ハ中瀨、彌右エ門出シ、**ウチノハカ瀨**、**大瀨**等多數ノ岩礁散在シ數支灣ニ分ル又渡鹿野島(ワタカノ)アリ其ノ北東角佛石ト之ニ對スル宮ノ鼻トハ顯著ナル緒崖ニシテ的矢浦口ヲ成ス。

此處ハ昔時船舶輻輳シタル港ナリシモ現在ハ港内ニ於テ牡蠣ノ養殖盛ナル外單ニ避難港タルニ過ギザルノ憾アリ、然レドモ港口ニ近キ安乘港ハ昭和 5 年 6 年ニ互リ船溜ノ浚渫、防波堤、突堤及物揚場築設等ノ修築ヲ行ヒ小漁港トシテノ面目ヲ改メタリ。

的矢村ハ人口 1,533(昭和 5 年國勢調査)井水豊富ナレドモ給水設備ナシ、安乘村ハ人口 2,435(昭和 5 年國勢調査)井水充分ナラズ。

安乘村燈竿 安乘港防波堤端ニ設ク、鼠色塗圓柱鐵製。燈高、礎上 3.5 米、平均水面上 5.5 米。

錨地 偏北風ニハ北東側ノ畔峭前(アダコマイ)ニ得ラルベク南風ニハ渡鹿野島ノ東側附近ヲ可トス、小船舟ハ的矢村落ノ南方及渡鹿野島ノ南端和田ノ鼻ノ南方ヲ可トス。

潮流 大正 3 年 4 月(月齡 2 日)的矢港ノ東方約 1 湮附近ニ於ケル驗測ニ依レバ潮流ハ旋回性ヲ帶ビ漲潮流ハ概シテ向岸流ニシテ南方ヨリ西ヲ經テ北方ニ旋回シ落潮流ハ殆ド海岸ニ並行シテ南流ス、流速弱ク最強 0.8 節ヲ出デズ。

安乘埼(アノリ) 的矢港口ノ南端ニシテ周圍ニハ距岸 3 鏈以內水上岩暗礁擴延ス、其ノ中神ノ島(干出 0.3 米)ハ最北ニ在リ。

安乘埼燈臺 安乘埼端ニ設ク、白塗八角形木造。燈高、礎上 10.9 米、平均水面上 31.8 米。

海岸 安乘埼ヨリ南方大王埼ニ至ル 5 湮餘ノ間ハ海岸彎曲シ其ノ約中央ニ長サ 1.4 湮ノ沙濱アリ、此ノ沙濱ノ前面ヲ除クノ外一帶ノ海岸ハ岸ニ沿ウテ暗岩散在シ山丘ハ低ク平坦ナリ。

油瀨 上記海岸ノ約中央ニ於テ距岸1.2 哩ニ在ル最淺部水深5 米ノ廣キ岩礁ナリ。

波切港 (ナキリ) 大王埼ノ西側ニ在リ大正7 年以降突堤、繫船岸及物揚場築設、船溜浚渫等ノ修築工事ヲ行ヒ昭和4 年3 月完成シ舊態ヲ一新シタル以來漁獲物ノ陸揚ヲ行フ漁船ノ輻輳ヲ見ルニ至リ又此ノ方面ニ於ケル漁船ノ避難港トシテモ適當ナルモノトナレリ。

波切町ノ人口 5,664 (昭和5 年國勢調査) 攝陽商船會社ノ大阪名古屋間定期船其ノ他鳥羽濱島間定期巡航船等1 日數回ノ寄港船アリ○物資ハ魚類ノ外得難ク淡水ハ井水ヨリ得ベキモ給水船ナシ。

10 波切町警察署構内ニ地方暴風標アリ。

波切港防波堤燈臺 東防波堤北端ニ設ク、白塗圓形「コンクリート」造○燈高、礎上7.6 米、平均水面上12.6 米。

大王埼 大王埼ハ志摩半島ノ南東端ニシテ最も多ク海中ニ突出セル多樹ノ低キ埼ナリ○埼ノ東方3.5 鏈ニ高サ8.6 米ノ奇岩大王岩アリ之ヨリ西方ニハ岩礁多シ、大王岩ノ北方7 鏈ニアシカド瀨アリ水深2.2 米、大王岩及「アシカド」瀨ハ老埼北東方ノ岩礁ト共ニ波切港防波堤燈臺ノ分弧ヲ以テ示サル。

大王埼燈臺 埼ノ南端附近ニ設ク、白塗圓形「コンクリート」造○燈高、礎上20 米、平均水面上45.2 米。

20 潮流 大正3 年3 月及5 月大王埼ノ東方約2.5 哩ニ於ケル驗測ニ依レバ潮流ハ季節、風向、海流等ニ左右セラルルコト多ク流向流速共ニ區々ニシテ推定ヲ下スコト能ハズ其ノ流速最強時ト雖モ1 節ニ及バザルガ如シ。

大王埼至日ノ御埼

此ノ區域ハ熊野灘ノ沿岸ヲ南下シテ潮岬ニ達シ更ニ紀伊水道外海東濱ヲ北上シテ紀伊水道外口ニ至ル迄ヲ包容ス、此ノ間大形船舶ニ對シテハ大島港ノ外安全ニシテ便利ナル避難港ナシ。

大王埼至潮岬

大王埼ヨリ潮岬ニ至ル間ノ沖合ハ所謂熊野灘ニシテ海岸線ノ出入ニ富ミ新宮川

以北ニ於テ10 哩餘ノ直條部ヲ有スルノミ、地勢ハ南進スルニ從ヒ土地高峻ト爲リ山勢海ニ迫リ概ネ險崖ヲ成シ其ノ間ニ大小幾多ノ彎入部ヲ成スト雖モ風浪ニ暴露シ或ハ狹隘ニ過グルモノ多數ヲ占メ大形船舶ニ對スル好錨地トシテハ僅ニ南端ノ大島港アルノミ。

氣象 大王埼ヨリ潮岬ニ至ル沿岸ノ氣候ハ頗ル溫和ナリ、潮岬ニ於テ最寒月ナル1 月ノ平均氣溫7.1 度、平均最低氣溫3.7 度、最暑月タル8 月ノ平均氣溫26.0 度、平均最高氣溫28.8 度、降水ハ年量2,000 耗以上ヲ超ユ。

主要地ニ於ケル氣候表次ノ如シ。

Table with 13 columns: 月別 (1-12), 年, 統計年. Rows: 新宮, 潮岬. Title: 平均最高氣溫

Table with 13 columns: 月別 (1-12), 年, 統計年. Rows: 新宮, 潮岬. Title: 平均最低氣溫

Table with 13 columns: 月別 (1-12), 年, 統計年. Rows: 新宮, 潮岬. Title: 平均降水量

10 海岸 大王埼ヨリ麥埼ニ至ル間ノ沿岸ハ海底險惡ニシテ其ノ約中間ニ池田埼アリ埼ノ北方ニ位スル村落ヲ船越ト稱シ英虞灣首ノ一部ニ通ズル低キ地類上ニ在リ○大王埼ノ西方約2.2 軒ニ在ル孤松ハ遠望顯著ナリ。

麥埼 大王埼ヨリ南西方3 哩餘ニ在リ叢林ヲ有スル高サ25 米ノ埼ニシテ

埼上ニ片田村アリ、埼端ニハ石波暗礁甚ダ多シ。

海岸 麥埼ヨリハ海岸西ニ走り約5哩ニシテ御座埼ニ至ル此ノ間一般ニ岩礁多ク殊ニ麥埼以西約1.5哩ノ間距岸約8鏈迄ハ**フカ瀬**(水深3.6米)**イチ島**(水深3.6米)**渡り黒ミ**(最小水深2.2米)**西黒ミ**(水深8.2米)等ノ岩礁散布シ其ノ南方小島附近礁脈トノ間ニ幅僅ニ2.5鏈ニ過ギザル狭水路ヲ存ス。

小島 上記狭水路ノ中央南方ニ在ル小島ハ無樹ノ小嶼ニシテ高サ14米○其ノ西方3鏈ニ在ル**四瀬**(ヨゼ)ハ2箇ノ干出岩ト數箇ノ暗礁トヨリ成ル、此ノ瀬ノ西方2鏈ニ最小水深1米ノ暗礁アリ○小島ノ南方3.5鏈ニ**大島**アリ高サ15米、大島ノ西方丘上ニハ松樹アリテ顯著ナリ。

10 **小島燈臺** 島上ニ設ク、白塗六角形鐵造○燈高、礎上6.1米、平均水面上20.6米。

鳴神島(ナルカミ) 大島ノ南方ニ於テ東西相對シテ横タハレル長礁脈2箇ノ中西方ノモノニシテ礁脈上ニ東西ニ互リテ7箇ノ低キ水上岩ヲ有シ其ノ最高岩ハ東方ヨリ第3位ヲ占メ高サ1.6米ナリ○東方ノ長礁脈ハ幣ノ島(ヘイ)(邊子島)ト稱シ高サ1.6米ノ低キ水上岩ヲ有シ其ノ南方ニ3箇ノ干出岩アリ殆ド常ニ破浪ス。

中石(ナカイシ) 幣ノ島ト神ノ島トノ間ニ在リテ水深2.7乃至4.5米ノ淺頭ヲ有スル暗礁ナリ。

神ノ島 此ノ附近諸險中ノ最南端ニ在ル干出1.2米岩ニシテ之ヨリ南西方約3.5鏈ノ間ニ**小神**(コガミ)、**明神**(ミヨウジン)、**中里**等ノ暗礁アリ○神ノ島ハ其ノ附近ノ險礁ト共ニ小島燈臺ノ分弧ニヨリ示サル。

潮流 神ノ島南方附近ニ於テハ大正3年5月(月齡15日)ノ驗測ニ依レバ流速0.8節ヲ超エザレドモ此ノ附近ニテハ冬季風向及海流ノ影響ヲ受ケ時トシテ強潮流ヲ感ズルコトアリト謂フ。

御座埼(ゴザ) 池田埼ヨリ西方ニ延出セル前島半島ノ西端ニシテ英虞灣口ノ南端ナリ、埼頂ヲ黒森ト稱シ雜樹密茂シ樹頂ノ高サ102米ナリ○埼ノ南東方8鏈**岩井埼**ヨリ擴延セル礁脈端ニ近ク高サ1.3米ノ**鱧島**(ヤスリ)アリ○御座

埼ノ東方約9鏈乃至1.3哩ニ在ル**鯨ヶ岡**(樹頂ノ高サ102米)**金比羅山**(樹頂ノ高サ116米)**目路次ヶ岡**(モクロジ)(高サ99米)ノ3山ハ目標トスルニ足リ殊ニ金比羅山ハ其ノ形兜ニ似テ頂ニ著松ヲ有シ遠望顯著ナリ。

英虞灣(アゴ) 此ノ灣ハ前島半島ノ北側ニ在リ灣口西ニ面シテ深ク東方ニ彎入シ更ニ數多ノ支灣ニ分レ大小多數ノ島嶼散在ス、能ク諸風ヲ防グト雖モ岩礁散在シ水道狹隘ナルヲ以テ小船ノ外出入容易ナラズ且地味瘠セテ糧食淡水ヲ得ルノ便ナシ○汽船ハ灣口ニ於テ御座埼黒森ノ北東方ニ當リ水深12乃至14米沙底ノ處ヲ以テ其ノ避難錨地ト爲シ得ベシ。

此ノ灣ハ古來眞珠貝ヲ産スルヲ以テ名アリ沿岸各村之ガ養殖ニ努メ殊ニ灣内北東奥ノ田徳島〔多徳島〕ニハ御木本眞珠養殖場アリ○田徳島ノ對面ニ**眞珠港**アリ貨客連絡港ニシテ昭和4年鳥羽ヨリ此ノ地ヲ終點トスル志摩電氣鐵道開通シ(驛名ハ賢島)眞珠島土地會社ノ經營ノ下ニ小規模ノ繫船岸壁、浮棧橋等ヲ施設シ濱島港其ノ他前島半島各地ヘ至ル巡航船ノ發着毎日十數回ニ及ブヲ以テ遊覽地トシテ漸次發展ヲ見ツツアリ、此ノ港ノ屬スル島ヲ賢島(カシコ)〔眞珠島〕ト稱ス。

濱島港 英虞灣口北側ニ在リ濱島町濱島南東端ヲ中心トシテ1,500米ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ弧ヲ以テ其ノ港界トス港内淺礁多シ、此ノ地方ニ於ケル漁獲物ノ集散地ニシテ殊ニ經漁期ニ際シテハ漁船ノ出入頻繁ナリ○鳥羽港及眞珠港ヲ起點トスル近海定期巡航船1日數回發着ス。

濱島町ノ人口5,253(昭和5年國勢調査)町役場、縣立水産試験場、郵便局等アリ○物資ハ魚類ノ外得難ク淡水ハ井水ヲ得ベシト雖モ其ノ量少ク水質亦一般ニ良好ナラズ。

町ノ南東角端ニ在ル水産試験場構内ニハ私設無線電信及無線電話ノ施設ヲ有シ又地方暴風標アリ。

潮流 英虞灣外御座埼ノ西南西方約2哩ニ於ケル大正3年5月(月齡1日)ノ驗測ニ依レバ潮流ハ旋回性ヲ有シ漲潮流ハ西方ヨリ北方ニ流レ其ノ最強時ハ低潮後2乃至3時ニシテ流速0.5節、落潮流ハ南乃至南西方ニ流レ其ノ最強時

ハ高潮後2乃至3時ニシテ流速0.5節ナリ。

田會埼(タヅ)(三埼) 御座埼ノ西北西方3湊ニ在リ五箇所港口ノ東端ヲ成セル多岩ノ埼ニシテ埼頂雜草茂リ高サ72米○埼ノ北東方2.5軒内外ニ在ル宿淺間山(シクセンゲン)(樹頂ノ高サ198米)及田會淺間山(樹頂ノ高サ187米)ノ奇形ナル樹叢ハ遠望顯著ニシテ港口ヲ認ムルノ好目標ナリ。

五箇所港 田會埼ト止埼トノ間ヲ港口トシ4湊北方ニ彎入ス景勝ニシテ楓江灣ノ名アリ、港内ハ其ノ中央ニ於テ3支灣ニ分ル東方ヲ五箇所浦ト謂ヒ西方ノモノヲ船越浦及迫間浦トス、3浦共又多クノ小灣ヲ有シ小形船ノ避泊ニ適ス○港ノ背後ニ龍仙山アリ高サ411米ノ禿山ニシテ南西方ヨリ望メバ尖形ヲ呈シ顯著ナリ。

田會埼燈竿 田會埼北方ノ88米山頂ニ設ク、木柱○燈高、礎上6.7米、平均水面上94.7米。

港口附近 室ビラシハ港口東側ニ位スル淺礁ニシテ海人埼ノ松樹叢ヲ桂島ノ西端ヨリ開視シテ進メバ此ノ淺礁ヲ避クルコトヲ得○桂島(葛島)ハ高サ83米矮樹繁茂シ淺瀬ヲ以テ東方ノ陸岸ニ連ル其ノ北方ノ逢原島(オベラ)ハ高サ52米ノ小島ニシテ島頂ニ1松樹アリ之ヨリ北方ニ岩礁出沒シ最端ヲヤギノハナ瀬ト稱ス。

止埼(トドマリ)ハ港口ノ西端ニシテ埼ノ西側ニ在ル101米山ハ稍尖形ヲ呈シ認メ易シ、其ノ北方ノ相賀(オウガ)ハ漁獲物ノ商取引地ニシテ縣營水産倉庫アリ。

逢原島對岸ノ大島ハ1簇岩(高サ14米)ニシテ之ヨリ北東方ニ於テ陸岸ヨリ伸出スル礁脈ノ外端ヲイノキビラシト謂ヒ水深3.6米アリ此ノ礁ハ止埼ノ101米山頂ヲ大島ノ東方ニ充分開視セバ之ヲ避クルコトヲ得。

迫間浦(ハザマ)(海圖78分圖) 能ク各方ノ風ヲ障屏シ大形船舶ニ對シテハ港中最モ安全ナル好錨地ニシテ淺間森ヲ287度ニ望ミ水深16米泥底ノ處ヲ可トス。

浦口ノ南端ハ淺間山ト稱スル高サ71米ノ孤立山ニシテ頂ニ松林アリ前記淺間

森(高サ131米)ト共ニ此ノ浦ニ入ル船舶ノ好目標トス、淺間山ノ裾端ニハ礁脈北方ニ延出スルヲ以テ之ヲ廻ラントスル船舶ハ少クモ1.5鏈ヲ離シテ航スルヲ要ス。

船越浦 此ノ浦ノ錨地ハ東側ニ位スル雀島(高サ6.5米ニシテ頂ニ松樹アリ)ノ西方1.5鏈水深14.6米ノ處ヲ可トス南風強キトキハ大浪ノ爲碇泊ニ適セズ○浦首ハ北西方ト北東方トニ分入シ前者ヲ内瀬浦(ナイゼ)後者ヲ船越浦ト謂フ。

海人埼(アマ)ハ五箇所港ノ東西2支ヲ分隔スル狹半島ノ外端ニシテ頂ニ松林アリ高サ79米○埼端ニ多クハ水上岩ナル礁脈アリ南端ヲ間鼻瀬トシ水深8.2米其ノ北方100米ニ間鼻島アリ高サ12米。

五箇所浦 南風強キトキハ大浪ノ爲碇泊ニ堪ヘズ大船ノ碇泊ニ適セザルモ小船ハ北西偶ナル五箇所村落ト獅子島トノ間ニ入リテ風波ヲ避ケ得ベシ○昭和3年7月軍艦木曾ハ「ツブリコ」島ノ43度600米水深20米底質泥ノ處ニ碇泊シ錨搔キ良好ナリシト謂フ○五箇所村ハ人口3,451(昭和5年國勢調査)村役場及郵便局(電信ヲ取扱フ)アリ、設備トシテ觀ルベキモノナキモ小規模ノ防沙堤、繫船岸等アリ港内及近海巡航船毎日數回發着ス○此ノ浦ニハ御木本經營ノ眞珠養殖場及加工場アリ従業員數百名ヲ算ス。

浦首ニ到ル水道ノ中央ニ孤樹ヲ戴キタル高サ13米ノ小嶼ツブリコ島アリ○此ノ島ノ東方約2鏈ニヨキノ瀬(水深8.6米)其ノ北方1.3鏈ニ水深7.7米礁アリ○御所島ト相對シテ東側ニハ南北ニ長キ礁脈アリテ其ノ北半ヲ飯滿瀬(ハンマ)ト謂フ。

物資 五箇所村ニテハ少量ノ野菜及魚類ヲ得ベシ淡水ハ迫間浦三浦及礫浦村落(サザラウラ)ニテ良質ノモノヲ汲取ルヲ得ベク旱天ニモ缺乏ヲ見ズト謂フ。

赤石鼻 止埼ノ南西方1.5湊ニ赤石鼻アリ鼻ノ西側ニ白崖アリ南東方ヨリ視認シ得ベシ、其ノ内方ニ樹木鬱蒼タル局ヶ頂(ツボネガチヨウ)アリ高サ319米○鼻ノ西方約1湊ニ長サ約0.5湊ノ沙濱アリ。

漁網 赤石鼻以西目戸鼻間ニ於テ冬季及春季ニハ鼻端ヨリ沖ニ向ヒ0.5乃

至1哩ニ互ル大謀網ヲ敷設スル處往々アリ各港出入ニ警戒ヲ要ス。

烏帽子鼻 赤石鼻ノ南西方1.9哩ニ在リ附近ハ距岸約2鏈ノ間岩礁擴延ス、鼻上ノ山ハ高サ189米ニシテ東西ニ高キ險崖ヲ有ス○之ヨリ西方約0.5哩ニ2箇ノ小嶼アリ内方ニ位スルヲ**大森島**ト稱シ矮樹ヲ以テ蔽ハレ外方ニ位スルヲ**筆島**ト謂ヒ尖形ヲ成シ高サ23米アリ○筆島ノ南方約150米ニ**ナラシビラシ**ト稱スル水深1.8米岩アリ。

志戸ノ鼻 槌柄灣口ノ東端ニシテ烏帽子鼻ノ西方約1哩ニ在リ、其ノ南端ニ**御稜島**(ミハライ)ト稱スル高サ29米ノ岩嶼アリ頂上ニ松樹ヲ戴ク、之ヨリ礁脈南方ニ延ビ其ノ間ニ數多ノ水上岩アリ。

10 **槌柄灣**(タシカラ) 志戸ノ鼻ヲ灣口ノ東端トシテ北方ニ彎入スルコト約2.3哩ノ大灣ニシテ南方ニ露開ス灣内ニ道方浦、贅浦、阿曾浦及許能浦(コノ)等數支アレドモ皆小形船ノ避泊地ニ過ギズ○志戸ノ鼻ヨリハ西方ヘ**モオホビラシ**、**長森瀨**、**カツラビラシ**等ノ各礁ヨリ成ル礁脈擴延スルヲ以テ船舶ハ鼻端ヨリ8鏈ヲ保チテ避航スルノ要アリ。

灣ノ東側ニ**和尚塚山**アリ高サ228米ニシテ松樹ヲ戴キ南方及西方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ○灣首北方ニ聳ユル**高山**ハ高サ506米ノ尖リタル秃山ニシテ海方ヨリ認メ易シ。

灣首ノ**鶴倉村**ハ人口2,570(昭和5年國勢調査)郵便局アリ電信ヲ取扱フ、魚類ノ外少量ノ野菜ヲ得ベシ○阿曾浦ニハ石堤ヲ築キ冬季蝦ノ漁獵盛ナリ鳥羽尾鷲

20 間巡航ノ發動機船毎日定時寄港ス。

錨地 灣首附近ニ在ル樹木ヲ有スル小嶼**戸島**ノ南方ニ於テ水深16乃至18米ノ處ニ得ベシ。

地方暴風標 阿曾浦漁業組合ニ地方暴風標アリ。

天候 4月及10月ハ雨天多ク3月及9月ハ大風アリ9月10月頃ハ波荒ク6月頃ハ霧多シ。

見江島 槌柄灣口ノ西端ヲ成セル島ナリ島頂ハ高サ156米ニシテ樹木茂リ南方ヨリ望ムトキハ圓錐形ヲ成シ灣口ヲ識別スル好目標ナリ○島ノ南側ニハ水

上岩散在スト雖モ其ノ外側ハ急深ナルガ故ニ船舶ハ之ニ接シテ通過スルコトヲ得。

島ノ西方3鏈ニ黑色ノ1簇岩アリ高サ14米**味噌島**ト謂ヒ小形船ハ之ト見江島トノ間ヲ通航スルコトヲ得。

神前灣(カンザキ) 見江島ヲ灣口ノ東端トシテ槌柄灣ノ西隣ニ在リ灣口南方ニ開キ北方ニ彎入スルコト約1哩ニシテ**立ヶ埼**ニ至リ2支ニ分ル、東支ヲ**奈屋浦**ト謂ヒ西支ヲ**神前浦**ト稱ス○**奈屋浦**ハ南方ニ露開スルヲ以テ南風ノトキハ波浪滾入シテ錨泊ニ適セザルモ**神前浦**ハ能ク諸風ヲ防ギ常ニ小船ノ良避泊地タリ。

立ヶ埼ハ角端ニ水上岩數箇アリ最高岩ハ高サ46米ニシテ樹木茂ル之ヨリ南方ニ**タテガサキ瀨**擴延ス○**神前浦**ニハ**辨天島**(高サ57米ニシテ2頂ヲ有シ樹木茂ル)**ミヨジノ瀨**(干出1.8米以下ノ3小岩)**ナンドノ瀨**(水深0.9米ノ暗岩)等アリ、浦首ニ近キ**江埼**ニハ顯著ナル孤松アリテ灣口ヨリ認メ得ベシ○**奈屋浦**ノ中央ニハ**中ノ島**(最高5.1米ノ簇岩)アリ**奈屋錨地**ヘ向フモノハ其ノ東方ヲ航過スベシ。

神前村落ハ**吉津村**ノ主邑ニシテ村役場、郵便局(電信取扱)等アリ多少ノ生糧品ヲ求ムルヲ得、淡水ハ鹽分ヲ含ミ良質ナラズ、鳥羽尾鷲間巡航ノ發動機船定時寄港ス。

カマス鼻(海圖76分圖) 神前灣口ノ西端ニシテ又方座港口ノ東端ヲ成ス鼻頂ノ高サ111米○鼻ノ東側ニ**小山**ト稱スル小圓嶼アリ高サ59米松樹茂リ認メ易シ、其ノ南東方ニハ**ヲチガライ**(高サ4.2米岩)**小チガライ**(高サ2.6米岩)**オボロ瀨**(水深6.4米礁)等アリ。

方座港(ハウザ)(海圖76分圖) 「カマス」鼻ト「オハマ」埼トノ間ニ在リ港内2支ニ分レ北西方ニ彎入スルモノヲ方座浦、西方ニ彎入スルモノヲ元方座浦ト稱ス2支共ニ諸風ヲ防グモ狹隘ナルヲ以テ小汽船ニ對スル好錨地タルニ過ギズ。

オハマ埼 方座港口ノ西端ニシテ高サ162米其ノ南端附近ニ**黒島**アリ高サ

13米ノ水上岩ナリ。○黒島ヨリ東方ニ小杓子(干出1.8米岩)ゼンピラシ(水深6.8米礁)大杓子(最低低潮洗岩)ソコピラシ(水深4.5米礁)ツクシ(水深0.9米礁)等點在ス、此等ハ總テ西方ヨリ方座港及神前灣ニ入ラントスル船舶ニ對シ甚ダ危険ナル存在ナリ、局ケ頂ト見江島頂トノ一線ハ此等險礁ノ直近外方ヲ通ル。

缺埼(カケ) 「オハマ」埼ヨリ西方約1.5湮ニシテ缺埼ニ至ル此ノ間ノ海岸ハ岩崖險峻ニシテ附近ニハ數多ノ岩礁散布ス。○缺埼ハ高サ99米ノ岩崖ニシテ雜樹茂リ南西方ヨリ望メバ稍尖形ヲ呈ス、埼ノ南方ニ缺埼ノ瀬(水深8.6米礁)、西方ニヘイケ岩(高サ5.7米)等アリ其ノ他附近岩石散在ス。

10 古和港(コワ)(海圖76分圖) 缺埼ト其ノ西方座佐鼻トノ間ニ在リ北方ヘ彎入スルコト約1.5湮ニシテ東西2支ニ分ル、東支ヲ古和港、西支ヲ西浦ト謂フ。○古和港ハ全體トシテ水道深クシテ危険ナク又能ク諸風ヲ防グト雖モ港内狹隘ニ過ギ大船ノ錨地ニハ稍適セズ然レドモ小船ノ避泊地トシテハ此ノ附近ニ於テ其ノ比ヲ見ザル良港ナリ。

ビシヤゴ島ハ缺埼ノ北西方ニ在リ高サ30米ノ黒色島ニシテ草木ナク甚ダ認メ易シ、此ノ島ノ南西方約150米ニ水深4.5米ノ暗岩アリ。○港口東側ニ於テ南方ニ面シ高サ約120米ノ崖崩レアリ遠ク海方ヨリ認メ得ベキ顯著ナル目標ナリ。○港内東支ノ中央ニ在ル辨天島ノ東方對岸ニ神社アリ其ノ二重ノ鳥居ハ顯著ナリ。

東支北部ノ古和村落ハ島津村ノ主邑ニシテ郵便局アリ電信ヲ取扱フ、多少ノ魚菜ヲ求メ得ベシ淡水ハ井水ニシテ舩舟ニテ運搬セバ1日約15噸ヲ供給シ得ベシ。○鳥羽尾鷲間巡航ノ發動機船定期ニ寄港ス。

錨地 東支ニ於テハ辨天島ノ北西方水深16米泥底ノ處、西支ニ於テハ内方18米泥底ノ處ヲ最良トス。

海岸 古和港ヨリ西方錦灣ニ至ル約3.5湮ノ海岸ハ殆ド直條ナル岩崖ニシテ直背ニハ樹木鬱蒼タル山嶺連ル。○此ノ海岸ノ中央ニカツコト稱スル突出部アリテ附近水上岩散在ス、此ノ突角ノ東側ニ長サ3鏈ノ沙濱アリ其ノ東端ノ小流ハ往時ノ紀伊、伊勢兩國ノ境界ナリ。

目戸鼻 錦灣口ノ東端ニシテ之ヨリ南方1湮ノ間ニ中ピラシ(水深9.1米礁)高島(高サ18米ノ禿岩嶼)米島(高サ15米ノ禿岩嶼)ニ子島及キオイ島(何レモ高サ23米ニシテ草木アリ)波カブリ(干出0.6米岩)等アリ、波「カブリ」ハ最外岩ニシテ長島灣西方ノ鈴島頂ヲ赤野島南端ノ南方ニ開キ257度ニ望ミテ進メバ此ノ岩ノ南方5鏈ニ導ク。

錦灣(海圖76分圖) 目戸鼻ト其ノ西方平瀬鼻トノ間ニ在リ灣口南方ニ開クモ灣首ハ門洲ヲ經テ東方ニ屈曲シ沙嘴向井鼻ノ内方ニ小船ノ避泊ニ適セル内浦ヲ形成ス、内浦ノ東濱ニ錦村ノ村落アリ。○灣内ニハ牛蒡島、草島等ノ干出岩アリ。

平瀬鼻 錦灣口ノ西端ニシテ之ヨリ南方ニ向ヒ1.3湮ノ間ニ平瀬島(高サ79米)オソ島(高サ21米)目穴島(高サ35米ノ最大嶼、高サ30米ノ尖頂嶼ヲ有スル群嶼)シヲピラシ(水深7.3米礁)等連ル。○「シヲピラシ」ノ南西方ニ離レテニグチノ島アリ水深9.6米ノ暗礁ナリ。

大島 目穴島ノ南南西方約2湮ニ在リ高サ107米ノ島ニシテ樹木多ク海方ヨリ望ムトキハ顯著ナル目標ナリ。○此ノ島ノ北角ヨリ西方ヘ4.5鏈ノ間一列ノ小嶼擴延シ低潮ニハ皆連續ス其ノ中央嶼ハ高サ49米ニシテ稍尖形ヲ成ス。○大島ヨリ東方9鏈ノ間ニヲピラシノ島(水深5.9米礁)及コピラシノ島(水深10.9米礁)アリ、前者ト大島トノ間ハ通航スベカラズ。○大島島頂ノ南西方5.5鏈ニ小佐波留島アリ高サ1.4米及干出1.5米ノ2岩ヨリ成ル此ト大島トノ間ハ通航スベカラズ。

佐波留島(サバル) 大島島頂ヨリ南東方1湮ニ位スル高サ3.8米ノ黒岩ニシテ其ノ南側200米ノ處ニ水深2.7米及5.4米ノ2暗岩アリ、佐波留島ト大島トノ間ハ21乃至49米ノ水深アレドモ通航セザルヲ可トス。○佐波留島ノ北東方約3鏈ニセゼリト稱スル水深10米礁アリ。

千島鼻 大島ノ北方ニシテ平瀬島ノ西方9鏈ニ在リテ長島港口ノ東端ヲ成ス高サ40米。○鼻端ヨリ南西方ニ向ヒ千島島(高サ33米)大石(高サ15米ノ黒岩)セライダシ(水深2.2米礁)等アリ、長島港ニ出入スル船舶ハ此等ヲ避ク

ル爲少クモ千島鼻ヨリ5鏈以上離レテ航スルヲ要ス。

長島港 長島町南方9鏈ノ137米岬角東端ト大石トヲ連結スル一線及大石ト千島鼻トヲ連結スル一線ニ依リテ圍マルル区域内ヲ以テ港域トス。此ノ港ハ西側險惡東側險峻ニシテ港首ハ磯濱ヨリ成リ其ノ西側ニ赤羽川ヲ挾ミテ二郷村ト長島町トアリ。

偏南風アルトキハ安全ニ泊シ得ザレドモ小船ハ内方名倉前面ノ支灣ニ入レバ安全ニ泊スルコトヲ得。

長島町ノ東側海岸ニ沿ヒ防波堤アリ其ノ北端ハ赤羽川ニ南端ハ江ノ浦入口ニ達シ其ノ約中央ニ幅36米ノ缺堤2箇所アリ舟艇ノ出入ニ便ス、防波堤ノ南端ニ近ク之ト直角ニ突堤アリ、防波堤ノ兩端及突堤ノ外端ニ各1箇宛ノ燈竿アリ。江ノ浦及之ガ入口ノ浚渫船溜(低潮面下1.5米)ハ荷役又ハ避泊ノ爲ノ小船ニ對シ好錨地ナリ。名倉ニハ最近海岸埋立及物揚場設備ヲ成シタル爲附近山林ヨリ産出スル木材、薪炭等ノ船積荷役容易ト爲レリ。

長島町ハ人口5,853(昭和5年國勢調査)町役場、郵便局等アリ。一般日用品ヲ辨ジ得ベシ、江ノ浦口ノ北側ニ噴水井アリ良水多量ニシテ手働唧筒ヲ常設シ隨時無料ニテ汲取ルヲ得。

地方暴風標 町ノ中央警察署構内ニ地方暴風標アリ。

交通 攝陽商船會社ノ大阪名古屋線定期汽船毎日往復共各1回寄港スル外鳥羽尾鷲間其ノ他近海諸港間巡航船ノ發着多シ。鐵道ハ參宮線相可口ヨリ分岐スル省線紀勢東線(現在次驛三野瀨迄至ル)通ズ。

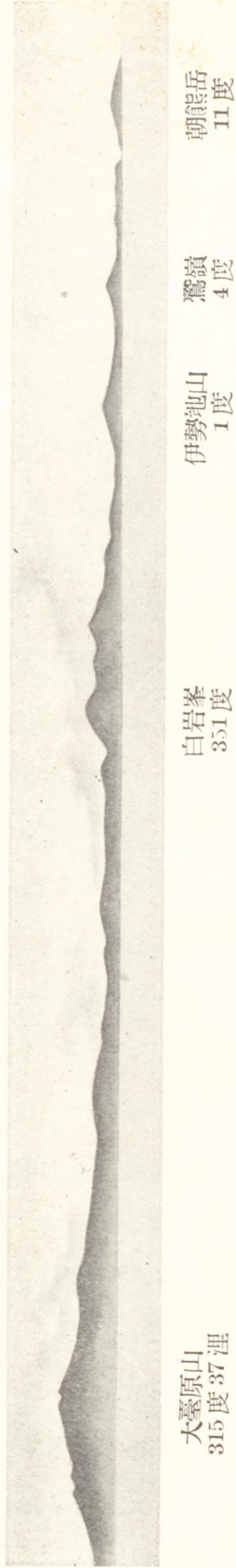
大エスキ島 長島港口西端ノ南側附近ニ2尖嶼アリ東嶼ヲ大「エスキ」島ト謂ヒ高サ47米ニシテ低潮ニハ海岸ト連續ス、西嶼ハ小エスキ島ト稱シ2嶼ヨリ成リ高サ31米。大「エスキ」島ノ南東方3鏈ニ干出0.9乃至1.2米ノ處ト水深0.9米ノ處ト相連ル岩礁イ島アリ。

海岸 長島港ヨリ南方合口鼻ニ至ル海岸ハ曲折シテ數多ノ小灣ヲ成シ其ノ前面ニハ諸島嶼散在ス。最北ノ赤野島ハ南北8鏈間ニ擴延スル數小嶼ニシテ低潮ニハ相連續ス、最高嶼ハ高サ70米ニシテ尖形ヲ成シ列嶼中ノ南部ニ在リ。

第144頁對面

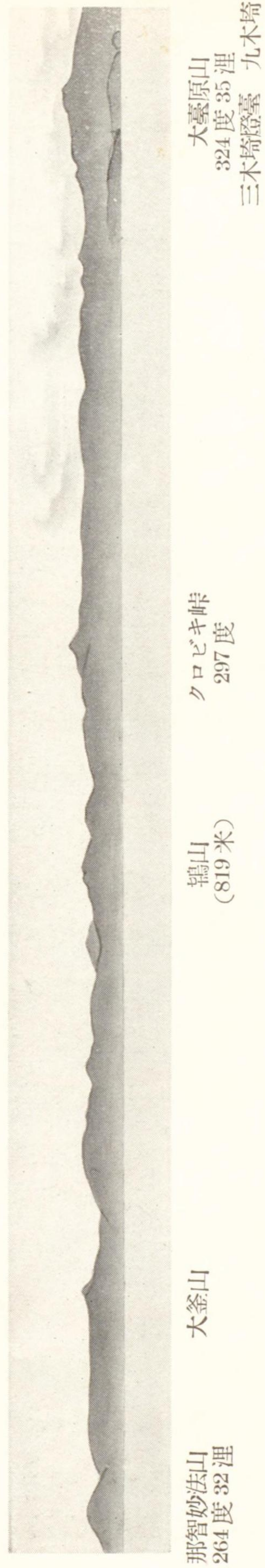
朝熊岳ヨリ大臺原山ニ至ル
(賀田灣沖ヨリ望ム)

第7



大臺原山ヨリ那智妙法山ニ至ル
(賀田灣沖ヨリ望ム)

第8



赤野島ノ東方ニハ**アト島**アリ高サ4.2米ト1.4米トノ2嶼ヨリ成ル○赤野島ノ西方ニハ**丸山島**及**鈴島**アリ、前者ハ高サ57米ノ小嶼ニシテ其ノ西側ニ擴延スル岩石中最西ノモノハ高サ6.9米ナリ、後者ハ此ノ附近ニ於ケル最高島ナルヲ以テ最モ認メ易シ其ノ島頂ハ高サ104米ニシテ東方ヨリ望メバ尖峯ヲ成ス○鈴島ノ南方ニハ**木生島**(キブ)[**黒島**](高サ16米ノ黑色岩) **杓子**(高サ1.7米岩) **コウザ島**(高サ2.9米岩) **ダイワ島**(簇岩ニシテ高サ30米及31米ノ2尖岩ヲ含ム) **ヲドナ島**(高サ11米岩)等東西ニ列ス船舶ハ此等諸嶼ノ間ヲ通航スルコトナク必ズ木生島ノ東方ヲ航スベシ。

大臺原山(オホダイガハラ)(海圖93) 此ノ海岸ノ内方16軒ニ在ル大臺原山ハ臺形ノ高原ニシテ識別シ易ク御前埼方面ヨリ潮岬ニ直航スル場合ニ於ケル 10 顯著ナル遠距離目標ナリ(第144頁對面對景圖第7及第8參照)。

島勝浦 合口鼻ノ西方ニ在リテ南北ノ2灣ニ分ル共ニ小船ノ避泊地ニ過ギズ○浦口ノ北端附近ニ數岩礁アリテ其ノ最外岩ハ洗岩ナリ○南灣ニ島勝村落アリ桂城村ノ主邑ニシテ村役場、郵便局(電信ヲ取扱フ)アリ。

合口鼻(アヒクチ) 島勝浦東方ニ合口鼻アリ○鼻ノ南方ニ在ル高サ213米ノ山峯ハ頂ニ二、三ノ松樹ヲ有シ東方及北東方ヨリ望ムトキハ顯著ナリ○鼻ノ東方2鏈ニ**二又島**アリ2箇ノ尖頂岩(高サ26米)ヨリ成リ東嶼ハ禿岩ナレドモ西嶼ハ樹木疎生ス、島ノ周圍ニハ岩石ヲ繞ラシ其ノ東側ハ急深ナリ、島ノ南東方3.5鏈ニ**子マルノ島**ト稱スル水深10.9米ノ點礁アリ依ツテ船舶ハ二又島ノ外側少クモ6鏈ヲ離レテ航スルヲ要ス。 20

寺島埼 合口鼻ヨリ南西方ハ險崖絶壁ノ岩岸2湮ニシテ寺島埼ニ達ス、此ノ埼ハ高サ183米ノ險崖ニシテ東方ヨリ望ムトキハ認メ易シ其ノ南端ニ接シ圓錐形嶼**筆島**アリ。

尾鷲灣(オワセ) 寺島埼ト其ノ南方4湮ニ在ル九木埼トノ間ニ彎入スル大灣ニシテ樹木鬱蒼タル高山之ヲ圍ミ灣内4支ニ分ル然レドモ大船ノ錨泊ニ適スルハ尾鷲港及引本浦ニシテ**大石鼻**、尾南曾鼻間ニ在ル須賀利浦及尾南曾鼻、寺島埼間ノ元須賀利浦ハ何レモ小船ノ避泊地タルニ過ギズ。

寺島ハ元須賀利浦ノ前面ニ位シ狭キ2嶼ヨリ成リ西嶼ノ高サ52米ナリ此ノ2嶼ハ周圍急深ニシテ何レノ側ヲモ通航スルヲ得○尾南曾鼻(オナソ)ハ高サ77米アリ其ノ東面ハ黒色ノ險崖ニシテ孤松ヲ有シ頗ル顯著ナリ高サ129米○桃頭島(トガシラ)ハ**モト山鼻**ノ東方ニ在リ東西ノ長サ4鏈高サ168米ニシテ樹木茂リ遠ク望メバ三角形ヲ成シ頗ル顯著ナリ之ト陸岸トノ間ハ岩礁填塞ス○「モト」山鼻ノ南方約9鏈ニ淡褐色ヲ帯ビタル山崩アリ東方ヨリ望メバ好目標ヲ成ス。

天候 春ハ晴天多ク曇及雨ハ $\frac{1}{3}$ ニ過ギズ南風多クシテ概ネ平穩ナリ○夏秋ハ雨多ク南東風連吹シ波高く着岸シ難キコト少カラズ炎熱ハ甚シカラザレドモ殘暑長シ○冬ハ西及北西風吹キ雨少ク晴曇相半シ概ネ平穩ニシテ冰雪稀ナリ。

10 引本浦(ヒキモト) 尾鷲灣ノ北部ニ在リテ初メ北西方ニ1湮間灣入シ次デ北東方ニ灣入スルコト2湮ニシテ平均3.5鏈ノ幅ヲ有シ能ク諸風ヲ防ギ大船ノ錨泊ニ適ス水深ハ浦口ノ40米ヨリ浦首ニ向ヒ漸減ス。

浦口ノ西端猪ノ鼻ハ高サ191米ニシテ頂ニ孤松アリ○割神島ハ此ノ鼻ノ東方ニ在ル高サ30米ノ小嶼ニシテ島頂ニ單松ヲ有シ其ノ南側ニ**ミソ岩**ト稱スル水上岩アリ高サ9米。

錨地ハ引本町ノ前面即チ**引本港**ニ在リテハ其ノ東側ハ岸ニ接シテ水深ク且諸風ヲ遮リ良泊地ヲ成セドモ入口ノ兩側ヨリ擴延スル淺瀬ノ爲航路ヲ狭メラルルヲ以テ注意ヲ要ス又浦ノ北端ヨリ5鏈兩岸ノ中央水深9乃至14米ノ處ニモ錨地アレドモ沙底ニシテ錨搔キ良好ナラズ。

20 引本町ハ人口3,726(昭和5年國勢調査)町役場、郵便局(電信ヲ取扱フ)アリ、町ノ背後ニ於テ船津川ヨリ注流スル白石湖ノ水ハ湖口ニ於テ銚子川流ノ一部ト合ス湖口ハ淺瀬ニシテ僅ニ小舟ヲ通ズルノミ、町ノ東端ニ埋立地アリテ上陸所ハ其ノ北西隅ニ在リ。

尾鷲港 猪ノ鼻端ヨリ佐波留島北西端ニ引キタル一線ト同島南端ヨリ「モト」山鼻端ニ引キタル一線トニ依リテ圍マルル區域ヲ港域トシ大船ノ錨泊ニ適スレドモ港口東ニ開キ東至南東ノ強風ニハ波濤ノ滾入ヲ免レズ殊ニ8月9月ノ頃此ノ虞最モ多シ。

佐波留島(サバル)ト裸島トハ港口ニ横タハル2島ニシテ兩者ノ間ヲ常航路トス前者ハ北西、南東ノ長サ約3鏈高サ90米ノ狹島ニシテ之ト「モト」山鼻トノ間ノ水道ハ其ノ約中央ニ**内平島**(高サ3.5米)アルヲ以テ成ルベク通航セザルヲ可トス、後者ハ高サ8.4米ノ小禿岩ニシテ其ノ西方約150米ニ水深1.3米ノ暗礁平瀬アリ○裸島ノ南西方4鏈ニ人瀬ト稱スル干出1.5米ノ尖岩アリ此ノ上ニ球形頭標附紅黒横線塗截頭三角錐形石造立標ヲ立ツ(此ノ立標ハ灰白色ヲ呈シ居ル旨ノ報告アリ)之ト港内南濱トノ間ハ點礁散在シ水深不規則ナリ。

尾鷲町 港首ニ在ル尾鷲町ハ人口15,401(昭和5年國勢調査)南北牟婁郡内第1ノ物資集産地ニシテ木材薪炭ノ移出盛ナリ町役場、警察署等ノ官衙アリ○警察署構内ニ地方暴風標アリ。

築港 從來天満地先海面ニ石堤及船溜ヲ有セシガ偏東ノ強風ニ際シテハ荷役困難ナル爲大正10年度ヨリ昭和5年度迄ニ長サ364米ノ防波堤及66米ノ突堤ヲ築設シ幾分緩和セラレタルモ尙充分ナル施設ナキ爲海面1萬餘坪ヲ埋立テ荷揚場、上屋等ノ設備ヲ行フ計畫ヲ樹テ修築工事中ナリ。

目標 地方暴風標附近ニ不動白光燈1箇アリ之ヲ268度30分ニ見テ進メバ灣口ヨリ裸島ト佐波留島トノ中間ヲ經テ人瀬及平瀬ヲ避ケ尾鷲港内ニ導ク○町ノ南東方中川口南岸ノ白色煙突及町ノ北部ニ在ル赤色鐵造火見櫓ハ共ニ顯著ナル目標ナリ。

防波堤燈臺 防波堤南端ニ設ク、紅塗圓形「コンクリート」造○燈高、礎上9.1米、平均水面上11.7米。

北口第1號燈竿 防波堤北端ニ設ク、白塗四角形「コンクリート」造○燈高、礎上4.7米、平均水面上7.3米。

北口第2號燈竿 突堤南端ニ設ク、紅塗四角形「コンクリート」造○燈高、礎上4.7米、平均水面上7.3米。

錨地 南濱ノ辨財島ヲ142度ニ中川北方ノ孤立山「セギノ」山ヲ255度ニ望ミ水深9.6米泥底ノ處ヲ好錨地トス。

物資 鶏、鶏卵、牛肉、野菜其ノ他ノ日用品ハ多少辨ジ得ベシ○淡水ハ井

水1日20噸内外ヲ供給シ得。

交通 攝陽商船會社ノ大阪名古屋間定期船及沿岸諸港巡航船寄港ス○鐵道ハ數年ナラズシテ省線紀勢東線ノ開通ヲ見ルベク木本町トノ間ニハ紀伊自動車索道線(中間索道前後自動車)アリ尙背後ノ奈良縣下北山村方面ニハ貨物輸送用鐵索道架設シアリ。

貿易 昭和6年ニ於ケル入港船舶隻數竝ニ噸數及移出入品價額次ノ如シ。

	隻數	噸數	移出品價額	移入品價額
	20,752	441,827	1,336,793 圓	1,326,776 圓
(内汽船)	9,700	310,295		

10 移出品ノ主ナルモノハ木材、鮮魚介、木炭等ニシテ 移入品ノ主ナルモノハ米、和洋酒、絹及綿織物等ナリ。

九木埼 尾鷲灣口ノ南端ニシテ高サ230米ノ高キ險崖ヲ成シ樹木多ク顯著ナリ埼端ニハ二、三ノ水上岩アリ。

九木浦(海圖75分圖) 九木埼ト奈佐鼻トノ間ニ西方ヘ約1.5哩彎入セル細長キ灣ニシテ狹隘ニ失スト雖モ浦内一ノ危險ナク能ク諸風ヲ遮蔽スルヲ以テ小形船ニハ最好ノ錨地ナリ荒天ノ際ニハ本港ニ避難スル船舶夥シキヲ觀ル○浦内北側ノ九木村落ハ九鬼村ノ主邑ニシテ村役揚、郵便局(電信ヲ取扱フ)アリ、村落ノ前面ヲ九鬼港ト稱シ大阪名古屋間定期船寄港スル外尾鷲木本間巡航ノ發動機船毎日定時寄港ス○魚類及少量ノ野菜アルノミ飲料水ハ溪水ヲ用フ。

20 早田浦(ハイタ) 九木浦ノ南隣ニ在ル小浦ニシテ僅ニ小船ノ泊地ニ適ス、浦ノ内方約2軒ノ樹木ヲ以テ蔽ハルル谷ノ山(堪能山)ハ高サ457米ニシテ海方ヨリ認メ易シ。

三木埼 九木埼ノ南方3哩ニ在ル岩崖ノ埼ニシテ此ノ近傍ニ於ケル最東端ナルヲ以テ南東方或ハ北東方ヨリ望ムトキハ甚ダ識別シ易シ○埼ノ内方ニ2山アリ西ニ在ルヲ石モグラ山(高サ276米)東ヲ蕨叩山(高サ223米)ト謂ヒ兩者共圓頂ニシテ矮樹茂ル。

三木埼燈臺 埼上ニ設ク、白塗圓形「コンクリート」造○燈高、礎上11米、

平均水面上150米。

潮流 三木埼附近ニ於ケル冬季ノ驗測ニ依レバ漲潮流ハ北ニ落潮流ハ南ニ流レ其ノ流續時間各6時間ニシテ大潮ニ於ケル流速漲落兩流共ニ0.7乃至1.5節ナリ然レドモ其ノ流向ハ天候ト季節ニ因ツテ變化シ一定セズ。

賀田灣(カダ) 三木埼ヲ灣口ノ北端トシ神須埼ヲ南端トシテ北西方ヘ彎入スルコト3哩ニシテ其ノ形十字ヲ成シ東支ヲ三木浦、西支ヲ飛鳥浦、北支ヲ三木里浦ト謂フ又灣内諸漁港ヲ總稱シテ賀田港ト稱ス、灣周概ネ樹木鬱蒼タル高山脈ヲ以テ圍マレ灣首ニ聳ユル諸山ハ高サ600乃至760米アリ○三木里浦ハ南東方ニ露開シ錨泊ニ適セズ、三木浦ハ水深稍深キニ過グルモ能ク諸風ヲ防ギ小船ノ避泊ニ適ス、兩浦ノ中間北側ニ高サ3.5米ノ平低岩溺島アリ、三木里及三木浦ハ共ニ漁業ヲ主トスル村落ニシテ尾鷲木本間ノ巡航船毎日定時寄港ス。

三木埼ノ南方約6鏈ニ2岩礁アリ南岩ヲ神ノ島ト謂ヒ高サ11米、北岩ハ小龜島ト稱シ高サ5.4米賀田灣口ヲ認ムルノ好目標ナリ、之ト海岸トノ間ハ成ルベク通航セザルヲ可トス。

飛鳥浦(アスカ) 賀田灣ノ3支中大形船ノ錨泊ニ適スルハ唯此ノ1支アルノミ、此ノ浦ハ最初南西方ニ彎入シ次デ北西方ニ屈折シ長サ1.5哩、北濱ノハゴ山(高サ221米)ハ好目標ナリ○錨地ハ南濱曾根村落北方ノ「ミヤノ」鼻ヲ221度ニ賀田川口ヲ300度ニ望ミ水深16米泥底ノ處ヲ可トス此處ハ諸風ヲ遮蔽スト雖モ折々四周ノ高山ヨリ猛烈ナル急風吹き下スコトアリ○昭和3年7月軍艦木曾ハコスギ鼻ノ268度30分1,000米水深38米底質沙ノ處ニ碇泊シ錨搔キ良好ナリシト謂フ○「ミヤノ」鼻附近及賀田川口ノ外方ハ淺瀬ナリ○浦首ニ賀田村落アリ南輪内村ノ主邑ニシテ村役揚、郵便局(電信ヲ取扱フ)等アリ村民ハ漁業ヲ主トシ河水ヲ飲料トス、現在此ノ地ヲ終點トシテ奥地ノ國有林伐採木材搬出ノ爲大阪營林局ノ經營ニ係ル電氣動力ニ依ル鐵索道建設セラレ且製材工場アリ、尾鷲木本間ノ巡航船毎日定時寄港ス。

神須埼(カミス) 賀田灣口ノ南端ニシテ埼端ニメ島ト稱スル高サ1.7米

ノ小岩アリ。

楯ヶ崎 神須崎ノ南西方1.3哩ニ在ル險崖ノ崎ニシテ崎頂ヲムツミヤ山ト稱シ高サ162米ニシテ顯著ナリ。

二木島灣 (ニギシマ) 楯ヶ崎ト笹野島トノ間ニ在リ北方へ8鏈次デ更ニ西方へ1哩灣入シ能ク諸風ヲ遮ルヲ以テ和船ハ多ク此處ニ繫泊ス又木本港ニ碇泊スル汽船ガ風濤ニ堪ヘザルトキ此處ニ避泊シテ貨客ヲ揚陸スルコトアリ◎灣首ノ二木島村落ハ荒坂村ノ主邑ニシテ其ノ前面ハ**二木島港**ナリ此ノ村落ニ村役場(構内ニ地方暴風標アリ)郵便局(電信ヲ取扱フ)アリ、其ノ中央海岸ノ石垣ニ近キ攝陽商船會社取扱店前ニ紅燈(電燈)アリ舢舨ハ此處ヨリ發着ス、當地ニテハ少量ノ糧食ヲ得ラルベシ淡水ハ溪水多量且良質ナリ◎攝陽商船會社ノ大阪名古屋間定期船毎日往復共1回宛寄港ス其ノ他尾鷲木本間巡航ノ發動機船毎日定時寄港ス。

笹野島 二木島灣口ノ西側ニ位スル高サ56米ノ島ニシテ樹木多ク北東方及南西方ヨリ認メ易シ◎此ノ島ヨリ西方1.7哩**箕越崎 (ミコシ)**ニ至ル迄ノ海岸ハ險崖ニシテ其ノ内方ニ高サ335米ノ**小豆餅山**アリ。

新鹿灣 (アダシカ) 箕越崎ト**カイタロウ**鼻トノ間ニ在リテ灣口南方ニ露開スルヲ以テ偏南風ニ堪ヘザルモ北風及西風ニハ假泊スルヲ得ベシ◎東方ヨリ近ヅクトキハ灣内西側ノ高サ18米禿岩ナル**鹿ヶ島 (獅子ヶ島)**ヲ箕越崎附近ノ**遊木ノ島**(高サ29米ニシテ雜樹茂ル)ヨリ南方ニ開キ箕越崎東方ノ**ツクシ**小島(高サ1.7米ニシテ波浪ニ洗ハル)ヲ避クベシ◎錨地ハ新鹿村落前面ニ於テ鹿ヶ島西端ト鈴ヶ島西端トノ一線上水深14.5米ノ處ヲ可トス◎新鹿村落ハ新鹿村ノ主邑ニシテ村役場及郵便局(電信ヲ取扱フ)アリ。

鈴ヶ島 新鹿灣口ノ西端「カイタロウ」鼻ノ南東方沖ニ在リ高サ15米ノ岩島ニシテ其ノ南側ニ接シ1干出岩アリ又此ノ島ノ北方2.5鏈ニ杓子ト稱スル高サ2米ノ岩アリ、鈴ヶ島ト陸岸トノ間ハ海底險惡ナルガ故ニ通航セザルヲ可トス。

木本港 (キノモト)(海圖93分圖) 鈴ヶ島ノ西方2.1哩ニ位スル鬼ヶ城

最高地(159米)ヲ中心トシ2軒ノ半徑ヲ有スル圓圈ノ弧ヲ以テ其ノ港界トシ南方ニ露開ス、港トシテノ設備ナシ。

港内東側ノ猪ノ鼻ノ内方ニ平坦ナル禿山アリ高サ161米◎猪ノ鼻ノ南方2.5鏈ニ**魔見ヶ島 (マミル)**アリ長サ150米ノ岩島ニシテ其ノ頂3箇ニ分レ最高頂ノ高サ23米此ノ島ト猪ノ鼻トノ間ハ通航セザルヲ可トス。

港首ノ鬼ヶ城ハ長キ礫濱ノ北端ニ在ル奇形ノ岩崖ニシテ其ノ前面ニ高サ2.8米ノ平頂岩**イシマ**アリ◎鬼ヶ城ヲ境トシテ西ニ木本錨地、東ニ泊灣アリ。

泊灣 南方ニ露開セル小灣ニシテ且灣首水淺キヲ以テ唯木本錨地ニ泊スル小形船ノ強風ニ際シ一時避泊シテ貨客ヲ乗降セシムル處タルニ過ギズ◎灣首ノ大泊村落ハ泊村ノ主邑ニシテ農業ヲ主トシ村役場アリ其ノ南東方ニ古泊(コドマリ)村落アリ防波堤ヲ有シ漁業盛ナリ。

木本錨地 海濱急深ナルヲ以テ舢舨ヲ礫濱ニ躍ラセテ著岸シ貨客ノ乗降ヲ爲ス風浪アルトキハ碇泊全ク不可能ナリ◎木本町ハ人口5,130(昭和5年國勢調査)三重縣南牟婁支廳、町役場、警察署(構内ニ地方暴風標アリ)、郵便局、中學校、女學校等アリ、木材薪炭ノ輸出盛ナリ◎鶏、鶏卵、魚類、野菜等ヲ辨ズ水ハ溪間ヨリ町内數箇所ノ水槽ニ移シ良水豊富ナリ但シ給水設備ナシ。

交通 攝陽商船會社ノ大阪名古屋間定期船當港ニ寄港ス又當港ヨリ沿岸諸港ニ至ル巡航船ノ發着頻繁ナリ◎陸路ハ奈良縣下北山村方面及和歌山縣下新宮市方面ニ定期乗合自動車ノ便アリ。

天候 11月ヨリ4月ニ至ル間ハ海上最モ靜穩ニシテ晴天續キ6月ヨリ10月ノ候屢荒天ニ襲ハルルコトアルモ寒暑ノ差大ナラズ又降雪ヲ見ルコト稀ナリ。

海岸 鬼ヶ城ヨリ南方約14哩三輪崎町附近ニ至ル迄ハ紀伊半島東岸中唯一ノ直條海岸ヲ成シ其ノ南端ニ近ク新宮川注流ス、海岸ハ概ネ礫濱ニシテ松樹並列シ其ノ間ニ有馬、市木、阿日和、井田等ノ諸村落アリ。

鬼ヶ城ヨリ南方約4哩距岸5鏈ニ**志原ノ瀨**ト稱スル水深7.3米ノ暗礁アリ◎志原ノ瀨ノ南方1.5哩海岸ニ近ク折磯ト謂フ破浪岩アリ最低低潮ニハ0.9米干出ス◎折磯ノ内方ニ**淺間山 (ホシ山)**アリ高サ213米ノ禿山ニシテ其ノ北肩ニ松

樹叢アリ頗ル顯著ナリ◎新宮川口ノ北方2.5 哩海岸ヨリ内方2 軒ノ處ニ大烏帽子山(東山)ト稱スル高サ360 米ノ尖峯アリ好目標ナリ、此ノ山ヨリ山脈北方ニ走ルコト6 軒ニシテ大地山ニ至ル大地山ハ高サ609 米ニシテ頂ニ樹木アリ。

新宮川(シングウ)[熊野川] 鬼ヶ城ノ南方10 哩ニ在リ三重縣ト和歌山縣トノ境界ヲ成シ木材ノ流送ニ利用セラルル大河ナリ、上流ハ北山川及十津川ヨリ成ル、北山川ハ源ヲ大臺原山ニ發ス、十津川ハ大峯山附近ニ發シ音無川等ノ支流ヲ合ス◎新宮川口ハ其ノ北端ヨリ北方約1 哩ノ間濱邊ニ高サ2.3 米ヨリ8 米ニ至ル數多ノ干出黑色岩散在スルヲ以テ認メ易シ◎川口ヨリ上流7 哩ニ石炭ノ產地アリ其ノ途中ニ勝地九里峽アリ又石炭產地ヨリ更ニ上流(北山川)ニハ
10 海峽、十津川ニハ熊野座神社及湯ノ峯温泉アリ。

新宮港 新宮川口ヨリ新宮市附近迄水深1.3 乃至2.2 米アリ此ノ部ヲ新宮港トス、川口ハ波浪ト水流ノ爲沙洲ノ移動常ナク水道ノ位置屢變ズルガ故ニ小帆船ノ外ハ出入容易ナラズ◎新宮市東側ノ丘上ニ丹鶴城趾(高サ約50 米)アリ其ノ東方附近ノ小丘蓬來山ト共ニ川口附近ヨリ認メ得ベシ、川口附近新宮鐵道熊野地驛北東方ノ發電所大煙突(高サ37 米)及之ト蓬來山トノ中間富士製紙會社工場構内ノ新設大煙突ハ共ニ好目標ナリ。

新宮市ハ紀伊半島沿岸中和歌山市ニ次グ大邑ニシテ人口29,411(昭和5 年12 月調、新宮町時代)木材ノ集散盛ニシテ帆船常ニ輻輳シ商業殷盛ヲ極ム、和歌山縣東牟婁支廳、市役所、警察署、營林署、郵便局等アリ◎市ヨリ概ネ普通ノ物
20 資ヲ得ベシ◎新宮市水難救濟會救難見張所構内ニ地方暴風標アリ。

川口ニ近キ市ノ東部ヲ熊野地ト謂ヒ製材所多シ◎新宮市ヨリ三輪崎町ヲ經テ勝浦町ニ達スル新宮鐵道アリ◎新宮市ヨリ新宮川上ヲ航シテ瀨八丁及本宮ニ至ル「プロペラー」船(飛行艇)便アリ。

三輪崎灣 新宮川口ノ南西方3.5 哩ニ在リ灣口東方ニ露開シ偏東風ニ宜シカラズ且灣口ノ兩側ニハ險處多ク安全ナル泊地トハ謂ヒ難シ、三輪崎町ノ前面ハ嘗テハ新宮市ニ於ケル貨物ノ移出港トシテ船舶ノ錨泊スルモノ多カリシガ現時ハ漁港タルニ過ギズ。

灣ノ北側ニ在ル串島(クシマ)及鈴島ハ礫石ヨリ成リ前者ハ高サ19 米後者ハ高サ21 米ニシテ2 箇ノ尖岩附屬ス目下此ノ2 嶼ヲ連ヌル防波堤ノ築造工事中ニシテ之ト町トノ間ヲ以テ漁港ト成ス計畫ナリ、此等ノ嶼ハ廣キ礁脈上ニ位シ其ノ南西端ニ市ノ島(高サ1.3 米岩)南東端ニ杓子礁(水深0.9 米)アリ◎灣内南側ニハ沖ノ八島(水深1.8 米岩)延命寺出シ(干出0.9 米岩)等アリ。三輪崎町ハ人口3,788(昭和5 年國勢調査)多少ノ日用品ヲ辨ジ得ベシ◎町内ニ地方暴風標アリ。

宇久井半島 三輪崎灣ノ南側ヲ成ス半島ニシテ頂ヲ上ノ山(ウワ)ト謂ヒ高サ60 米一圓ニ耕種ヲ施シアリ◎半島ノ北東端ニ接シ目覺山(メザマシ)ト稱スル高サ59 米ノ圓頂嶼アリ之ヨリ北東方ニハ赤島(高サ14 米)八幡出シ(水深9.1 米)等列ス◎半島ノ東岸即チ目覺山ヨリ駒埼ニ至ル間ノ海岸ノ前面ハ距岸殆ド3 鏈ノ處迄暗礁擴延ス◎半島ノ南角駒埼ハ高サ57 米ニシテ之ヨリ南方1 哩餘ノ間ニ嶼礁列シ最外嶼ヲ大平島(オベラ)(高サ5.6 米)最外礁ヲシキノ島(水深7.7 米礁)ト稱ス。

宇久井灣 宇久井半島ノ南西側ニ在ル小灣ニシテ唯小舟ノ錨泊地タルニ過ギズ灣口ニ鍋島ト稱スル高サ46 米ノ小島アリ島上ニ1 松樹ヲ戴ク小舟ハ此ノ島ノ東側ヨリ出入ス。

天滿灣(テンマ) 宇久井灣ノ南西方ニ在ル廣キ灣ニシテ全ク東方ニ露開スレドモ北西風時ニハ避泊地ト爲スヲ得ベシ◎錨地ハ前記大平島ノ南端ヲ108 度ニ山成島群嶼中ノ山成島(高サ29 米)西角ヲ170 度ニ望ム水深18 米ノ處ニ
20 在リ。

那智瀧(海圖93) 天滿灣首ニ注グ那智川ノ上流約3 哩ニ在リ直下24 米餘水面上ノ高サ358 米本邦第1 ノ瀑布ニシテ海方ヨリ望ミ得ベシ◎瀑布ノ左右ニ著峯アリ瀑布ニ面シ左ヲ那智妙法山(高サ761 米)ト謂ヒ樹木繁茂ス(第144 頁對面對景圖第8 及第154 頁對面對景圖第9 參照)、此ノ山ノ中腹約8 合目附近妙法寺ノ下方約185 米ニ熊野中央自動車株式會社ノ設置ニ係ル白色卍形存在シ海上ヨリノ好目標ナリト謂フ、右方ノ山ヲ烏帽子山(帽子石山)(高サ914 米)

ト稱シ山頂ニ樹木ナク北東方ヨリ望メバ顯著ナリ○天満灣首ニ位スル新宮鐵道那智驛及勝浦町ヨリ乗合自動車ノ便アリ。

勝浦灣 天満灣ノ南方ニ隣レル大灣ニシテ灣内3支ニ分レ北支ヲ勝浦港、西支ヲ森浦灣、南支ヲ大地灣ト稱ス。

灣口ノ殆ド中央ニ鯉島アリ高サ6.2米ノ黒岩ニシテ灣口ヲ認ムルノ好目標ナリ、此ノ島ノ北東方約100米ニ水深1.8米ヨリ淺キ礁及4.1米礁、更ニ2.5鏈ニハ瀧出シ(水深16米礁)アリ○鯉島ノ北方ニ黒色ヲ呈スル一群ノ岩嶼アリ、
山成島(寺島)ト謂ヒ其ノ最高岩モ同名ニシテ高サ29米松樹竝列ス、此ノ群嶼ト西方距岸トノ間ニ水道アリ中央ノ水深12乃至18米ニシテ岩底ナリ○駒崎出シハ上記水道ノ南東端ニ位シ礁上水深7.7米ナリ○駒崎出シノ西方5鏈勝浦港東側半島ノ南端ニ元太島及筆島(高サ各31及41米ナル尖岩)鶴島(高サ52米)乙島(高サ37米)等アリ。

鶴島燈竿 鶴島頂ニ設ク、白塗木造○燈高、礎上7米、平均水面上60米。

勝浦港 勝浦灣ノ北支ニシテ港内稍狹隘ニ失スト雖モ東側ニハ狹長ナル半島アリ港口ニハ中島(高サ51米)アリテ能ク遮屏セラレ水深亦適度ナルヲ以テ3,000噸級以下ノ船舶ニハ安全ナリ、新宮鐵道ノ開通以來新宮市ニ出入スル物資ノ中繼港トシテ近時著シク發展シ船舶常ニ輻輳ス紀伊半島東岸唯一ノ良港ナリ。

港口ハ中島ニ依リテ東西2水道ニ分ル小形船ハ何レノ水道ヲモ通航シ得レドモ大形船ハ東側水道ヲ採ルベシ○東側半島ノ海方面ハ暗黒色ノ高キ險崖ヲ成シ顯著ニシテ認メ易シ、半島ノ西岸ニ赤島及浦島ノ2溫泉、東岸ニ外ノ湯アリ何レモ硫黃泉ナリ○港内北東隅ノ入江ヲ大勝浦ト稱ス小漁港ニシテ漁船常ニ輻輳ス小規模ノ造船所アリ和船及發動機船ノ造修ヲ爲ス。

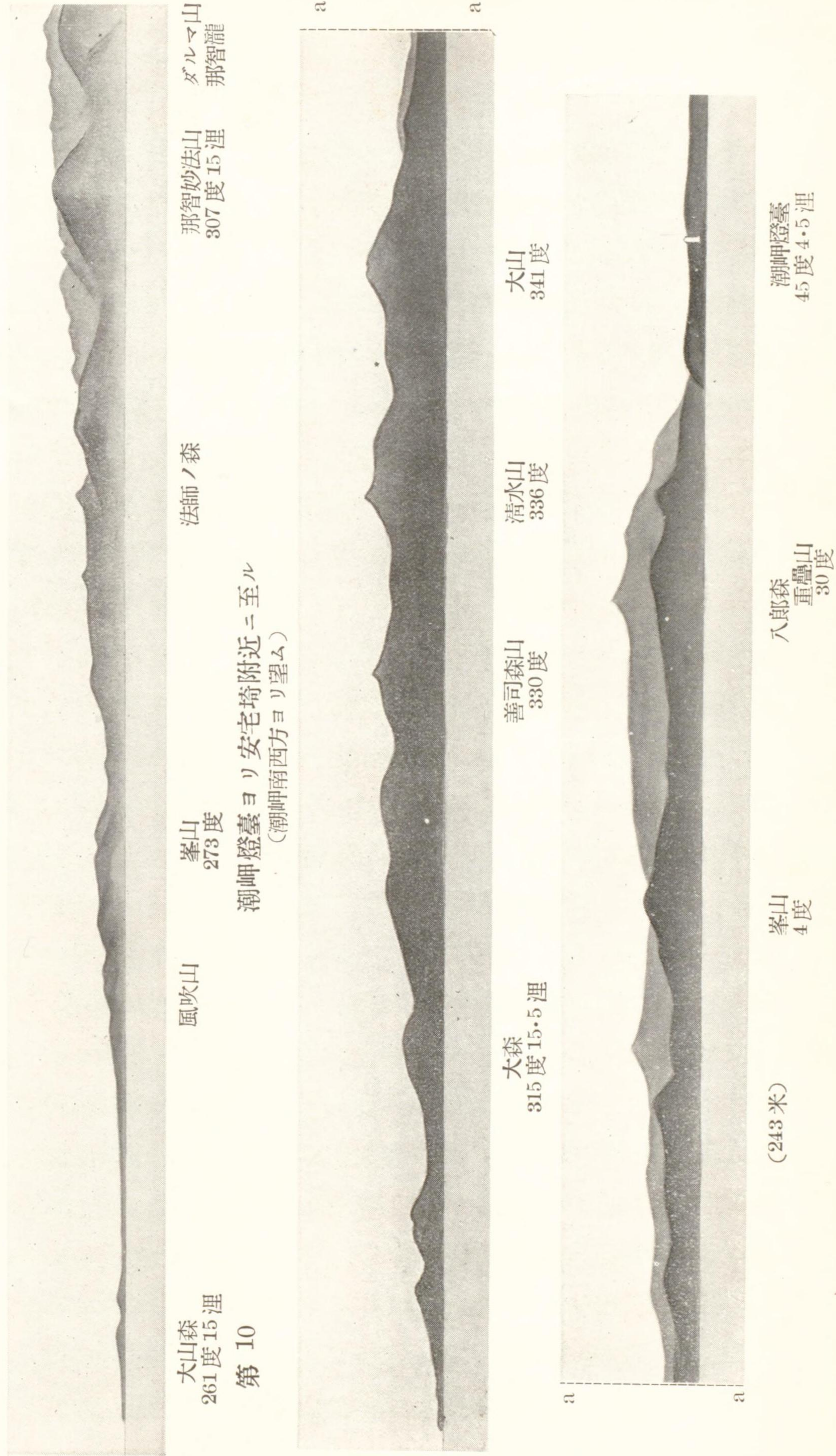
勝浦町 勝浦町ハ人口4,788(昭和8年3月末調)町役場、郵便局等アリ○漁獲物ノ集散、洋紙、木材、薪炭ノ移出盛ナリ○赤島溫泉ニ和歌山縣測候所勝浦驗潮所アリ又當町ノ海岸ニ地方暴風標アリ。

勝浦町ニ30馬力ノ唧筒ヲ備フル消防艇アリ海上ヨリ市街ノ防火用ニ供シ併セ

第154頁對面

那智妙法山ヨリ大島ニ至ル
(櫻野崎東方ヨリ望ム)

第9



第10

テ船舶救難ニモ使用ス。

目標 港ノ北側市街背後ノ丘上ニ略饅頭形ノ樹叢大小2箇アリテ顯著ナリ大ナル方ハ港口東側水道ヨリ棧橋ニ向フ際好目標ヲ呈ス◎港内西側ニ石垣ニテ築造セル方形ノ小島アリ島ノ西部「コンクリート」礎上ニ黑色ノ水槽アリ、又埋立地中央部ニ日本製水會社倉庫アリ鐵筋「コンクリート」造ニシテ海岸棧橋ニ向ヒ水積用「シュート」アリ共ニ顯著ナリ◎鐵道棧橋附近ニ重油槽アリ又上記黑色水槽ノ北西方陸上ニ高キ鐵製櫓ノ上部ニ白塗小家屋ノ形狀ヲ成セル水槽アリ製水會社ノ設置ニ係リ投錨目標トシテ良好ナリ。

渡ノ島其ノ他港内ノ岩礁及沿岸ヨリ突出セル礁ノ外端ニハ白塗立標ヲ設置シアルモノ多ク視認シ易シ是眞珠養殖用筏ノ位置ヲ決定スル基點ナリ◎港内各所ノ溫泉旅館ハ顯著ナリ。 10

棧橋 港ノ北側ニ大阪商船會社ノ施設ニ係ル浮棧橋アリ長サ約70米大阪勝浦間急行船(1,600噸)此處ニ繫留ス◎港ノ北西側埋立地護岸ノ南端附近ニ鐵道棧橋アリ長サ約50米停車場ヨリ分岐セル軌道アリ◎又其ノ北東方護岸ノ略中央部ニ製水會社棧橋アリ長サ約20米。

錨地 港内ハ水深5乃至11米泥底ニシテ東側ニ近ク渡ノ島(ワタ)(干出1.8米岩、岩頂下1.8米ニ基本水準標ヲ有ス)アル外危險ナシ、大形船舶ハ港内中央部ニ双錨泊ヲ爲スヲ常トス、小形船舶ハ浮棧橋ニ繫留シ得ベシ。

針路法 森浦灣北濱黒取岩附近ノ頂(72米)ヲ正首ニ保チ針路270度ニテ灣口ヲ通過シタル後適宜北折シ水道狹部ニ於テハ東側半島ニ接シ操船錨地又ハ棧橋ニ向フベシ、中島東端ハ東側半島西岸ヨリ稍淺シ。 20

物資 魚類薪炭米麥其ノ他ノ日用品ヲ辨ジ得ベシ◎淡水ハ港内西側島上ニ在ル上記黑色湧水槽ヨリ多量ノ良水ヲ汲取ルヲ得、小形船舟ハ石壁ニ横付シ給水シ得ベシ又此ノ水槽ノ外町内ニ噴水井アリ良質多量ナリ、給水船數隻アリ、尙製水會社棧橋先端ニ水栓アリテ漁船ニ直接給水シ得◎勝浦驛南東方埋立地(日本石油)及大勝浦南東側ニ重油槽(Standard Oil Co.)アリ又越ノ湯南方ノ越瀬(コッセ)ニ輕油槽アリ、小給油船數隻アリ◎氷ハ豊富ナリ。